

ひたちなか市  
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査  
報告書

令和5年3月  
ひたちなか市

# 目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 回収の結果	1
4. 報告書の見方	1
第2章 対象者について	2
1 調査対象者の概要と回収結果	2
2 回答者の概要	4
第3章 設問ごとの分析	9
問1 あなたのご家族や生活状況について	9
問2 からだを動かすことについて	13
問3 食べることについて	23
問4 毎日の生活について	30
問5 地域での活動について	49
問6 たすけあいについて	61
問7 健康について	64
問8 認知症にかかる相談窓口の把握について	70
問9 在宅での医療や介護について	76
問10 地域包括支援センター(おとしより相談センター)について	83
第4章 リスクの発生状況	85
1. 運動器の機能低下	85
2. 転倒リスク	87
3. 低栄養の傾向	89
4. 口腔機能の低下	91
5. 閉じこもり傾向	93
6. 認知機能の低下	95
7. うつ傾向	97
8. IADLの低下	99
第5章 日常生活圏域に関する分析	101
1. 本市における日常生活圏域について	101
2. 日常生活圏域についての分析	102
第6章 クロス集計による分析	118
1. 総合事業についての分析	118
2. 認知症についての分析	129
3. 在宅医療・在宅介護についての分析	132
4. 地域包括支援センター(おとしより相談センター)についての分析	137
第7章 調査票	138

# 第1章 調査の概要

## 1. 調査の目的

ひたちなか市に在住する高齢者の日常生活の状況や健康状態等を把握し、今後の高齢者保健福祉施策に活かすために調査を行いました。

## 2. 調査の設計

- 調査地域 ひたちなか市
- 調査対象 令和4年11月1日現在でひたちなか市にお住まいの65歳以上の方で、要介護認定を受けられていない方。
- 調査方法 郵送による配付・回収
- 調査期間 令和4年12月5日～令和5年1月4日
- 抽出方法 無作為抽出

## 3. 回収の結果

発送者数	有効回収数	有効回収率
5,000人	3,194人	63.9%

## 4. 報告書の見方

- 回答は、各質問の回答者数（計）を基数とした百分率（%）で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えます。
- 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、表・グラフには「0.0」と表記しています。

## 第2章 対象者について

### 1 調査対象者の概要と回収結果

#### (1) 性別の回収結果

項目		調査対象者数	回答者数	回収率
全体		5,000	3,194	63.9%
性別	男性	2,500	1,600	64.0%
	女性	2,500	1,577	63.1%
	無回答	-	17	-

●性別では、男性 64.0%、女性 63.1%となっています。

#### (2) 年齢階級別の回収結果

項目		調査対象者数	回答者数	回収率
年齢別	65～69歳	814	486	59.7%
	70～74歳	1,686	1,083	64.2%
	75～79歳	928	627	67.6%
	80～84歳	946	602	63.6%
	85歳以上	626	379	60.5%
	無回答	-	17	-

●年齢階級別では、75～79歳が67.6%で最も高く、次いで70～74歳が64.2%、80～84歳が63.6%となっています。

#### (3) 前期高齢者・後期高齢者別の回収結果

項目		調査対象者数	回答者数	回収率
年齢別	前期高齢者	2,500	1,569	62.8%
	後期高齢者	2,500	1,608	64.3%
	無回答	-	17	-

●年齢階級別では、前期高齢者が62.8%、後期高齢者が64.3%となっています。

#### (4) 日常生活圏域別の回収結果

項目		調査対象者数	回答者数	回収率
圏 域 別	勝田第一中学校区	625	399	63.8%
	勝田第二中学校区	625	424	67.8%
	勝田第三中学校区	625	397	63.5%
	佐野中学校区	625	425	68.0%
	大島中学校区	625	420	67.2%
	田彦中学校区	625	405	64.8%
	那珂湊中学校区	625	391	62.6%
	美乃浜学園区	625	316	50.6%
	無回答	-	17	-

●日常生活圏域別では、佐野中学校区区域が68.0%で最も高く、次いで勝田第二中学校区区域が67.8%、大島中学校区区域が67.2%となっています。

#### (5) 認定状況別の回収結果

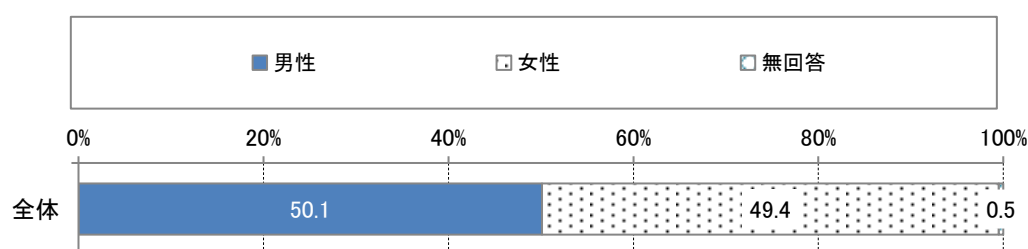
項目		調査対象者数	回答者数	回収率
認 定 状 況 別	一般高齢者	4,725	3,017	63.9%
	要支援1	102	61	59.8%
	要支援2	146	87	59.6%
	総合事業対象者	27	12	44.4%
	無回答	-	17	-

●認定状況別では、一般高齢者が63.9%、要支援1が59.8%、要支援2が59.6%、総合事業対象者が44.4%となっています。

## 2 回答者の概要

### (1) 性別の構成

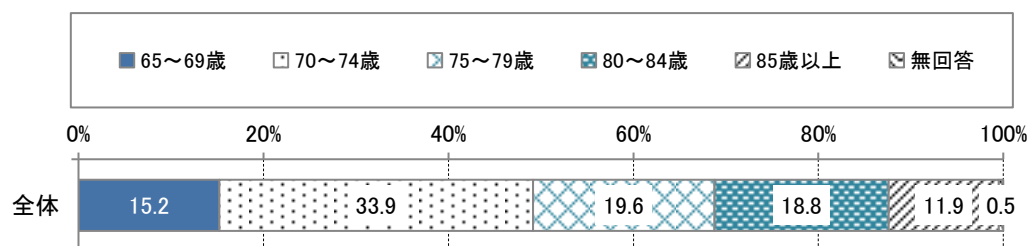
項目	男性	女性	無回答	回答者数 (人)
実数 (人)	1,600	1,577	17	3,194
構成比 (%)	50.1	49.4	0.5	100.0



●性別では、男性 50.1%、女性 49.4%となっています。

### (2) 年齢階級別の構成

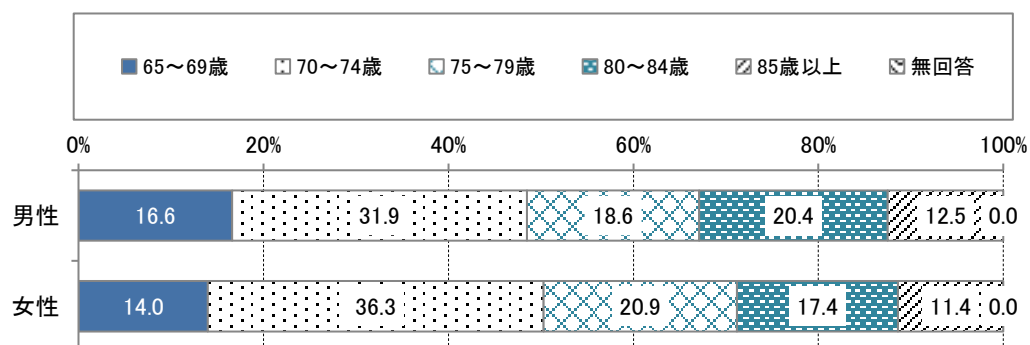
項目	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答	回答者数 (人)
実数 (人)	486	1,083	627	602	379	17	3,194
構成比 (%)	15.2	33.9	19.6	18.8	11.9	0.5	100.0



●年齢階級別では、70～74歳が 33.9%で最も高く、次いで 75～79歳が 19.6%、80～84歳が 18.8%となっています。

### (3) 性別・年齢階級別の構成

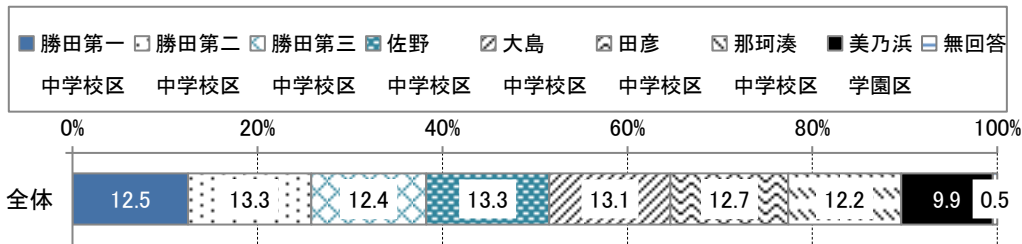
項目		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答	回答者数 (人)
男 性	実数(人)	265	510	298	327	200	0.0	1,600
	構成比(%)	16.6	31.9	18.6	20.4	12.5	0.0	100.0
女 性	実数(人)	221	573	329	275	179	0.0	1,577
	構成比(%)	14.0	36.3	20.9	17.4	11.4	0.0	100.0



- 男性の年齢階級別では、70～74歳が31.9%で最も高く、次いで、80～84歳が20.4%、75～79歳が18.6%となっています。
- 女性の年齢階級別では、70～74歳が36.3%で最も高く、次いで、75～79歳が20.9%、80～84歳が17.4%となっています。

#### (4) 日常生活圏域別の構成

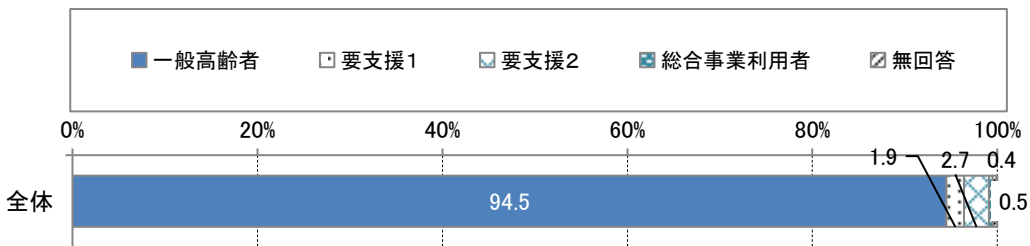
項目	勝田第一 中学校区	勝田第二 中学校区	勝田第三 中学校区	佐野 中学校区	大島 中学校区	田彦 中学校区	那珂湊 中学校区	美乃浜 学園区	無回答	回答者数 (人)
実数(人)	399	424	397	425	420	405	391	316	17	3,194
構成比(%)	12.5	13.3	12.4	13.3	13.1	12.7	12.2	9.9	0.5	100.0



- 日常生活圏域別の構成では、勝田第二中学校区域、佐野中学校区域がともに13.3%で最も高く、次いで大島中学校区域が13.1%、田彦中学校区域が12.7%となっています。

#### (5) 認定状況別の構成

項目	一般 高齢者	要支援1	要支援2	総合事業 対象者	無回答	回答者数 (人)
実数(人)	3,017	61	87	12	17	3,194
構成比(%)	94.5	1.9	2.7	0.4	0.5	100.0



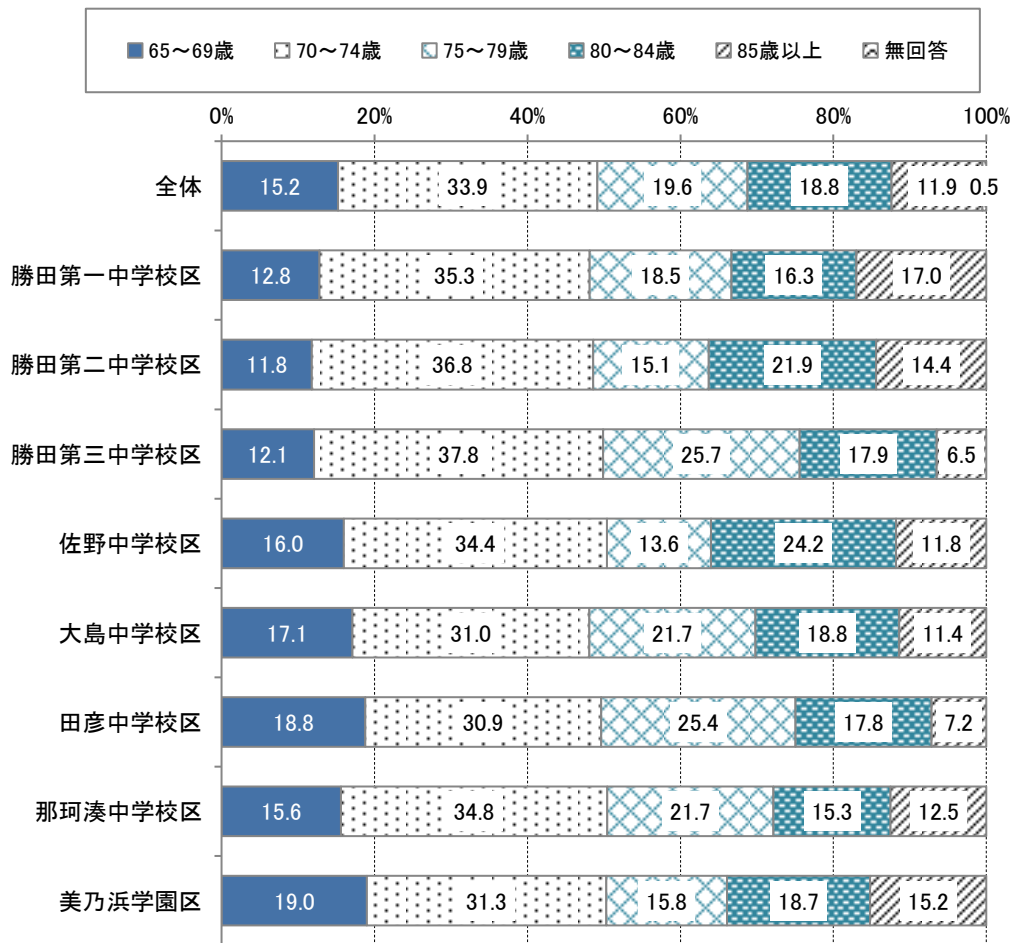
- 認定状況別の構成では、一般高齢者が94.5%、要支援1が1.9%、要支援2が2.7%、総合事業対象者が0.4%となっています。



(6) 日常生活圏域別の回収率及び回答者の性別・年齢階級・認定状況の構成比

項目		勝田第一 中学校区	勝田第二 中学校区	勝田第三 中学校区	佐野 中学校区	大島 中学校区	田彦 中学校区	那珂湊 中学校区	美乃浜 学園区			
調査対象者数(人)		625	625	625	625	625	625	625	625			
回答者数(人)		399	424	397	425	420	405	391	316			
回収率(%)		63.8	67.8	63.5	68.0	67.2	64.8	62.6	50.6			
回答者の内訳及び構成比	性別	男性	回答者数(人)	201	210	201	217	209	204	190	168	
			構成比(%)	50.4	49.5	50.6	51.1	49.8	50.4	48.6	53.2	
		女性	回答者数(人)	198	214	196	208	211	201	201	148	
			構成比(%)	49.6	50.5	49.4	48.9	50.2	49.6	51.4	46.8	
	年齢別	65～69歳	回答者数(人)	51	50	48	68	72	76	61	60	
			構成比(%)	12.8	11.8	12.1	16.0	17.1	18.8	15.6	19.0	
		70～74歳	回答者数(人)	141	156	150	146	130	125	136	99	
			構成比(%)	35.3	36.8	37.8	34.4	31.0	30.9	34.8	31.3	
		75～79歳	回答者数(人)	74	64	102	58	91	103	85	50	
			構成比(%)	18.5	15.1	25.7	13.6	21.7	25.4	21.7	15.8	
		80～84歳	回答者数(人)	65	93	71	103	79	72	60	59	
			構成比(%)	16.3	21.9	17.9	24.2	18.8	17.8	15.3	18.7	
		85歳以上	回答者数(人)	68	61	26	50	48	29	49	48	
			構成比(%)	17.0	14.4	6.5	11.8	11.4	7.2	12.5	15.2	
		認定状況別	一般 高齢者	回答者数(人)	381	404	382	398	400	384	367	301
				構成比(%)	95.5	95.3	96.2	93.6	95.2	94.8	93.9	95.3
	要支援1		回答者数(人)	8	6	6	9	9	10	5	8	
			構成比(%)	2.0	1.4	1.5	2.1	2.1	2.5	1.3	2.5	
	要支援2		回答者数(人)	8	14	8	17	11	9	16	4	
			構成比(%)	2.0	3.3	2.0	4.0	2.6	2.2	4.1	1.3	
総合事業 対象者	回答者数(人)		2	0	1	1	0	2	3	3		
	構成比(%)		0.5	0.0	0.3	0.2	0.0	0.5	0.8	0.9		

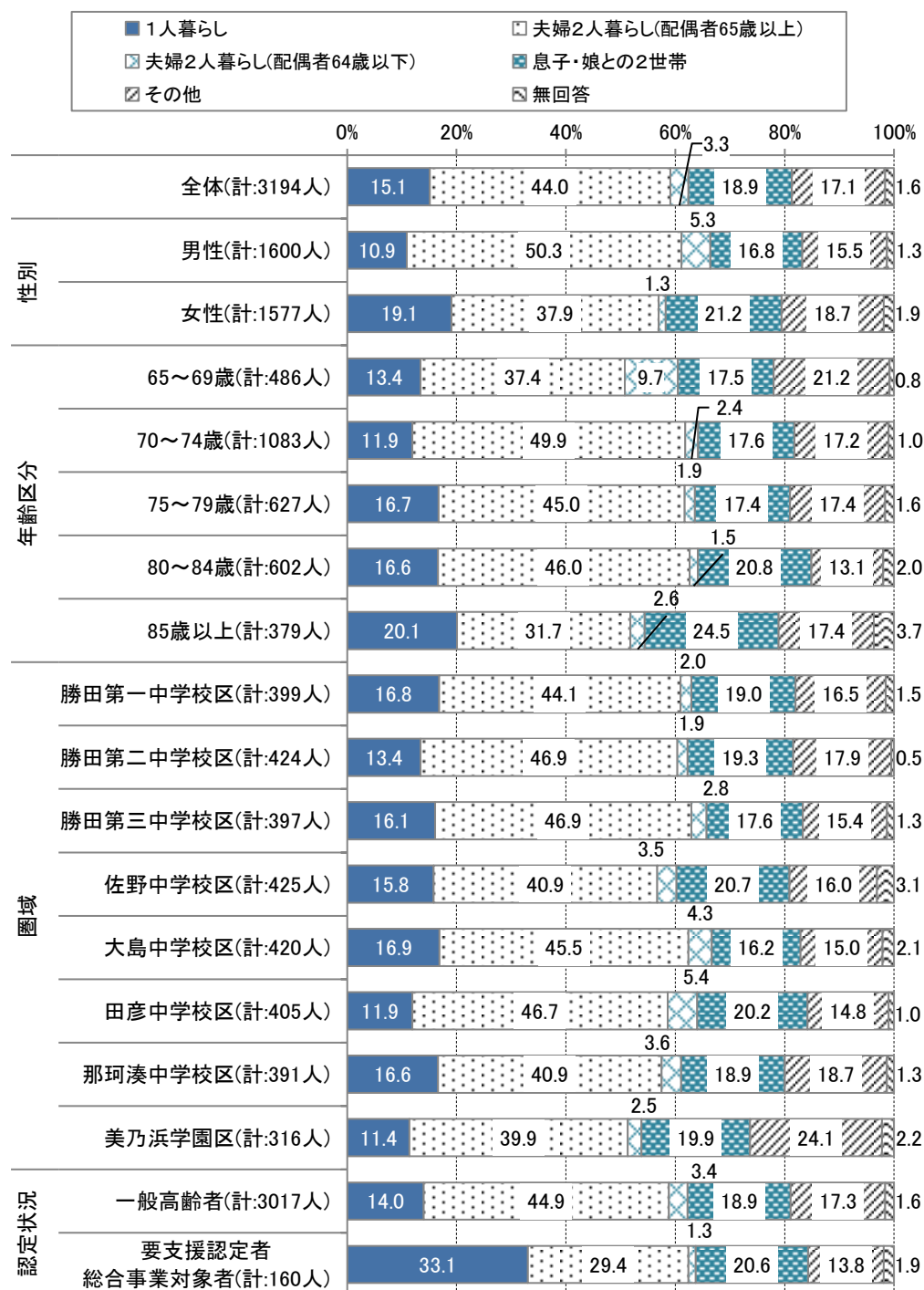
◆日常生活圏域別の年齢階級の構成



# 第3章 設問ごとの分析

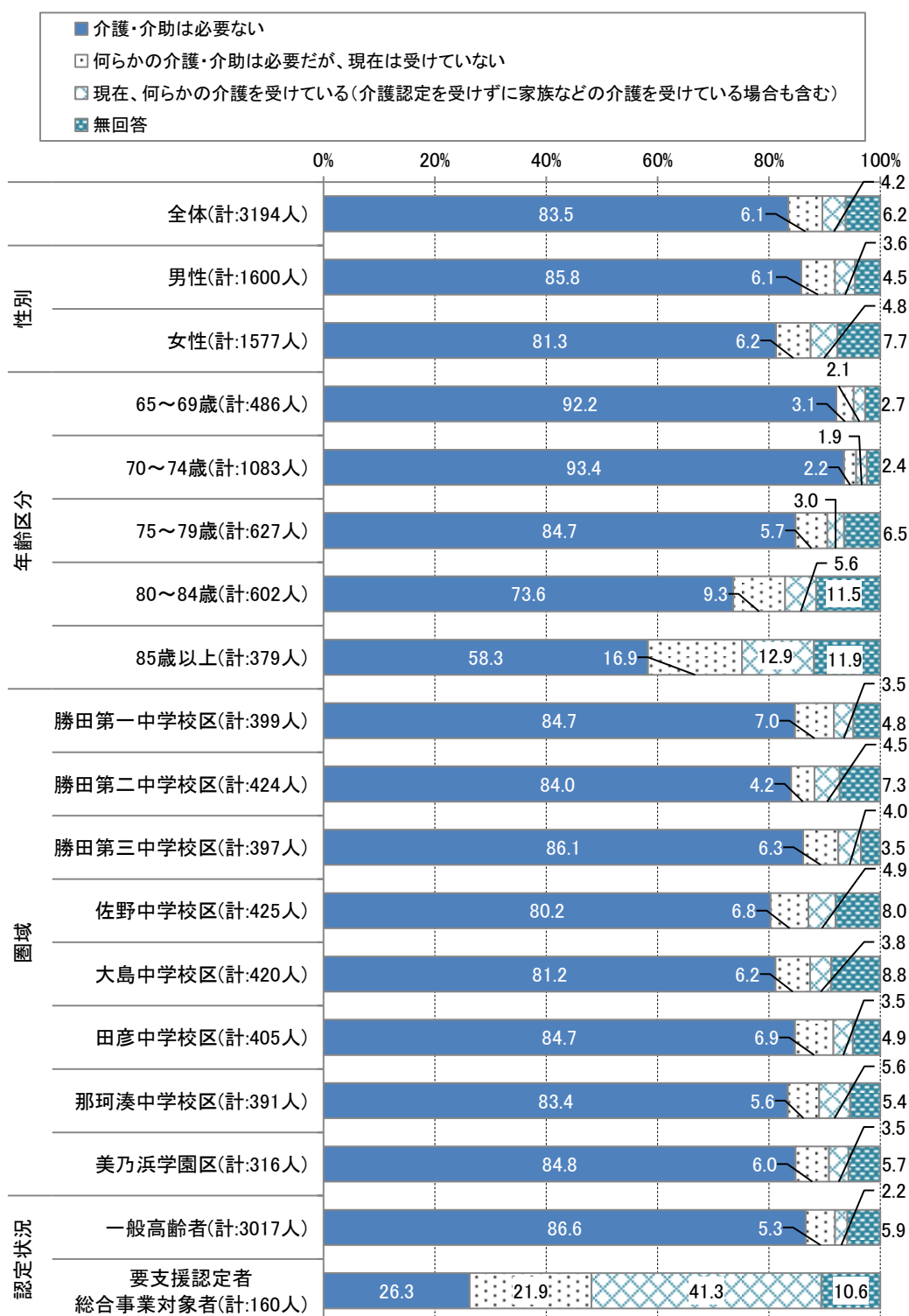
## 問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください



- 家族構成をお教えてくださいとたずねたところ、「夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)」と回答した人の割合が最も高く、44.0%となっています。次いで、「息子・娘との2世帯」(18.9%)、「その他」(17.1%)と続いています。
- 圏域別にみると、「1人暮らし」と回答した人の割合が最も高いのは「大島中学校区」(16.9%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(11.4%)となっています。

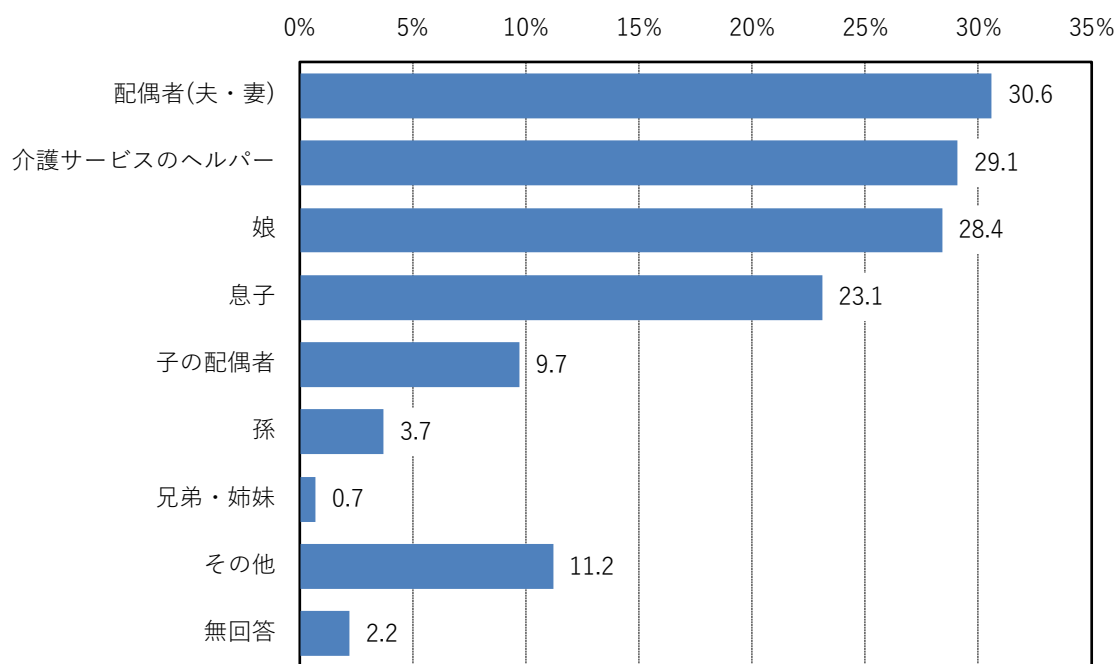
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか



- あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですかとたずねたところ、「介護・介助は必要ない」と回答した人の割合が最も高く、83.5%となっています。次いで、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(6.1%)、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」(4.2%)と続いています。
- 圏域別にみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第一中学校区」(7.0%)であり、最も低いのは「勝田第二中学校区」(4.2%)となっています。

【(2) において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

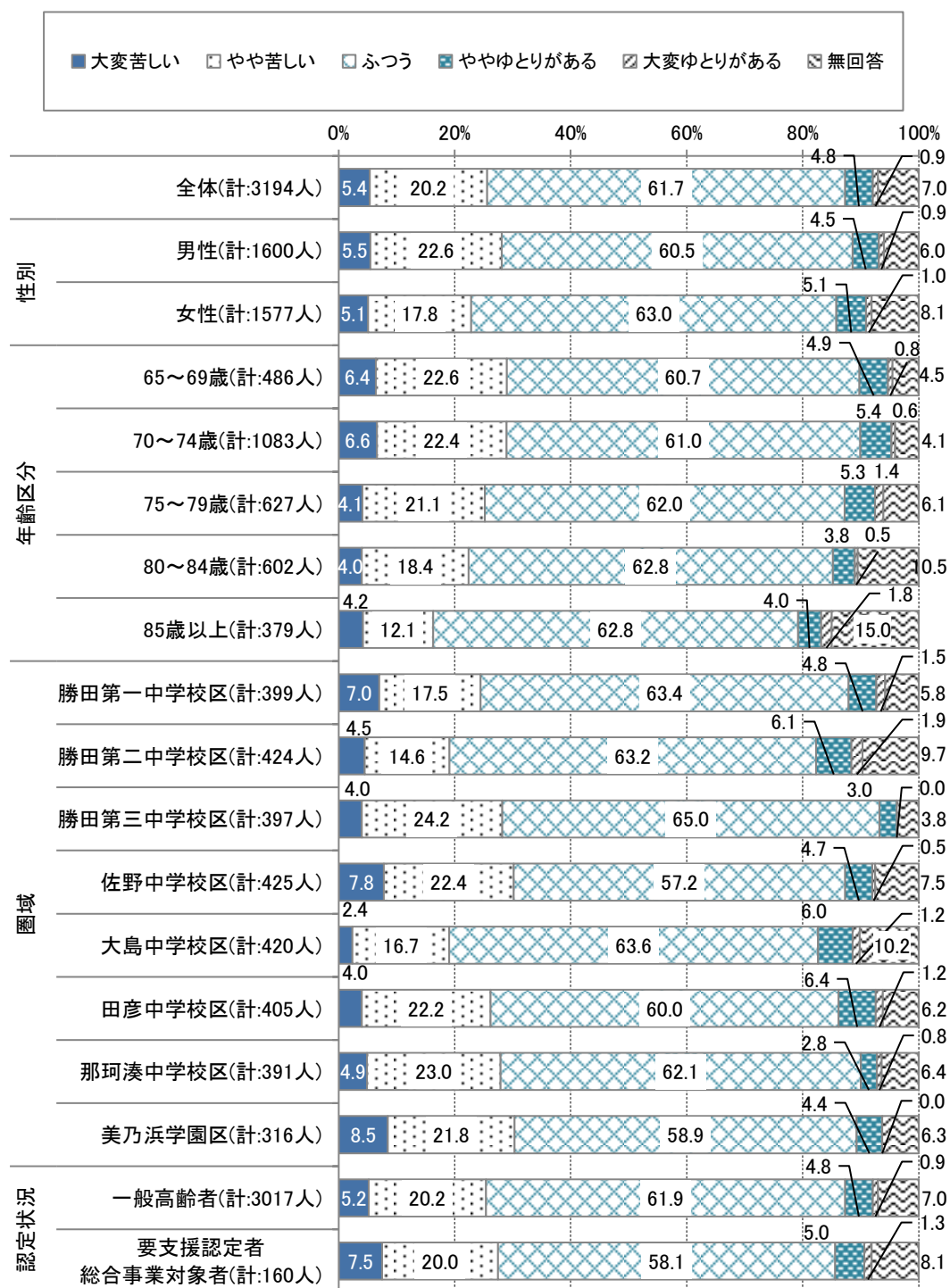
(3) 主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも)



計：134人

- 現在、何らかの介護を受けている方に、主にどなたの介護、介助を受けていますかとたずねたところ、「配偶者(夫・妻)」と回答した人が最も多く、30.6%となっています。次いで、「介護サービスのヘルパー」(29.1%)、「娘」(28.4%)と続いています。

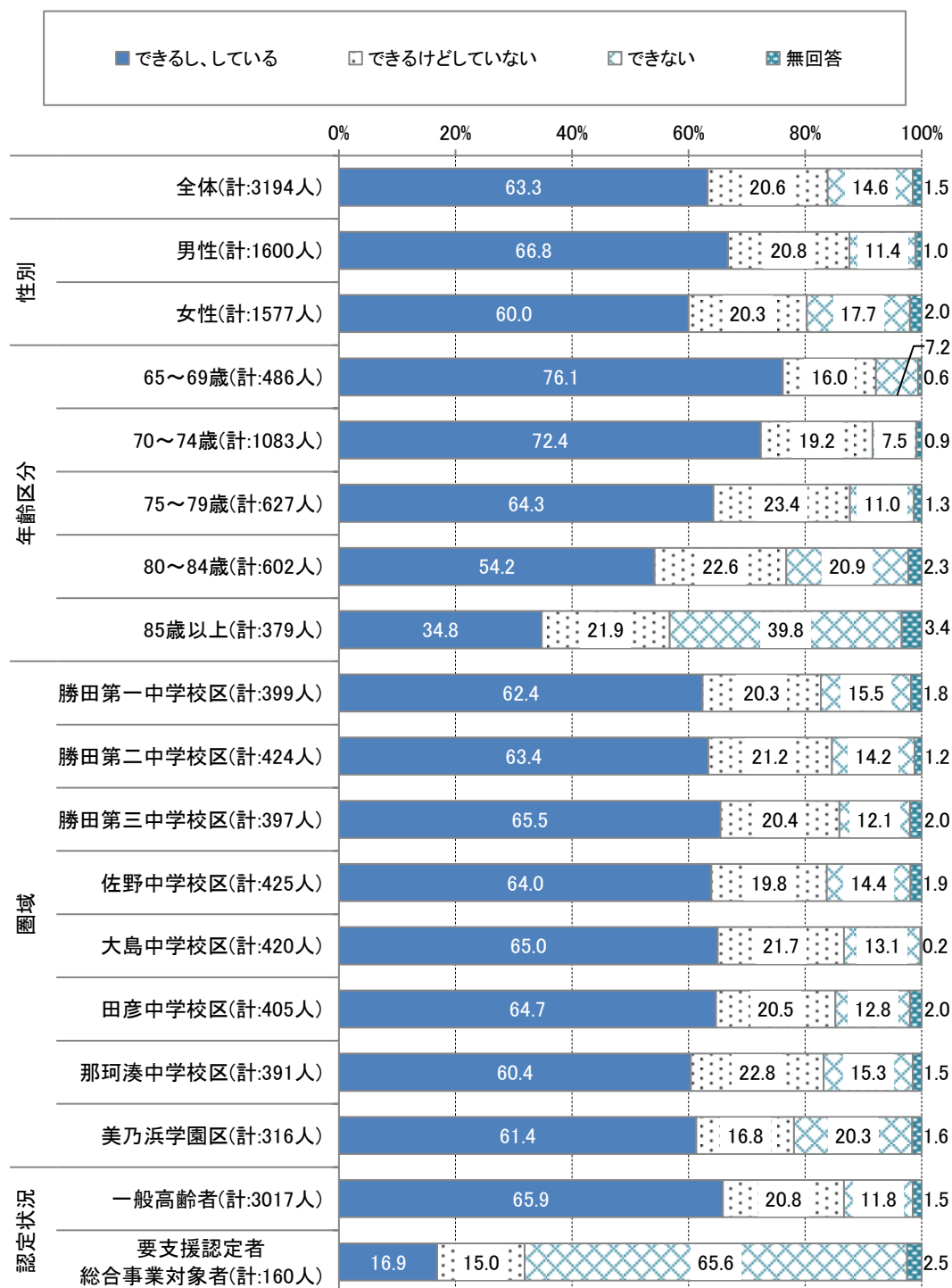
(4) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか



- 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますかとたずねたところ、「ふつう」と回答した人の割合が最も高く、61.7%となっています。次いで、「やや苦しい」(20.2%)、「大変苦しい」(5.4%)と続いています。
- 圏域別にみると、「大変苦しい」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(8.5%)であり、最も低いのは「大島中学校区」(2.4%)となっています。

## 問2 からだを動かすことについて

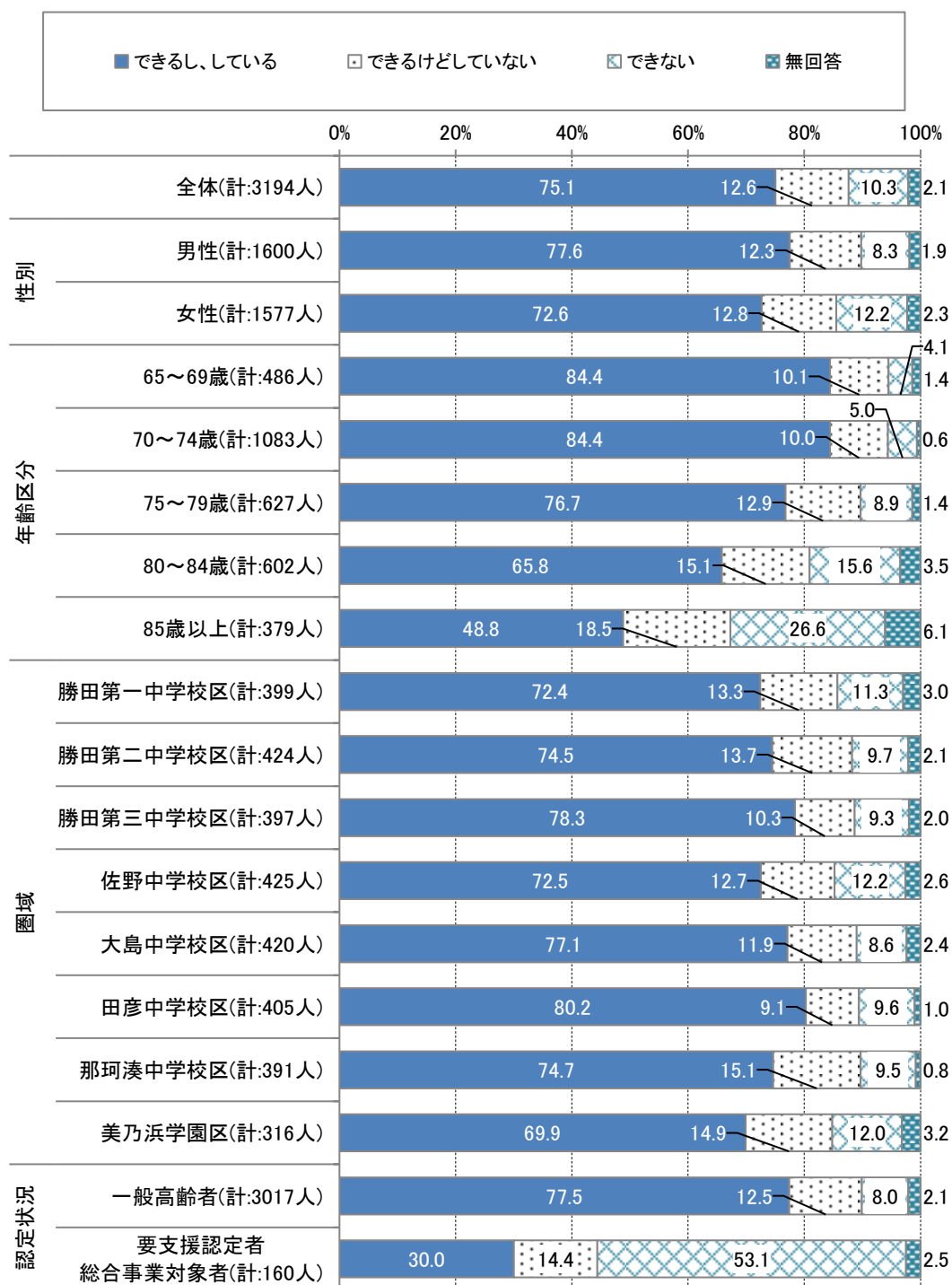
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか



●階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますかとたずねたところ、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高く、63.3%となっています。次いで、「できるけどしていない」(20.6%)、「できない」(14.6%)と続いています。

●圏域別にみると、「できない」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(20.3%)であり、最も低いのは「勝田第三中学校区」(12.1%)となっています。

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

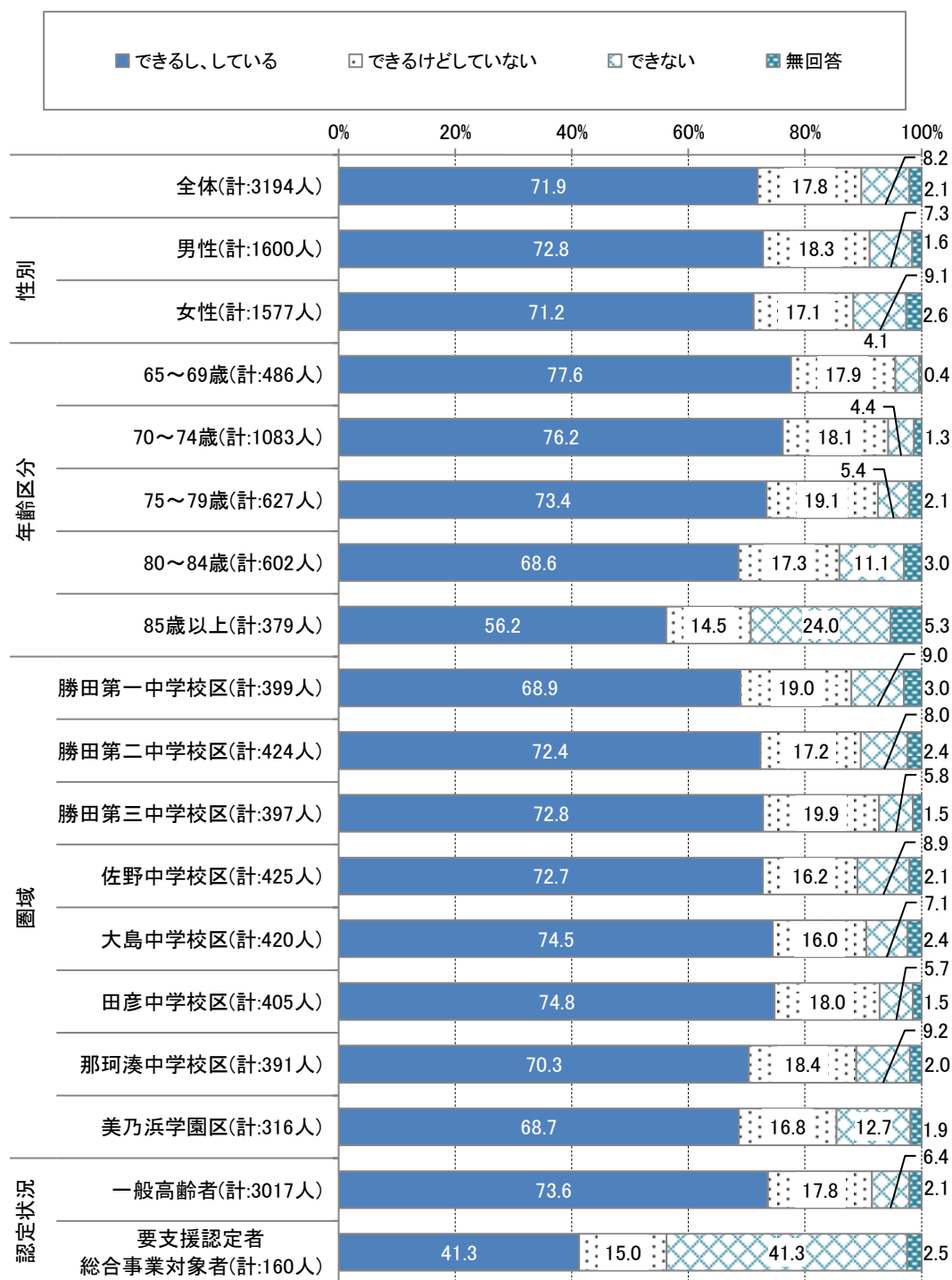


●椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますかとたずねたところ、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高く、75.1%となっています。次いで、「できるけどしていない」(12.6%)、「できない」(10.3%)と続いています。

●圏域別にみると、「できない」と回答した人の割合が最も高いのは「佐野中学校区」(12.2%)であり、最も低いのは「大島中学校区」(8.6%)となっています。

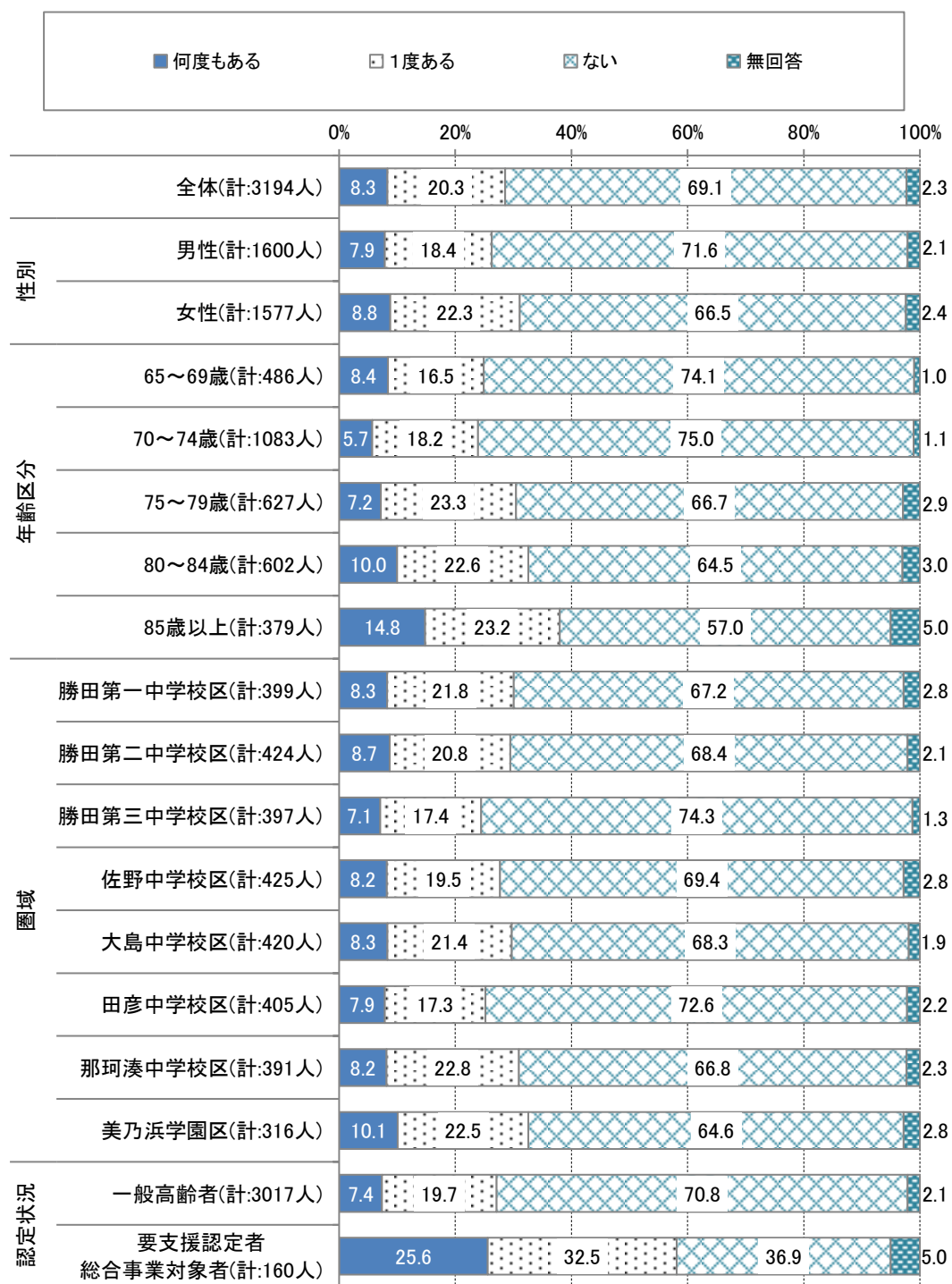


### (3) 15分位続けて歩いていますか



- 15分位続けて歩いていますかとたずねたところ、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高く、71.9%となっています。次いで、「できるけどしていない」(17.8%)、「できない」(8.2%)と続いています。
- 圏域別にみると、「できない」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(12.7%)であり、最も低いのは「田彦中学校区」(5.7%)となっています。

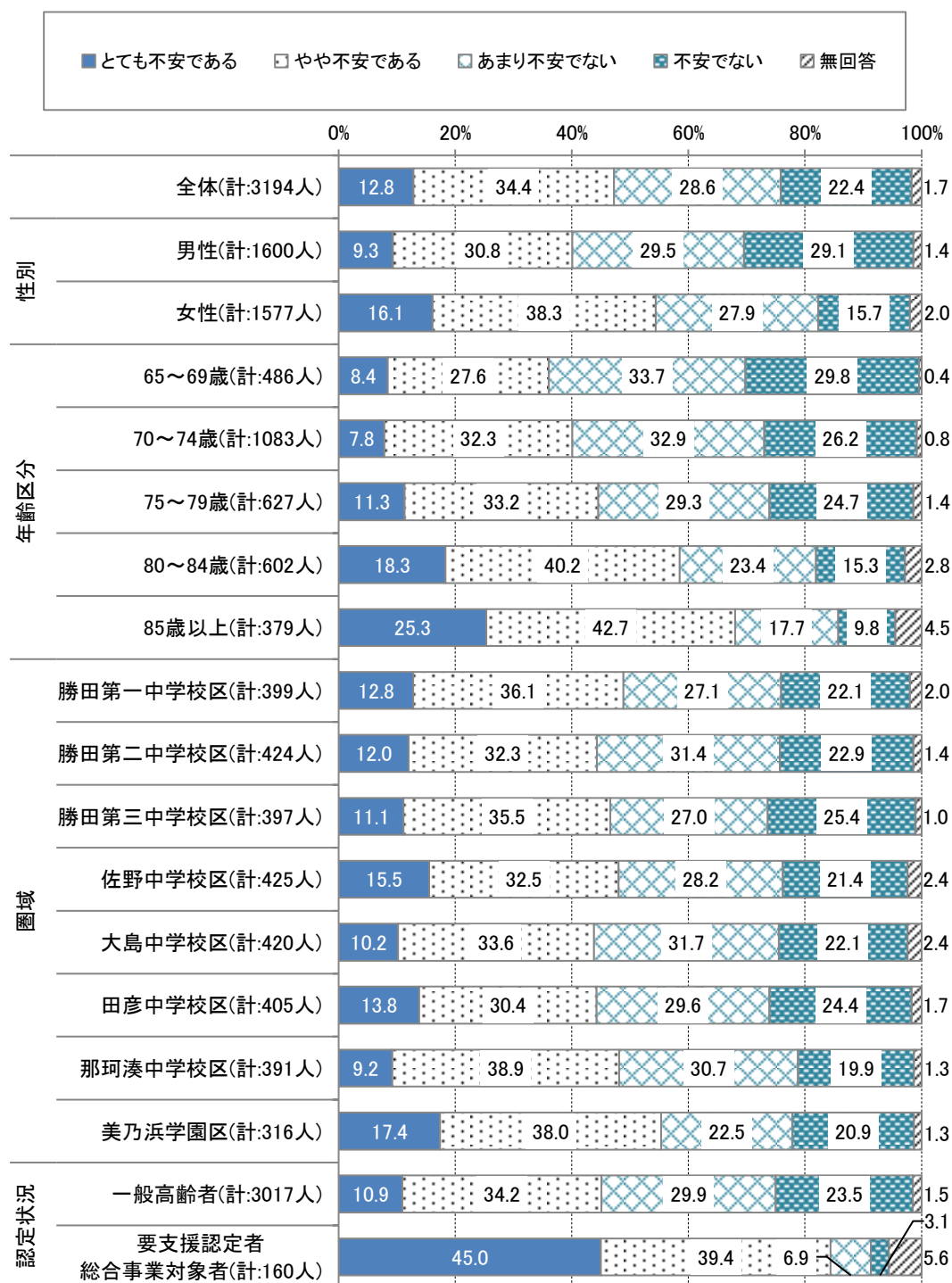
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか



●過去1年間に転んだ経験がありますかとたずねたところ、「1度ある」または「何度もある」と回答した人の割合は28.6%となっています。一方、「ない」と回答した人の割合は69.1%となっています。

●圏域別にみると、「何度もある」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(10.1%)であり、最も低いのは「勝田第三中学校区」(7.1%)となっています。

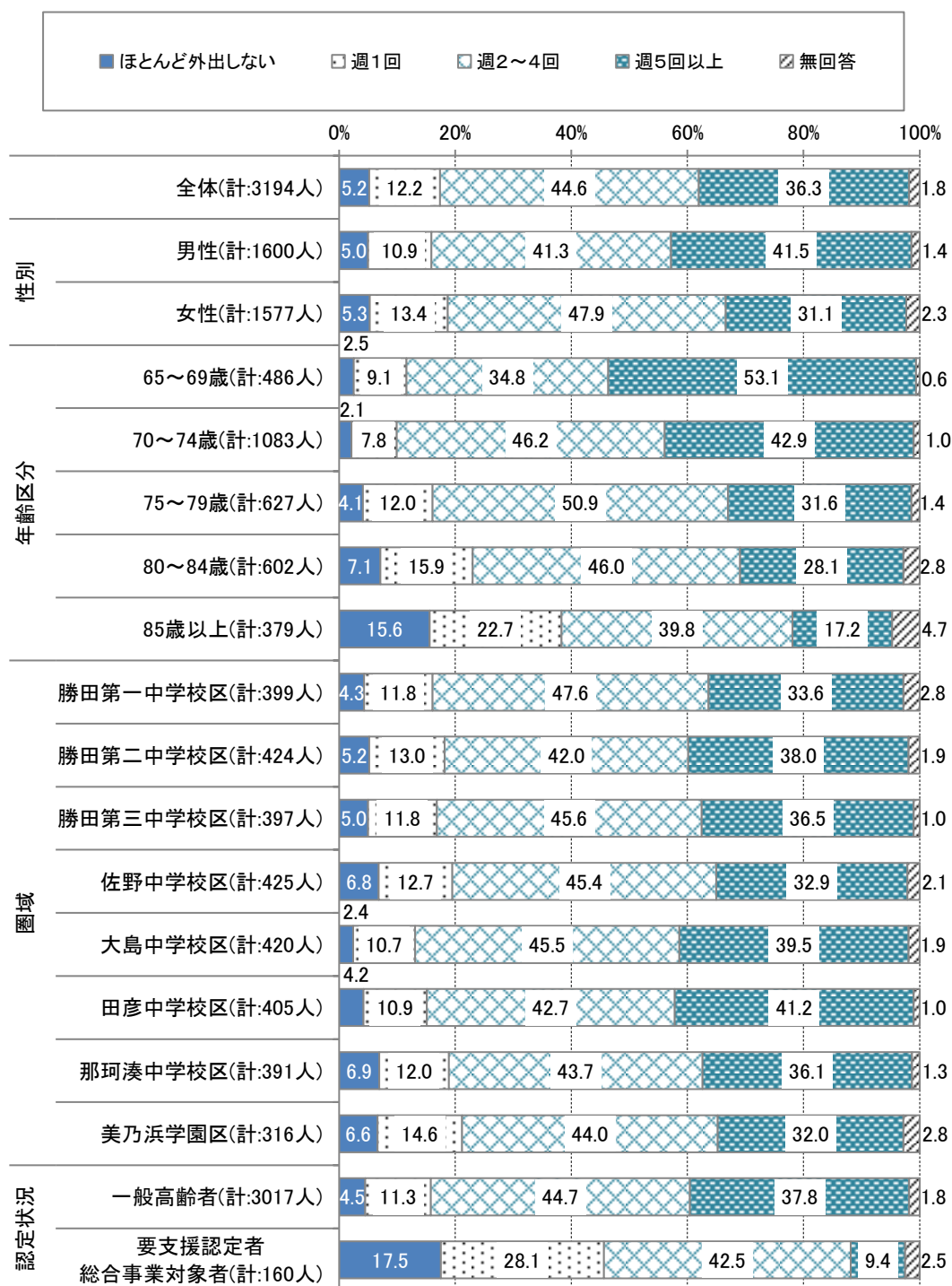
(5) 転倒に対する不安は大きいですか



●転倒に対する不安は大きいですかとたずねたところ、「とても不安である」または「やや不安である」と回答した人の割合は47.2%となっています。一方、「あまり不安でない」または「不安でない」と回答した人の割合は51.0%となっています。

●圏域別にみると、「とても不安である」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(17.4%)であり、最も低いのは「那珂湊中学校区」(9.2%)となっています。

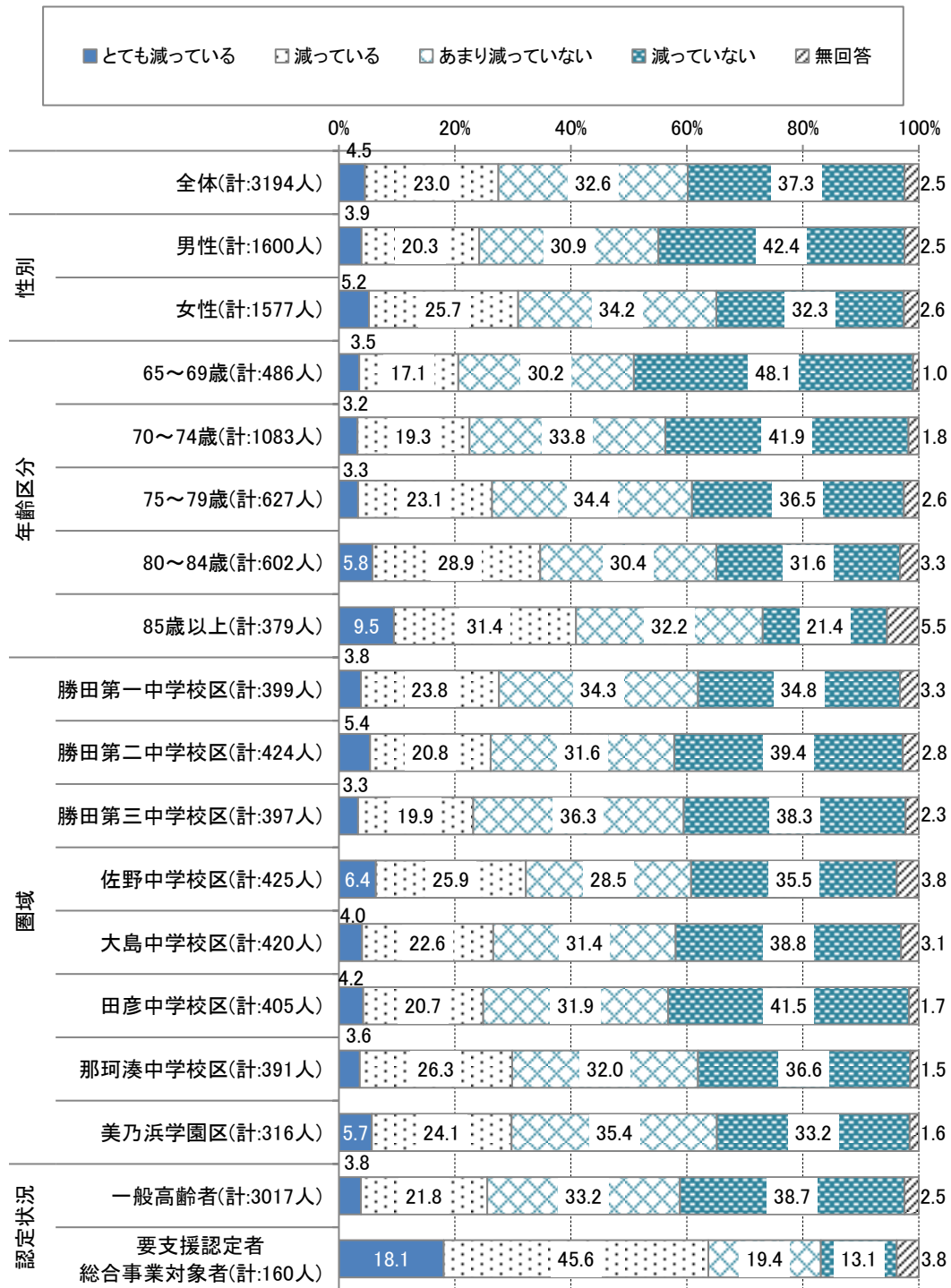
(6) 週に1回以上は外出していますか



●週に1回以上は外出していますかとたずねたところ、「週2~4回」と回答した人の割合が最も高く、44.6%となっています。次いで、「週5回以上」(36.3%)、「週1回」(12.2%)と続いています。

●圏域別にみると、「ほとんど外出しない」と回答した人の割合が最も高いのは「那珂湊中学校区」(6.9%)であり、最も低いのは「大島中学校区」(2.4%)となっています。

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

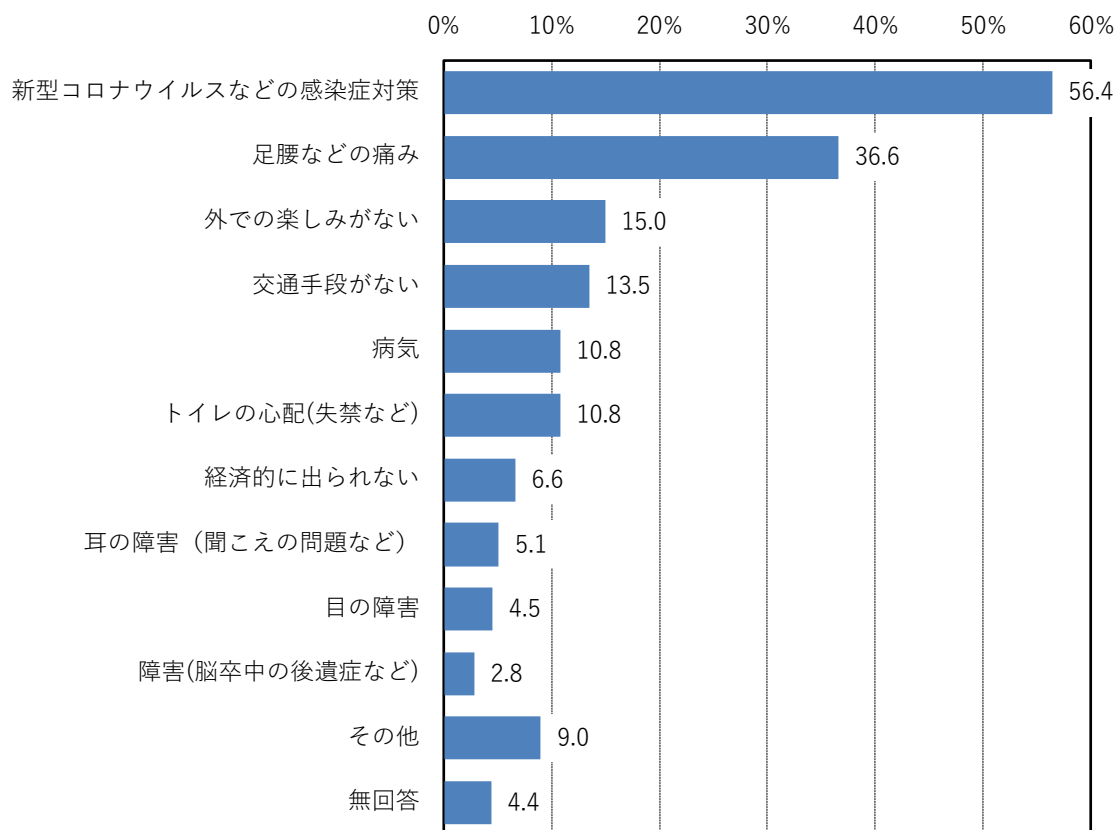


●昨年と比べて外出の回数が減っていますかとたずねたところ、「減っていない」と回答した人の割合が最も高く、37.3%となっています。次いで、「あまり減っていない」(32.6%)、「減っている」(23.0%)と続いています。

●圏域別にみると、「とても減っている」と回答した人の割合が最も高いのは「佐野中学校区」(6.4%)であり、最も低いのは「勝田第三中学校区」(3.3%)となっています。

【(7) で「1. とても減っている」、「2. 減っている」の方のみ】

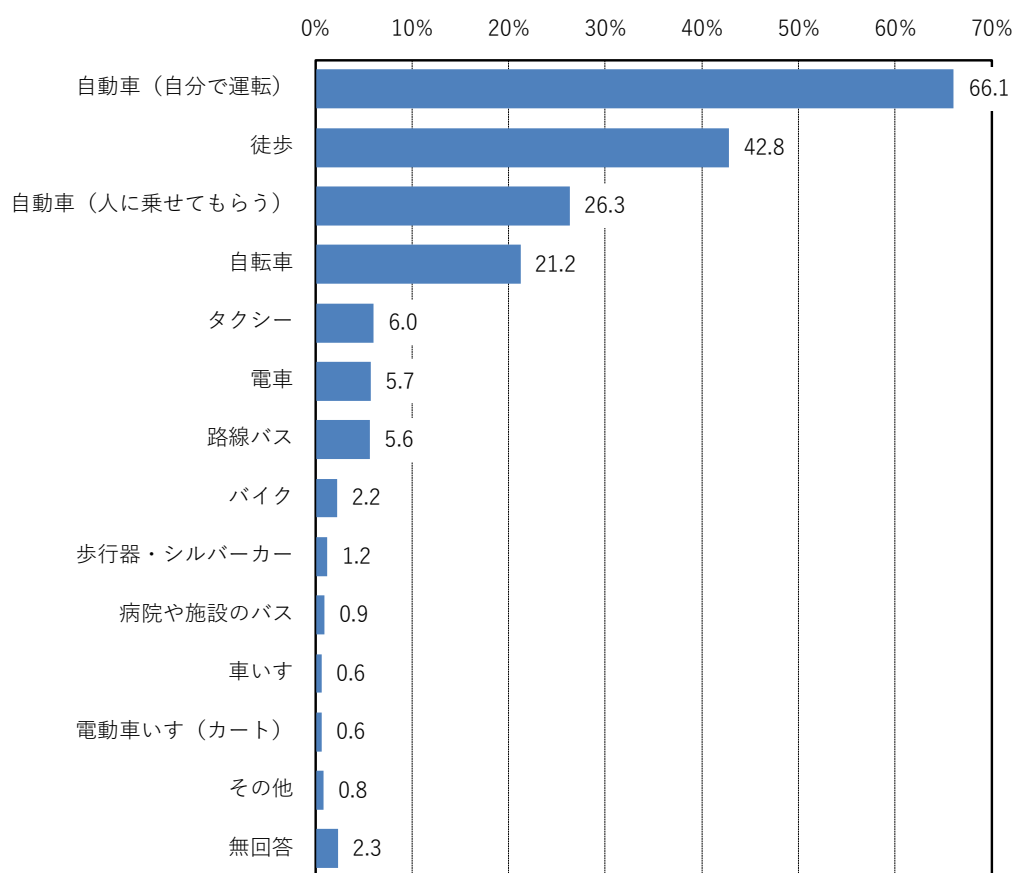
(8) 外出の回数が減っている理由は、次のどれですか（いくつでも）



計：880人

- 昨年と比べて外出の回数が「とても減っている」または「減っている」方に、その理由をたずねたところ、「新型コロナウイルスなどの感染症対策」と回答した人が最も多く、56.4%となっています。次いで、「足腰などの痛み」(36.6%)、「外での楽しみがない」(15.0%)と続いています。

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

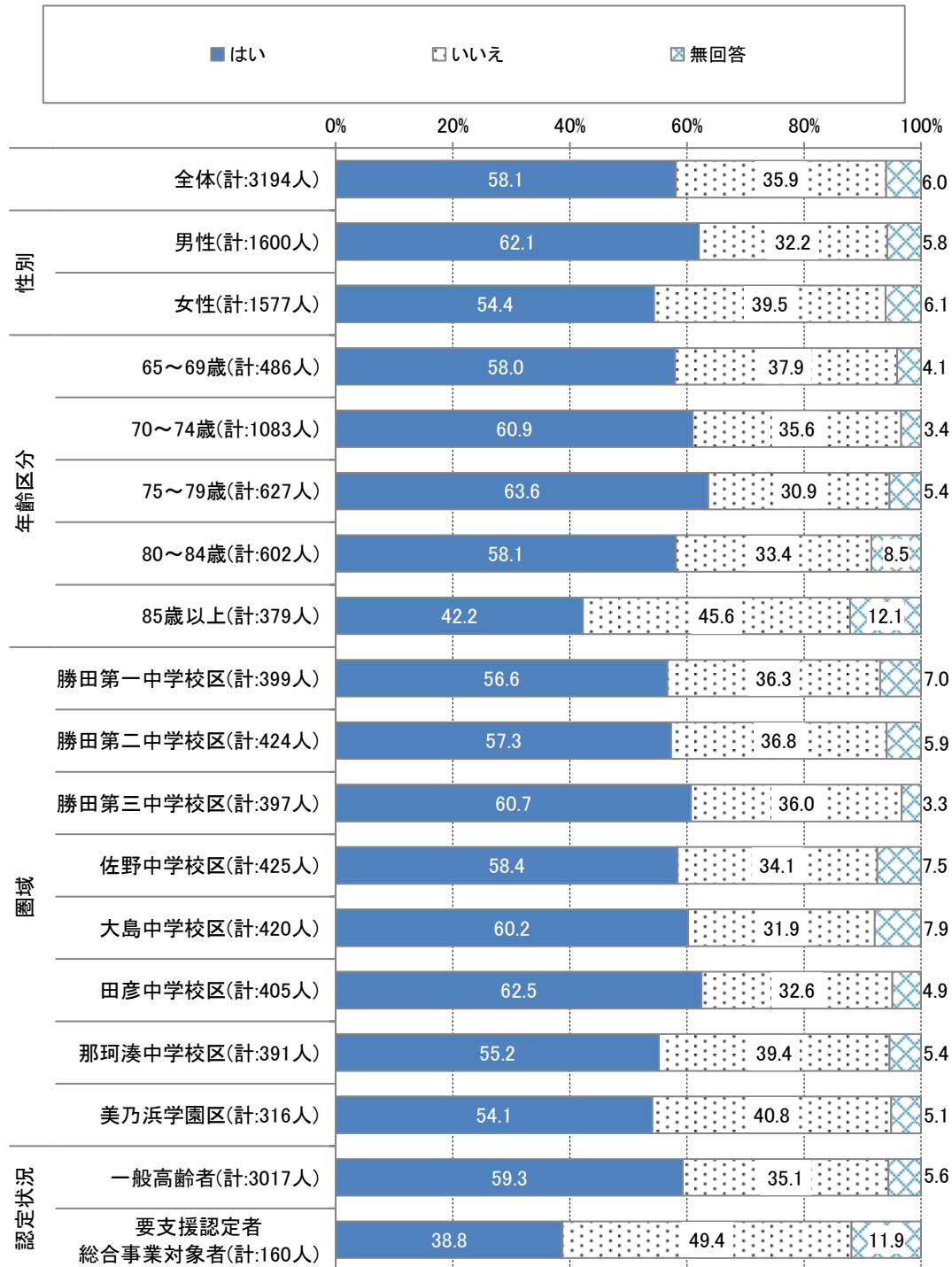


計：3194人

●外出する際の移動手段は何ですかとたずねたところ、「自動車（自分で運転）」と回答した人が最も多く、66.1%となっています。次いで、「徒歩」（42.8%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（26.3%）と続いています。

	全体	勝田第一 中学校区	勝田第二 中学校区	勝田第三 中学校区	佐野 中学校区	大島 中学校区	田彦 中学校区	那珂湊 中学校区	美乃浜 学園区
自動車（自分で運転）	66.1	63.7	66.7	71.5	65.2	62.6	67.7	63.7	69.6
徒歩	42.8	41.9	40.6	37.3	43.3	51.0	50.4	41.4	35.1
自動車（人に乗せてもらう）	26.3	27.3	28.5	21.9	24.7	26.4	28.1	27.4	25.9
自転車	21.2	22.6	27.1	18.9	22.1	25.7	23.5	13.0	13.9
タクシー	6.0	6.8	7.5	4.5	7.8	6.0	6.7	4.6	3.5
電車	5.7	5.3	4.7	3.3	6.6	8.1	6.9	4.3	6.6
路線バス	5.6	4.8	7.5	6.8	4.5	5.7	6.2	4.6	5.1
バイク	2.2	2.3	1.4	1.3	3.1	1.9	0.5	3.8	3.5
歩行器・シルバーカー	1.2	0.3	0.9	1.3	2.1	1.7	0.7	1.0	1.3
病院や施設のバス	0.9	1.0	1.7	1.0	0.5	0.5	0.5	0.8	0.9
車いす	0.6	0.3	0.5	1.3	0.9	1.0	0.0	0.3	0.6
電動車いす（カート）	0.6	0.8	0.5	1.0	1.6	0.2	0.0	0.3	0.0
その他	0.8	0.8	0.9	0.8	0.7	0.2	1.2	1.0	0.6

(10) ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか



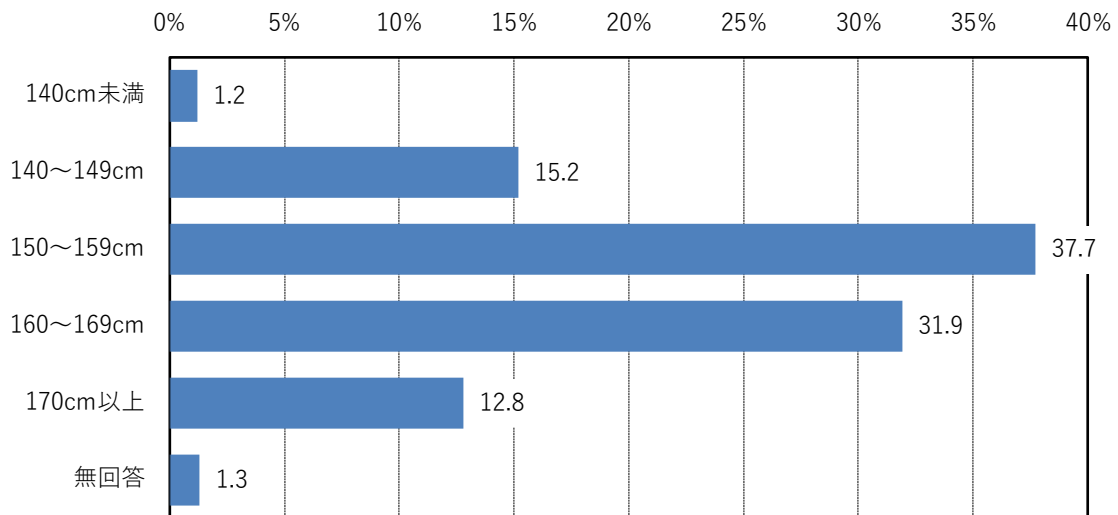
●ウォーキング等の運動を週に1回以上していますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は58.1%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は35.9%となっています。



### 問3 食べることについて

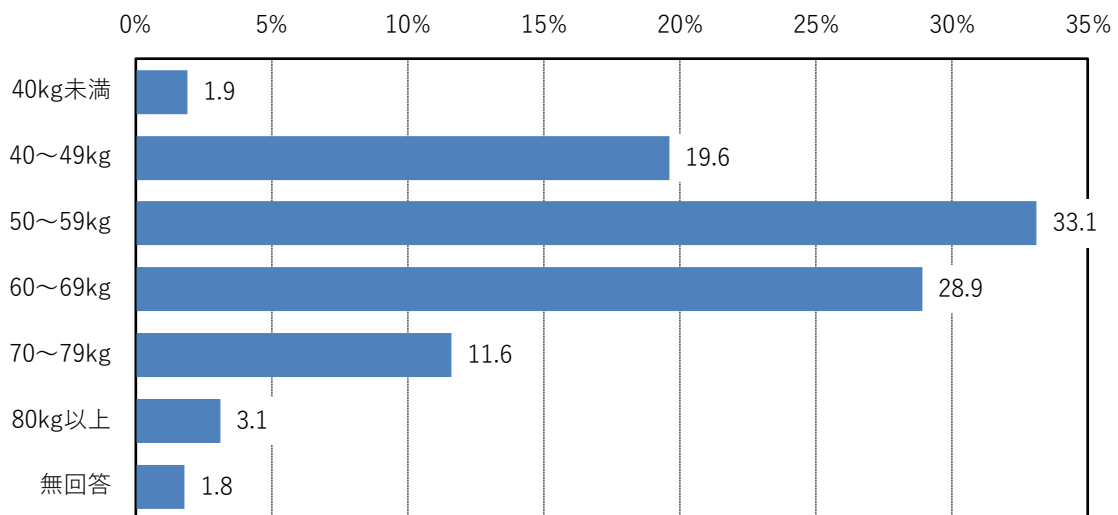
#### (1) 身長・体重

##### 身長



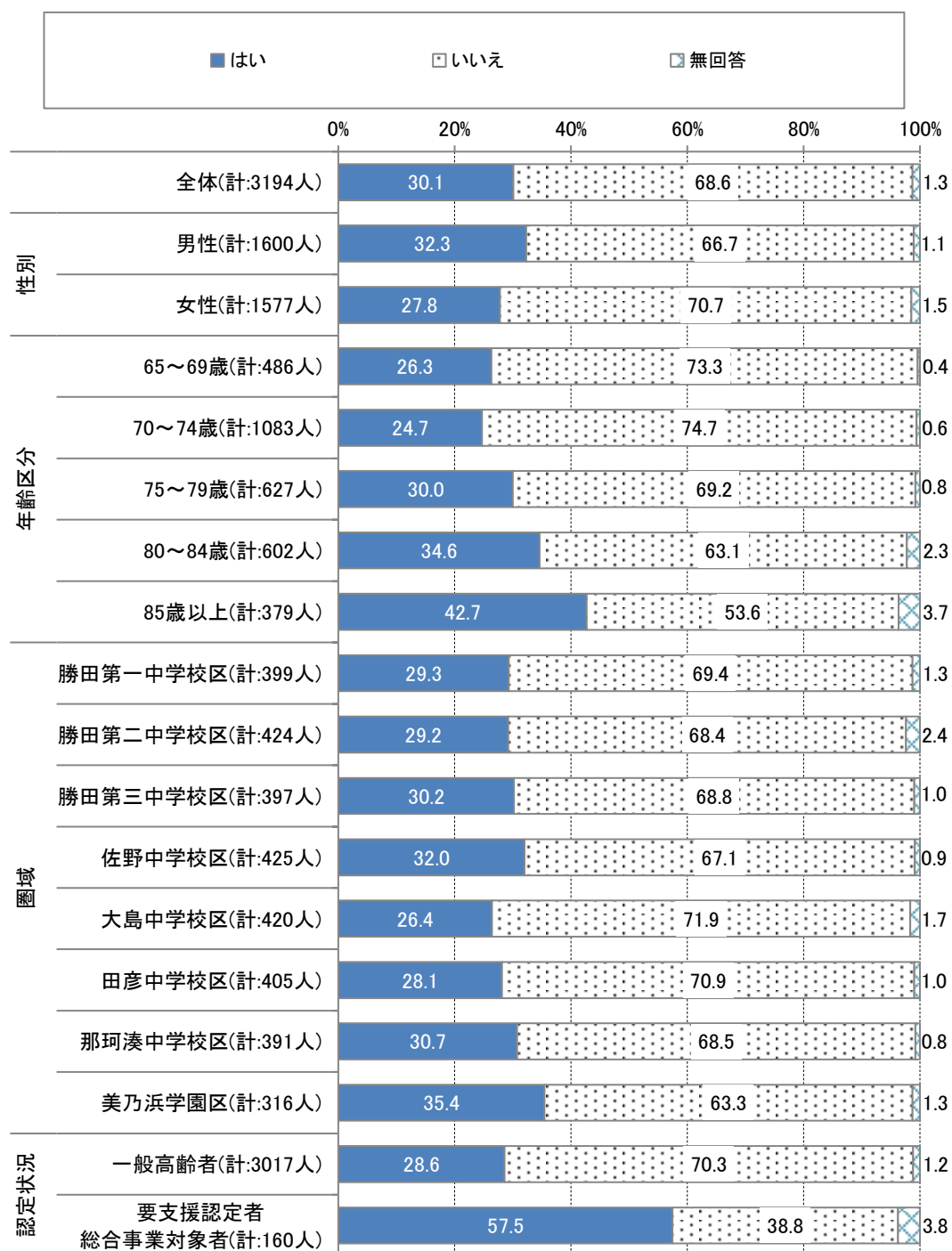
計：3194人

##### 体重



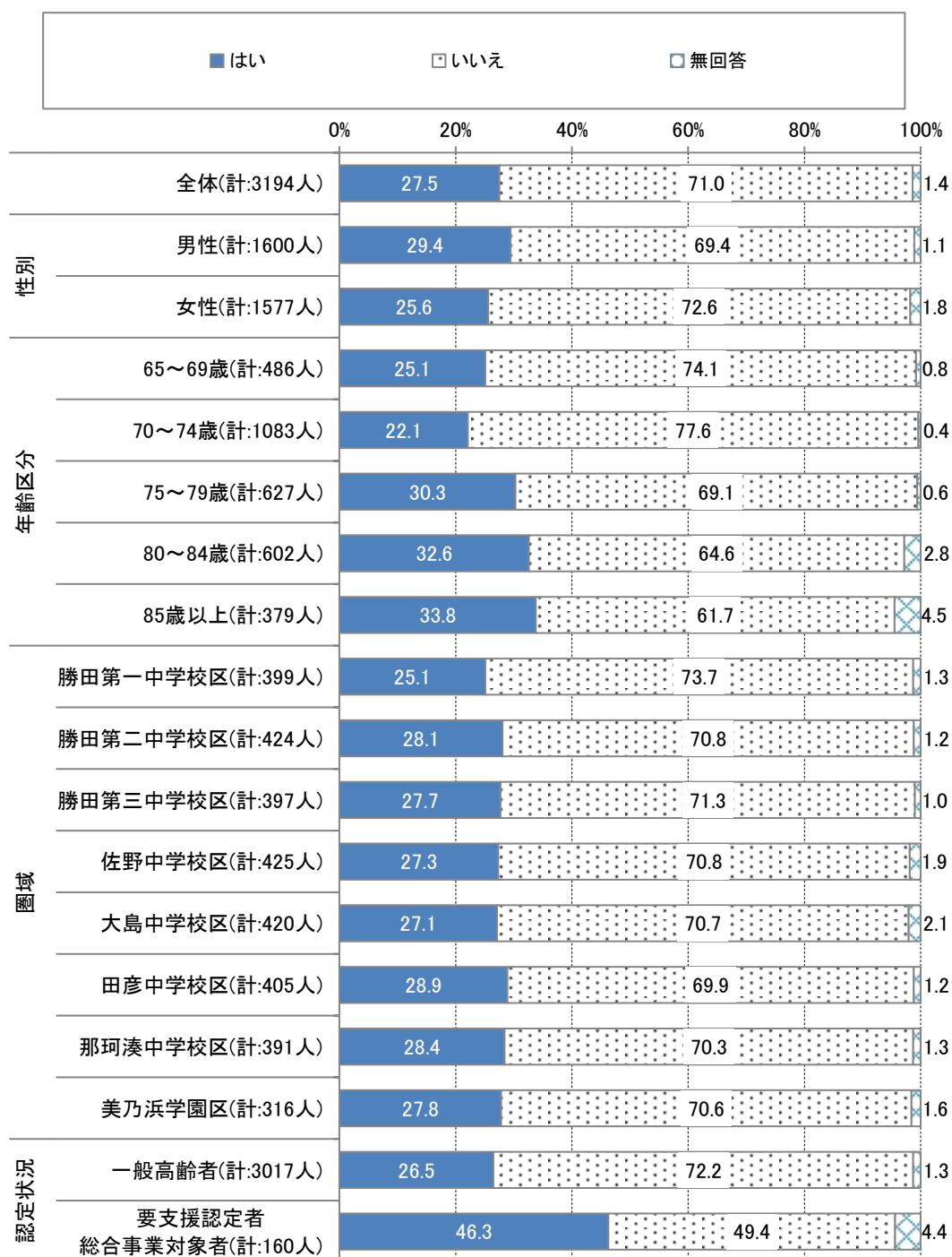
計：3194人

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか



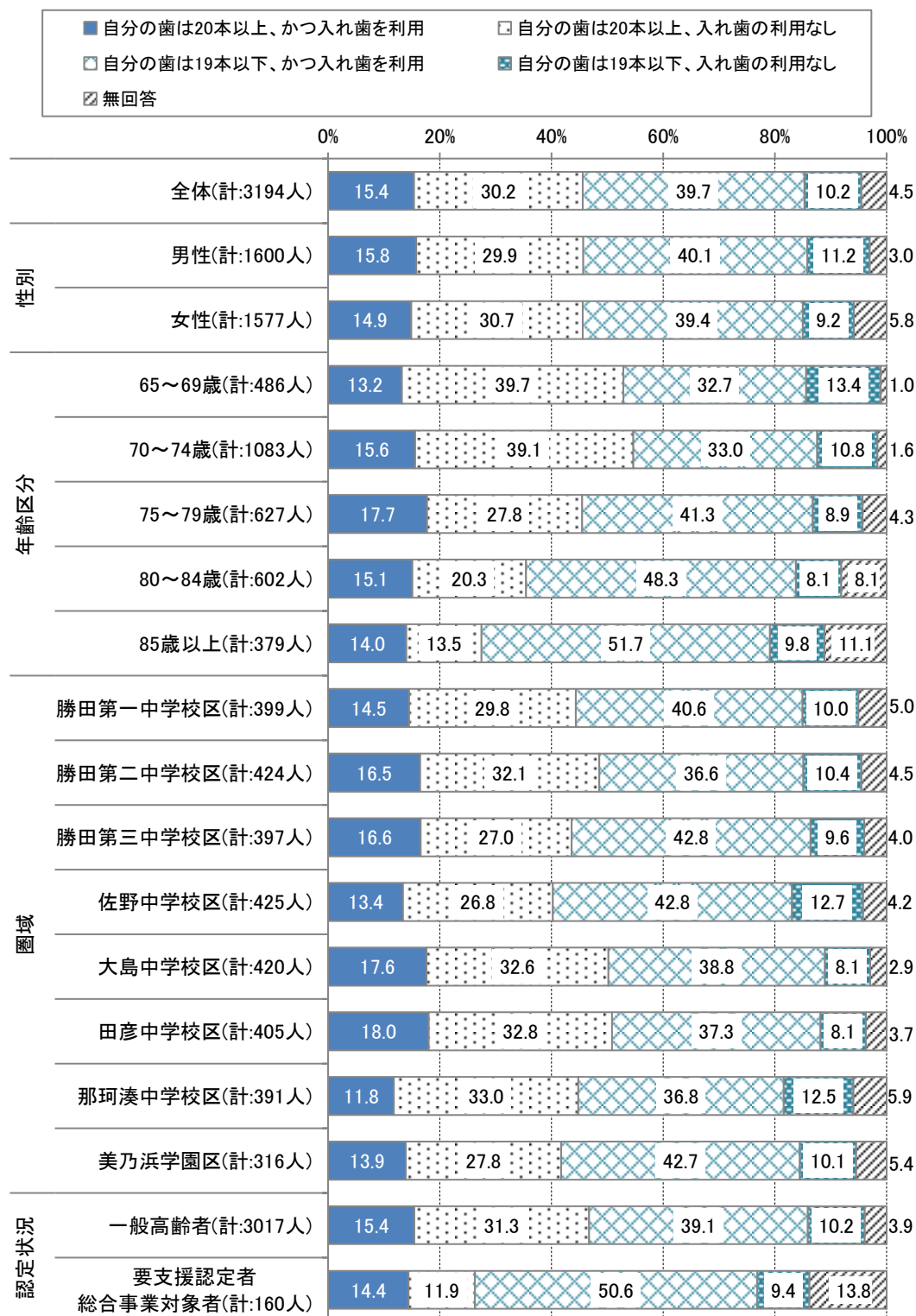
- 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は30.1%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は68.6%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(35.4%)であり、最も低いのは「大島中学校区」(26.4%)となっています。

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか



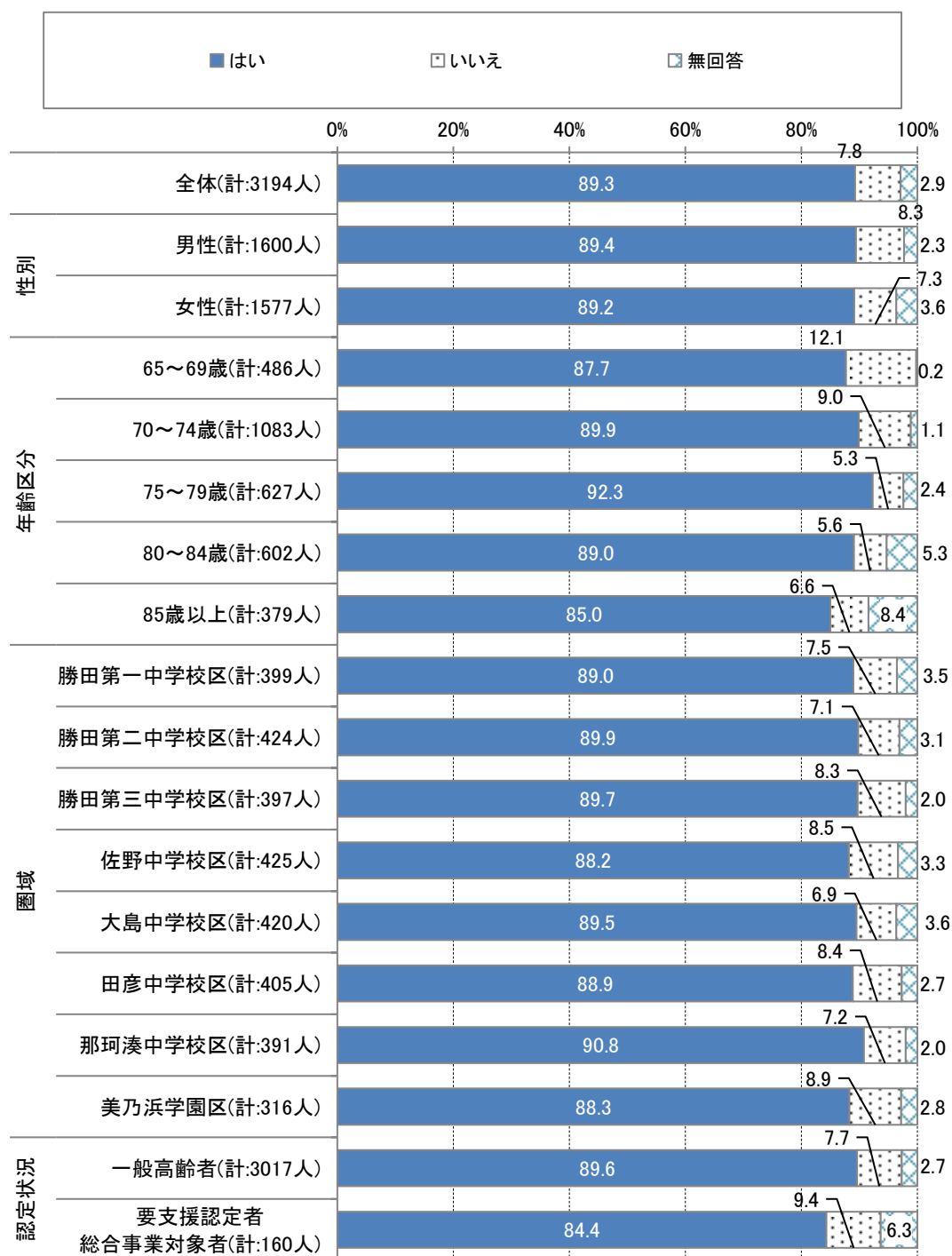
- お茶や汁物等でむせることがありますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は27.5%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は71.0%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「田彦中学校区」(28.9%)であり、最も低いのは「勝田第一中学校区」(25.1%)となっています。

(4) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください  
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)



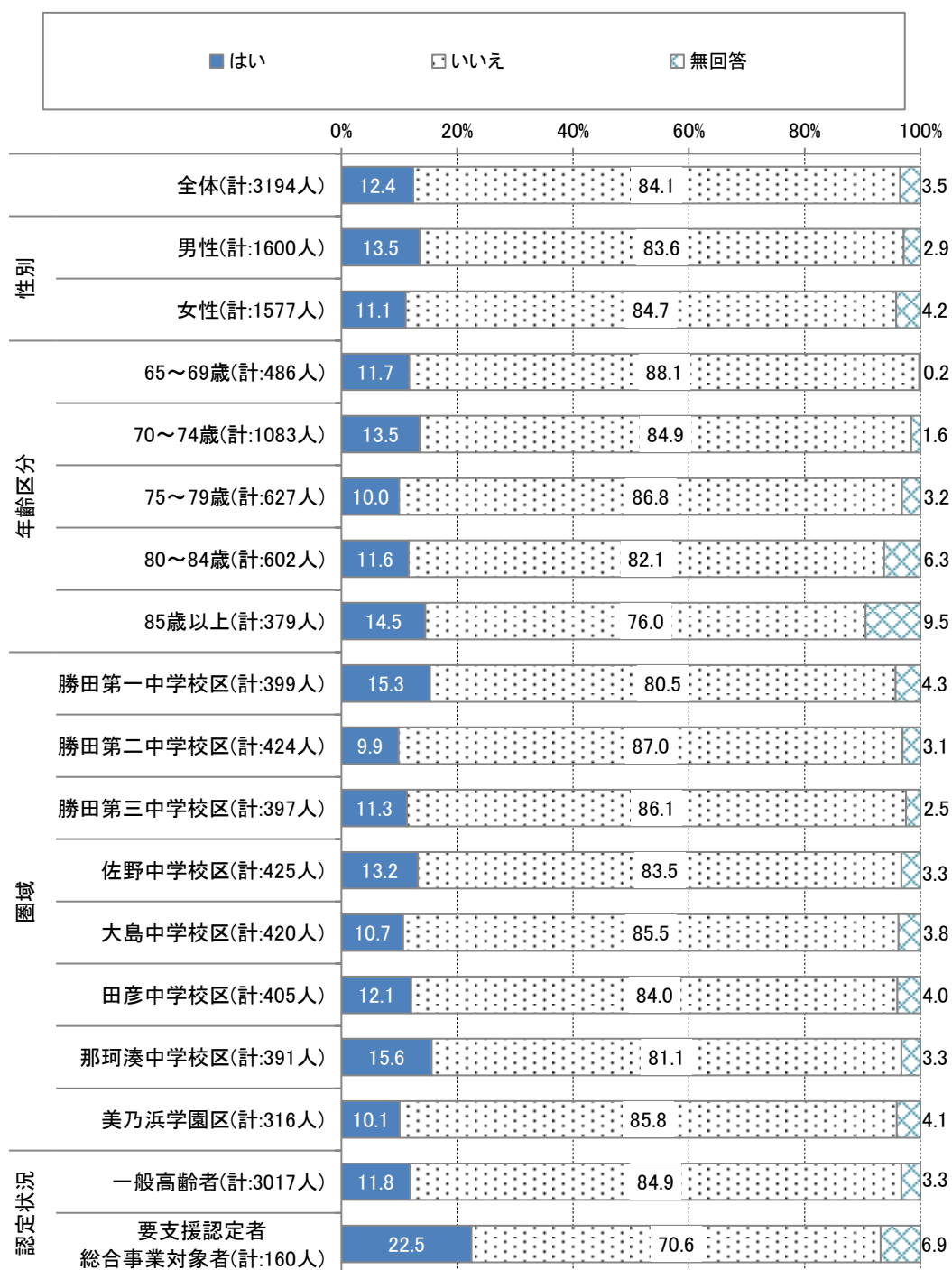
●歯の数と入れ歯の利用状況をたずねたところ、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した人の割合が最も高く、39.7%となっています。次いで、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(30.2%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(15.4%)と続いています。

(5) 1日3食、欠食せずにきちんと食べていますか



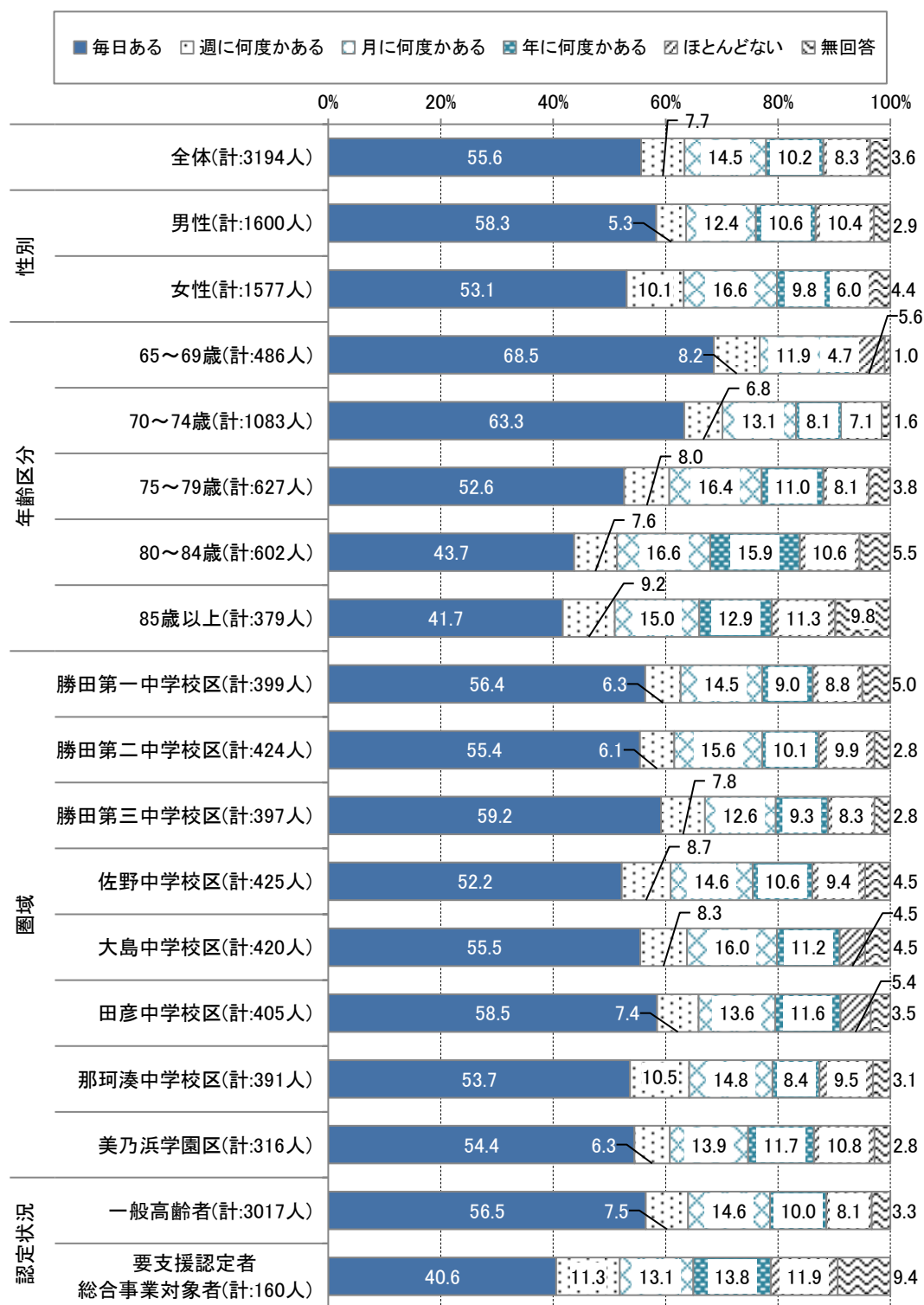
- 1日3食、欠食せずにきちんと食べていますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は89.3%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は7.8%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「那珂湊中学校区」(90.8%)であり、最も低いのは「佐野中学校区」(88.2%)となっています。

(6) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか



- 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は12.4%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は84.1%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「那珂湊中学校区」(15.6%)であり、最も低いのは「勝田第二中学校区」(9.9%)となっています。

(7) どなたかと食事をとる機会がありますか

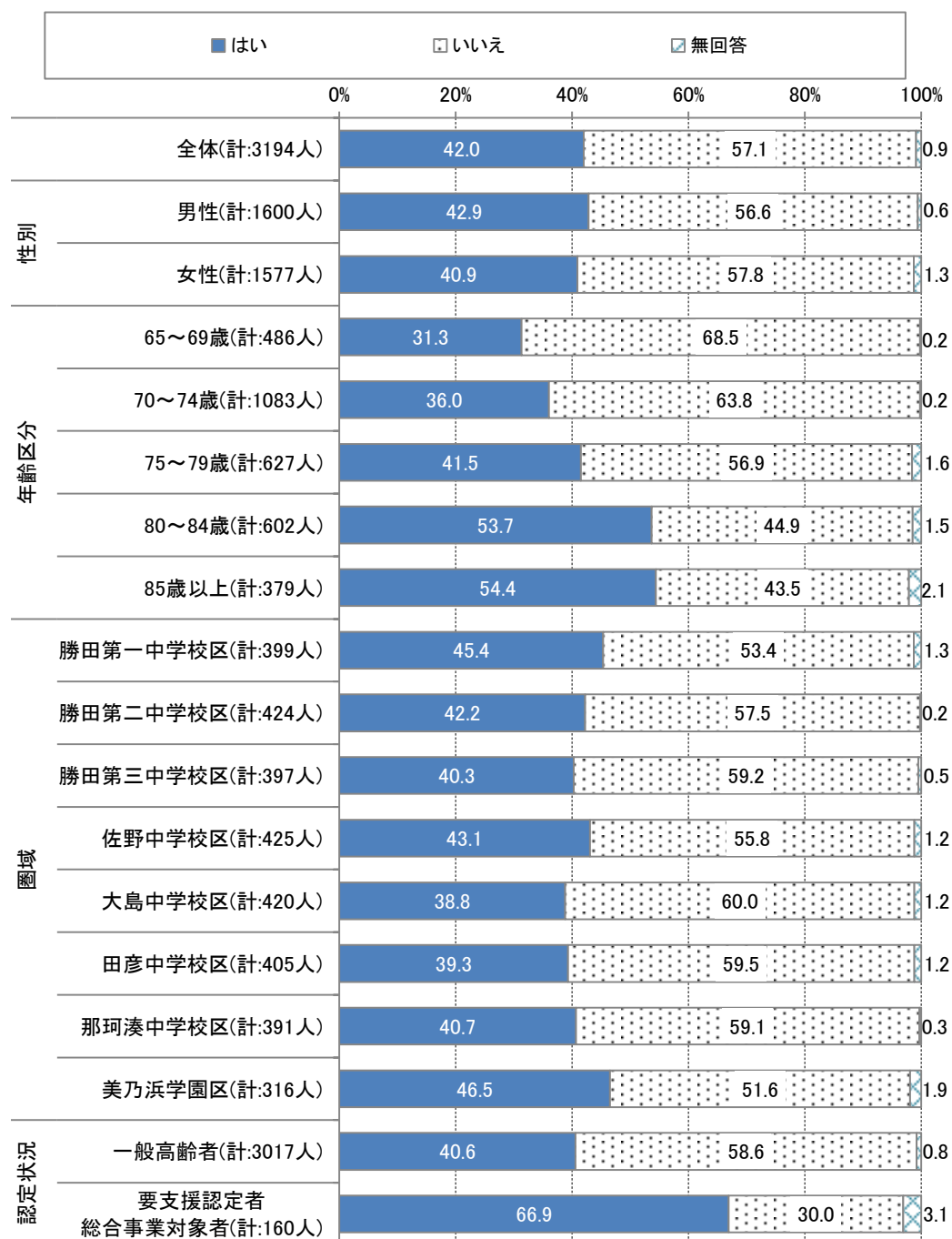


●どなたかと食事をとる機会がありますかとたずねたところ、「毎日ある」と回答した人の割合が最も高く、55.6%となっています。次いで、「月に何度かある」(14.5%)、「年に何度かある」(10.2%)と続いています。

●圏域別にみると、「ほとんどない」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(10.8%)であり、最も低いのは「大島中学校区」(4.5%)となっています。

## 問4 毎日の生活について

### (1) 物忘れが多いと感じますか

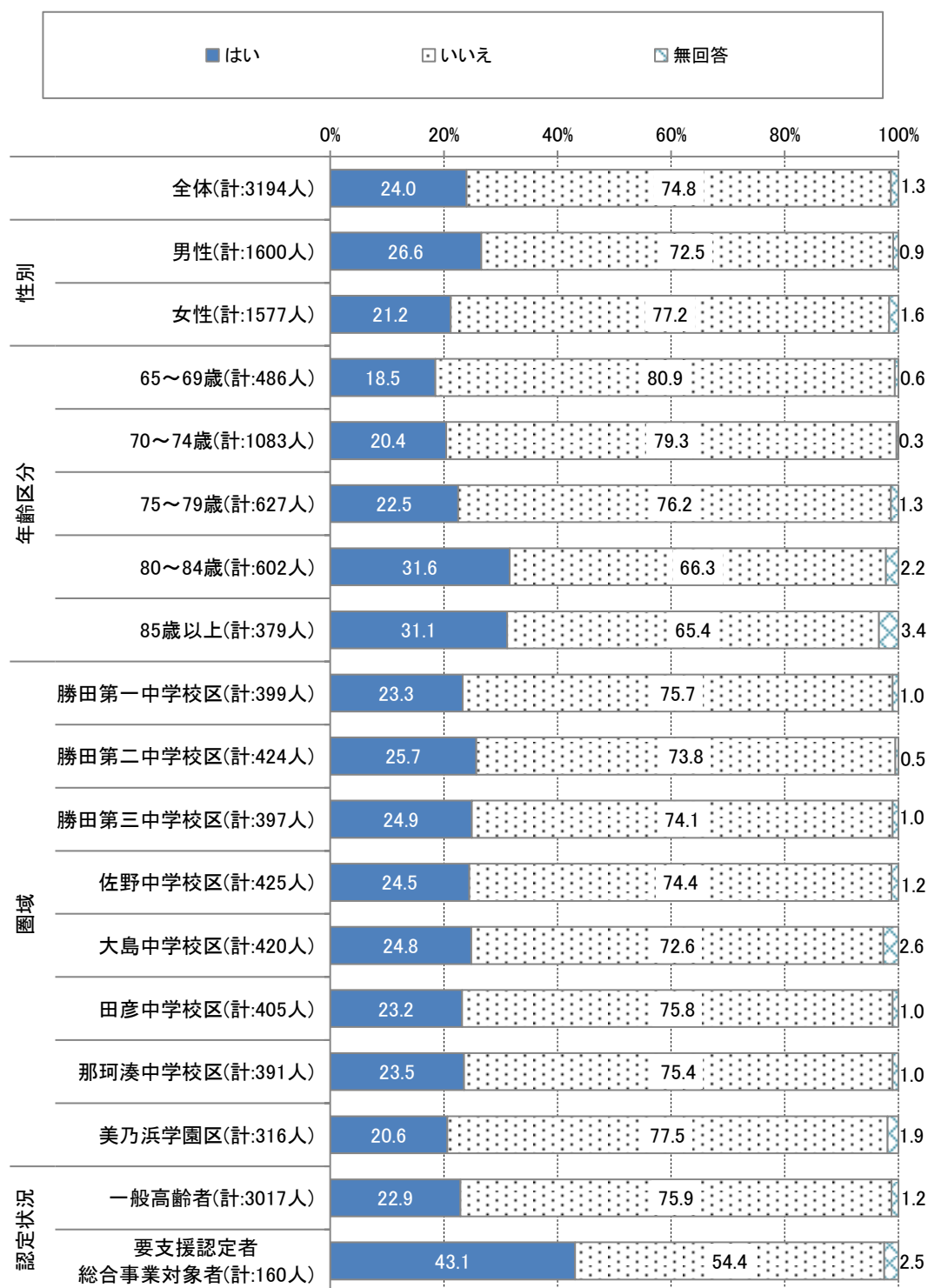


●物忘れが多いと感じますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は42.0%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は57.1%となっています。

●圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(46.5%)であり、最も低いのは「大島中学校区」(38.8%)となっています。



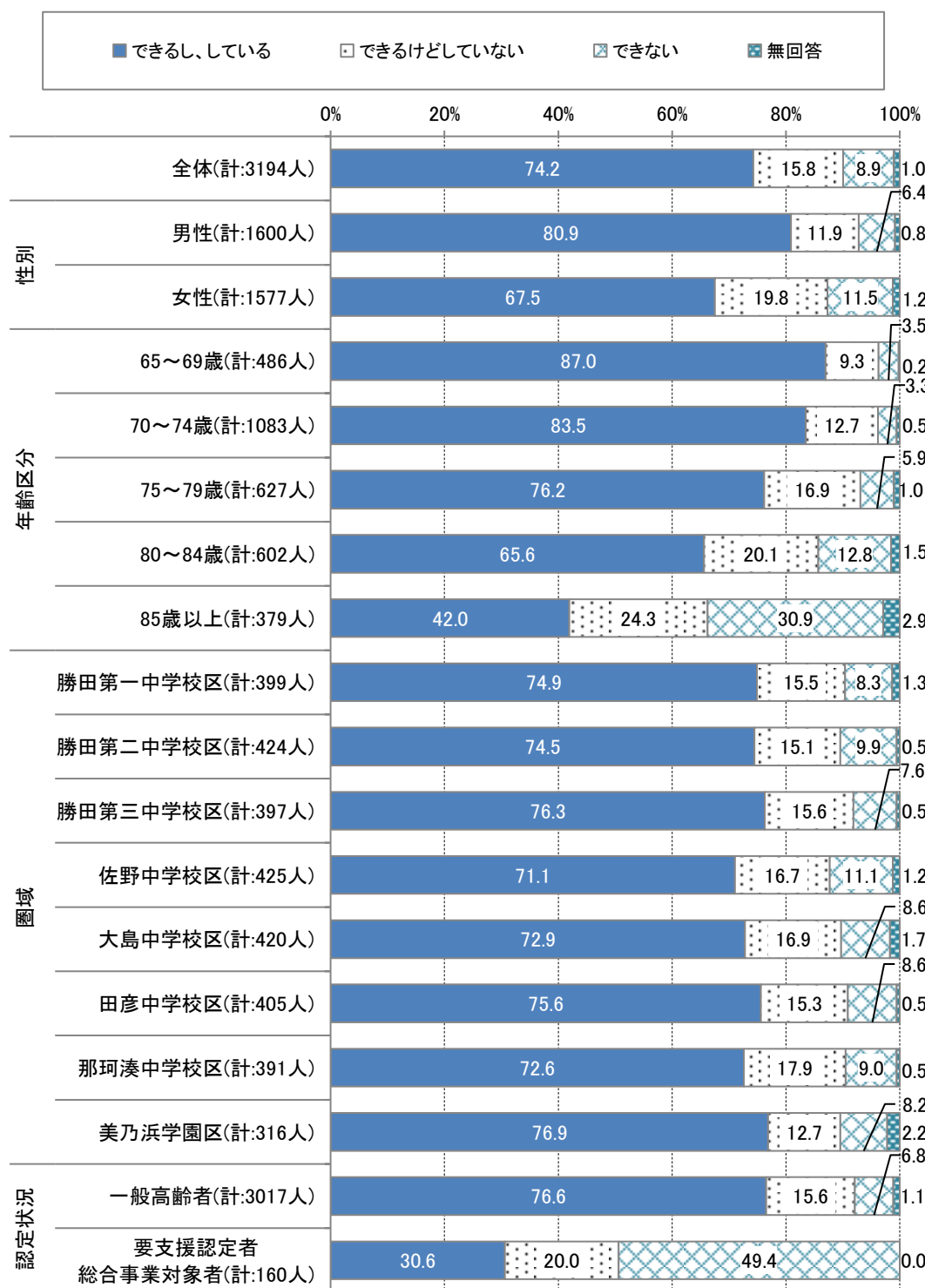
(2) 今日が何月何日かわからない時がありますか



●今日が何月何日かわからない時がありますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は24.0%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は74.8%となっています。

●圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第二中学校区」(25.7%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(20.6%)となっています。

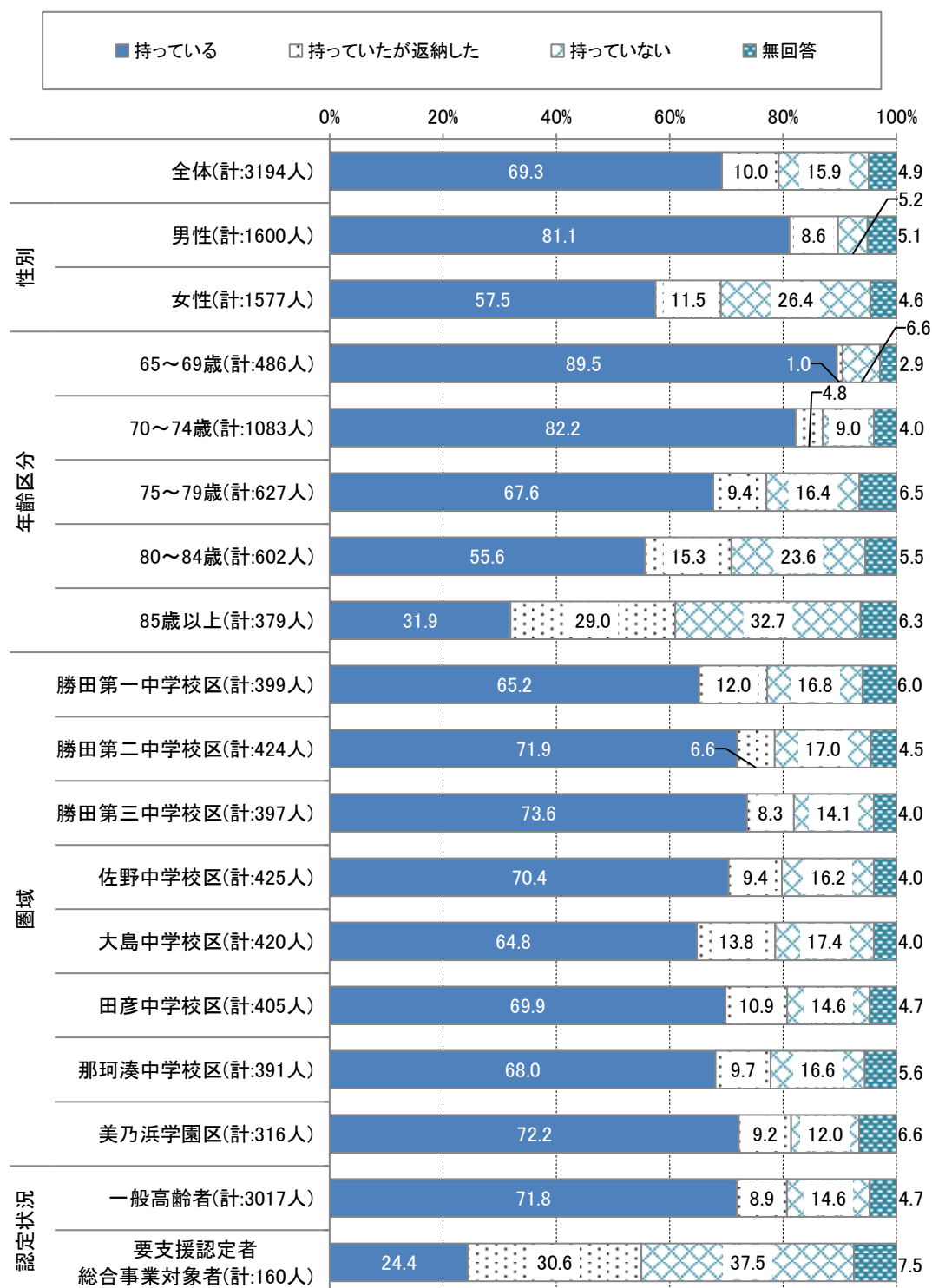
(3) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）



●バスや電車を使って1人で外出していますかとたずねたところ、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高く、74.2%となっています。次いで、「できるけどしていない」(15.8%)、「できない」(8.9%)と続いています。

●圏域別にみると、「できない」と回答した人の割合が最も高いのは「佐野中学校区」(11.1%)であり、最も低いのは「勝田第三中学校区」(7.6%)となっています。

#### (4) 自動車運転免許（バイクを含む）を持っていますか

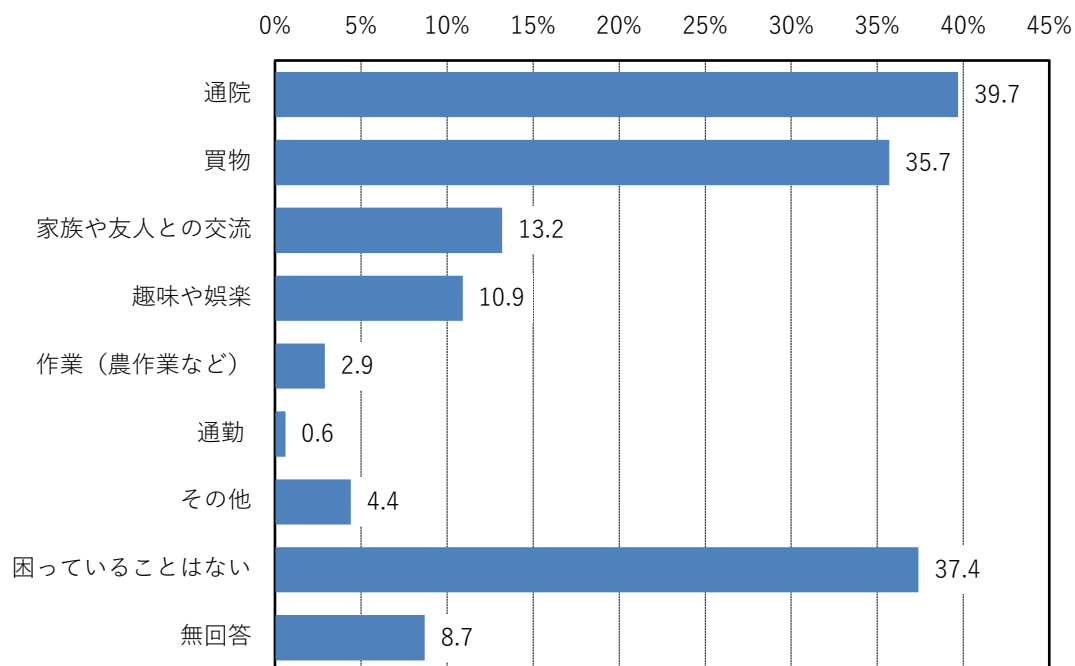


●自動車運転免許（バイクを含む）を持っていますかとたずねたところ、「持っている」と回答した人の割合が最も高く、69.3%となっています。次いで、「持っていない」（15.9%）、「持っていたが返納した」（10.0%）と続いています。

●圏域別にみると、「持っている」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第三中学校区」（73.6%）であり、最も低いのは「大島中学校区」（64.8%）となっています。

【(4) で「2. 持っていたが返納した」、「3. 持っていない」の方のみ】

(5) 外出において困っていることはありますか (いくつでも)

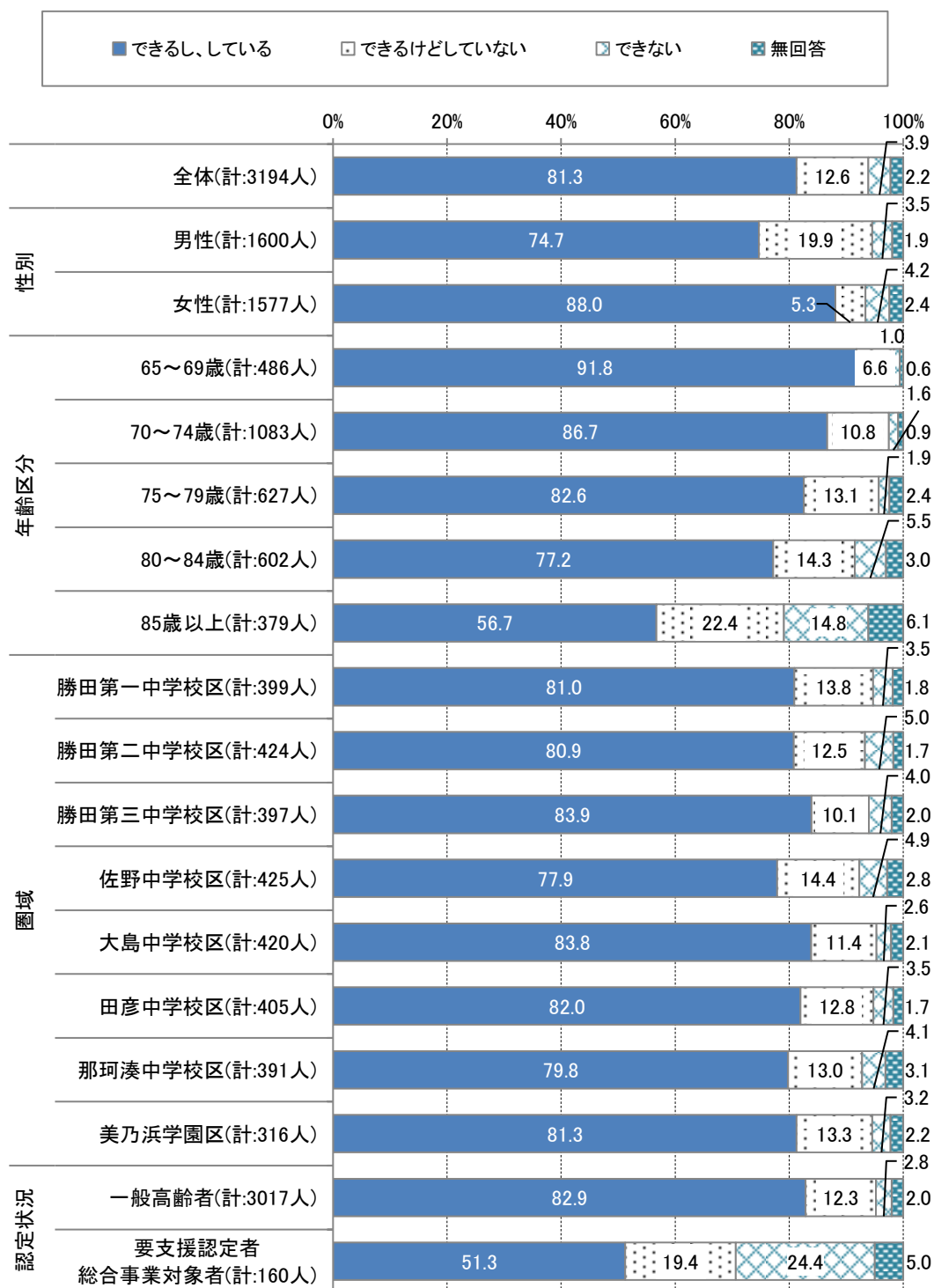


計：826人

●自動車運転免許 (バイクを含む) を「持っていたが返納した」または「持っていない」方に、外出において困っていることはありますかとたずねたところ、「通院」と回答した人が最も多く、39.7%となっています。次いで、「買物」(35.7%)、「家族や友人との交流」(13.2%)と続いています。

	全体	勝田第一 中学校区	勝田第二 中学校区	勝田第三 中学校区	佐野 中学校区	大島 中学校区	田彦 中学校区	那珂湊 中学校区	美乃浜 学園区
通院	39.7	40.0	36.0	48.3	38.5	35.1	48.5	35.0	40.3
買物	35.7	36.5	31.0	39.3	33.9	32.8	37.9	37.9	37.3
家族や友人との交流	13.2	13.9	11.0	13.5	11.0	8.4	17.5	14.6	19.4
趣味や娯楽	10.9	12.2	10.0	5.6	11.9	11.5	19.4	6.8	9.0
作業 (農作業など)	2.9	5.2	2.0	4.5	4.6	1.5	3.9	1.0	0.0
通勤	0.6	0.0	1.0	1.1	0.0	0.0	1.9	1.0	0.0
その他	4.4	1.7	6.0	3.4	5.5	3.8	3.9	7.8	3.0
困っていることはない	37.4	38.3	41.0	28.1	34.9	48.1	31.1	39.8	34.3
無回答	8.7	6.1	9.0	14.6	8.3	5.3	4.9	8.7	14.9

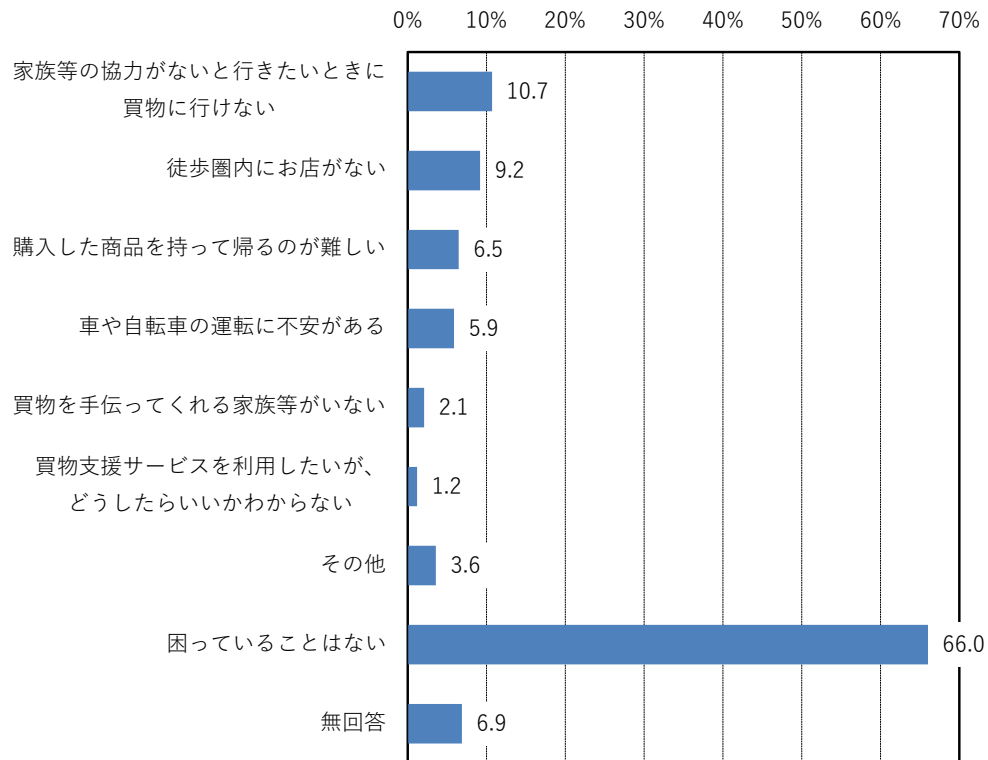
(6) 自分で食品・日用品の買物をしていますか



●自分で食品・日用品の買物をしていますかとたずねたところ、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高く、81.3%となっています。次いで、「できるけどしていない」(12.6%)、「できない」(3.9%)と続いています。

●圏域別にみると、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第三中学校区」(83.9%)であり、最も低いのは「佐野中学校区」(77.9%)となっています。

(7) 買物で困っていることはありますか (いくつでも)

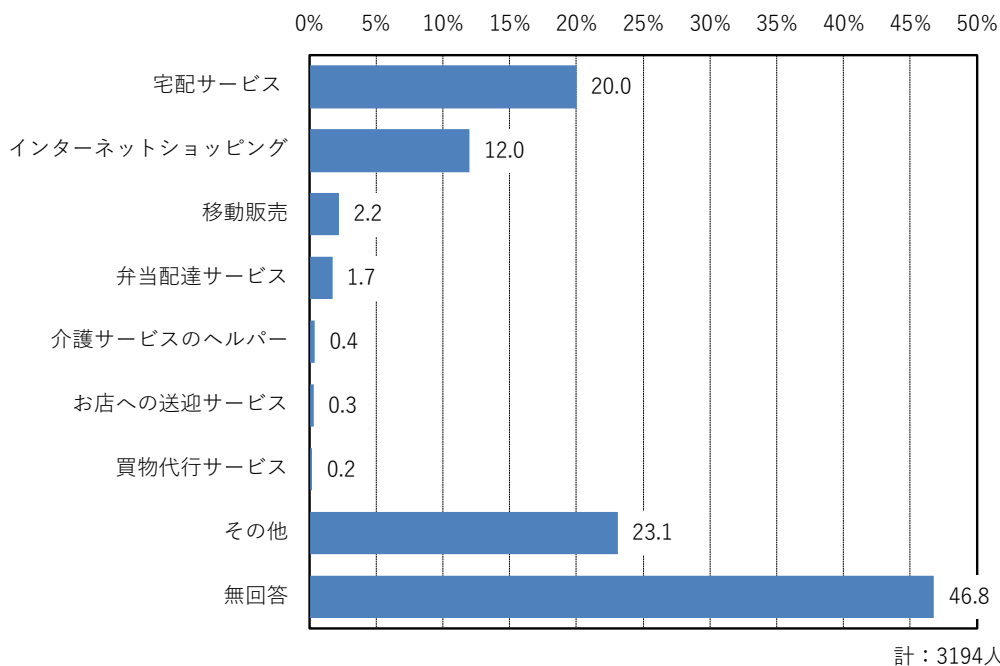


計：3194人

●買物で困っていることはありますかとたずねたところ、「家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない」と回答した人が最も多く、10.7%となっています。次いで、「徒歩圏内にお店がない」(9.2%)、「購入した商品を持って帰るのが難しい」(6.5%)と続いています。

	全体	勝田第一 中学校区	勝田第二 中学校区	勝田第三 中学校区	佐野 中学校区	大島 中学校区	田彦 中学校区	那珂湊 中学校区	美乃浜 学園区
家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない	10.7	11.8	9.4	10.6	11.3	9.5	10.6	9.7	12.7
徒歩圏内にお店がない	9.2	8.8	8.5	9.6	7.5	7.6	5.7	12.0	16.1
購入した商品を持って帰るのが難しい	6.5	6.3	4.7	6.8	7.8	6.0	6.2	6.9	7.3
車や自転車の運転に不安がある	5.9	4.3	5.4	5.5	8.0	7.6	5.7	5.4	4.4
買物を手伝ってくれる家族等がない	2.1	3.0	2.4	2.3	1.9	1.7	1.0	2.8	1.3
買物支援サービスを利用したいが、どうしたらいいかわからない	1.2	1.8	0.9	0.8	0.2	1.4	1.0	1.8	1.6
その他	3.6	3.0	4.2	3.3	4.5	3.6	2.5	3.3	4.1
困っていることはない	66.0	66.2	65.6	66.5	62.6	67.1	72.1	68.8	59.2
無回答	6.9	7.3	8.7	6.8	7.1	7.4	4.7	5.1	8.5

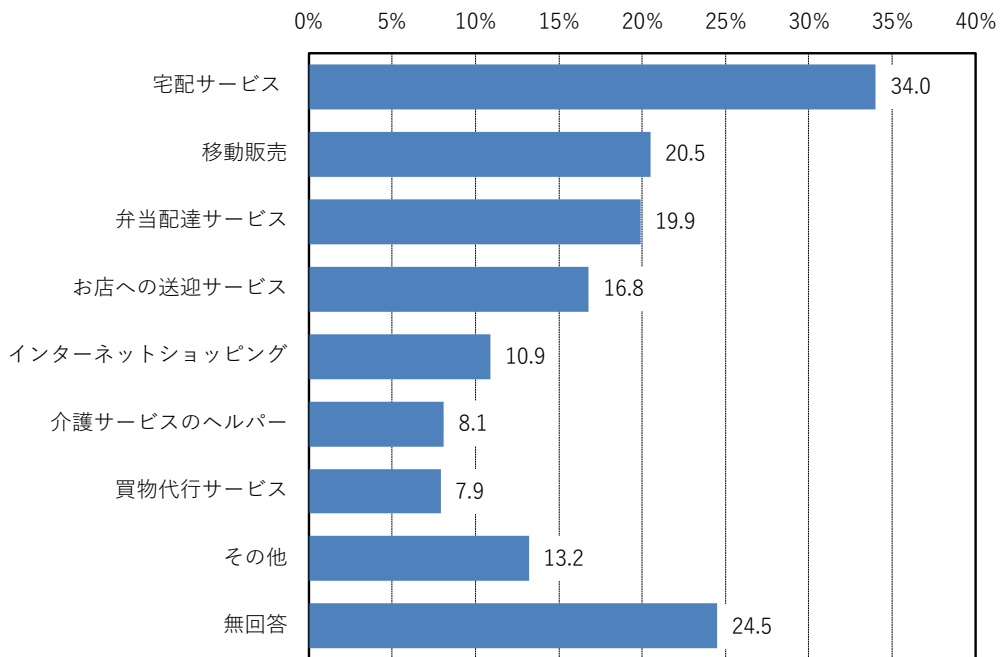
(8) 現在利用している買物支援サービスはありますか（いくつでも）



●現在利用している買物支援サービスはありますかとたずねたところ、「宅配サービス」と回答した人が最も多く、20.0%となっています。次いで、「インターネットショッピング」（12.0%）、「移動販売」（2.2%）と続いています。

	全体	勝田第一 中学校区	勝田第二 中学校区	勝田第三 中学校区	佐野 中学校区	大島 中学校区	田彦 中学校区	那珂湊 中学校区	美乃浜 学園区
宅配サービス	20.0	20.1	19.1	20.4	23.3	18.3	23.2	19.4	16.1
インターネットショッピング	12.0	13.3	10.8	10.8	11.8	15.2	14.8	10.0	8.9
移動販売	2.2	2.3	1.9	2.3	2.4	3.1	0.5	1.5	3.8
弁当配達サービス	1.7	2.5	1.2	1.8	2.6	0.7	1.2	1.3	2.2
買物代行サービス	0.2	0.3	0.2	0.5	0.0	0.2	0.0	0.3	0.3
介護サービスのヘルパー	0.4	0.3	0.5	0.3	1.4	0.0	0.7	0.3	0.0
お店への送迎サービス	0.3	0.0	0.0	0.5	0.5	1.0	0.2	0.3	0.3
その他	23.1	19.3	23.1	26.7	22.4	22.4	24.0	26.1	21.2
無回答	46.8	47.9	49.3	43.8	44.9	45.7	43.7	47.3	51.9

(9) 将来利用したい買物支援サービスはありますか (いくつでも)



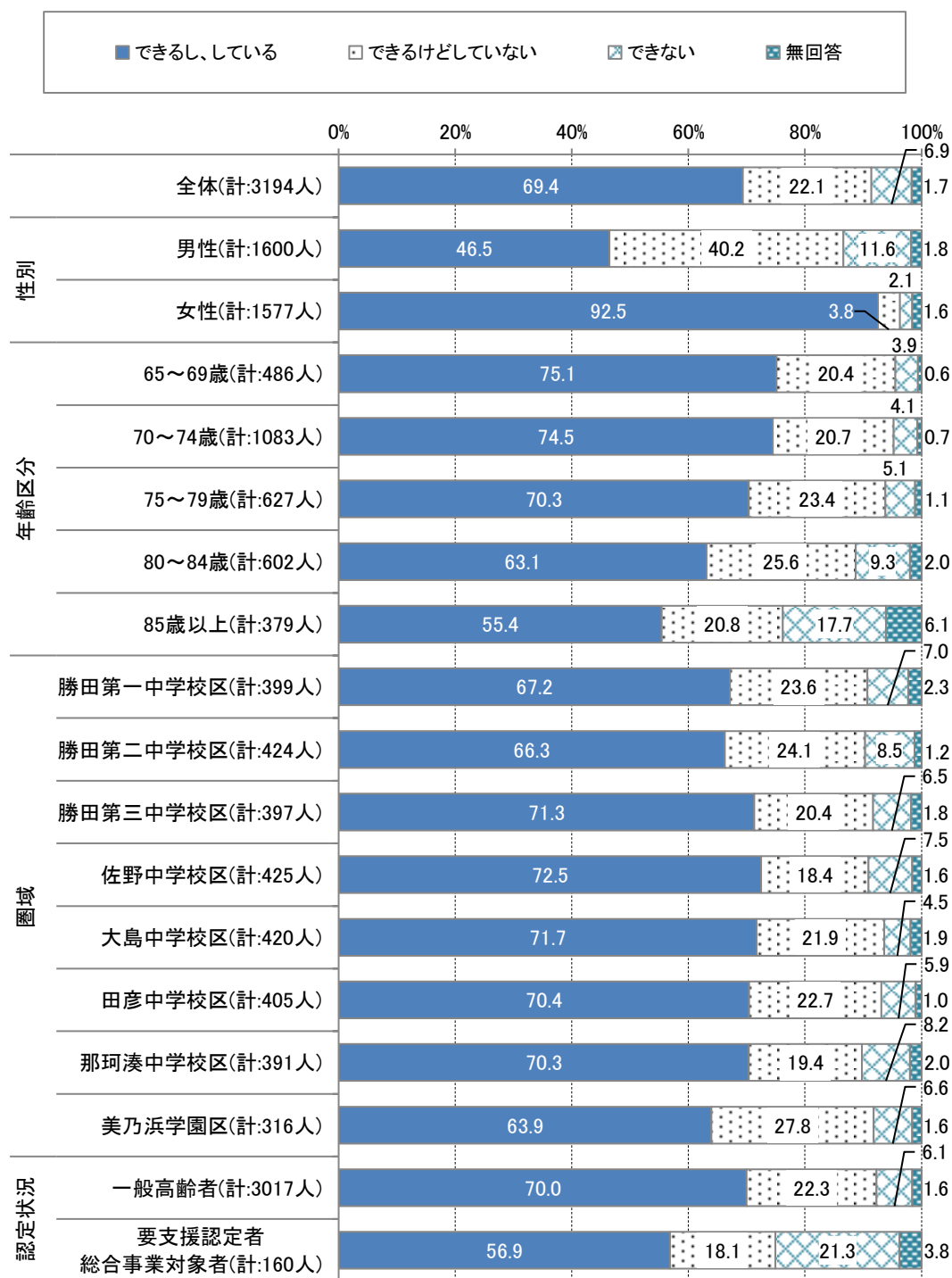
計：3194人

●将来利用したい買物支援サービスはありますかとたずねたところ、「宅配サービス」と回答した人が最も多く、34.0%となっています。次いで、「移動販売」(20.5%)、「弁当配達サービス」(19.9%)と続いています。

	全体	勝田第一 中学校区	勝田第二 中学校区	勝田第三 中学校区	佐野 中学校区	大島 中学校区	田彦 中学校区	那珂湊 中学校区	美乃浜 学園区
宅配サービス	34.0	32.8	34.7	37.0	36.7	36.9	34.1	29.4	29.7
移動販売	20.5	23.1	19.6	20.7	20.2	15.5	16.3	24.3	25.3
弁当配達サービス	19.9	20.3	18.2	23.4	23.8	18.1	18.3	18.7	18.0
お店への送迎サービス	16.8	18.0	14.4	15.9	19.1	15.5	15.1	19.2	17.4
インターネットショッピング	10.9	10.0	10.4	9.3	11.8	13.8	13.1	8.2	10.4
介護サービスのヘルパー	8.1	9.0	8.0	7.3	9.2	8.3	8.9	6.1	7.3
買物代行サービス	7.9	8.8	6.8	8.1	8.9	9.0	7.2	6.4	8.5
その他	13.2	12.5	13.0	13.9	12.0	15.0	13.3	15.3	10.1
無回答	24.5	23.1	26.9	21.7	20.2	24.5	24.7	25.8	29.7

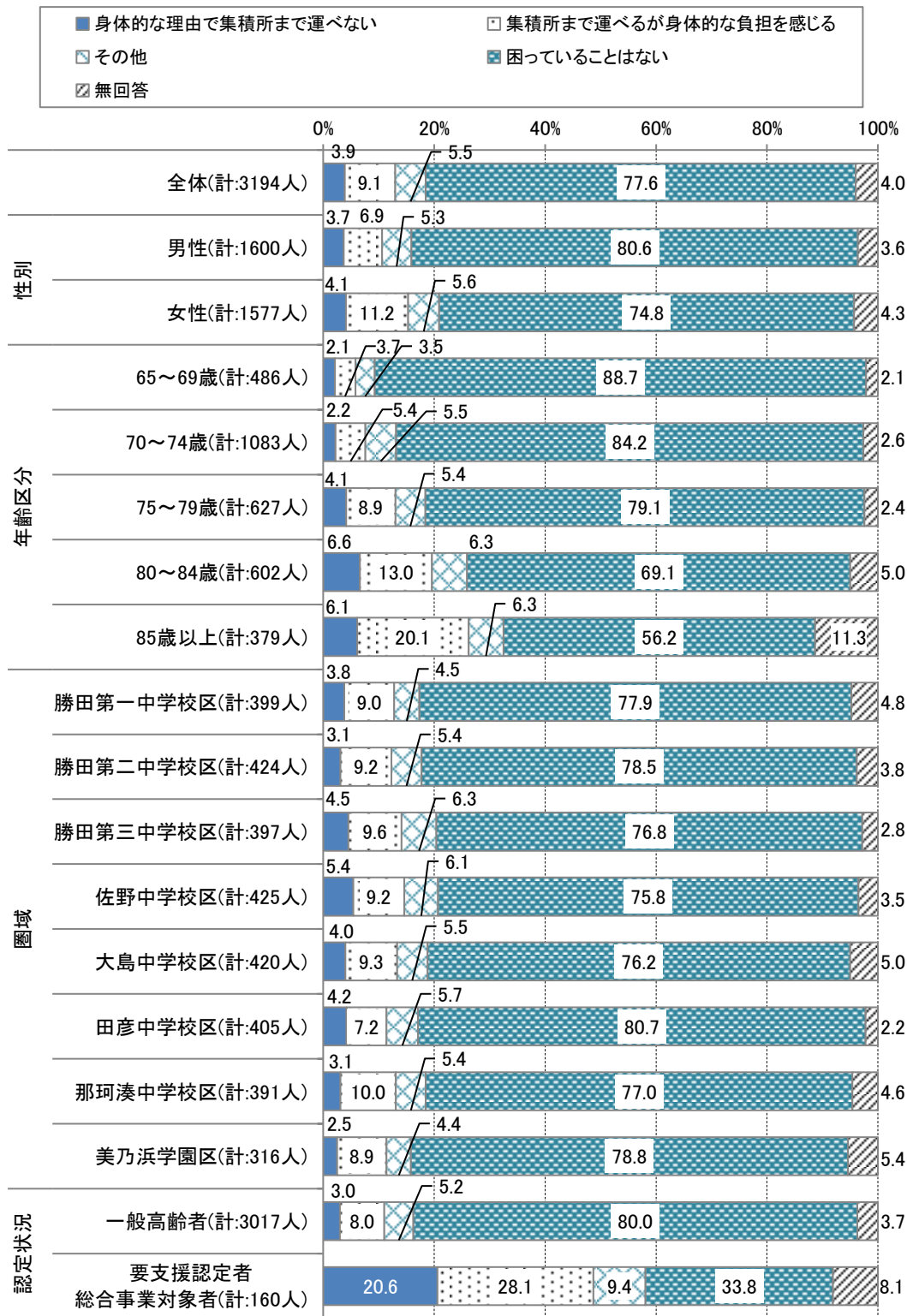


(10) 自分で食事の用意をしていますか



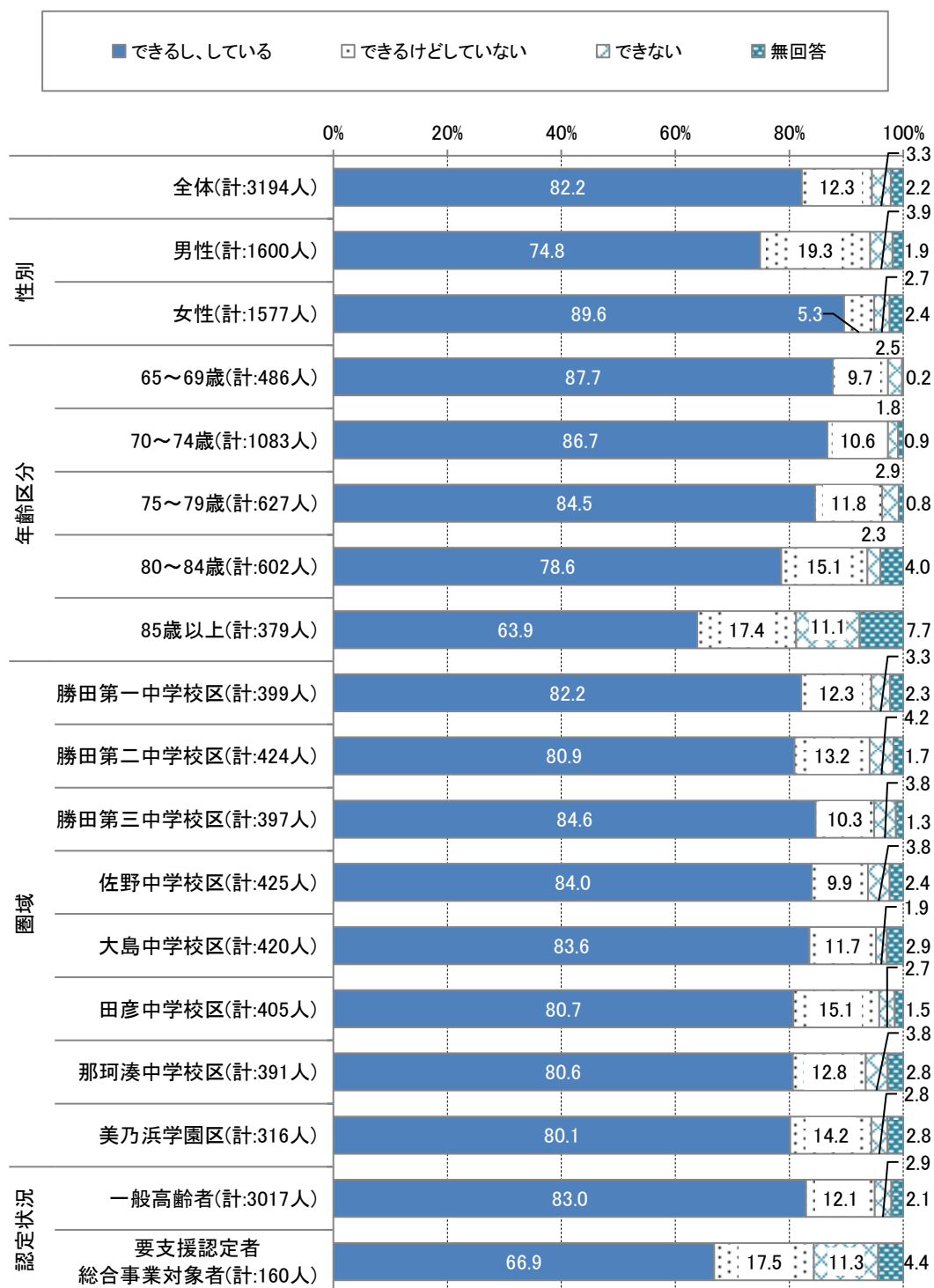
- 自分で食事の用意をしていますかとたずねたところ、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高く、69.4%となっています。次いで、「できるけどしていない」(22.1%)、「できない」(6.9%)と続いています。
- 圏域別にみると、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高いのは「佐野中学校区」(72.5%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(63.9%)となっています。

(11) ゴミ出しで困っていることはありますか



● ゴミ出しで困っていることはありますかとたずねたところ、「集積所まで運べるが身体的な負担を感じる」と回答した人が最も多く、9.1%となっています。次いで、「身体的な理由で集積所まで運べない」(3.9%)が続いています。

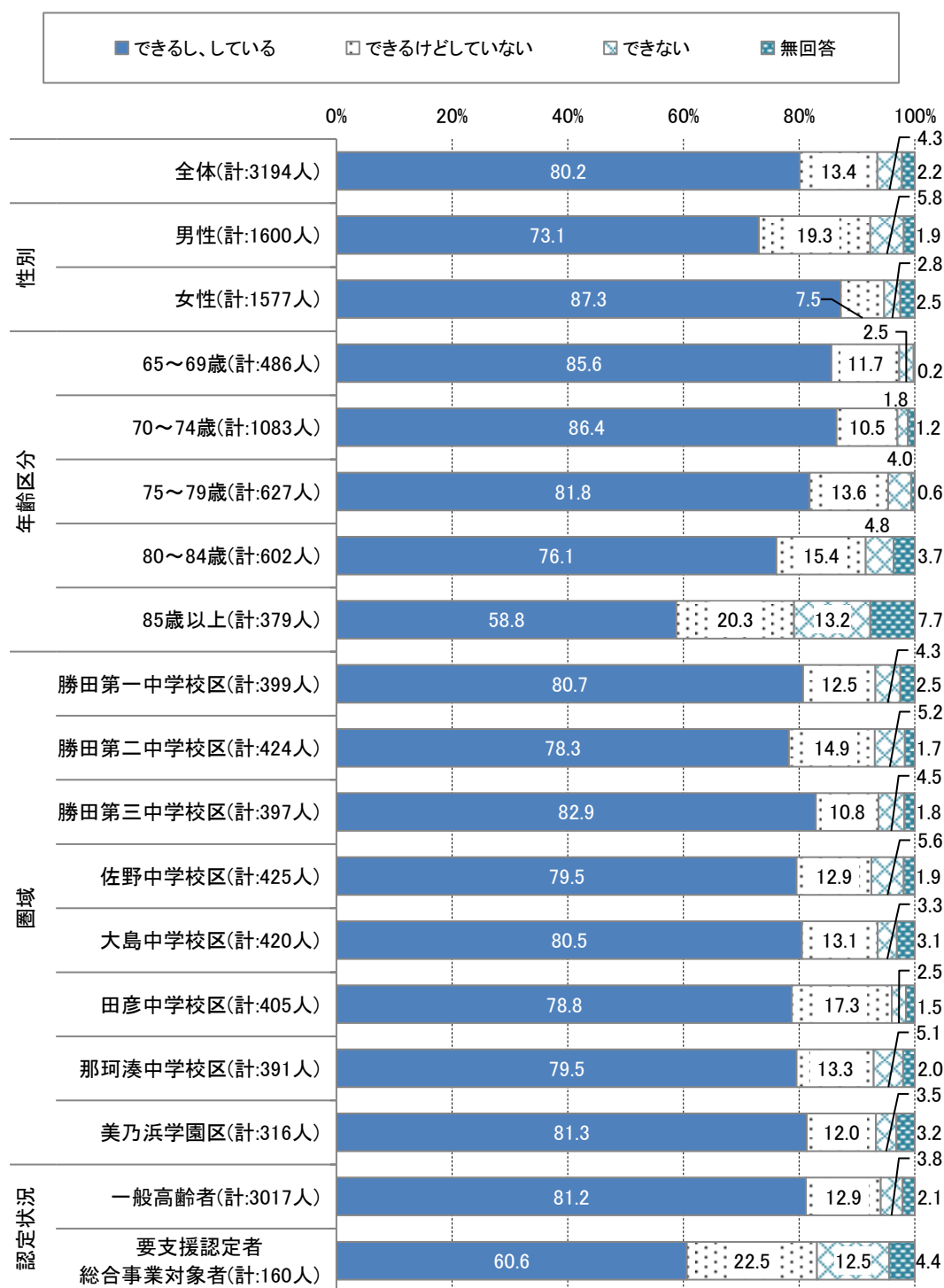
(12) 自分で請求書の支払いをしていますか



●自分で請求書の支払いをしていますかとたずねたところ、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高く、82.2%となっています。次いで、「できるけどしていない」(12.3%)、「できない」(3.3%)と続いています。

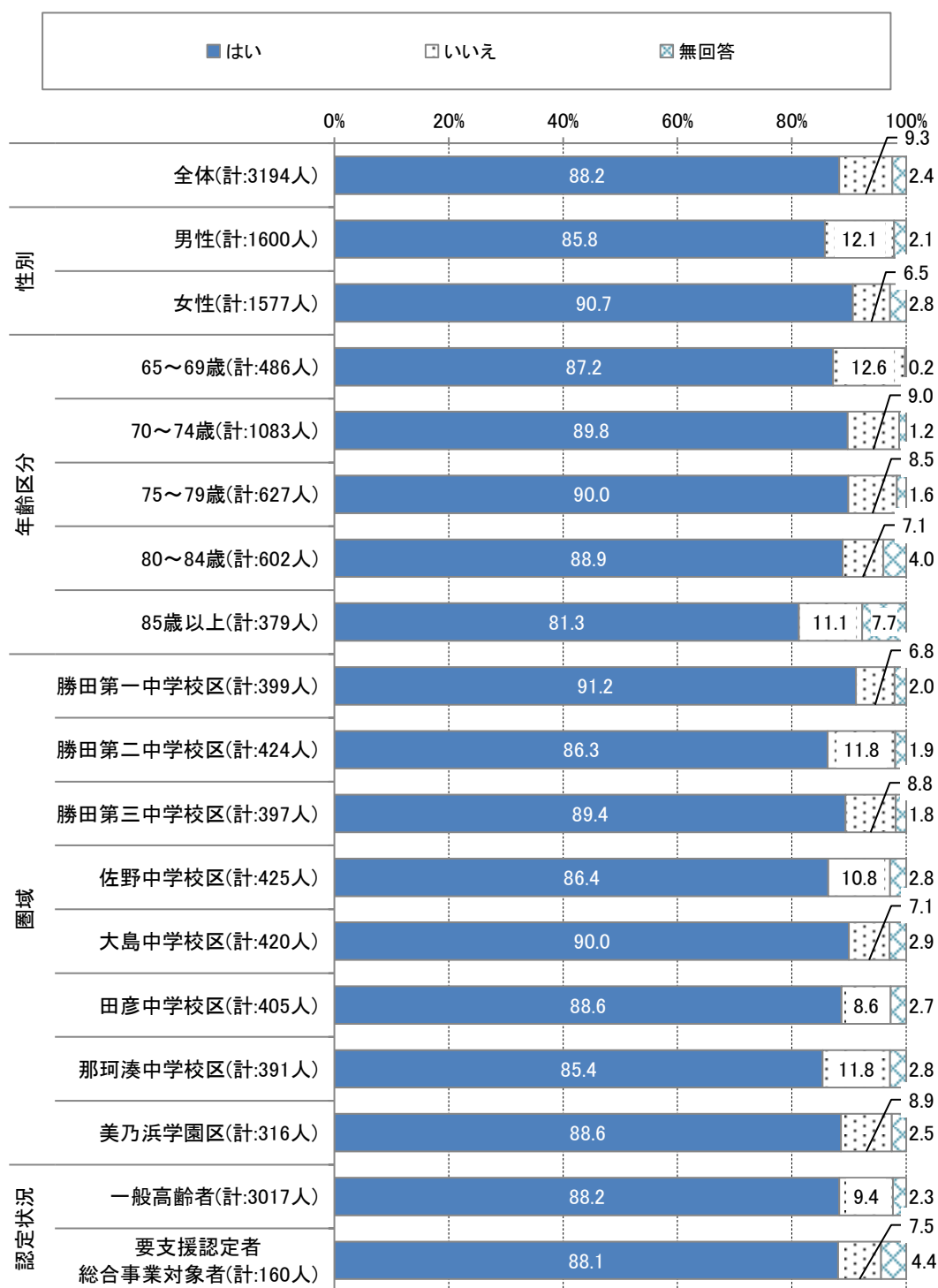
●圏域別にみると、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第三中学校区」(84.6%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(80.1%)となっています。

(13) 自分で預貯金の出し入れをしていますか



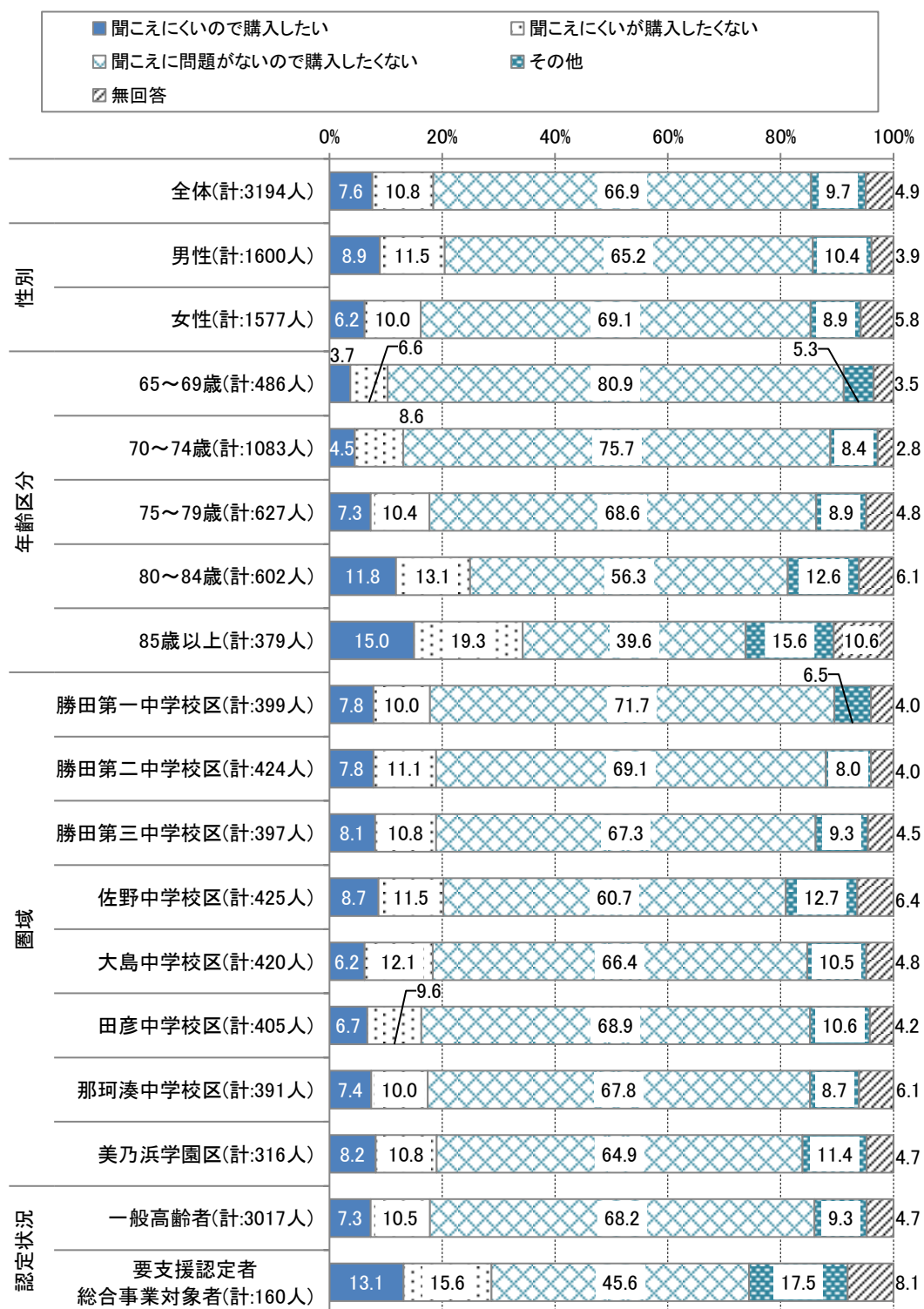
- 自分で預貯金の出し入れをしていますかとたずねたところ、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高く、80.2%となっています。次いで、「できるけどしていない」(13.4%)、「できない」(4.3%)と続いています。
- 圏域別にみると、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第三中学校区」(82.9%)であり、最も低いのは「勝田第二中学校区」(78.3%)となっています。

(14) 健康についての記事や番組に関心がありますか



- 健康についての記事や番組に関心がありますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は88.2%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は9.3%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第一中学校区」(91.2%)であり、最も低いのは「那珂湊中学校区」(85.4%)となっています。

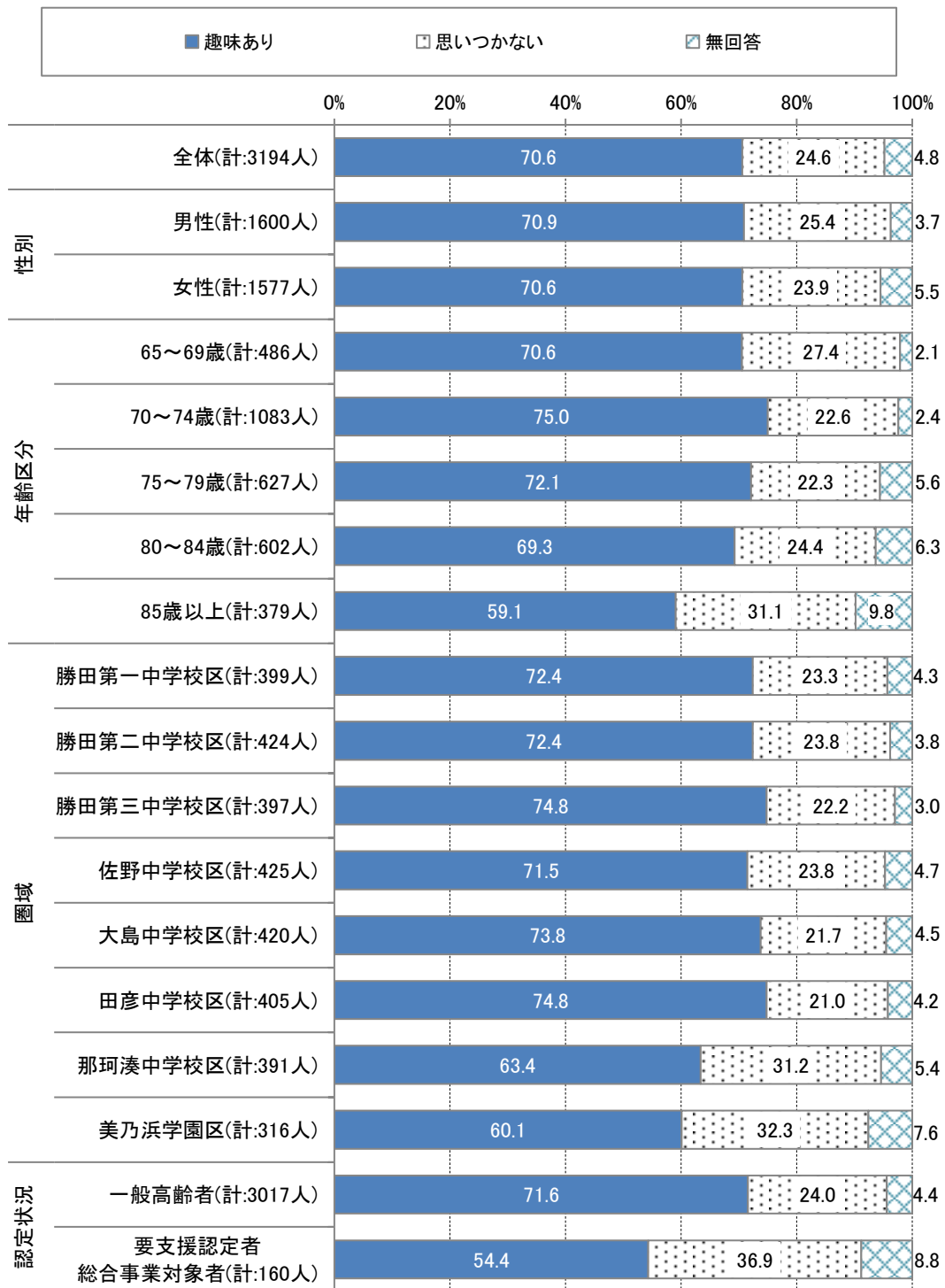
(15) 補聴器を購入したいと思いますか



●補聴器を購入したいと思いますかとたずねたところ、「聞こえに問題がないので購入したくない」と回答した人の割合が最も高く、66.9%となっています。次いで、「聞こえにくいが入りたくない」(10.8%)、「その他」(9.7%)と続いています。

●圏域別にみると、「聞こえにくいので購入したい」と回答した人の割合が最も高いのは「佐野中学校区」(8.7%)であり、最も低いのは「大島中学校区」(6.2%)となっています。

(16) 趣味はありますか



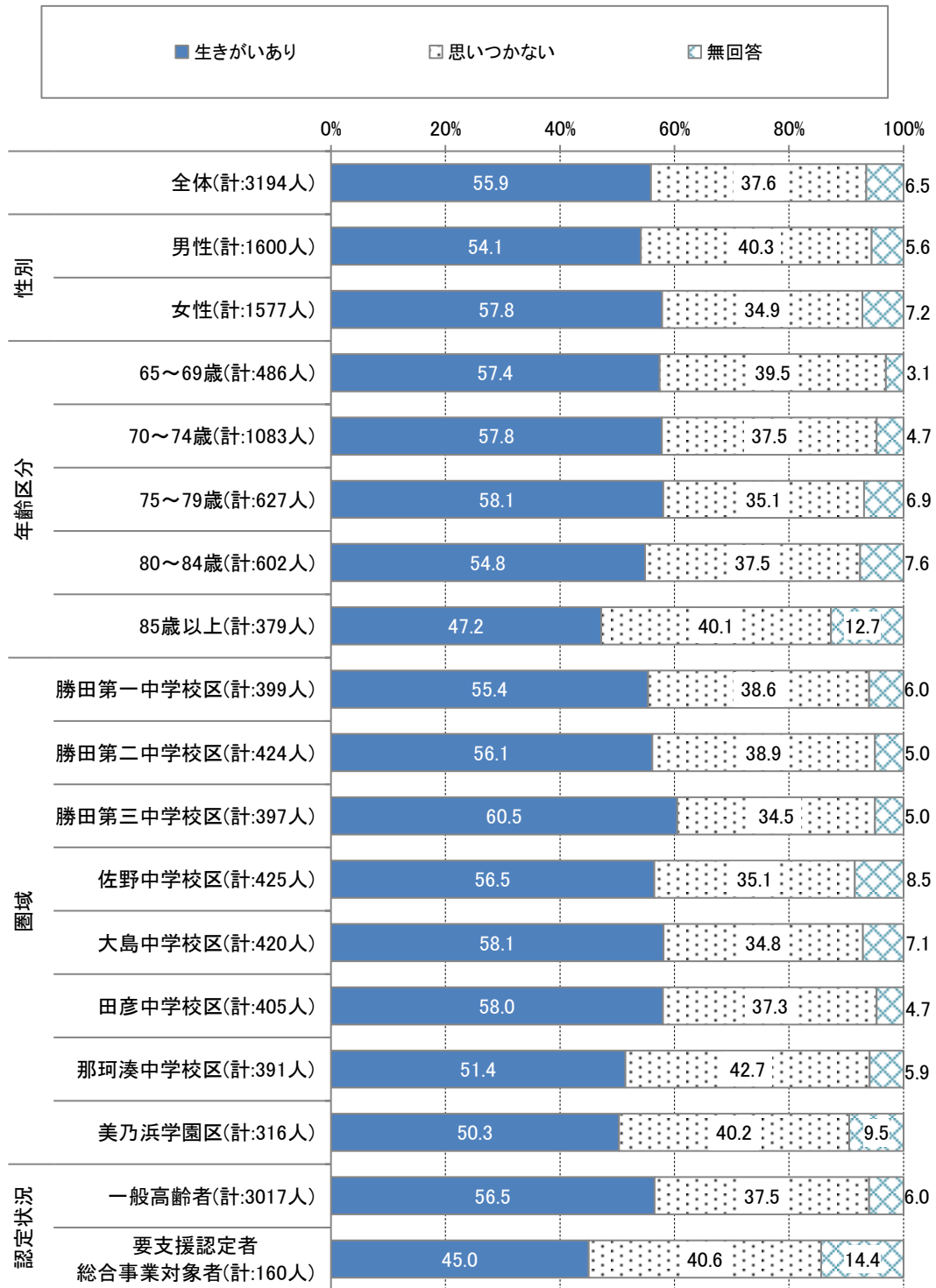
- 趣味はありますかとたずねたところ、「趣味あり」と回答した人の割合は 70.6%となっています。一方、「思いつかない」と回答した人の割合は 24.6%となっています。
- 圏域別にみると、「趣味あり」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第三中学校区・田彦中学校区」(74.8%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(60.1%)となっています。

No	趣味の内容	件数	No	趣味の内容	件数
1	ガーデニング	335	35	テニス	21
2	手芸・工芸・洋裁	321	36	ハイキング	20
3	ゴルフ	223	37	DIY	18
4	読書	209	38	温泉	17
5	家庭菜園	202	39	盆栽	16
6	旅行	146	40	買い物	16
7	カラオケ	105	41	ゲーム	14
8	音楽鑑賞	86	42	語学学習	13
9	釣り	77	43	太極拳	13
10	グランドゴルフ	75	44	ジョギング	11
11	絵画	70	45	麻雀	10
12	ウォーキング	65	46	吹き矢	9
13	車・バイク（ドライブ、ツーリング等）	65	47	動物の飼育（小鳥、メダカ、金魚等）	9
14	スポーツ（サッカー、バレー、バドミントン等）	64	48	美術・演劇・芸術鑑賞	9
15	楽器演奏	61	49	友人との交流	9
16	クイズ・パズル	60	50	野球	9
17	TV鑑賞	55	51	新聞	7
18	映画鑑賞	52	52	パチンコ	7
19	山登り・山歩き	51	53	ヨガ	7
20	囲碁・将棋	46	54	アマチュア無線	7
21	散歩	38	55	ディスクゴルフ・パターゴルフ	7
22	料理	38	56	ボーリング	7
23	カメラ	38	57	サイクリング	6
24	ダンス（社交ダンス、フラダンス等）	37	58	弓道・剣道・合気道・空手	6
25	パソコン（インターネット、SNS等）	36	59	研究（歴史、古文書等）	5
26	スポーツ観戦	35	60	競馬	5
27	書道	35	61	輪投げ	5
28	歌・コーラス・民謡	32	62	サウナ	4
29	農業	30	63	ベタンク	4
30	茶道・華道	28	64	エアロビクス	3
31	詩・詩吟・短歌・俳句	28	65	キャンプ	3
32	スポーツクラブ・ジム	28	66	日本舞踊	3
33	水泳	27		その他	79
34	卓球	23		合計	3200

●趣味があると回答した人の具体的な内容については、「ガーデニング」が335件で最も多く、次いで「手芸・工芸・洋裁」が321件、「ゴルフ」が223件、「読書」が209件、「家庭菜園」が202件などとなっています。



(17) 生きがいがありますか



●生きがいがありますかとたずねたところ、「生きがいあり」と回答した人の割合は55.9%となっています。一方、「思いつかない」と回答した人の割合は37.6%となっています。

●圏域別にみると、「生きがいあり」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第三中学校区」(60.5%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(50.3%)となっています。

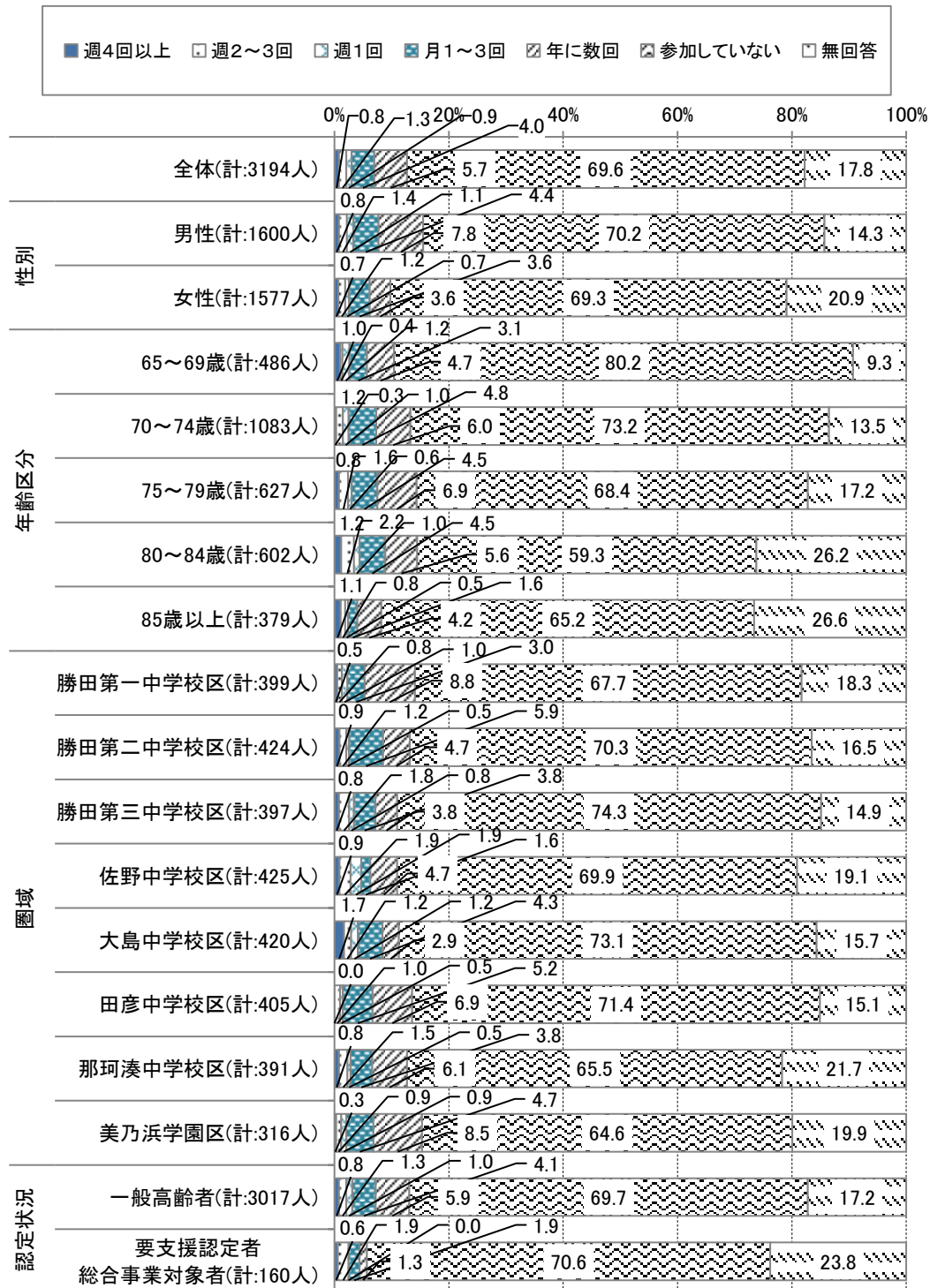
	生きがいの内容	件数
1	家族との生活（子供・孫の成長、家族との交流、家族の健康）	605
2	趣味を続けること（旅行、温泉、家庭菜園、カラオケ、釣り、ゴルフ等）	405
3	健康（元気）であること	160
4	社会参加、社会貢献（仕事をする事、ボランティア活動）	137
5	人との交流（友人との交流、地域との交流、会話）	132
6	身体を動かすこと（ウォーキング、スポーツジムに通う等）	55
7	食べる事（よく食べる事、おいしいものを食べる事）	53
8	喜びを感じる事、楽しみを見つける事	36
9	自分らしく、自分の好きなことをすること	36
10	自分の事は自分でできる、身の回りを整える事（家の片付け等）	33
11	ペットとの生活	30
12	長生きすること	17
13	買い物	3
	その他	13
	合計	1715

- 生きがいがあると回答した人の具体的な内容については、「家族との生活（子供・孫の成長、家族との交流、家族の健康）」が605件で最も多く、次いで「趣味を続けること（旅行、温泉、家庭菜園、カラオケ、釣り、ゴルフ等）」が405件、「健康（元気）であること」が160件、「社会参加、社会貢献（仕事をする事、ボランティア活動）」が137件などとなっています。

## 問5 地域での活動について

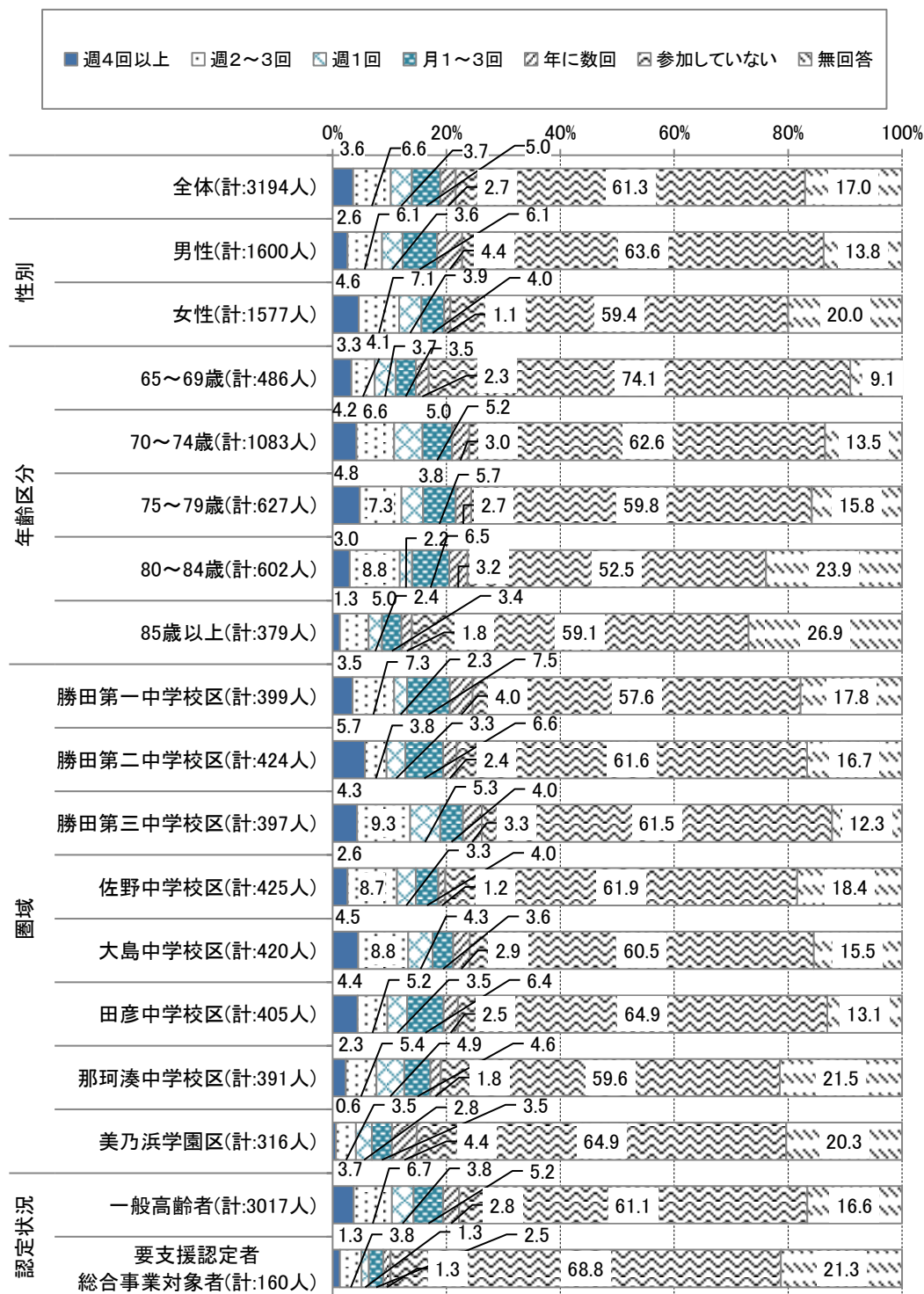
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

### ① ボランティアのグループ



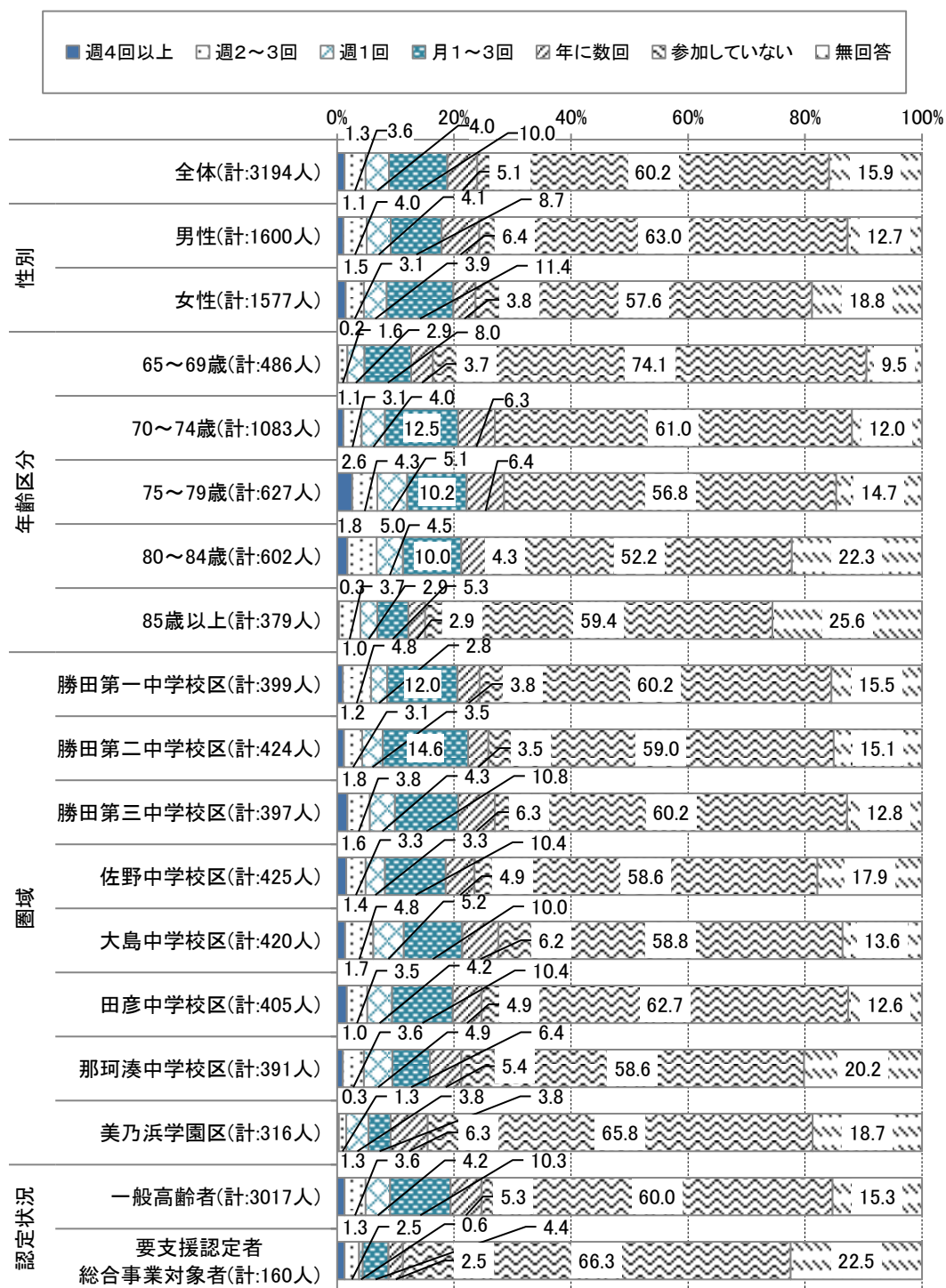
- ボランティアのグループに参加していますかとたずねたところ、「参加していない」と回答した人の割合が最も高く、69.6%となっています。次いで、「年に数回」(5.7%)、「月1～3回」(4.0%)と続いています。
- 圏域別にみると、「参加していない」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第三中学校区」(74.3%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(64.6%)となっています。

## ②スポーツ関係のグループやクラブ



- スポーツ関係のグループやクラブに参加していますかとたずねたところ、「参加していない」と回答した人の割合が最も高く、61.3%となっています。次いで、「週2～3回」(6.6%)、「月1～3回」(5.0%)と続いています。
- 圏域別にみると、「参加していない」と回答した人の割合が最も高いのは「田彦中学校区・美乃浜学園区」(64.9%)であり、最も低いのは「勝田第一中学校区」(57.6%)となっています。

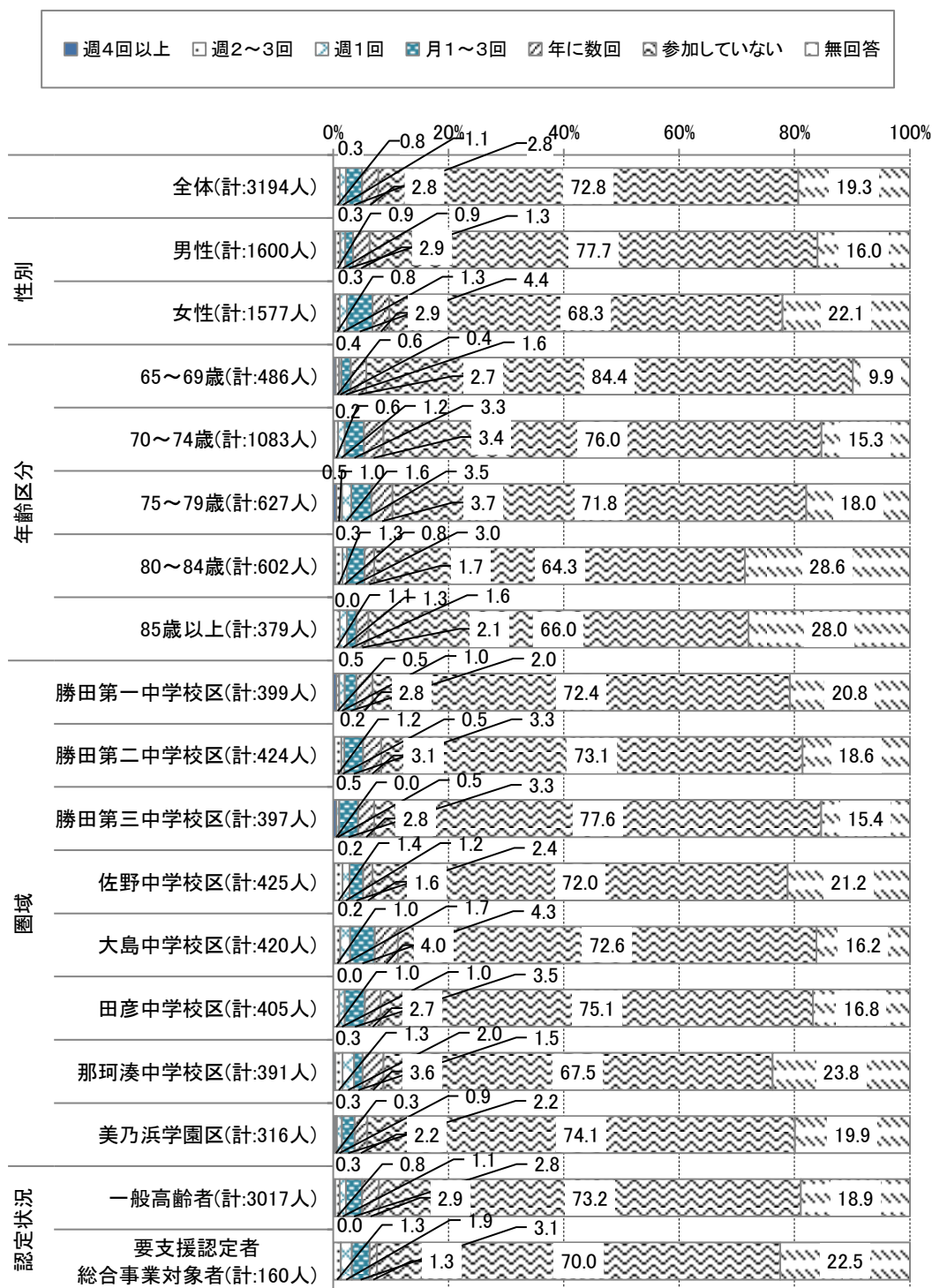
### ③趣味関係のグループ



●趣味関係のグループに参加していますかとたずねたところ、「参加していない」と回答した人の割合が最も高く、60.2%となっています。次いで、「月1～3回」(10.0%)、「年に数回」(5.1%)と続いています。

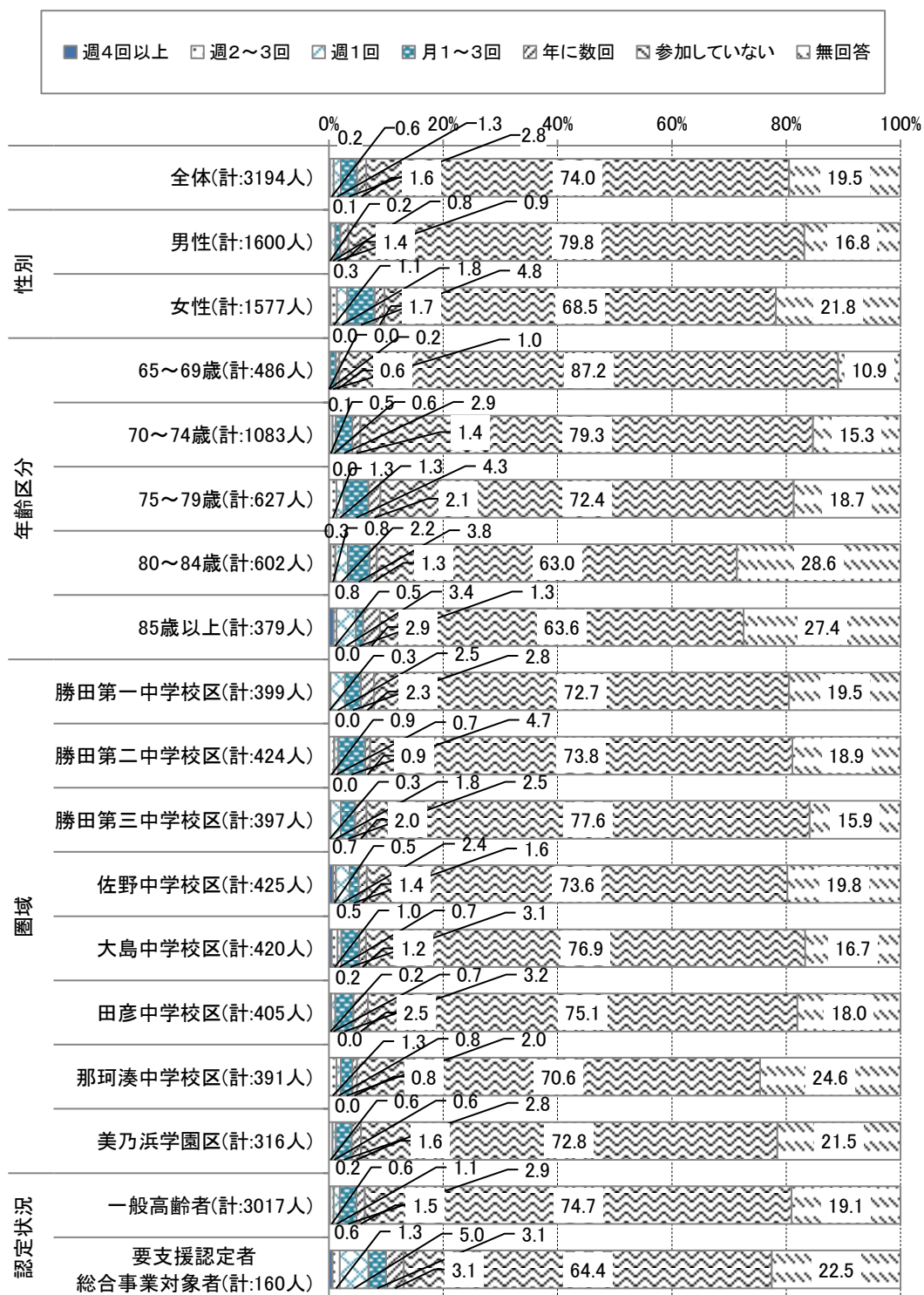
●圏域別にみると、「参加していない」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(65.8%)であり、最も低いのは「佐野中学校区・那珂湊中学校区」(58.6%)となっています。

#### ④学習・教養サークル



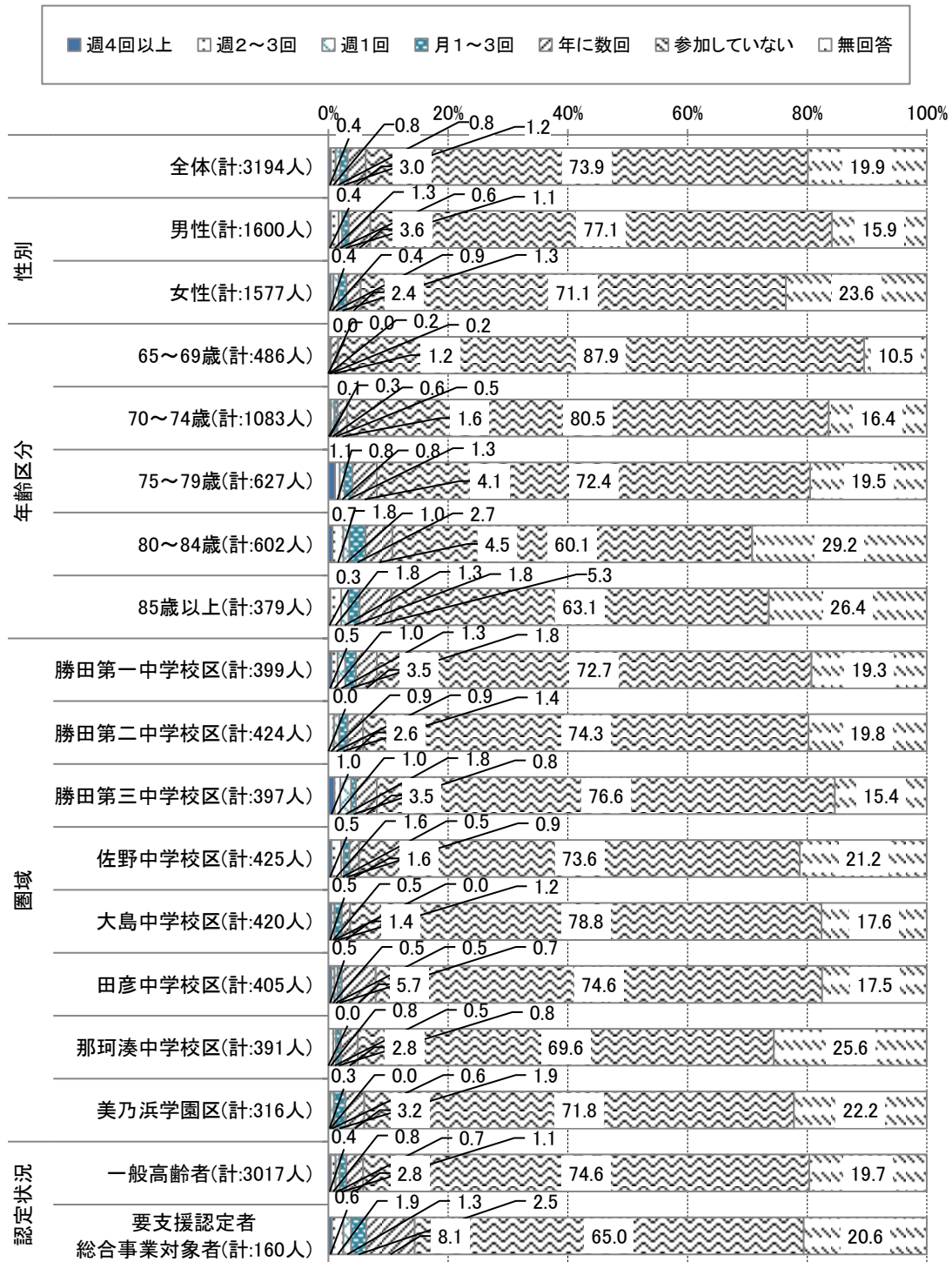
- 学習・教養サークルに参加していますかとたずねたところ、「参加していない」と回答した人の割合が最も高く、72.8%となっています。次いで、「年に数回」「月1～3回」（ともに 2.8%）と続いています。
- 圏域別にみると、「参加していない」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第三中学校区」（77.6%）であり、最も低いのは「那珂湊中学校区」（67.5%）となっています。

⑤市で開催している体操教室などの介護予防のための通いの場



- 市で開催している体操教室などの介護予防のための通いの場に参加していますかとたずねたところ、「参加していない」と回答した人の割合が最も高く、74.0%となっています。次いで、「月1～3回」(2.8%)、「年に数回」(1.6%)と続いています。
- 圏域別にみると、「参加していない」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第三中学校区」(77.6%)であり、最も低いのは「那珂湊中学校区」(70.6%)となっています。

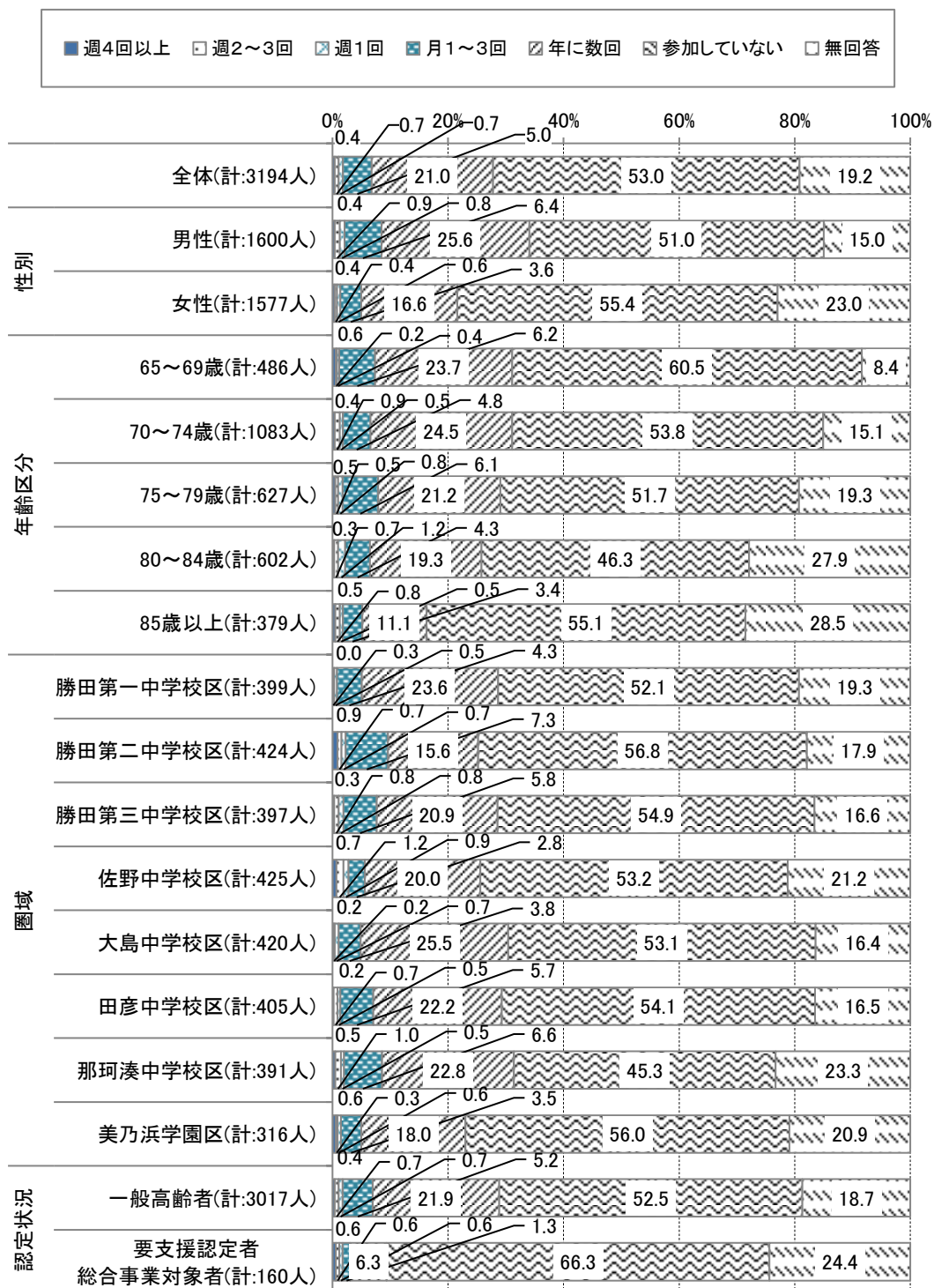
### ⑥老人クラブ





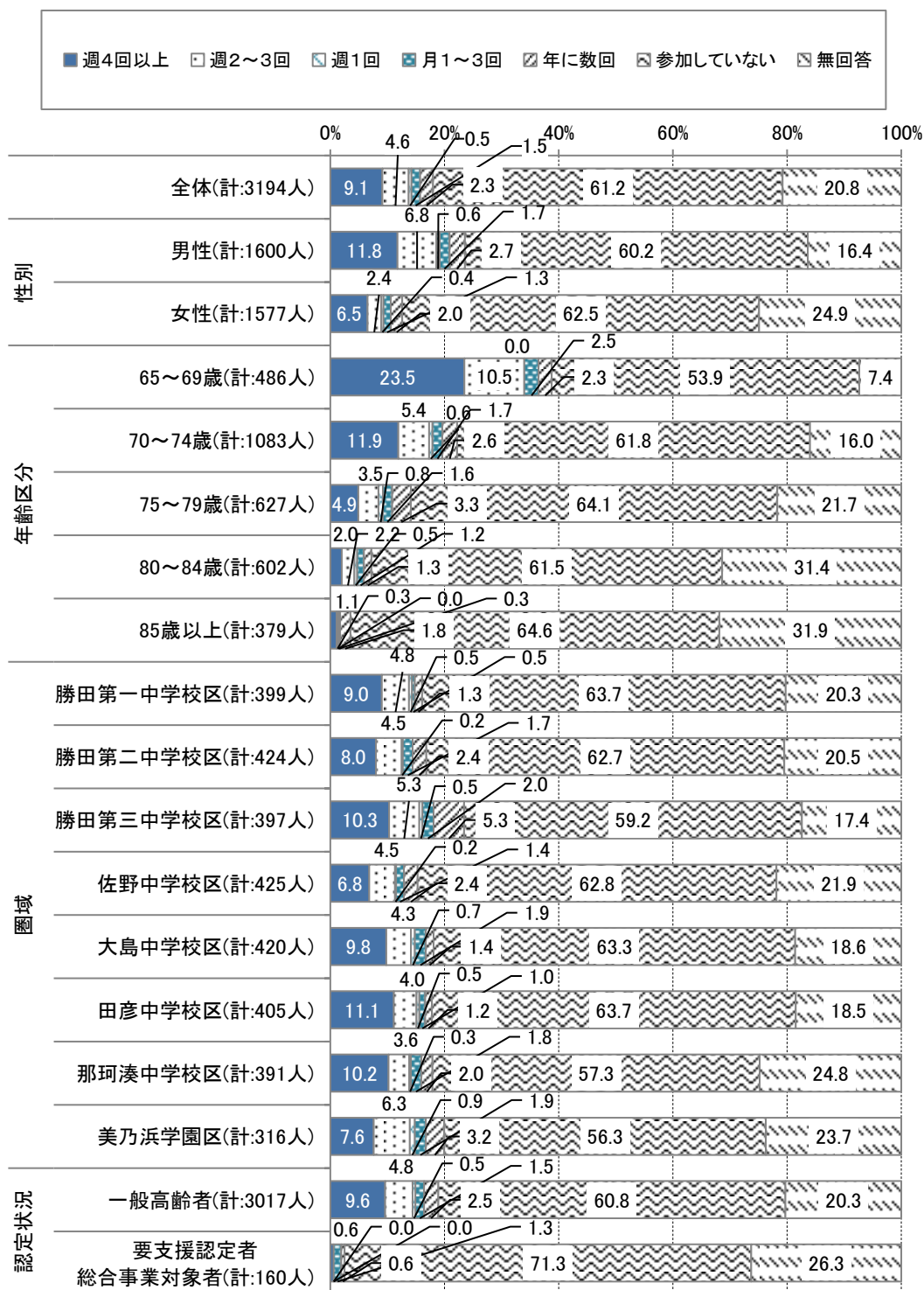
- 老人クラブに参加していますかとたずねたところ、「参加していない」と回答した人の割合が最も高く、73.9%となっています。次いで、「年に数回」(3.0%)、「月1～3回」(1.2%)と続いています。
- 圏域別にみると、「参加していない」と回答した人の割合が最も高いのは「大島中学校区」(78.8%)であり、最も低いのは「那珂湊中学校区」(69.6%)となっています。

⑦町内会・自治会



- 町内会・自治会に参加していますかとたずねたところ、「参加していない」と回答した人の割合が最も高く、53.0%となっています。次いで、「年に数回」(21.0%)、「月1～3回」(5.0%)と続いています。
- 圏域別にみると、「参加していない」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第二中学校区」(56.8%)であり、最も低いのは「那珂湊中学校区」(45.3%)となっています。

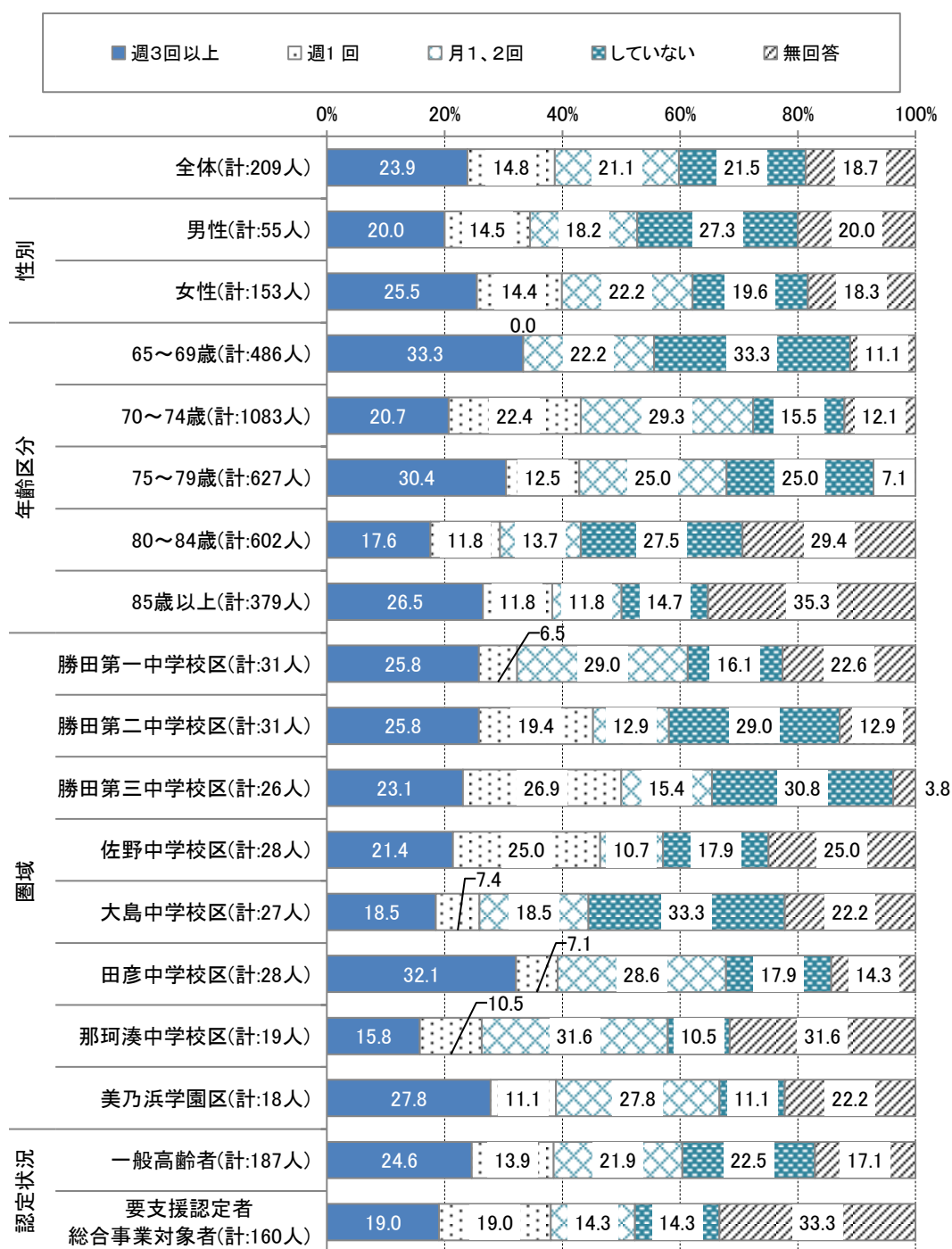
⑧収入のある仕事



- 収入のある仕事に参加していますかとたずねたところ、「参加していない」と回答した人の割合が最も高く、61.2%となっています。次いで、「週4回以上」(9.1%)、「週2～3回」(4.6%)と続いています。
- 圏域別にみると、「参加していない」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第一中学校区・田彦中学校区」(63.7%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(56.3%)となっています。

【(1) ⑤において「1. 週4回以上～5. 年に数回」を選択した方のみ】

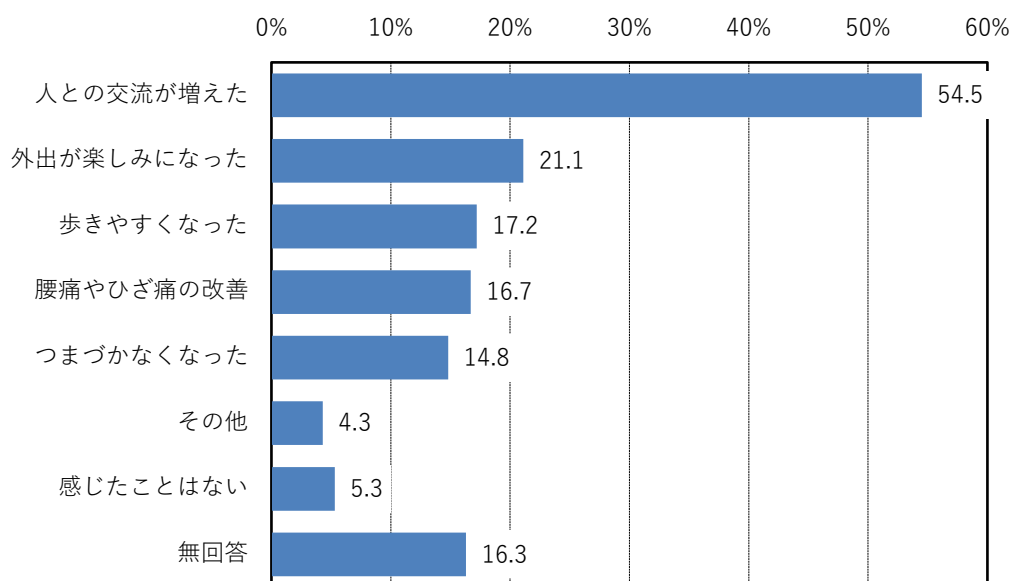
(2) ① 教室で教わった運動を自宅でも実施していますか



- 市で開催している体操教室などの介護予防のための通いの場に年に数回以上通っている方に、教室で教わった運動を自宅でも実施していますかとたずねたところ、「週3回以上」と回答した人の割合が最も高く、23.9%となっています。次いで、「していない」(21.5%)、「月1、2回」(21.1%)と続いています。
- 圏域別にみると、「週3回以上」と回答した人の割合が最も高いのは「田彦中学校区」(32.1%)であり、最も低いのは「那珂湊中学校区」(15.8%)となっています。

【(1) ⑤において「1. 週4回以上～5. 年に数回」を選択した方のみ】

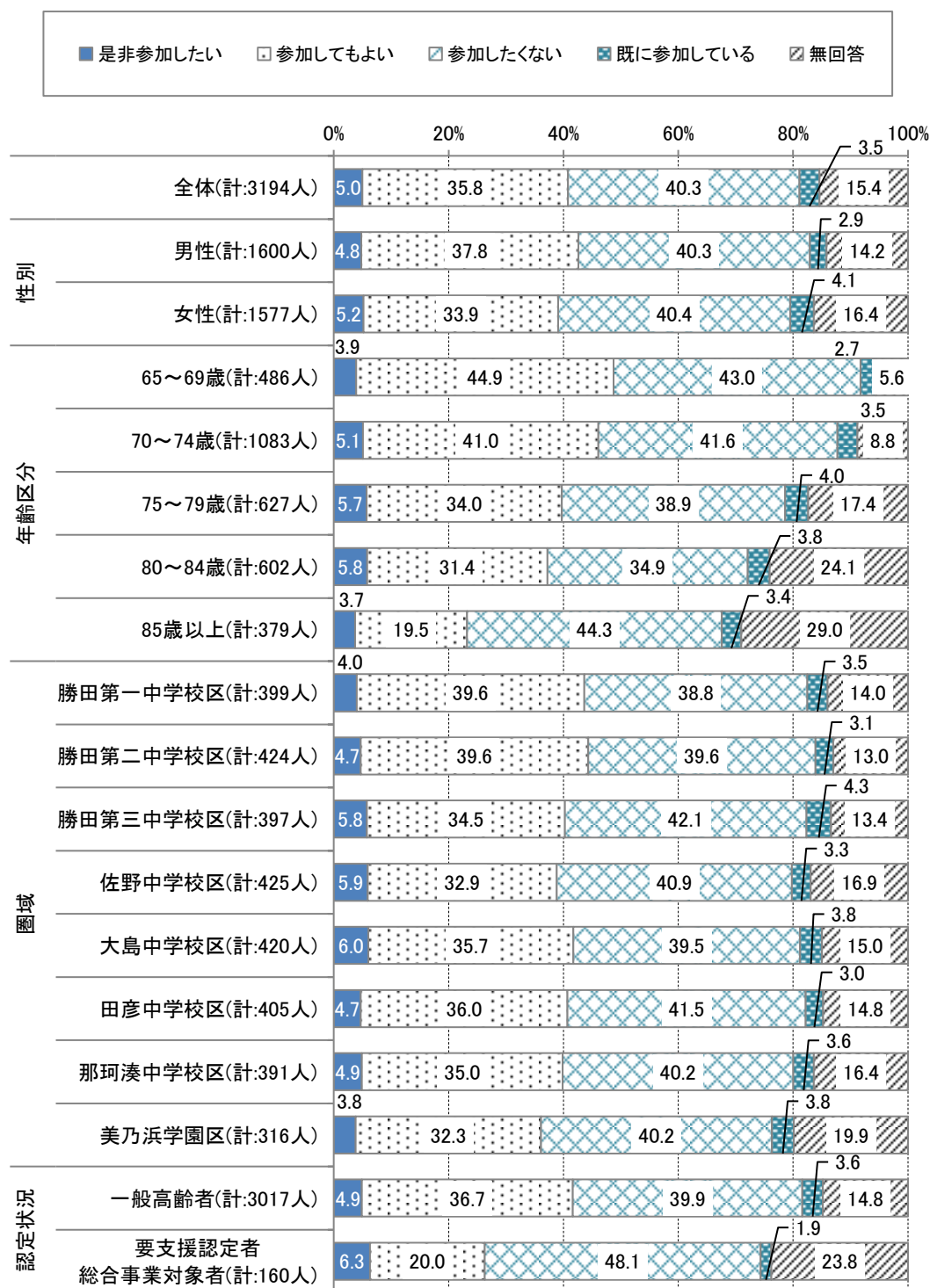
(2) ② 教室に参加したことで、どのような効果を感じていますか



計：209人

- 教室に参加したことで、どのような効果を感じていますかとたずねたところ、「人との交流が増えた」と回答した人が最も多く、54.5%となっています。次いで、「外出が楽しみになった」(21.1%)、「歩きやすくなった」(17.2%)と続いています。

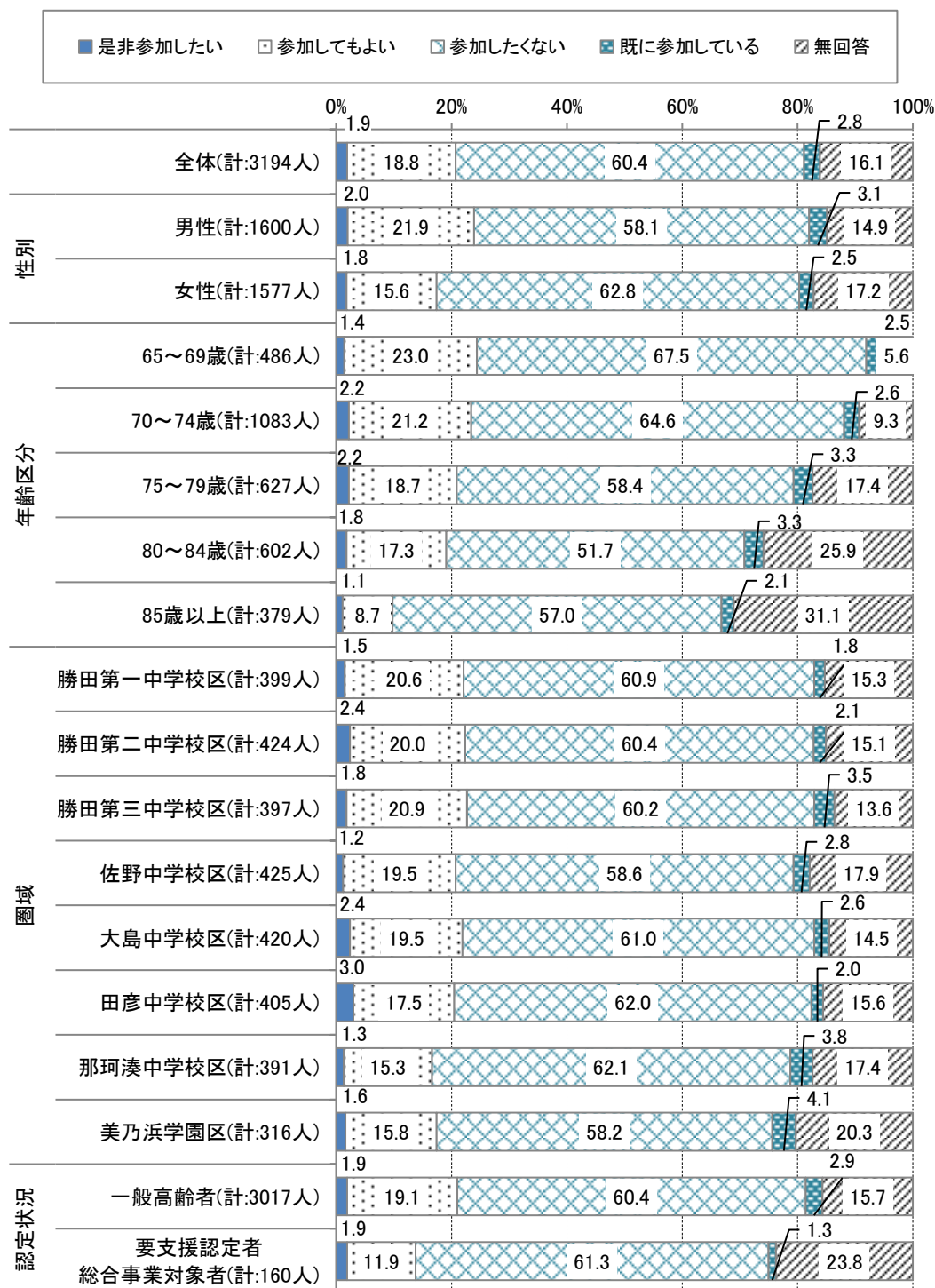
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか



●地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますかとたずねたところ、「参加したくない」と回答した人の割合が最も高く、40.3%となっています。次いで、「参加してもよい」(35.8%)、「是非参加したい」(5.0%)と続いています。

●圏域別にみると、「参加したくない」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第三中学校区」(42.1%)であり、最も低いのは「勝田第一中学校区」(38.8%)となっています。

(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

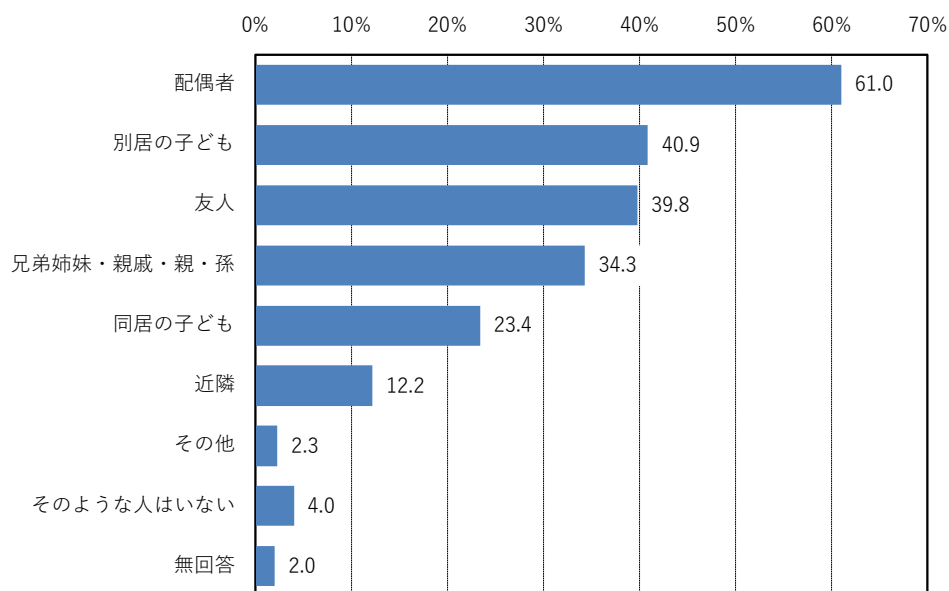


●地域住民の有志でグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますかとたずねたところ、「参加したくない」と回答した人の割合が最も高く、60.4%となっています。次いで、「参加してもよい」（18.8%）、「既に参加している」（2.8%）と続いています。

●圏域別にみると、「参加したくない」と回答した人の割合が最も高いのは「那珂湊中学校区」（62.1%）であり、最も低いのは「美乃浜学園区」（58.2%）となっています。

## 問6 たすけあいについて

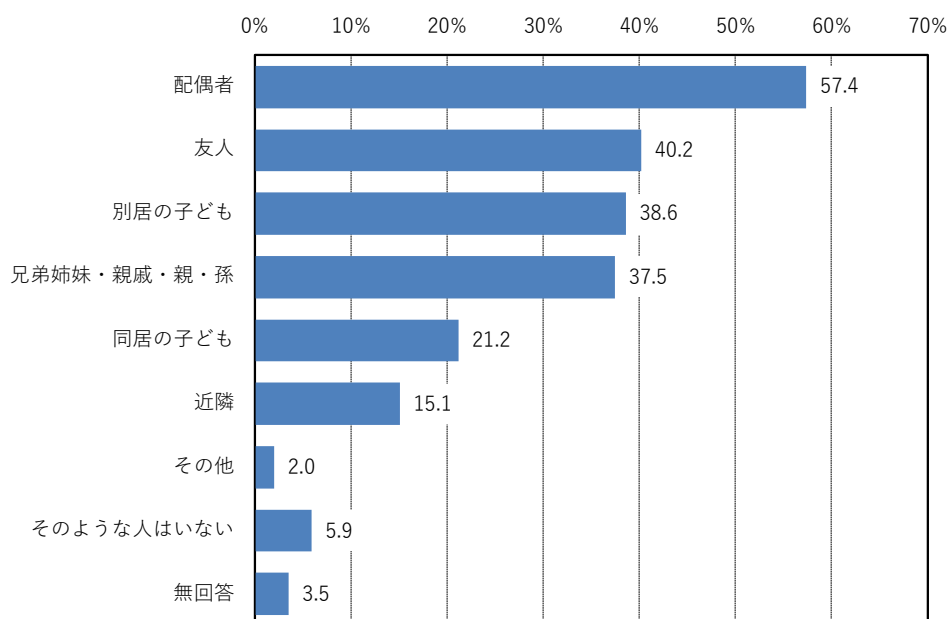
### (1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（いくつでも）



計：3194人

- あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人をたずねたところ、「配偶者」と回答した人が最も多く、61.0%となっています。次いで、「別居の子ども」40.9(%)、「友人」(39.8%)と続いています。

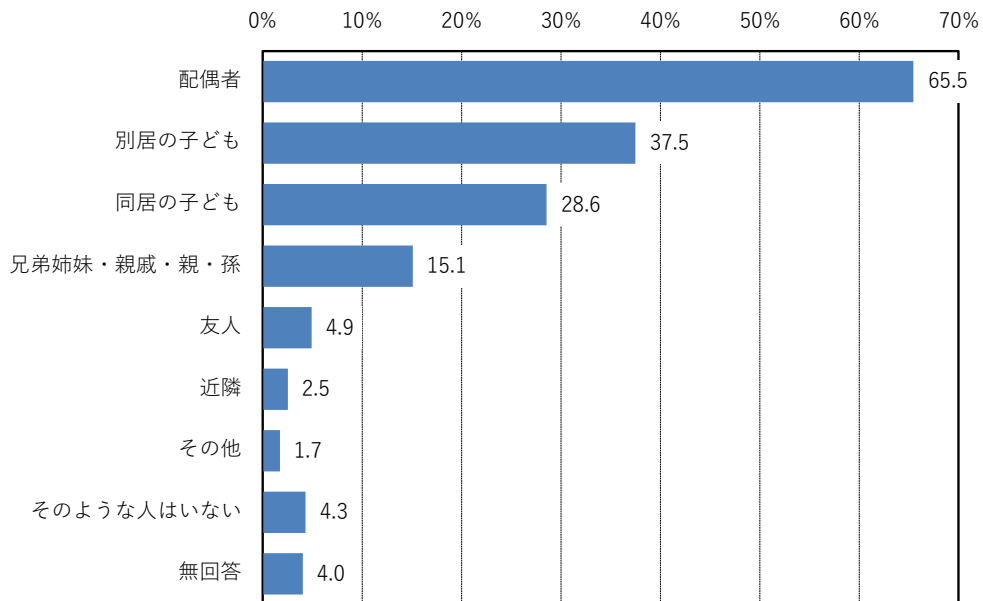
### (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（いくつでも）



計：3194人

- 心配事や愚痴を聞いてあげる人をたずねたところ、「配偶者」と回答した人が最も多く、57.4%となっています。次いで、「友人」(40.2%)、「別居の子ども」(38.6%)と続いています。

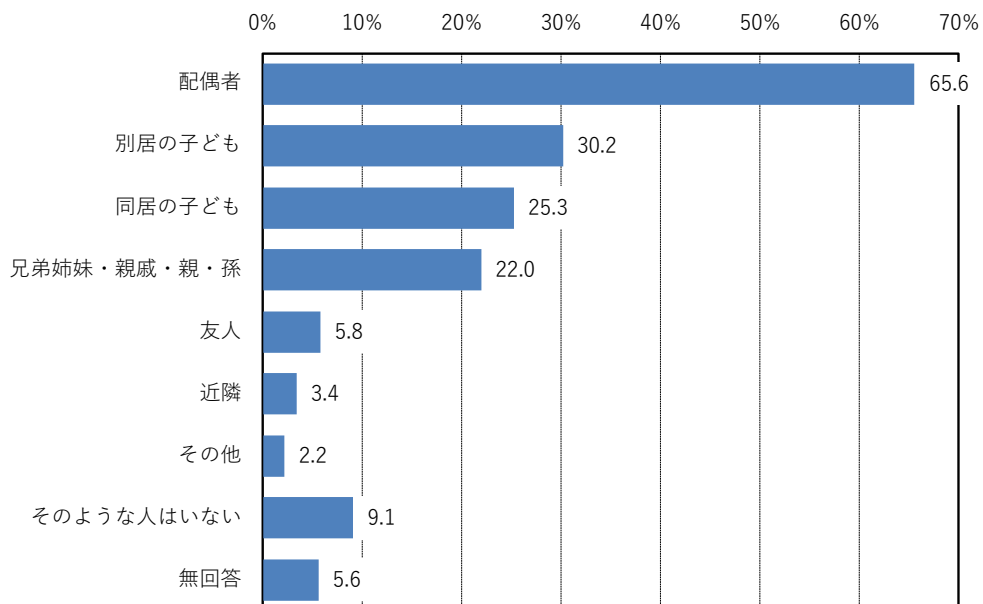
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）



計：3194人

●病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人をたずねたところ、「配偶者」と回答した人が最も多く、65.5%となっています。次いで、「別居の子ども」(37.5%)、「同居の子ども」(28.6%)と続いています。

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

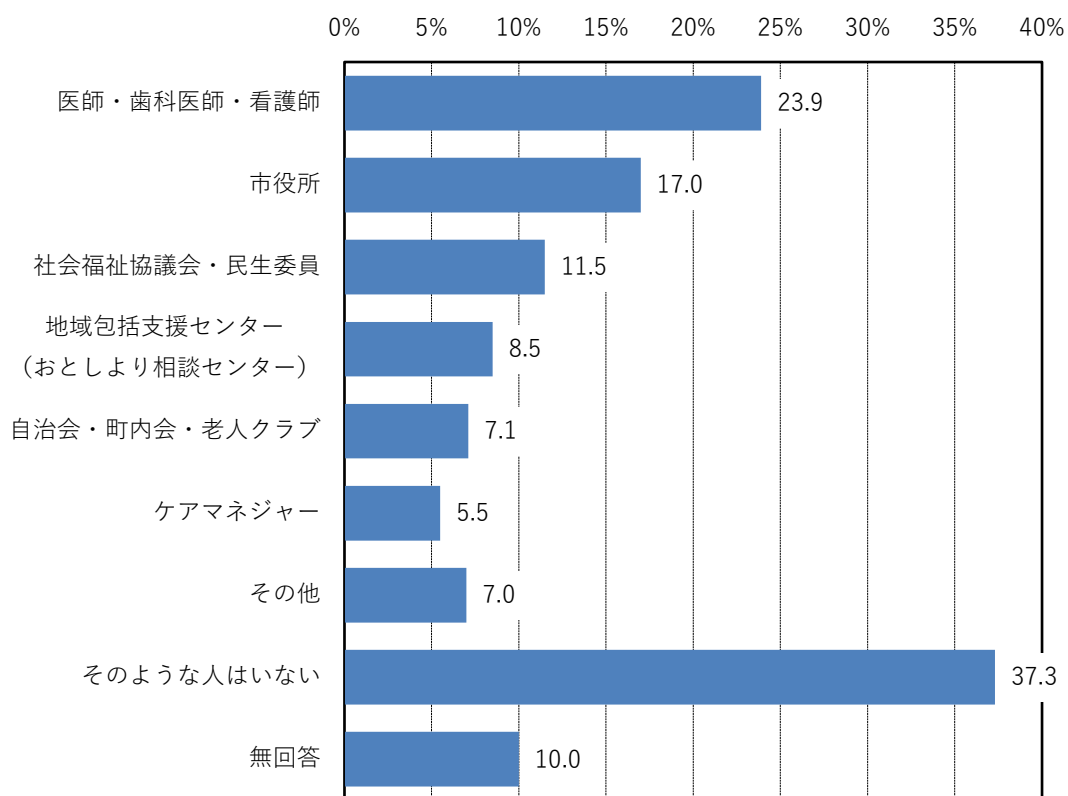


計：3194人

●看病や世話をしてあげる人をたずねたところ、「配偶者」と回答した人が最も多く、65.6%となっています。次いで、「別居の子ども」(30.2%)、「同居の子ども」(25.3%)と続いています。



(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は誰ですか（いくつでも）

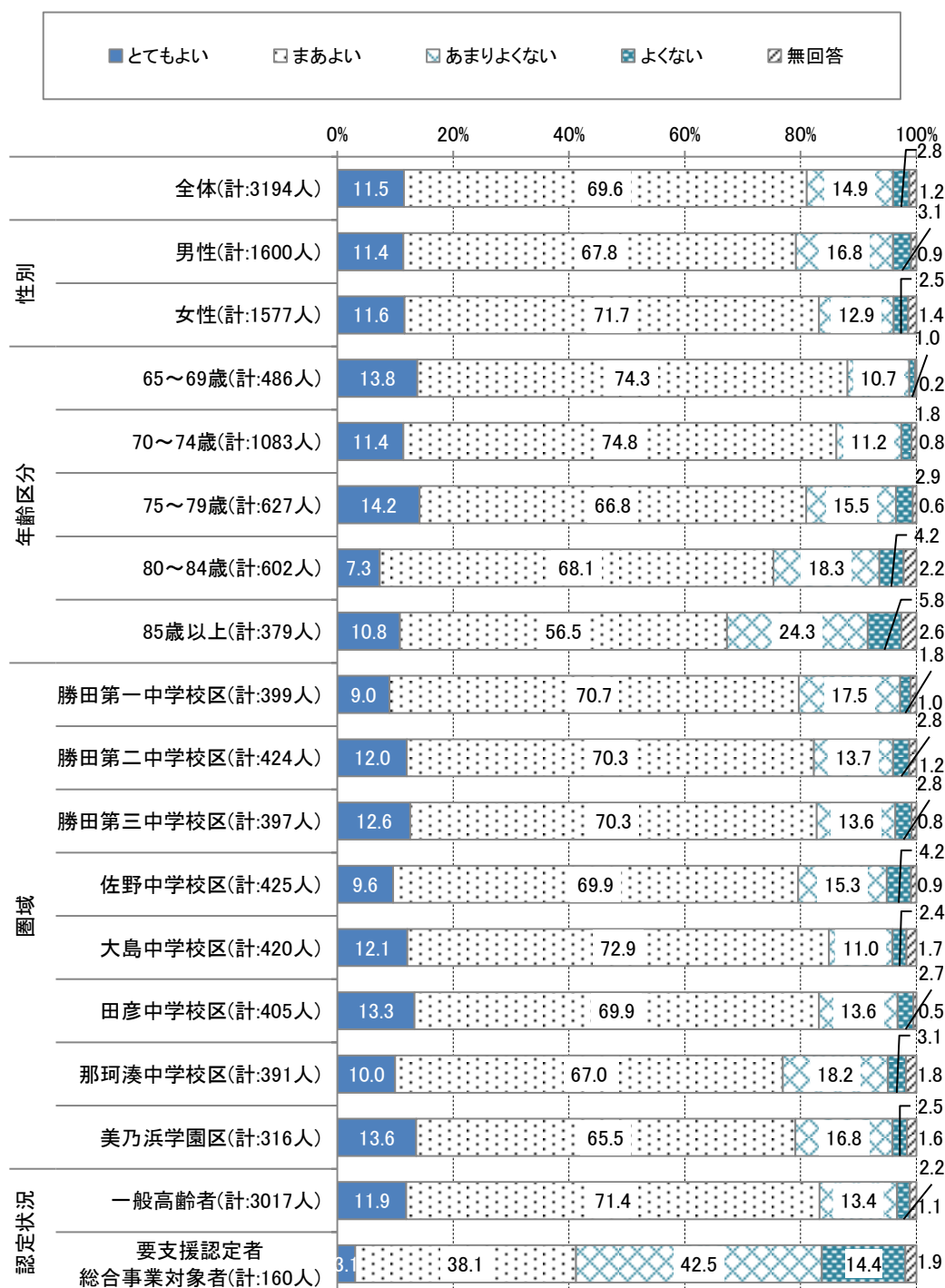


計：3194人

- 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は誰ですかとたずねたところ、「医師・歯科医師・看護師」と回答した人が最も多く、23.9%となっています。次いで、「市役所」(17.0%)、「社会福祉協議会・民生委員」(11.5%)と続いています。

## 問7 健康について

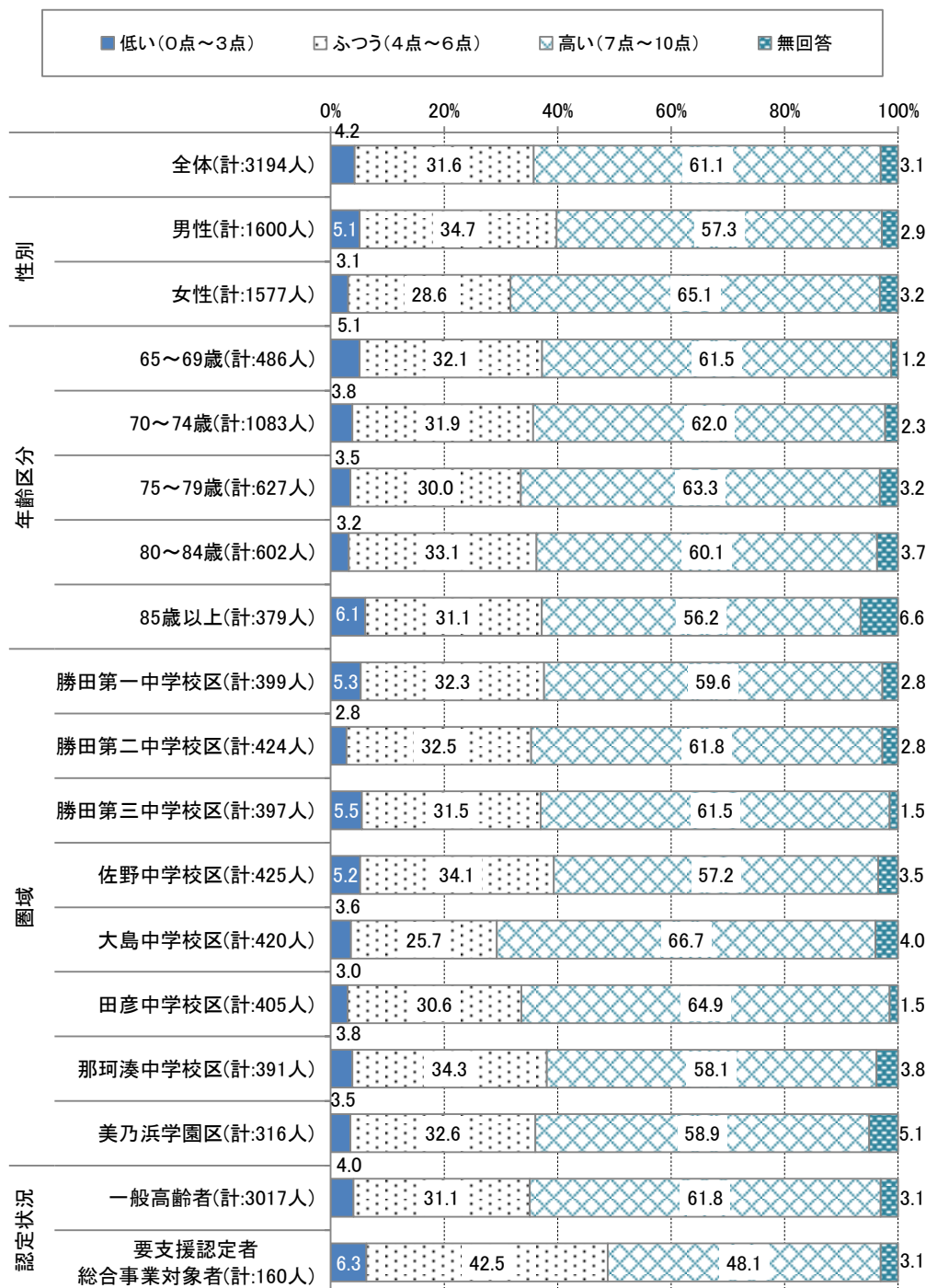
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか



●現在のあなたの健康状態はいかがですかとたずねたところ、「とてもよい」または「まあよい」と回答した人の割合は81.1%となっています。一方、「あまりよくない」または「よくない」と回答した人の割合は17.7%となっています。

- 圏域別にみると、「とてもよい」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(13.6%)であり、最も低いのは「勝田第一中学校区」(9.0%)となっています。

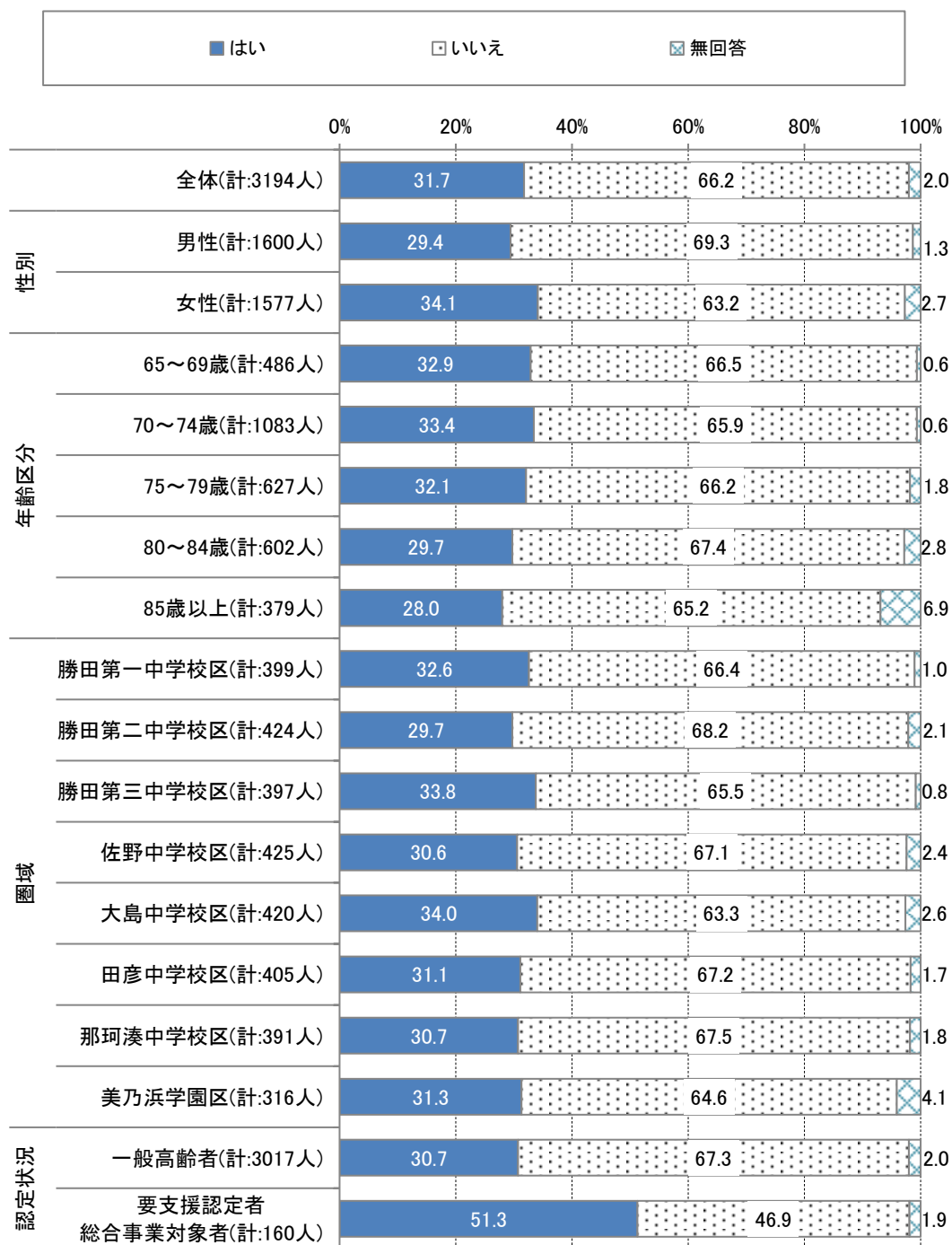
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか



- あなたは、現在どの程度幸せですかとたずねたところ、「高い(7点~10点)」と回答した人の割合が最も高く、61.1%となっています。次いで、「ふつう(4点~6点)」(31.6%)、「低い(0点~3点)」(4.2%)と続いています。

- 圏域別にみると、「低い(0点~3点)」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第三中学校区」(5.5%)であり、最も低いのは「勝田第二中学校区」(2.8%)となっています。

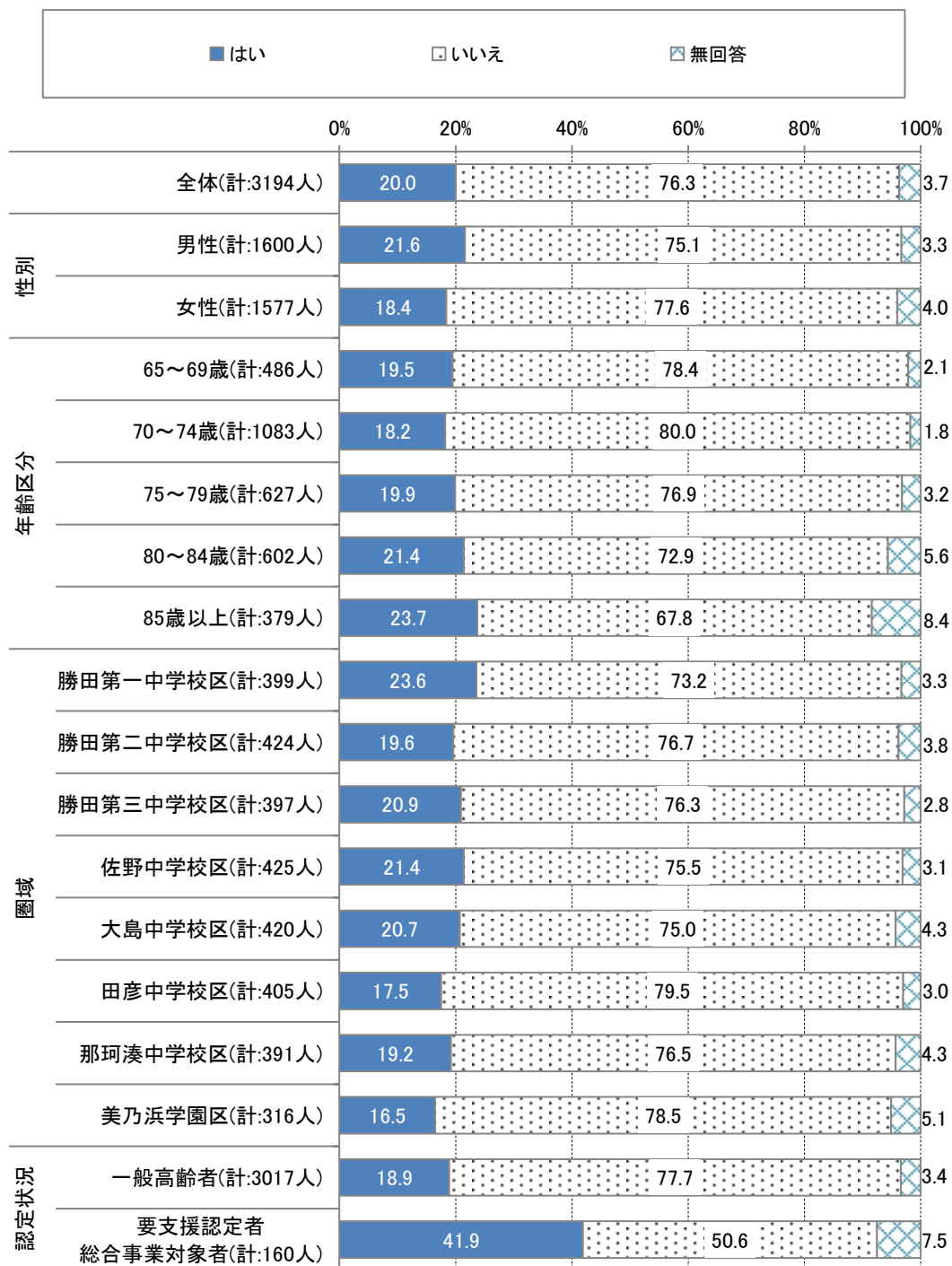
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか



●この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は31.7%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は66.2%となっています。

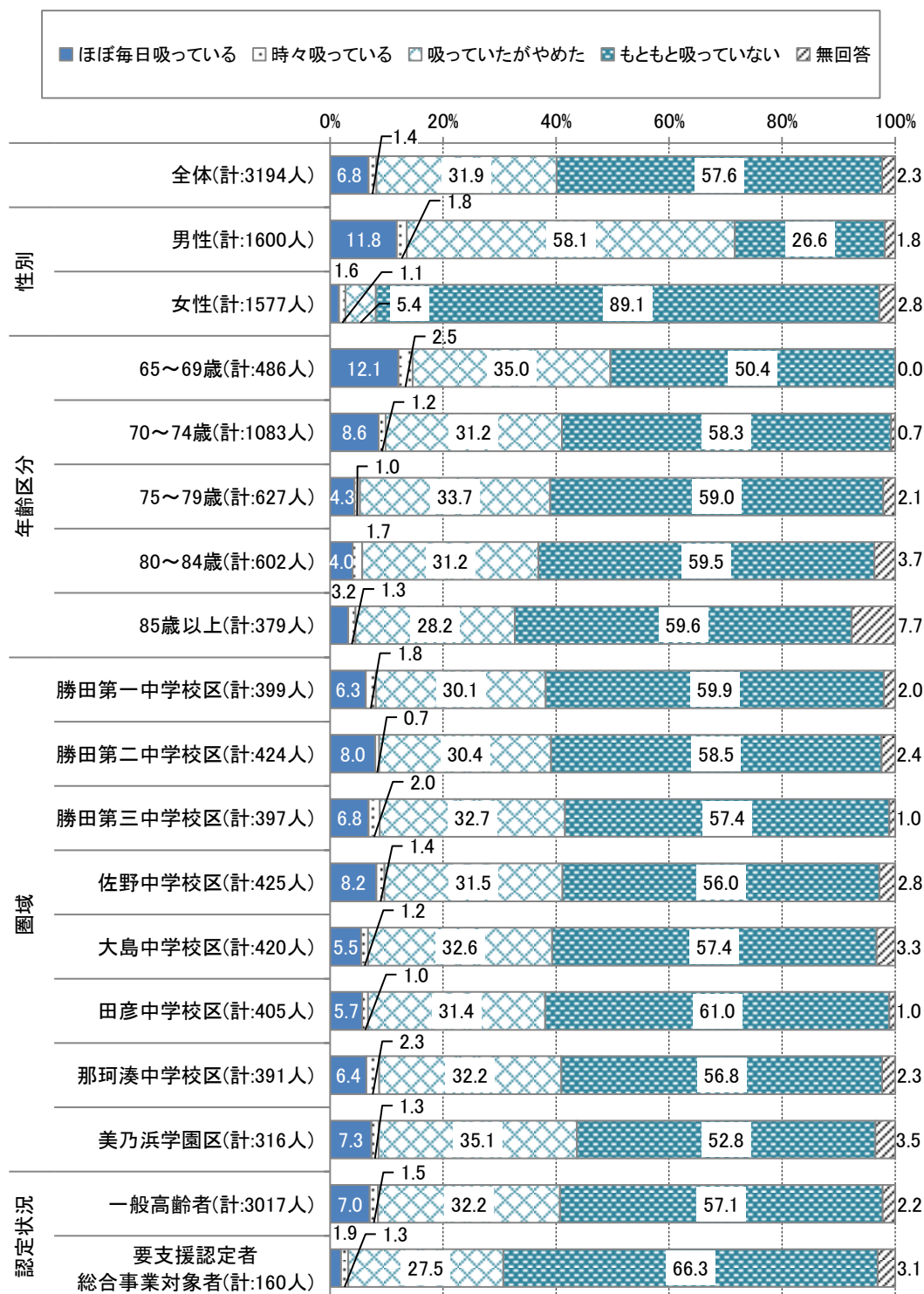
●圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「大島中学校区」(34.0%)であり、最も低いのは「勝田第二中学校区」(29.7%)となっています。

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか



- この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は20.0%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は76.3%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第一中学校区」(23.6%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(16.5%)となっています。

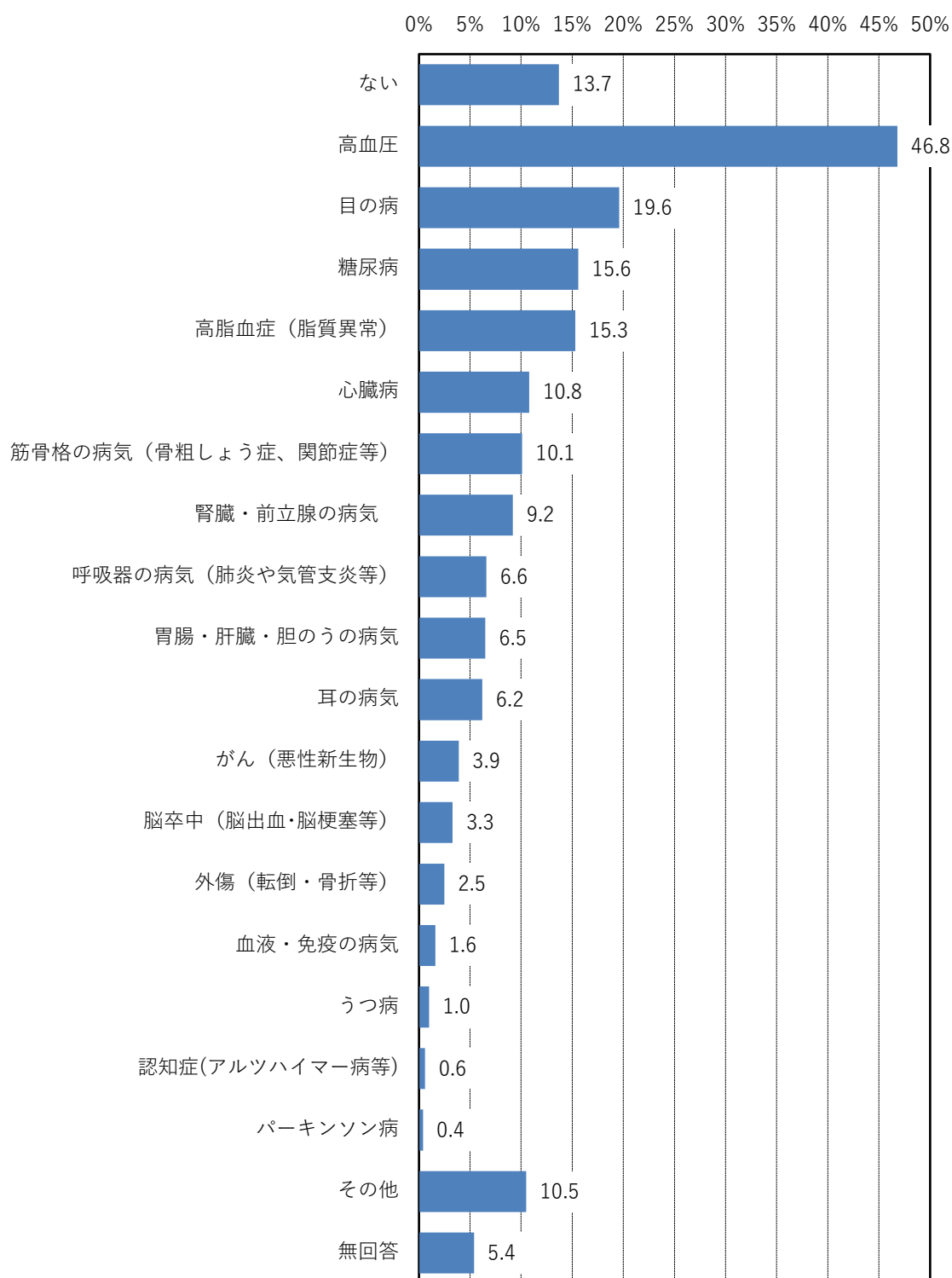
(5) タバコは吸っていますか



●タバコは吸っていますかとたずねたところ、「もともと吸っていない」と回答した人の割合が最も高く、57.6%となっています。次いで、「吸っていたがやめた」(31.9%)、「ほぼ毎日吸っている」(6.8%)と続いています。

●圏域別にみると、「ほぼ毎日吸っている」と回答した人の割合が最も高いのは「佐野中学校区」(8.2%)であり、最も低いのは「大島中学校区」(5.5%)となっています。

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

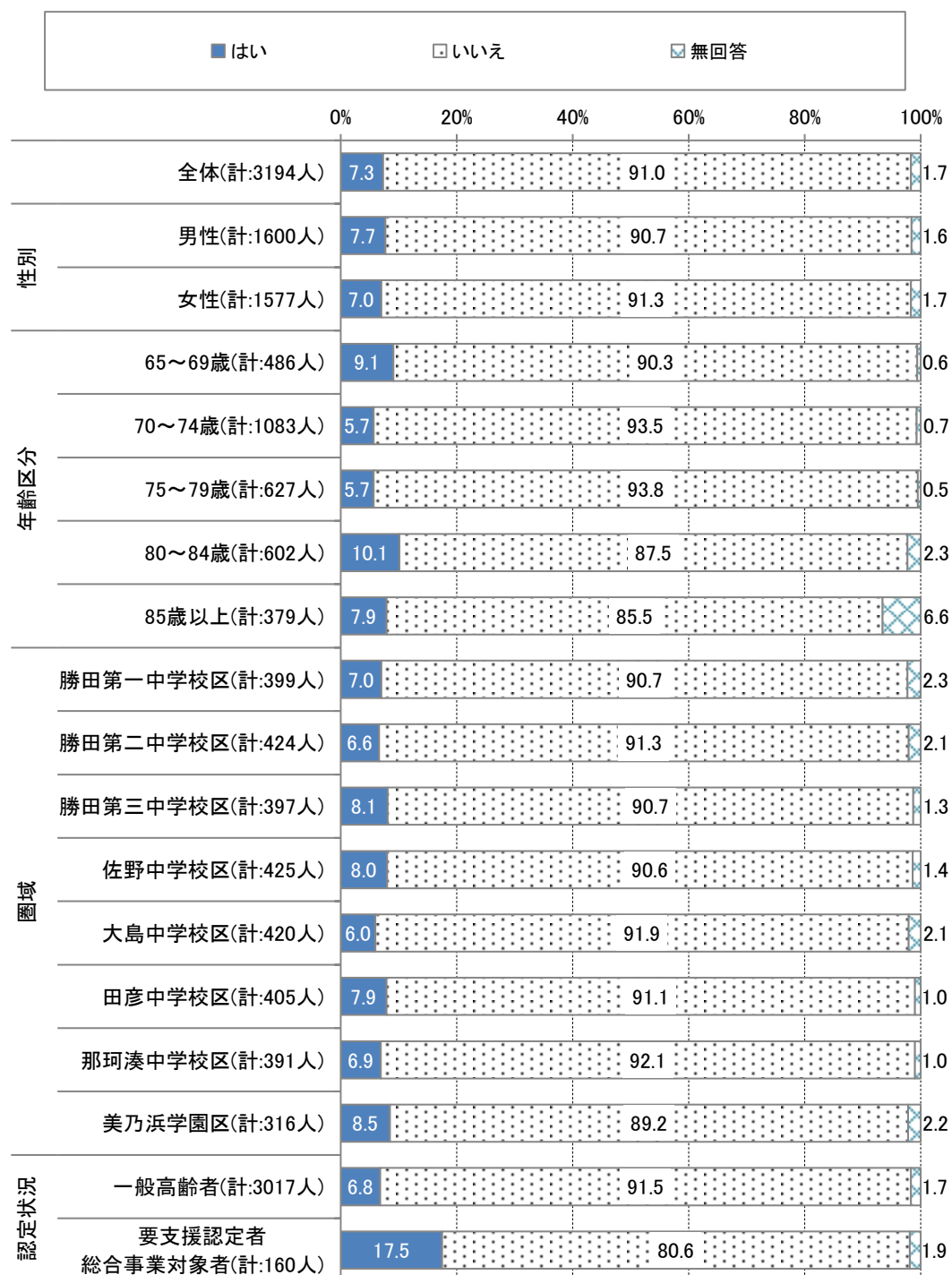


計：3194人

- 現在治療中、または後遺症のある病気はありますかとたずねたところ、「高血圧」と回答した人が最も多く、46.8%となっています。次いで、「目の病」（19.6%）、「糖尿病」（15.6%）と続いています。

## 問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

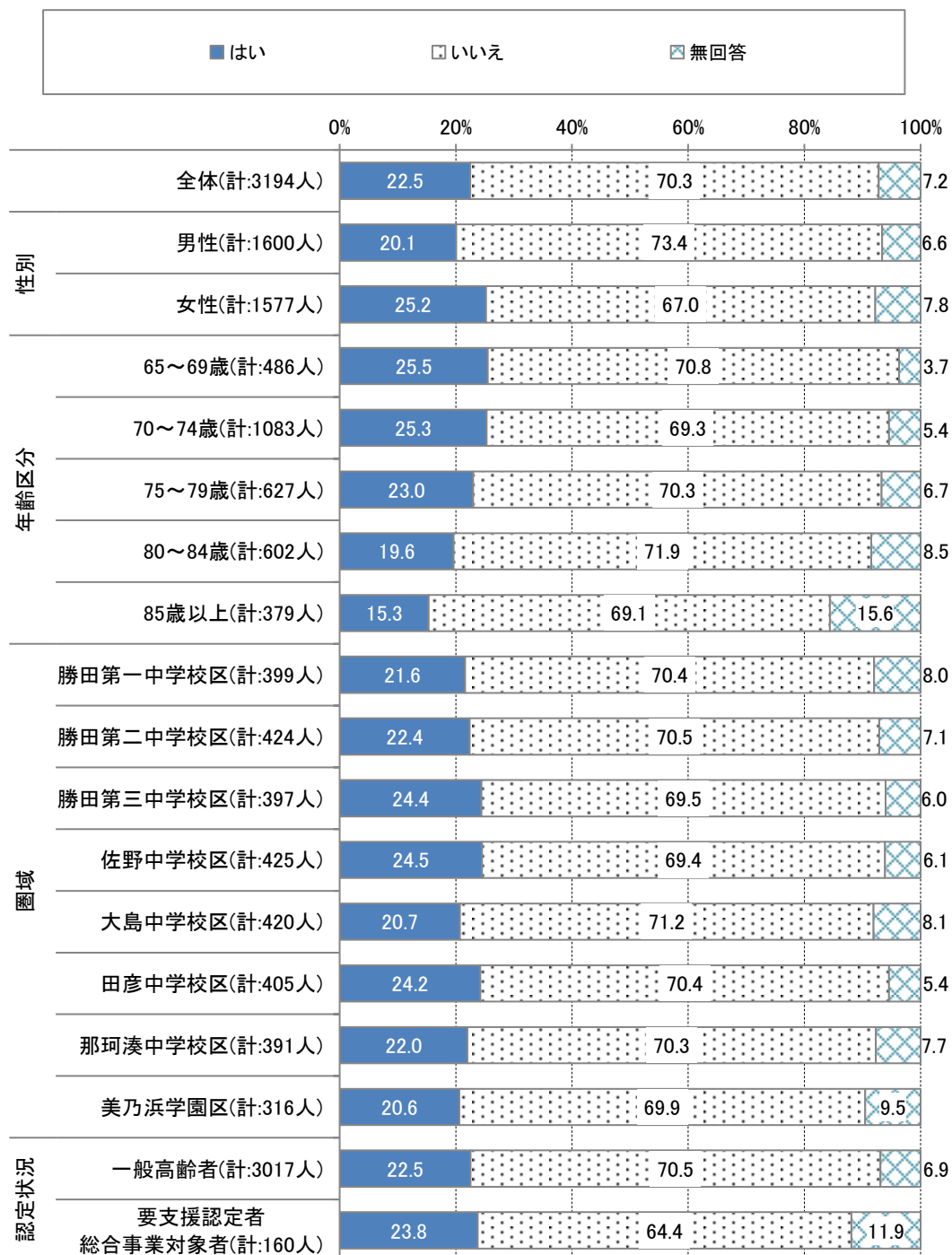


●認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は7.3%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は91.0%となっています。



- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(8.5%)であり、最も低いのは「大島中学校区」(6.0%)となっています。

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

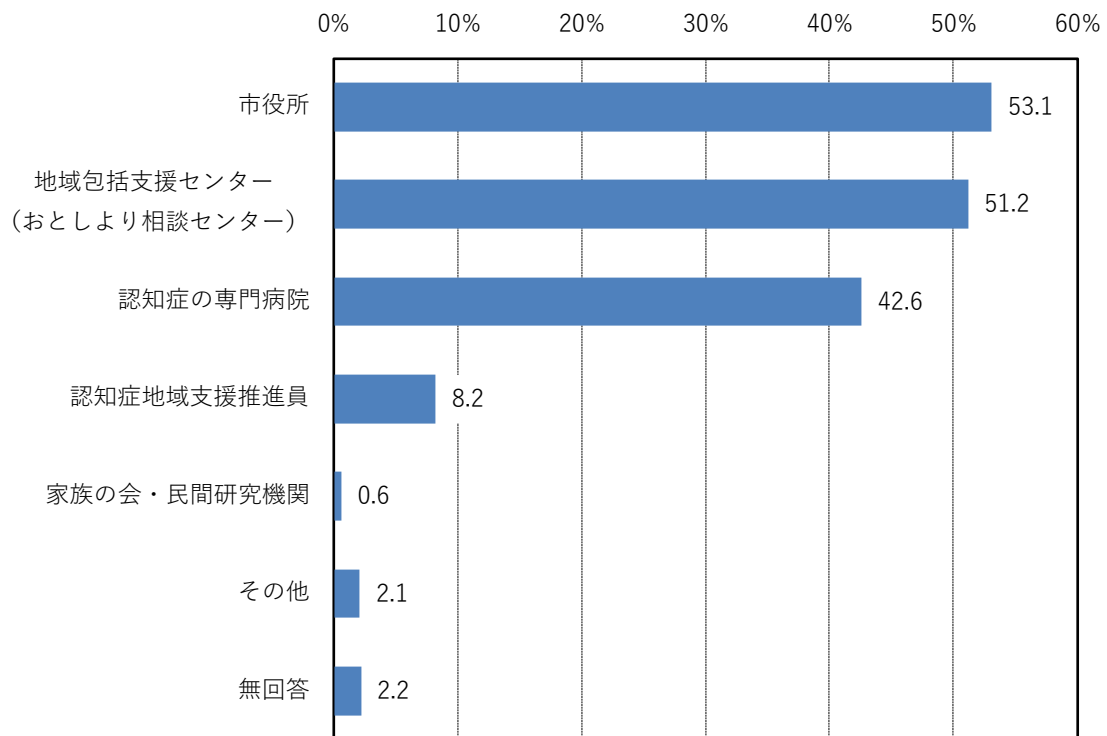


- 認知症に関する相談窓口を知っていますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は22.5%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は70.3%となっています。

- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「佐野中学校区」(24.5%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(20.6%)となっています。

【(2) において「1. はい」の方のみ】

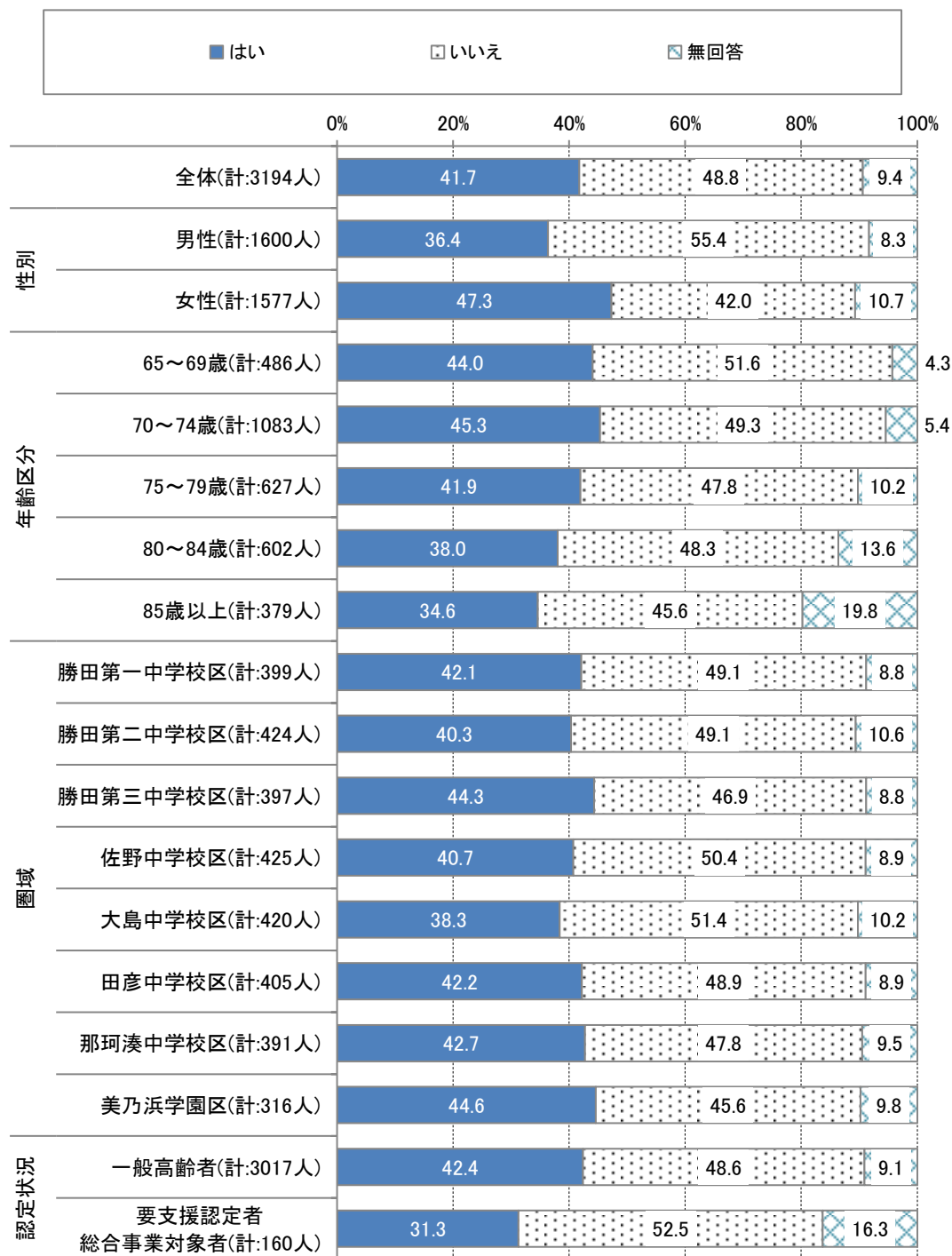
(3) 認知症の相談窓口として、知っている機関はどこですか (いくつでも)



計：719人

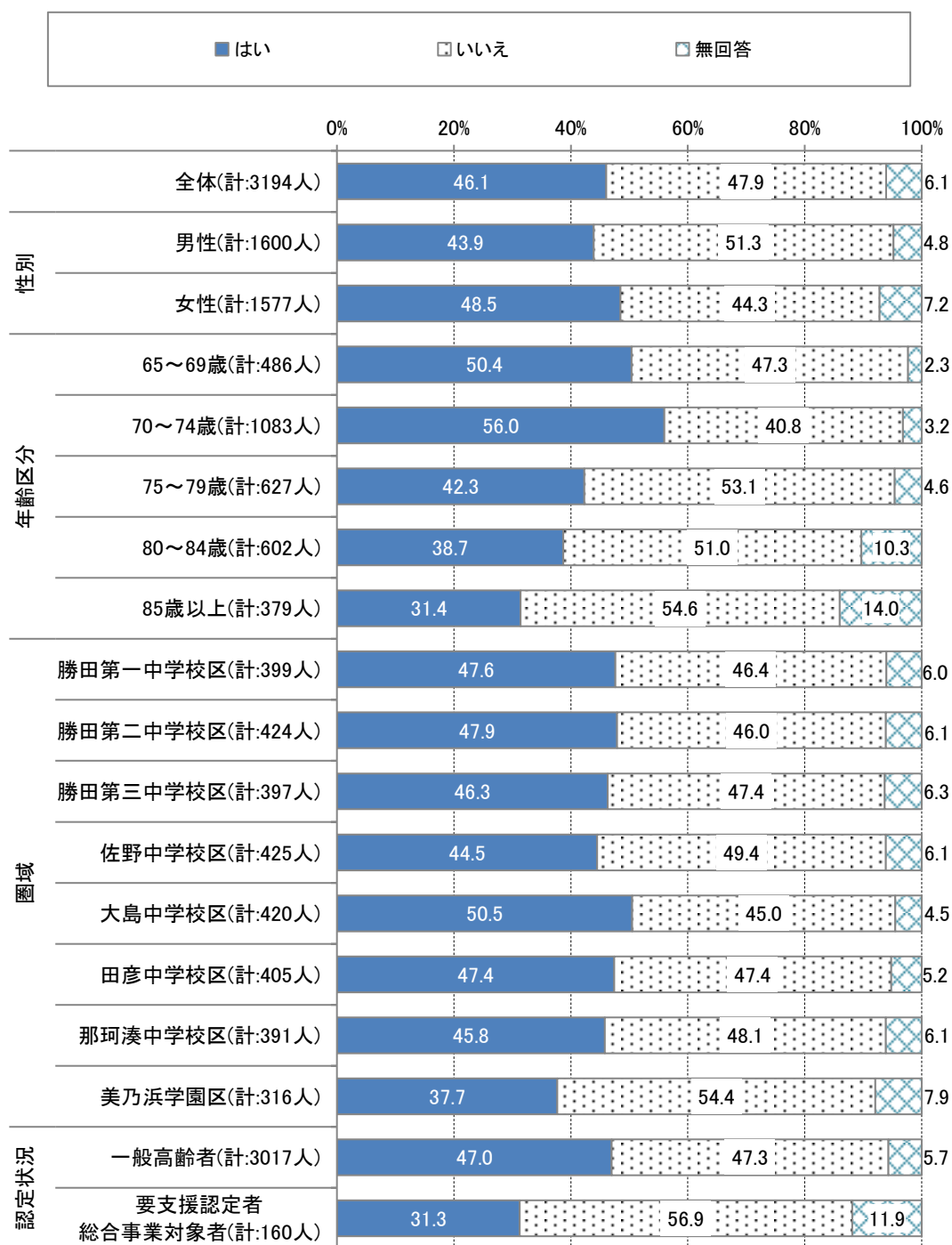
- 認知症に関する相談窓口を知っている方に、知っている機関はどこですかとたずねたところ、「市役所」と回答した人が最も多く、53.1%となっています。次いで、「地域包括支援センター (おとしより相談センター)」(51.2%)、「認知症の専門病院」(42.6%)と続いています。

(4) 家族に認知症の症状があり、徘徊など生活をする上で困った場合に、友人や近所の人に相談したり、協力を求めたりすることができますか



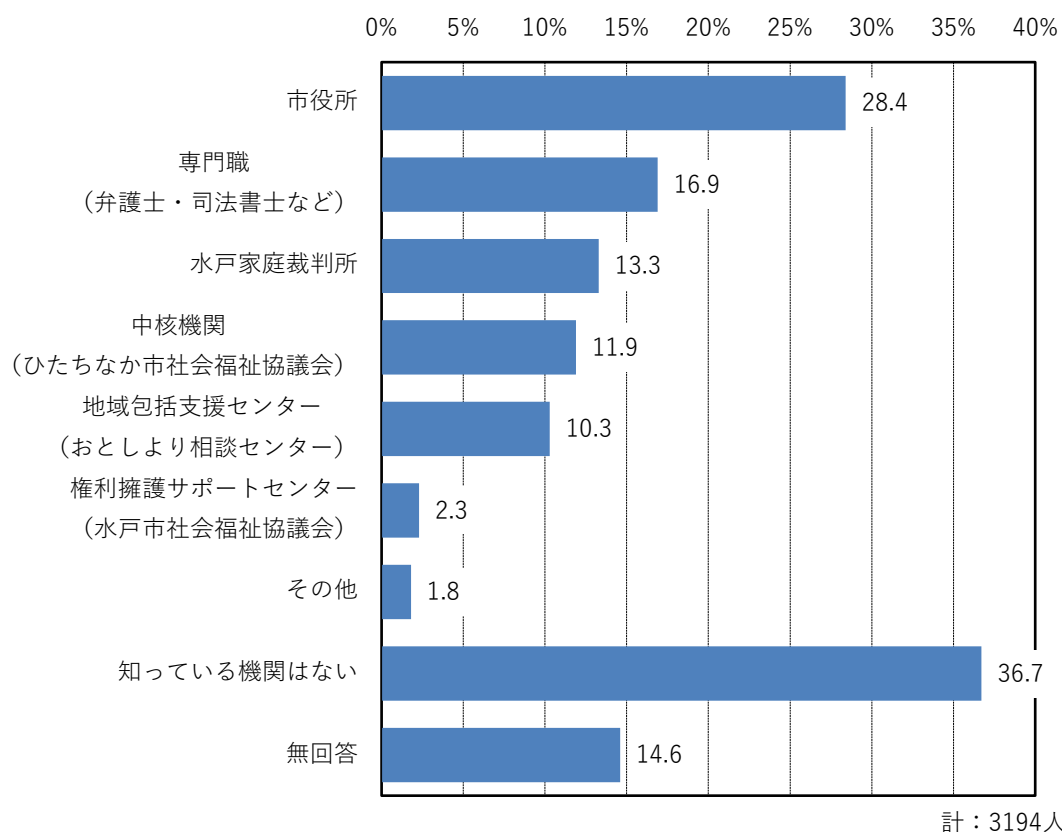
- 家族に認知症の症状があり、徘徊など生活をする上で困った場合に、友人や近所の人に相談したり、協力を求めたりすることができますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は41.7%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は48.8%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(44.6%)であり、最も低いのは「大島中学校区」(38.3%)となっています。

(5) 成年後見制度について知っていますか



- 成年後見制度について知っていますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は46.1%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は47.9%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「大島中学校区」(50.5%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(37.7%)となっています。

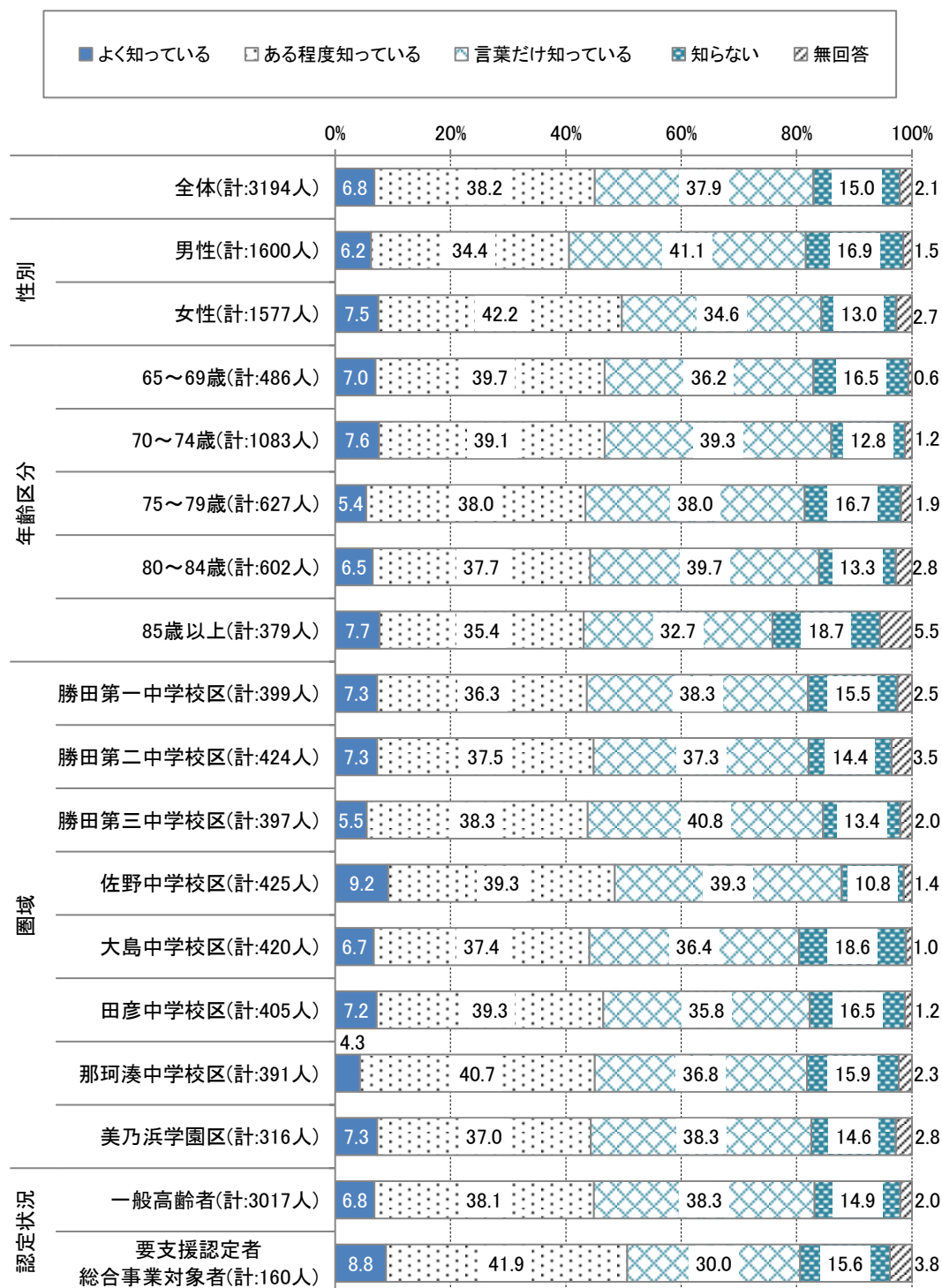
(6) 成年後見制度の相談窓口として、知っている機関はどこですか（いくつでも）



- 成年後見制度の相談窓口として、知っている機関はどこですかとたずねたところ、「市役所」と回答した人が最も多く、28.4%となっています。次いで、「専門職（弁護士・司法書士など）」（16.9%）、「水戸家庭裁判所」（13.3%）と続いています。

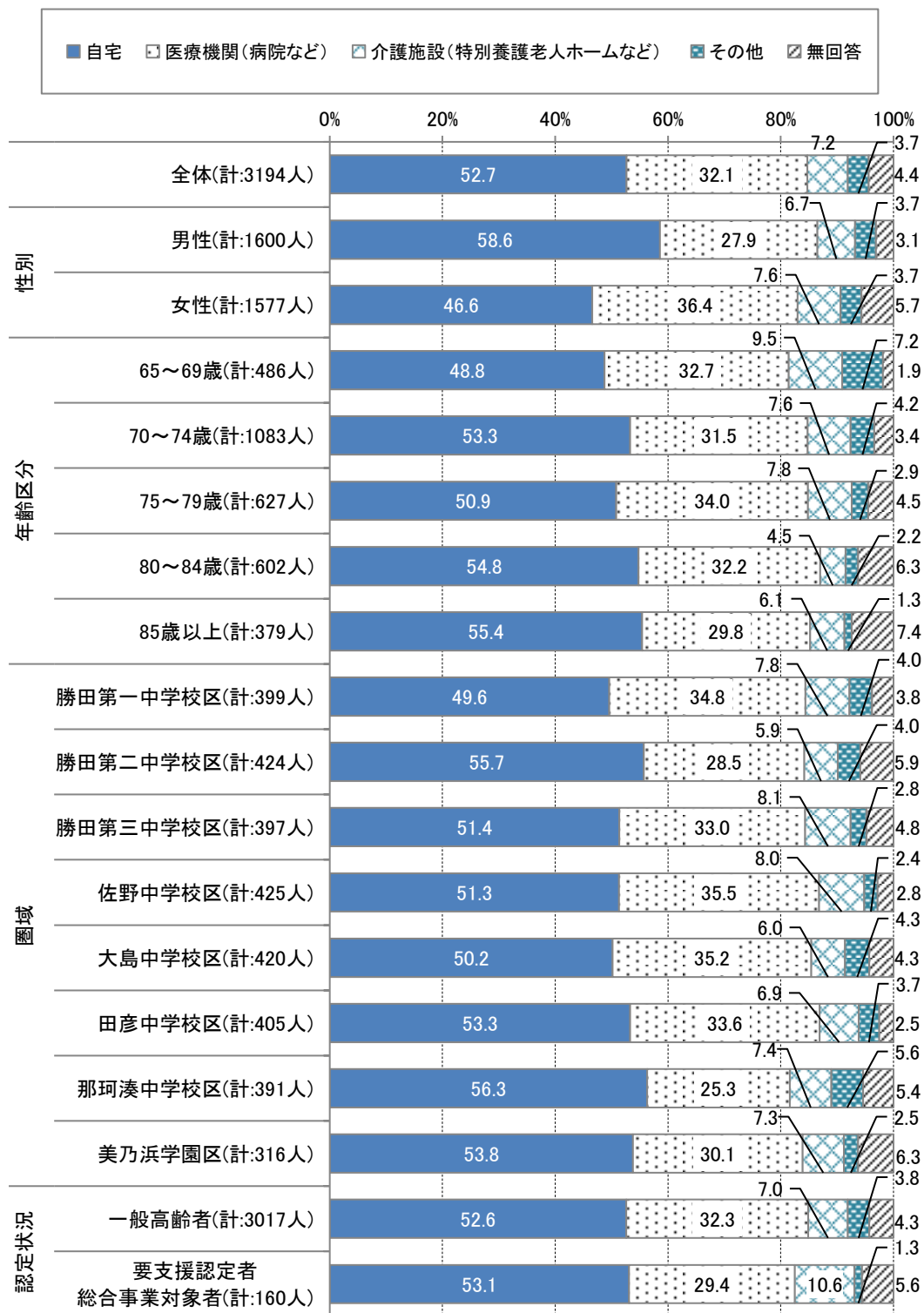
## 問9 在宅での医療や介護について

(1) 在宅での医療や介護について、知っていますか



- 在宅での医療や介護について、知っていますかとたずねたところ、「ある程度知っている」と回答した人の割合が最も高く、38.2%となっています。次いで、「言葉だけ知っている」(37.9%)、「知らない」(15.0%)と続いています。
- 圏域別にみると、「知らない」と回答した人の割合が最も高いのは「大島中学校区」(18.6%)であり、最も低いのは「佐野中学校区」(10.8%)となっています。

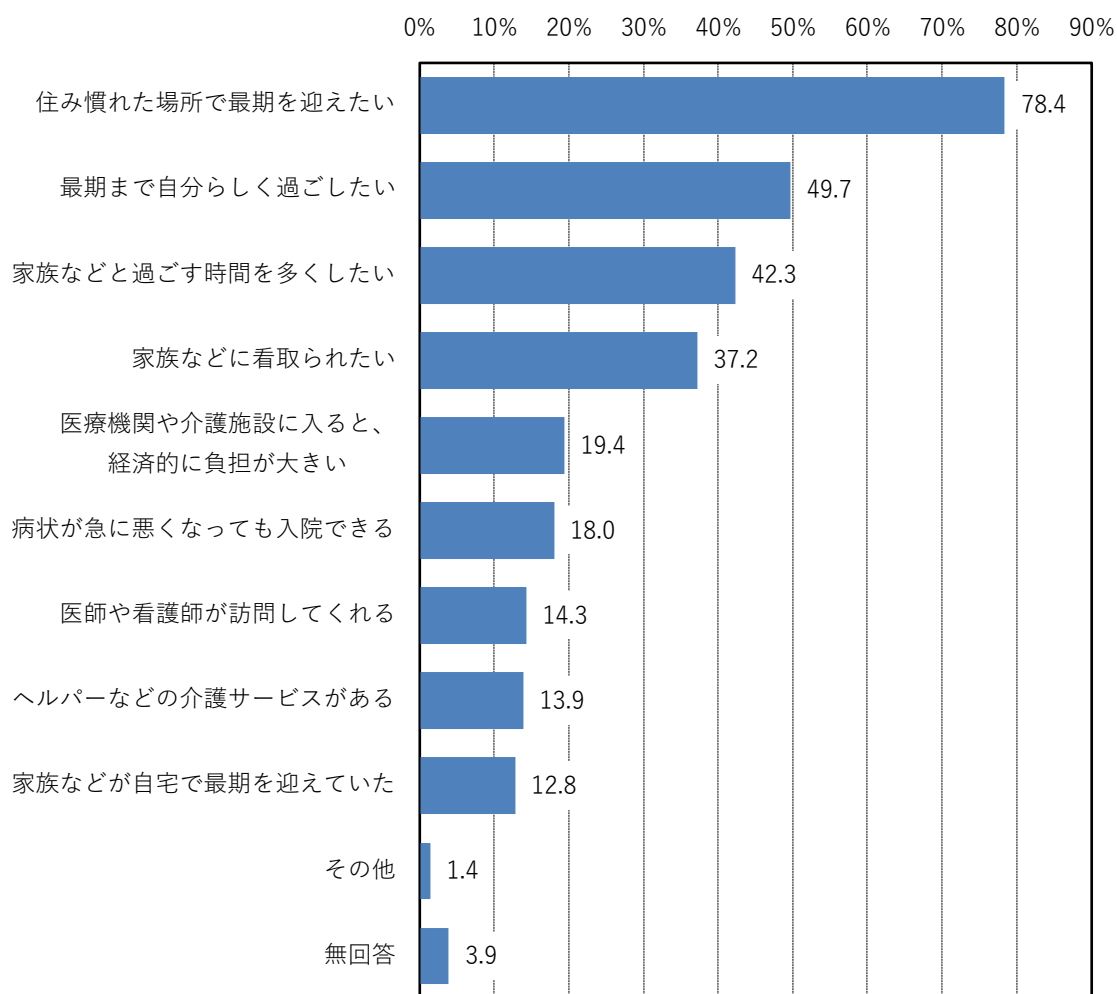
(2) 最期を迎える場として、どこが良いと考えますか



- 最期を迎える場として、どこが良いと考えますかとたずねたところ、「自宅」と回答した人の割合が最も高く、52.7%となっています。次いで、「医療機関（病院など）」（32.1%）、「介護施設（特別養護老人ホームなど）」（7.2%）と続いています。
- 圏域別にみると、「自宅」と回答した人の割合が最も高いのは「那珂湊中学校区」（56.3%）であり、最も低いのは「勝田第一中学校区」（49.6%）となっています。

【(2) において「1. 自宅」の方のみ】

(3) ①選んだ理由は次のどれですか（いくつでも）



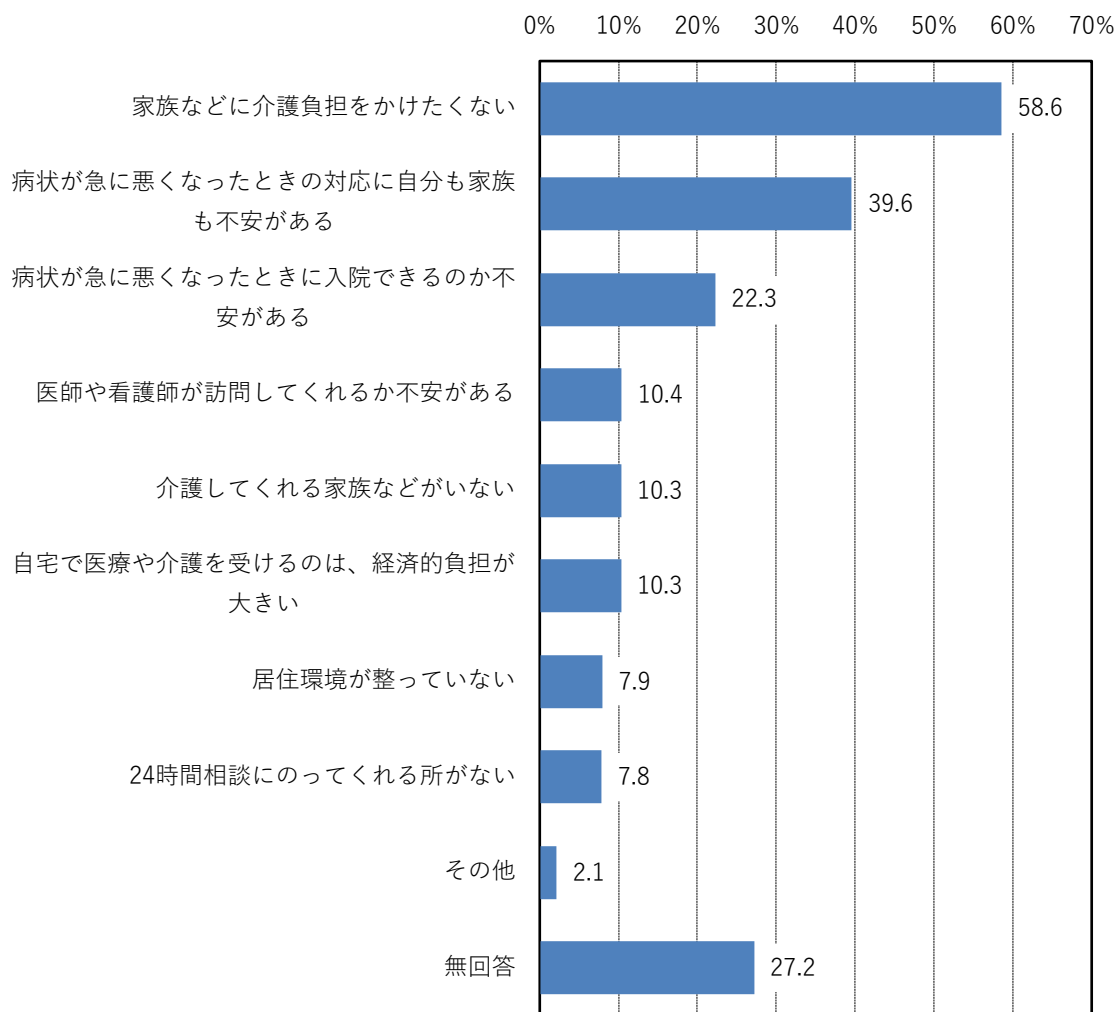
計：1682人

- 最期を迎える場として「自宅」が良いと考えた理由をたずねたところ、「住み慣れた場所で最期を迎えたい」と回答した人が最も多く、78.4%となっています。次いで、「最期まで自分らしく過ごしたい」（49.7%）、「家族などと過ごす時間を多くしたい」（42.3%）と続いています。



【(2) において「1. 自宅」以外の方のみ】

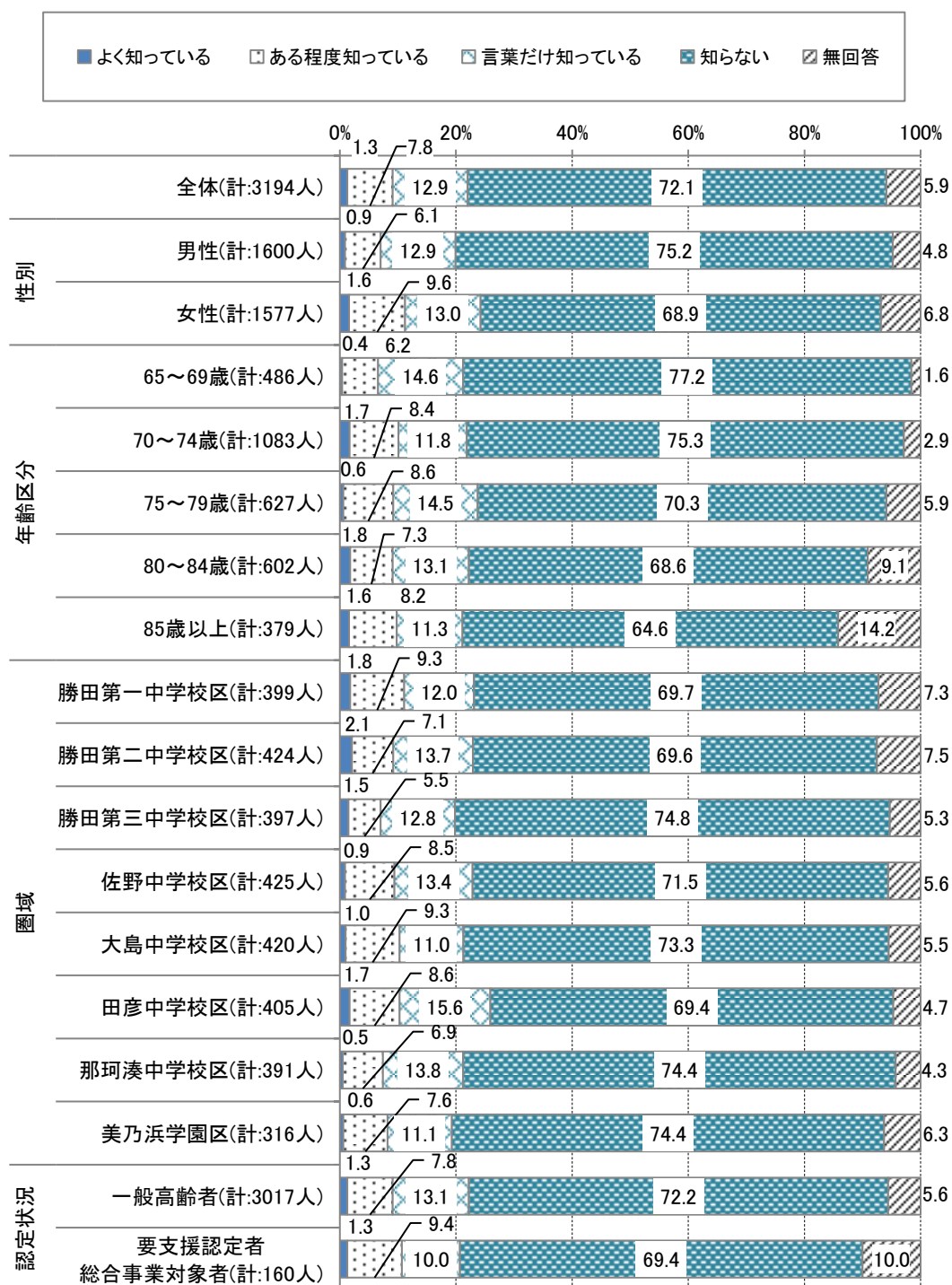
(3) ②選んだ理由は次のどれですか (いくつでも)



計：1371人

●最期を迎える場として「自宅以外」（「医療機関（病院など）」、「介護施設（特別養護老人ホームなど）」、「その他」）が良いと考えた理由をたずねたところ、「家族などに介護負担をかけたくない」と回答した人が最も多く、58.6%となっています。次いで、「病状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安がある」（39.6%）、「病状が急に悪くなったときに入院できるのか不安がある」（22.3%）と続いています。

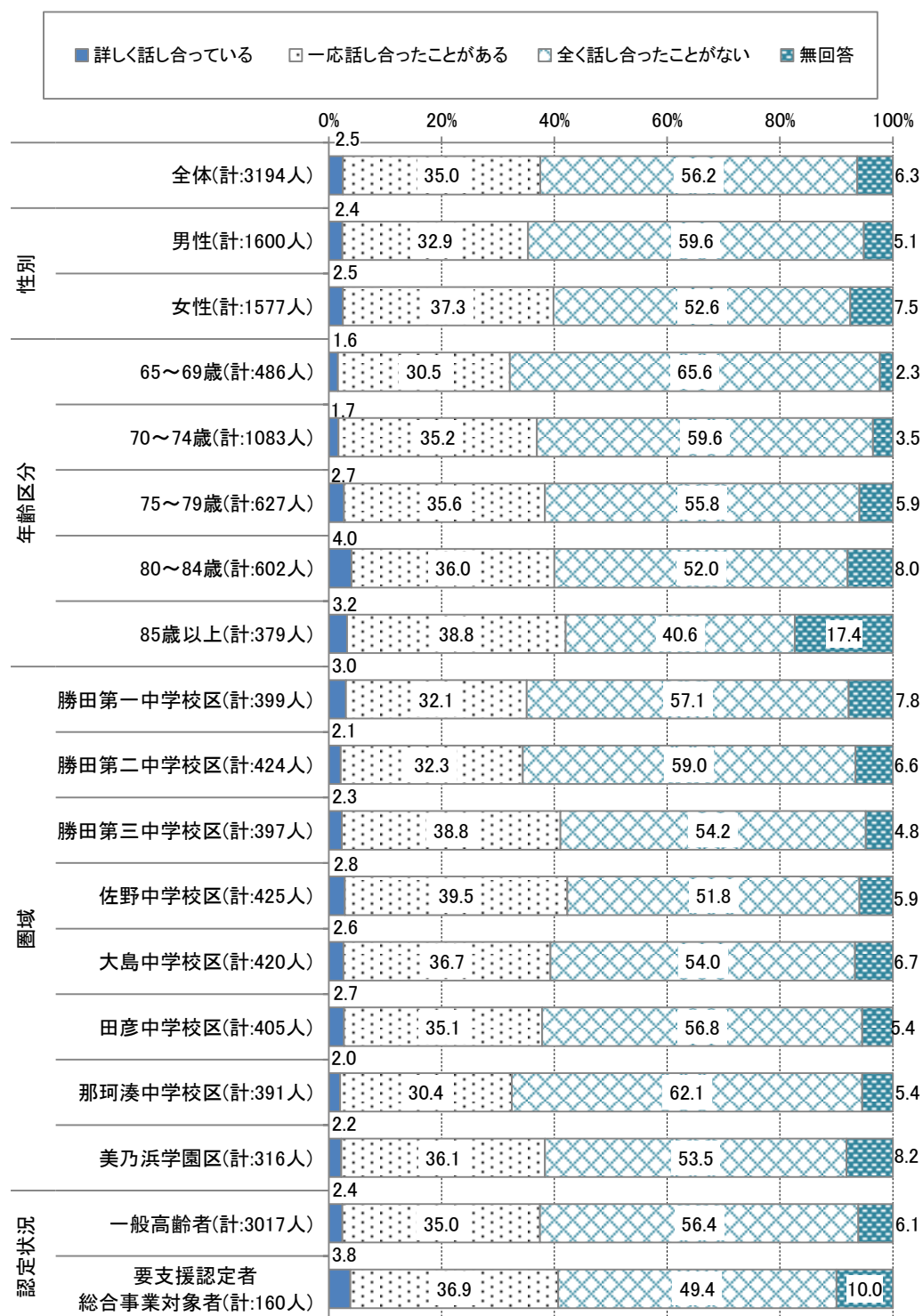
(4) もしものとき（自身の死が近い場合など）のために、受けたい医療や介護について前もって繰り返し話し合う取り組み（人生会議）を知っていますか



●もしものとき（自身の死が近い場合など）のために、受けたい医療や介護について前もって繰り返し話し合う取り組み（人生会議）を知っていますかとたずねたところ、「よく知っている」または「ある程度知っている」「言葉だけ知っている」と回答した人の割合は22.0%となっています。一方、「知らない」と回答した人の割合は72.1%となっています。

●圏域別にみると、「知らない」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第三中学校区」(74.8%)であり、最も低いのは「田彦中学校区」(69.4%)となっています。

(5) もしものときの受けたい医療や介護について、家族等とどれくらい話し合っていますか

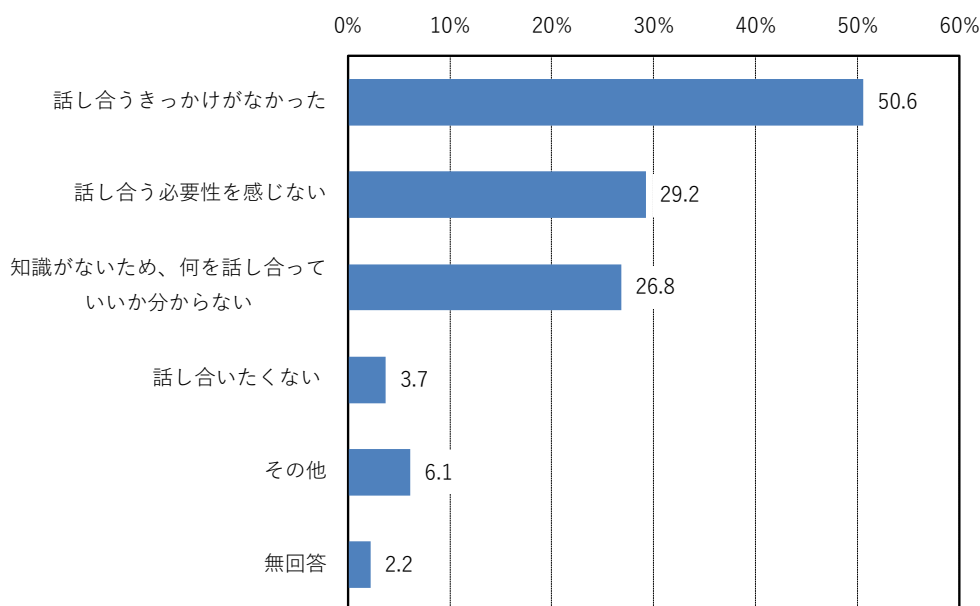


●もしものときの受けたい医療や介護について、家族等とどれくらい話し合っていますかとたずねたところ、「全く話し合ったことがない」と回答した人の割合が最も高く、56.2%となっています。次いで、「一応話し合ったことがある」(35.0%)、「詳しく話し合っている」(2.5%)と続いています。

●圏域別にみると、「全く話し合ったことがない」と回答した人の割合が最も高いのは「那珂湊中学校区」(62.1%)であり、最も低いのは「佐野中学校区」(51.8%)となっています。

【(5)において、「3. 全く話し合ったことがない」の方のみ】

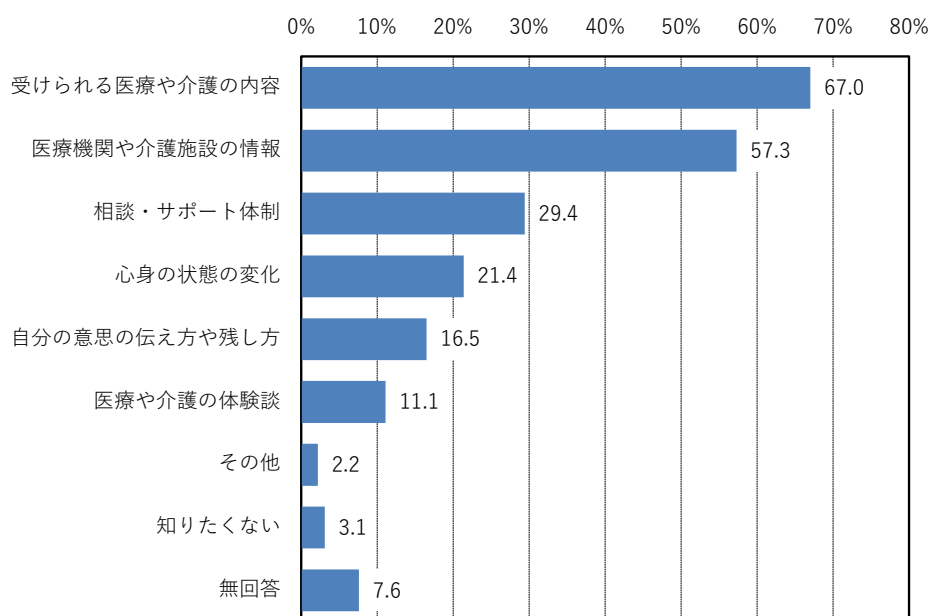
(6) 話し合ったことがない理由は、次のどれですか（いくつでも）



計：1795人

- もしものときの受けたい医療や介護について話し合ったことがない理由をたずねたところ、「話し合うきっかけがなかった」と回答した人が最も多く、50.6%となっています。次いで、「話し合う必要性を感じない」(29.2%)、「知識がないため、何を話し合ってもいいかわからない」(26.8%)と続いています。

(7) もしものときの受けたい医療や介護について考えるために、知りたい情報は次のどれですか（いくつでも）

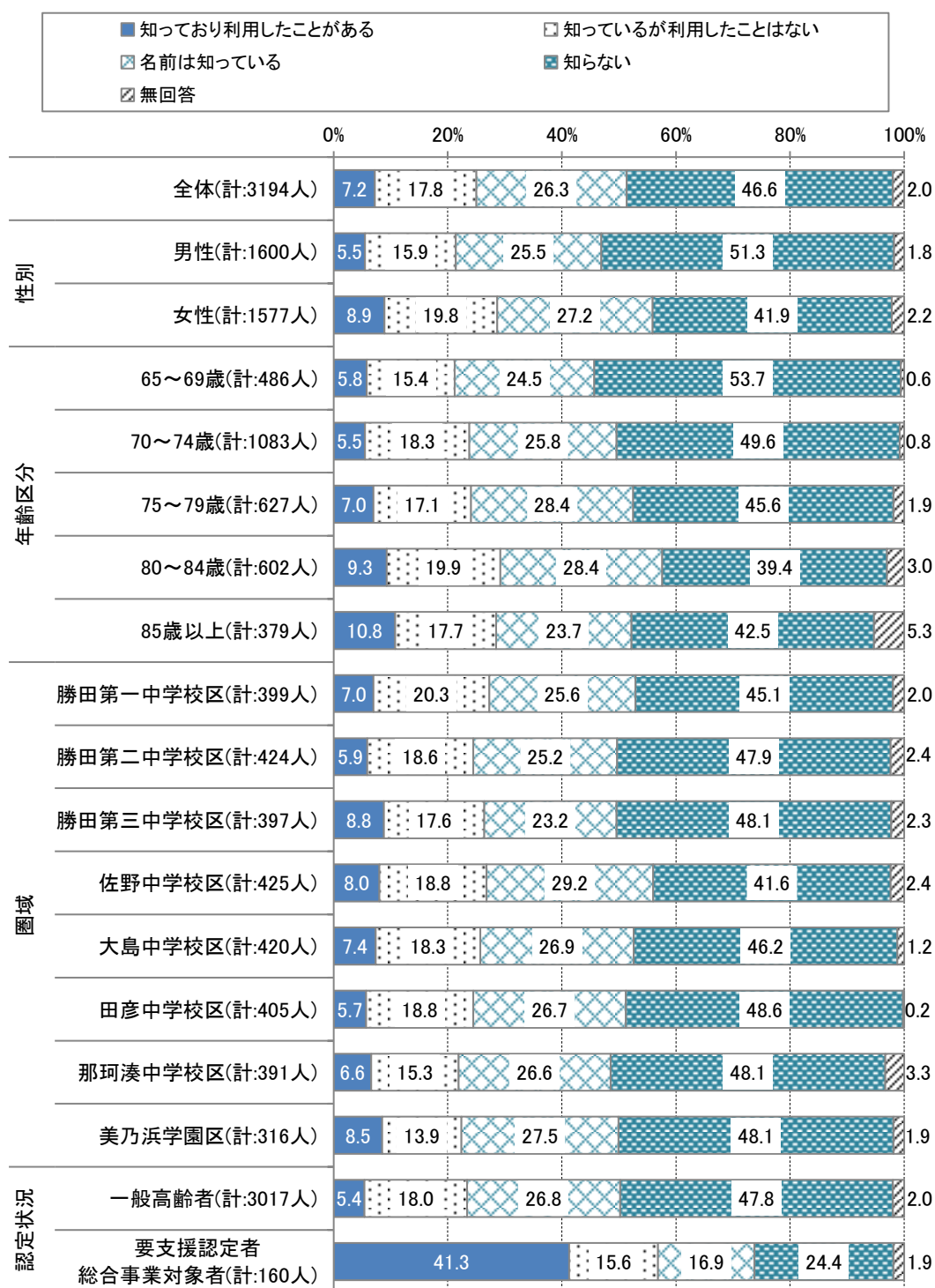


計：3194人

- もしものときの受けたい医療や介護について考えるために、知りたい情報をたずねたところ、「受けられる医療や介護の内容」と回答した人が最も多く、67.0%となっています。次いで、「医療機関や介護施設の情報」(57.3%)、「相談・サポート体制」(29.4%)と続いています。

# 問 10 地域包括支援センター（おとしより相談センター）について

(1) 市内にある高齢者の相談窓口「地域包括支援センター（おとしより相談センター）」を知っていますか



- 市内にある高齢者の相談窓口「地域包括支援センター（おとしより相談センター）」を知っていますかとたずねたところ、「知らない」と回答した人の割合が最も高く、46.6%となっています。次いで、「名前は知っている」（26.3%）、「知っているが利用したことはない」（17.8%）と続いています。
- 圏域別にみると、「知らない」と回答した人の割合が最も高いのは「田彦中学校区」（48.6%）であり、最も低いのは「佐野中学校区」（41.6%）となっています。

## 第4章 リスクの発生状況

### 1. 運動器の機能低下

#### (1) リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
①	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
②	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
③	15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
④	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
⑤	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

上記の設問のうち、3問以上該当する選択肢（上の表の網掛け箇所）が回答された場合、運動器機能の低下している高齢者と判定されます。

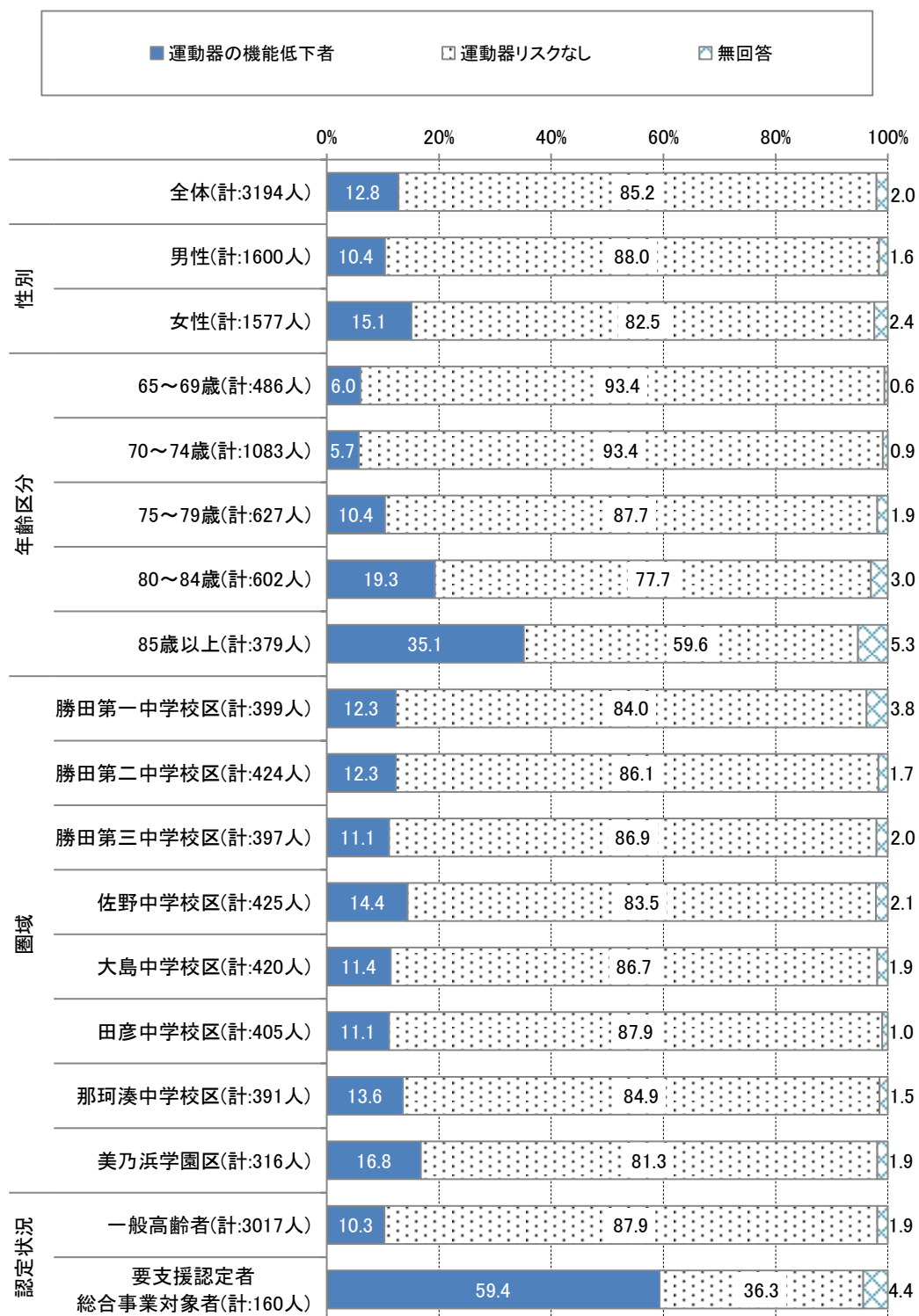
#### (2) リスク者の状況

「運動器」とは、身体を動かすために働く組織を指し、筋肉や骨、関節だけではなく、脳、脊髄、末梢神経、軟骨、椎間板も含まれます。様々な組織が連動することで私たちの身体が動くことから、どれかひとつの組織が欠けても歩行や日常生活活動に支障をきたしてしまいます。運動器の障害は要支援・要介護状態となる大きな要因の1つであることから、健康寿命を伸ばすためにも運動器の機能低下者を減らすことが大切です。

運動器の機能低下者の割合は男性(10.4%)よりも女性(15.1%)の方が高くなっています。  
 年齢区別にみると、おおむね年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高くなる傾向にあり、85歳以上では35.1%となっています。

圏域別にみると、運動機能低下者の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」であり、16.8%となっています。一方、運動機能低下者の割合が最も低いのは「勝田第三中学校区」と「田彦中学校区」であり、ともに11.1%となっています。

図表 1 運動機能の低下者の状況





## 2. 転倒リスク

### (1) リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
④	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

④で「1. 何度もある」または「2. 1度ある」の選択肢を回答された場合、転倒リスクのある高齢者と判定されます。

### (2) リスク者の状況

転倒リスク者は、運動器の機能低下リスク判定に用いた5つの設問のうち1設問の回答に基づき判定されるものであり、その意味においては運動器の機能低下リスクに内包された指標であるともいえますが、転倒経験があっても他の2設問に該当しない場合は運動器の機能低下者とはならないため、別途リスク者として独立した指標を定め分析することとします。

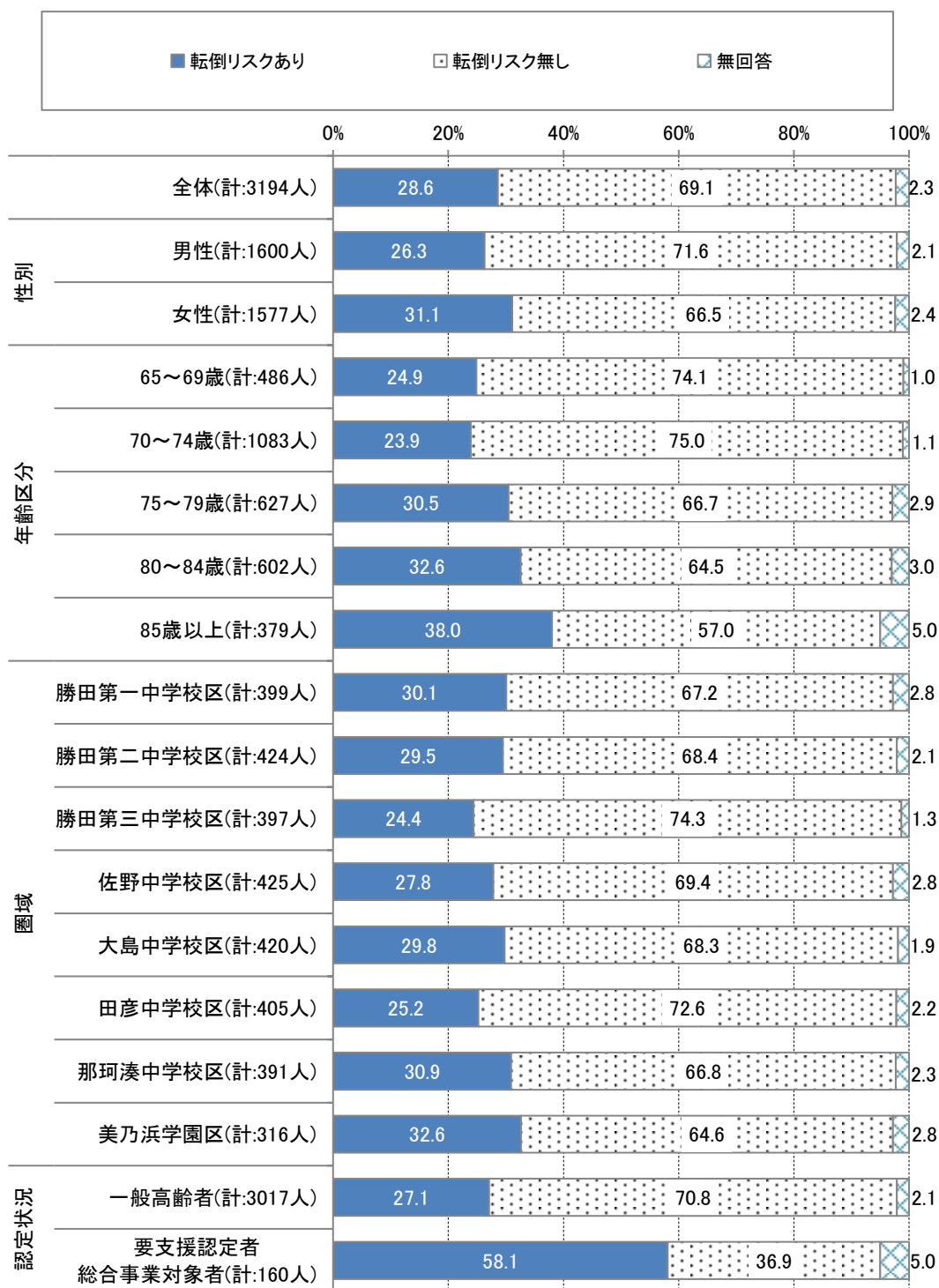
転倒の要因は、コードや段差につまずくなどの偶発的な環境要因と、歩行やバランス障害、筋力低下等による身体的な要因によるものです。従って、転倒リスク者の減少のためにはサルコペニア（加齢性筋肉減弱症）対策と併せて、自宅や施設のバリアフリー化、歩道の整備等の環境整備が必要となります。転倒リスク者を減じる取組は高齢者の転倒不安を軽減し、ひいては運動器の機能低下者を減らすことにつながります。

転倒リスク者（転倒経験のある人）の割合は男性が26.3%、女性が31.1%であり、女性の方が高くなっています。

年齢区分別にみると、おおむね年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高くなる傾向にあり、85歳以上では38.0%となっています。

圏域別にみると、転倒リスク者の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」であり、32.6%となっています。一方、転倒リスク者の割合が最も低いのは「勝田第三中学校区」であり、24.4%となっています。

図表 2 転倒リスク者の状況



### 3. 低栄養の傾向

#### (1) リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
⑥	身長・体重	( ) cm ( ) kg →BMI 18.5 以下
⑦	6 か月間で2～3 kg 以上の体重の減少はありましたか (オプション項目)	1. はい 2. いいえ

身長・体重から算出されるBMI (体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)}) が 18.5 以下の場合、低栄養が疑われる高齢者になります。

低栄養状態を確認する場合は国が示す必須項目 (身長・体重を問う設問) では不十分であるため、本市では、別途示されたオプション項目 (⑦) を追加して調査しました。

#### (2) 低栄養の傾向に係る考察

低栄養のリスク者割合は全体平均で 1.1% となっており、他のリスク判定と比べればリスク者の割合は低いことが分かります。

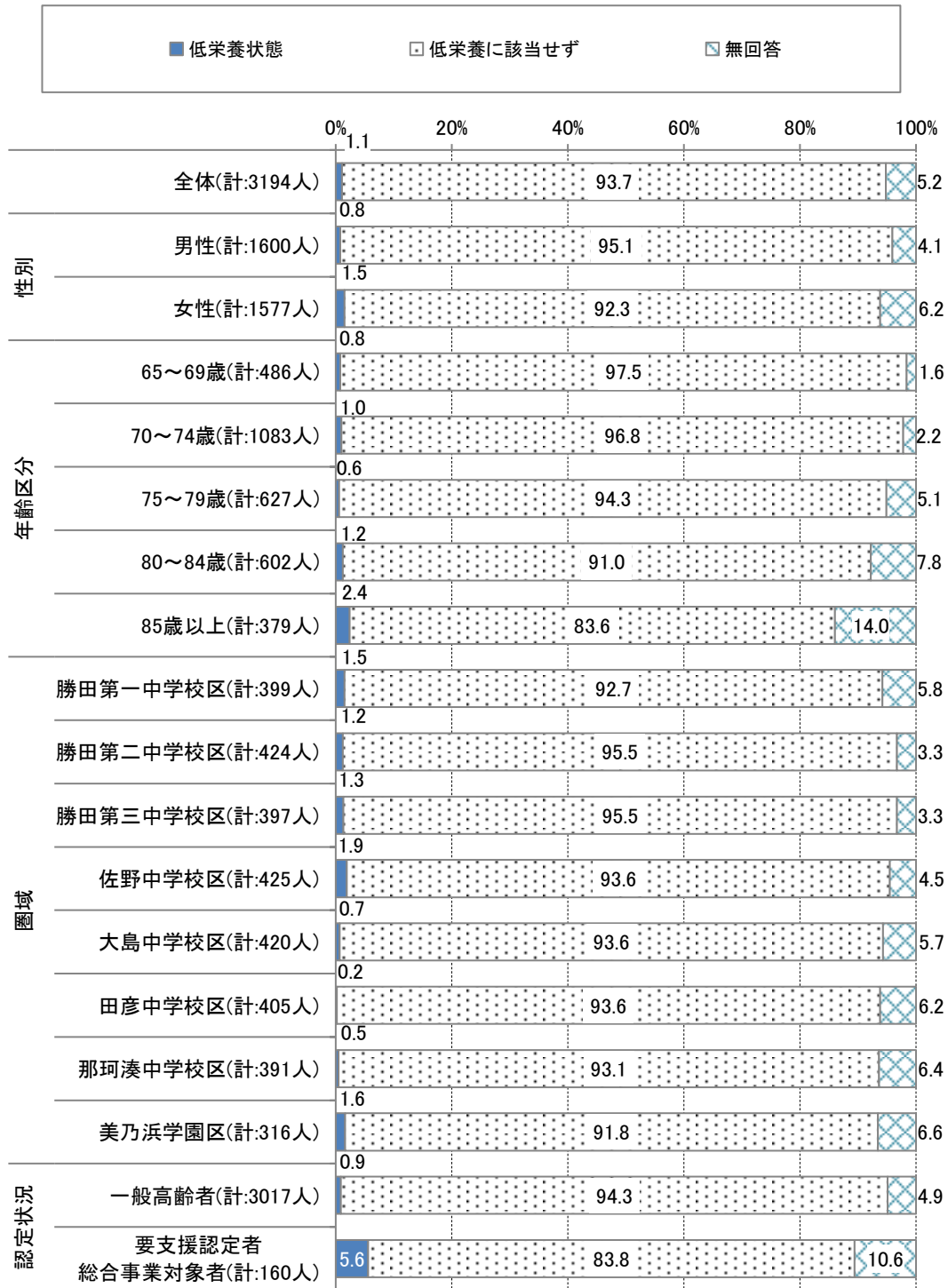
低栄養の判定には現在の身長及び体重を記入していただく必要があり、他の設問と比べて無回答が多くなる傾向にあります。無回答がある場合は判定不能となります。調査結果からは低栄養のリスク者の割合は低いようにみえますが、判定不能者の中に潜在的なリスク者が存在していることも否めません。よりきめ細やかな分析をするためには、個別の追跡調査が必要となります。

低栄養のリスク者の割合は男性が 0.8%、女性が 1.5% であり、女性の方が高くなっています。

年齢区分別にみると、85 歳以上が最も高く 2.4% となっています。

圏域別にみると、佐野中学校区のリスク者の割合は 1.9% と最も高くなっています。

図表 3 低栄養のリスク者の状況



## 4. 口腔機能の低下

### (1) リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
⑧	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
⑨	お茶や汁物等でむせることがありますか (オプション項目)	1. はい 2. いいえ

⑧で「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、咀嚼機能の低下が疑われる高齢者になります。

口腔機能の低下を確認する場合は国が示す必須項目(⑧)のみでは不十分であるため、本市では、別途示されたオプション項目(⑨)を追加して調査しました。

嚥下機能の低下を把握する「お茶や汁物等でむせることがありますか」と併せ、⑧～⑨のどちらにも該当した場合は、口腔機能が低下している高齢者と判定されます。

### (2) 口腔機能の低下に係る考察

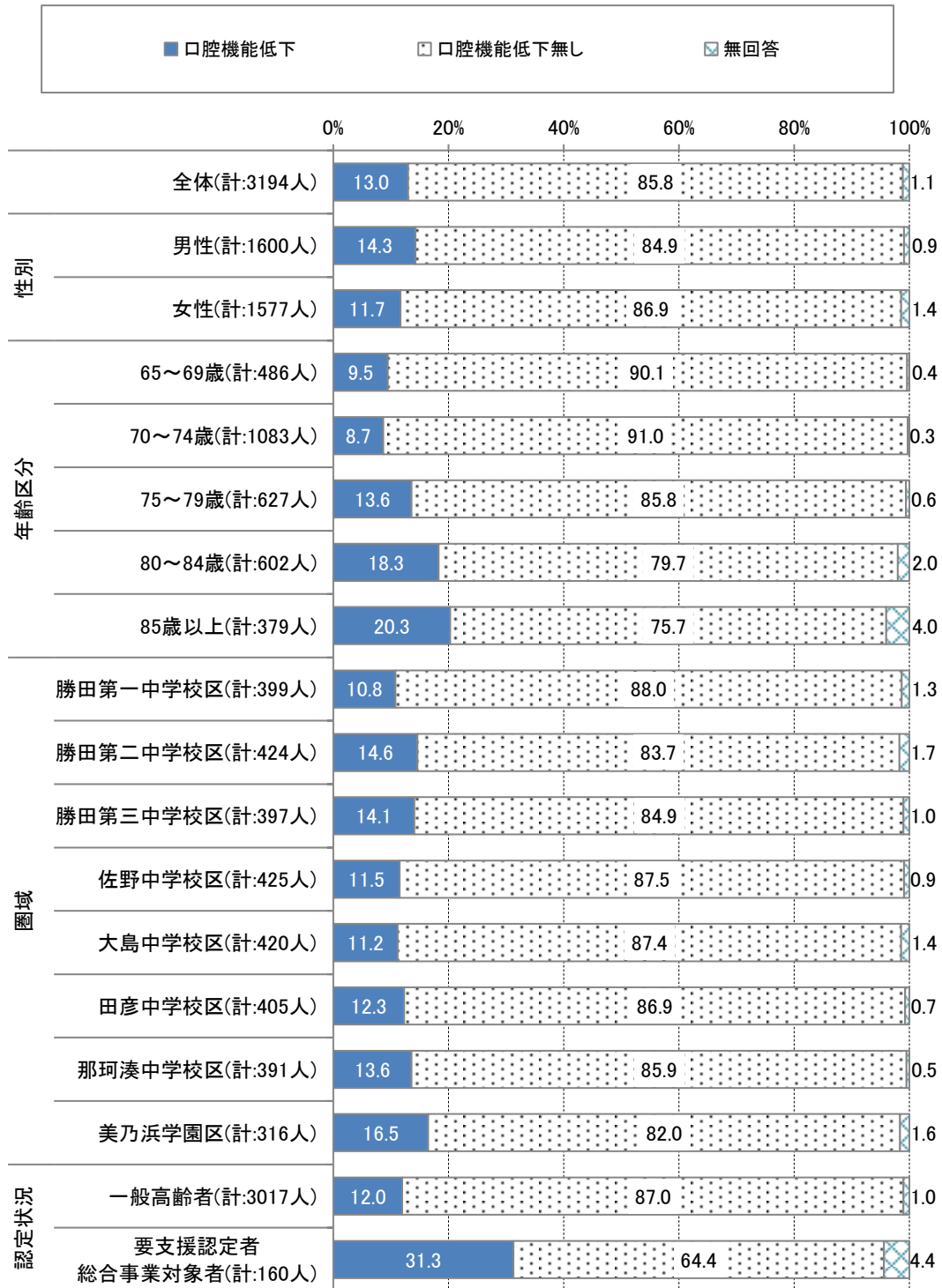
口腔機能の低下によって食事のバランスが悪くなり、運動機能や生理機能を正常に保つことが困難になるだけでなく、糖尿病や高血圧といった生活習慣病の発症や重症化のリスクが高くなると推察されています。

口腔機能低下のリスク者割合は全体で13.0%となっています。男性が14.3%、女性が11.7%で男性の方が高くなっています。

年齢区分別にみると、おおむね年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高くなる傾向にあり、85歳以上では20.3%となっています。

日常生活圏域別にみると、美乃浜学園区のリスク者の割合が16.5%と最も高くなっています。

図表 4 口腔機能低下のリスク者の状況



## 5. 閉じこもり傾向

### (1) リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
①	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

⑥で「1. ほとんど外出しない」または「2. 週1回」の選択肢が回答された場合は、閉じこもり傾向のある高齢者と判定されます。

### (2) リスク者の状況

上記に記しているとおり、本調査において閉じこもり傾向の高齢者とは、外出頻度が週に1回以下であることです。

外出頻度が低下する要因は数多く考えられます。そもそも、外出する目的が無ければ無理に自宅の外に出る必要性も無く、現に自宅内で穏やかに過ごすことを好む高齢者も多くいらっしゃいます。しかしながら、一般的に閉じこもり状態が長くなることで、人との交流が減り、うつ傾向になったり、認知機能が低下したりすると考えられています。運動器の機能低下や転倒リスク、低栄養と閉じこもりは関連があると言われていたことから、他のリスク者の割合を低減するためにも外出頻度を増やし閉じこもり傾向のある高齢者を減らすことが大切です。

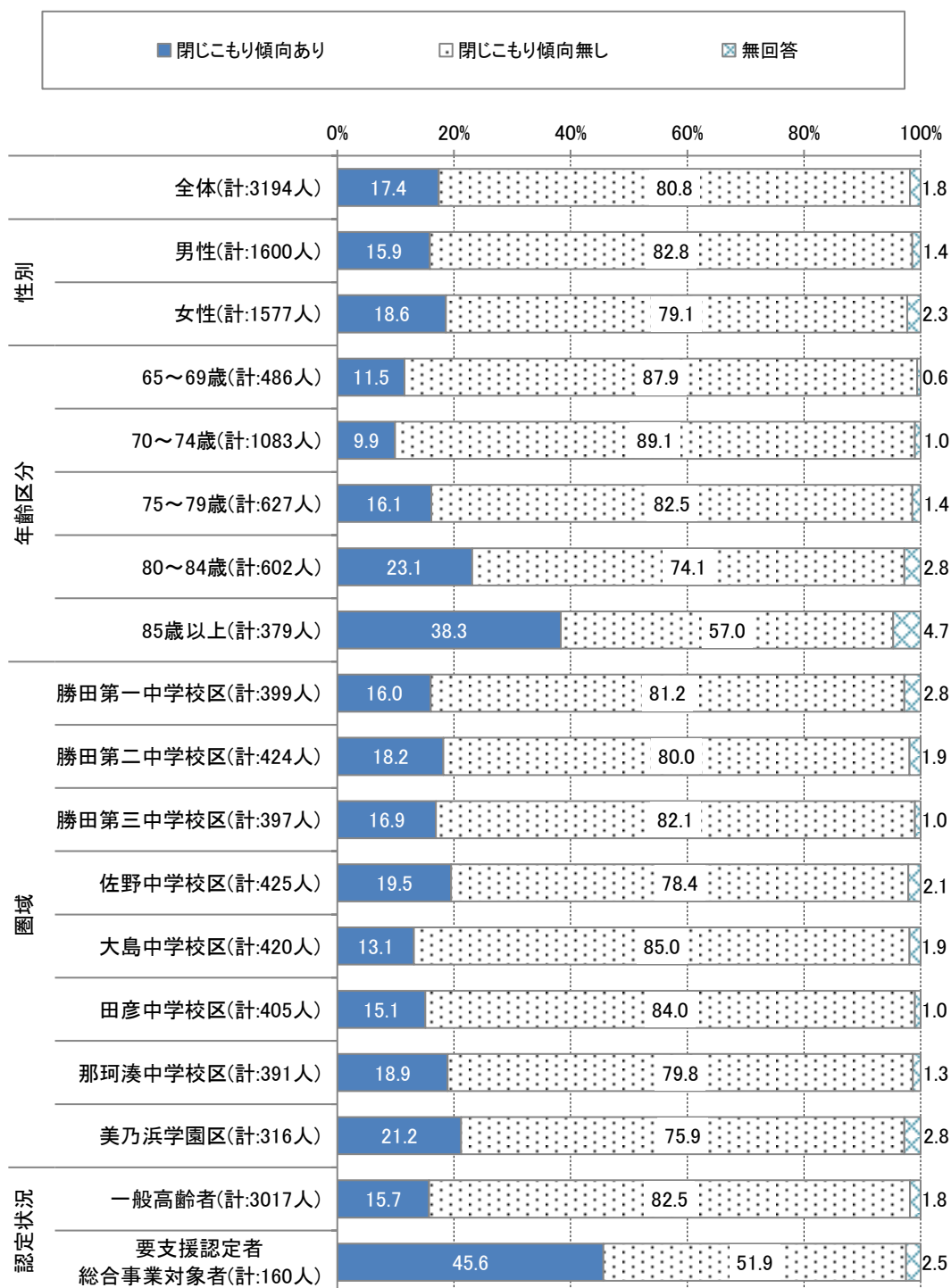
閉じこもり傾向となる要因は、「身体的要因」の他、「心理的要因」「社会・環境要因」が考えられます。「身体的要因」については運動器の機能低下者や転倒リスク者の割合を低減する取組によってある程度取り除くことが可能ですが、「心理的要因」及び「社会・環境要因」は家庭や地域で役割を持ち、積極的に地域に関わることで、高齢者が自然に地域と関われる環境づくり等、それぞれ特有の取組が必要となります。

閉じこもり傾向のある高齢者は、男性が15.9%、女性が18.6%となっており、男性に比べて女性が高くなっています。

年齢区別にみると、おおむね年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高くなる傾向にあり、85歳以上では38.3%となっています。

圏域別にみると、閉じこもり傾向のある高齢者の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」であり、21.2%となっています。一方、閉じこもり傾向のある高齢者の割合が最も低いのは「大島中学校区」であり、13.1%となっています。

図表 5 閉じこもりリスク者の状況





## 6. 認知機能の低下

### (1) リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
⑫	物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ

⑦で「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、認知機能の低下がみられる高齢者と判定されます。

### (2) リスク者の状況

認知症を引き起こす原因疾患は多数存在しますが、認知症が進行する最大の原因は加齢です。今後、いわゆる団塊の世代が後期高齢者に移行することで、認知症の高齢者の数は増加することが見込まれています。

認知症（特にアルツハイマー病）による症状が出現する十数年前から脳内ではタンパク質の異常な蓄積が既に始まっており、認知症と診断される時期には相当の神経細胞が機能不全に陥っていると考えられています。従って、明らかな認知症を発症した時点では予防対策は極めて困難といえます。

認知症を予防するためには、その前段階とされる「軽度認知機能障害」(MCI)の時期で認知機能低下を抑制する方法が現時点では最も効果的であると考えられています。MCIの診断では、記憶障害の有無とそのほかの認知機能障害の有無でタイプ分けされます。記憶障害がある場合は「健忘型MCI」、注意などに障害がある場合は「非健忘型MCI」に分類され、さらに単一または複数の機能障害の有無によって「単一領域」と「多重領域」へと細分化されます。

本調査では、「物忘れが多いと感じますか」という設問に「1. はい」と回答した人の割合を認知機能の低下リスク有りとして判定していますが、単なる「物忘れ」は加齢に伴い生じる自然な現象であり、認知症とは異なります。

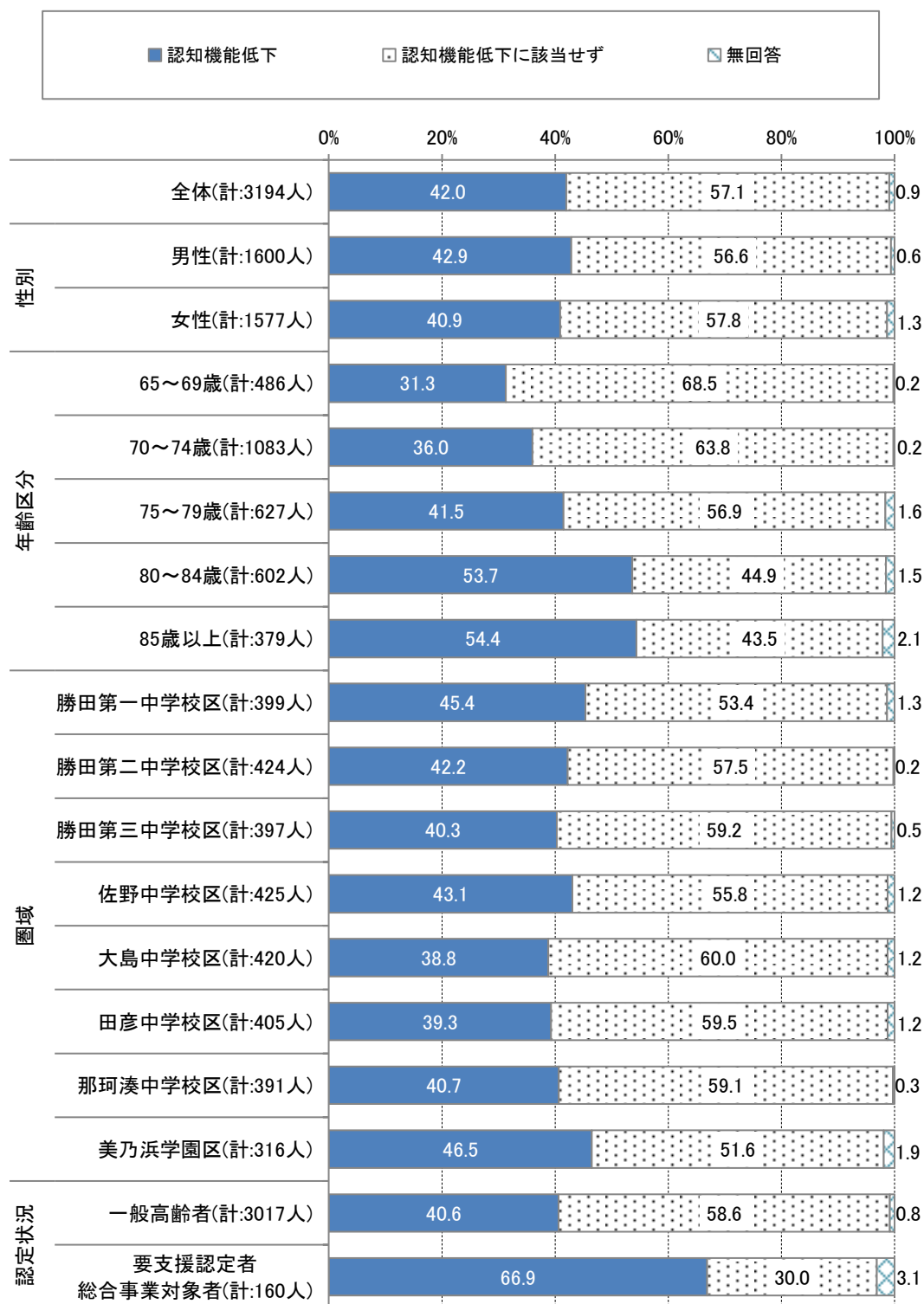
軽度認知障害を放置しておくと将来的に症状が悪化する可能性が非常に高く、軽度認知障害と診断された高齢者のうち、約半分が認知症になると言われています。

認知機能低下者の出現率は男性(42.9%)と女性(40.9%)でほとんど差異はありませんが、男性の方が女性に比べてわずかに認知機能低下者の出現率が高くなっています。

年齢区分別にみると、年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高くなる傾向にあり、85歳以上では54.4%となっています。

圏域別にみると、認知機能低下者の出現率が最も高いのは「美乃浜学園区」であり、46.5%となっています。一方、認知機能低下者の出現率が最も低いのは「大島中学校区」であり、38.8%となっています。

図表 6 認知機能の低下リスク者の状況



## 7. うつ傾向

### (1) リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
⑬	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
⑭	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

⑧、⑨でいずれか1つでも「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、うつ傾向の高齢者と判定されます。

### (2) リスク者の状況

「うつ」は、気分が落ち込んだり何事にも興味を持てなくなったりすることに強い苦痛を感じ、日常生活の支障をきたすまでになった状態です。高齢者は、身体的にも社会的にも喪失に関連した様々なストレスを感じる人が多いことから、うつ状態になりやすいと考えられます。うつ状態が強くなると身体の状態にも影響することから、高齢者のうつ対策は介護予防のためにも重要です。

大うつ病診断基準 DSM-IV によると、うつ病の診断基準は下記ようになります。

以下の症状のうち、少なくとも1つある。

- |          |               |
|----------|---------------|
| 1. 抑うつ気分 | 2. 興味または喜びの喪失 |
|----------|---------------|

さらに、以下の症状を併せて、合計で5つ以上が認められる。

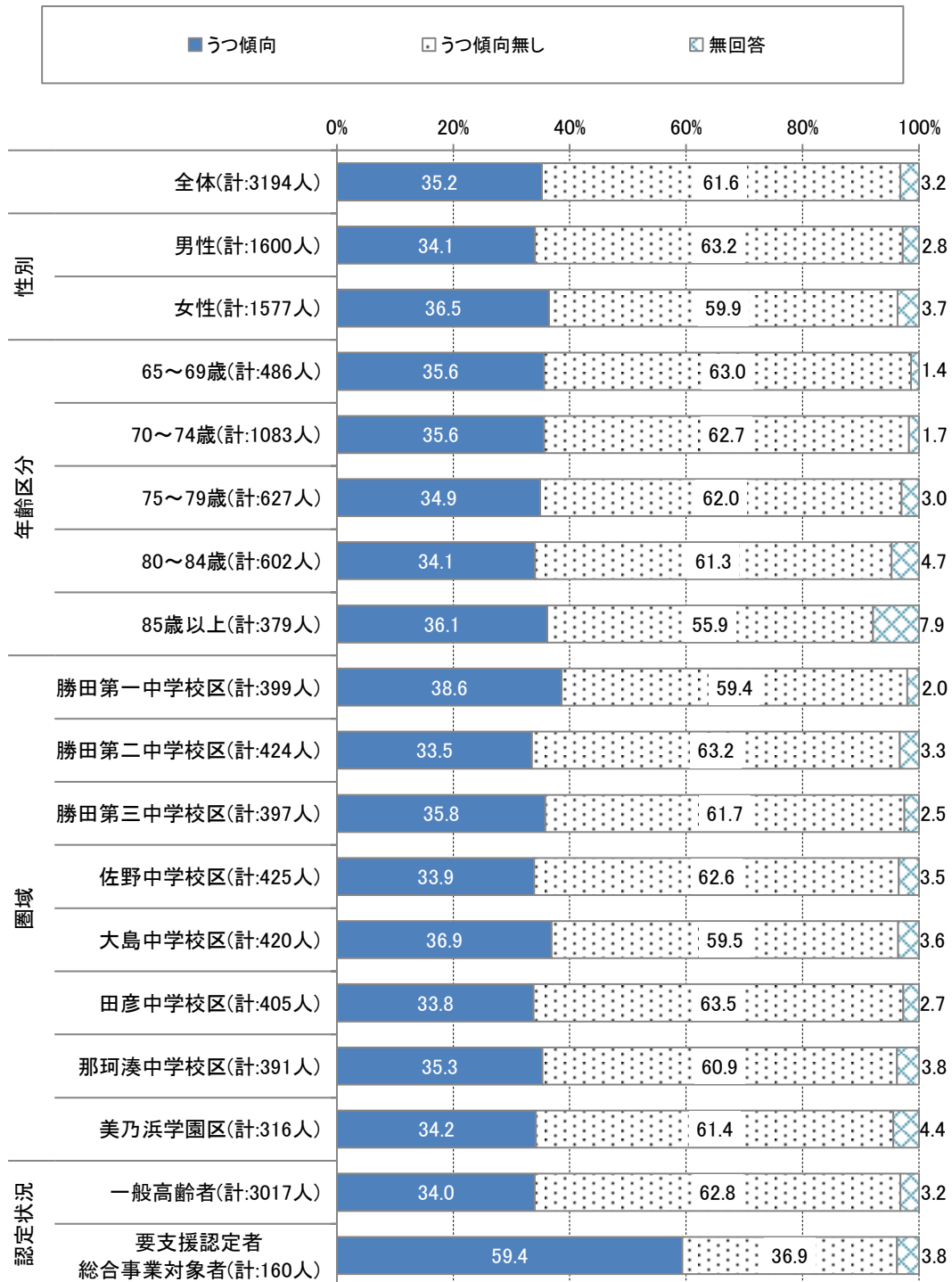
- |  |
|--|
| 3. 食欲の減退あるいは増加、体重の減少あるいは増加<br>4. 不眠あるいは睡眠過多<br>5. 精神運動性の焦燥または制止(沈滞)<br>6. 易疲労感または気力の減退<br>7. 無価値感または過剰(不適切)な罪責感<br>8. 思考力や集中力の減退または決断困難<br>9. 死についての反復思考、自殺念慮、自殺企図 |
|--|

これらの症状がほとんど1日中、ほとんど毎日あり2週間にわたっている症状のために著しい苦痛または社会的、職業的、または他の重要な領域における機能障害を引き起こしている。これらの症状は一般身体疾患や物質依存(薬物またはアルコールなど)では説明できない。

本調査において「うつ傾向」のリスク判定は、上に挙げた大うつ病診断基準 DSM-IVのうち、「1. 抑うつ気分」及び「2. 興味または喜びの喪失」に相当する質問の回答のみに基づいています。よって、本調査による判定結果と「うつ病」は同一視することができません。

うつ傾向がある人の割合は男性（34.1%）よりも女性（36.5%）の方が高くなっています。年齢区分別にみると、年齢層による差はほとんどみられません。圏域別にみると、うつ傾向がある人の割合が最も高いのは「勝田第一中学校区」であり、38.6%となっています。一方、うつ傾向がある人の割合が最も低いのは「勝田第二中学校区」であり、33.5%となっています。

図表 6 うつ傾向リスク者の状況



## 8. IADLの低下

### (1) IADLの判定方法

No.	設問内容	選択肢
⑮	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
⑪	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
⑫	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
⑬	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
⑭	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

上記設問で、「1. できるし、している」「2. できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点でIADLを評価します(5点を「1. 高い」、4点を「2. やや低い」、3点以下を「3. 低い」とします)。

※ IADLとは

IADL (Instrumental Activities of Daily Living) とは、「手段的日常生活動作」とも言われ、電話の使い方、買い物、家事、移動、外出、服薬の管理、金銭の管理など、日常生活動作ではとらえられない高次の生活機能の水準を測定するもの。

### (2) IADLの状況

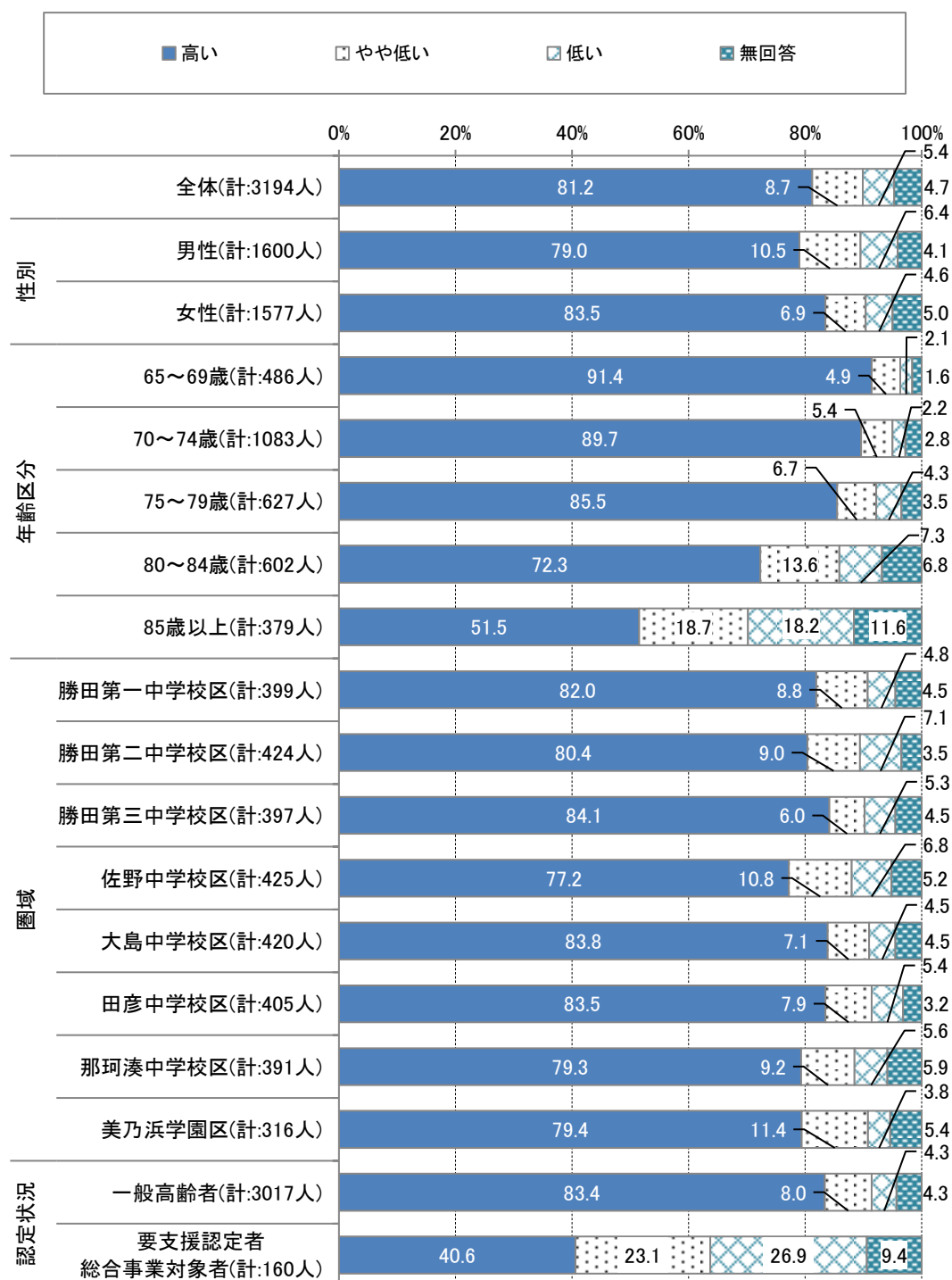
IADLが「高い」(5点)人の割合は男性が79.0%、女性が83.5%であり、男性に比べて女性の方が、IADLが「高い」人の割合が高くなっています。

年齢区分別にみると、年齢階層が高くなるにつれてIADLが「低い」又は「やや低い」人の割合が高くなる傾向にあり、85歳以上では36.9%となっています。

圏域別にみると、IADLが「低い」又は「やや低い」人の割合が最も高いのは「佐野中学

校区」であり、17.6%となっています。一方、IADLが「低い」又は「やや低い」人の割合が最も低いのは「勝田第三中学校区」であり、11.3%となっています。

図表 7 IADL の状況



# 第5章 日常生活圏域に関する分析

## 1. 本市における日常生活圏域について

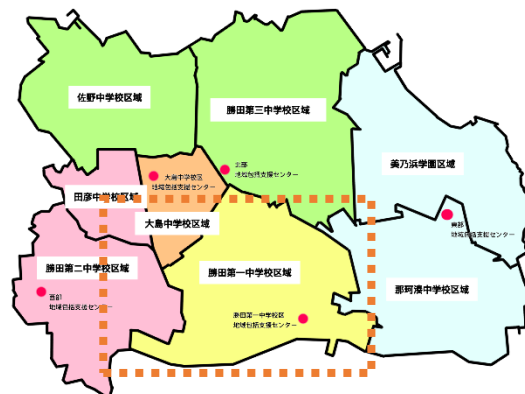
本市では、中学校区を単位として、コミュニティセンターが整備されるとともに、地域住民のまちづくりやコミュニティ活動が行われています。また、コミュニティ組織や民生委員児童委員協議会も概ね中学校区を単位としてきたことから、本市における日常生活圏域の設定については、中学校区を単位としています。



## 2. 日常生活圏域についての分析

### (1) 勝田第一中学校区域

本市の中心部にあたり、常磐線勝田駅の東側を商店街が縦横に走り、その中に大型店舗が立地しています。近年、石川運動広場周辺を中心にマンションの建設が相次いでいます。区域の北東部には昭和 40～50 年代に造成された住宅団地があり、区域の南部は農業的土地利用が比較的多くなっています。



### 【圏域の傾向】

- 前期高齢者が 48.1%、後期高齢者が 51.9%と、後期高齢者の割合が上回っています。
- 家族構成では、1人暮らし、息子・娘との 2 世帯の割合が高くなっています。
- 自身の健康状態では、とてもよい、まあよいの割合の合計値は、79.7%と市全体より低くなっています。
- 現在の幸福感では、7点～10点の割合の合計値は 59.6%と市全体より低くなっています。
- 経済状況では、大変苦しい、やや苦しいの割合の合計値が 24.5%と市全体より低くなっています。
- リスク判定では、転倒、低栄養、認知症、うつで市の平均より高い該当率を示しています。
- 社会参加では、ボランティアや介護予防のための通いの場に参加している割合は市全体より高くなっています。地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合が高くなっています。また、地域づくりへの企画・運営として参加する意向のある高齢者の割合が高くなっています。
- 外出する手段では、自動車（人に乗せてもらう）の割合が高くなっています。
- 外出において困っていることは、通院、買物、家族や友人との交流の割合が高くなっています。
- 買物で困っていることは、家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けないの割合が高くなっています。
- 将来利用したい買物支援サービスは、移動販売、弁当配達サービスの割合が高くなっています。



■介護予防・日常生活圏域二一ズ調査による分析結果

(単位：%)

項目		市全体	圏域
年齢	前期高齢者の割合	49.1	48.1
	後期高齢者の割合	50.3	<b>51.9</b>
家族構成	ひとり暮らしの割合	15.1	<b>16.8</b>
	夫婦2人暮らしの割合	47.3	46.1
	息子・娘との2世帯の割合	18.9	<b>19.0</b>
健康観等	主観的健康観の高い高齢者の割合	81.1	79.7
	主観的幸福感の高い(7点~10点)高齢者の割合	61.1	59.6
	経済状況で苦しいと回答した人の割合	25.6	24.5
リスク判定	運動器機能リスク高齢者の割合	12.8	12.3
	転倒リスク高齢者の割合	28.6	<b>30.1</b>
	低栄養リスク高齢者の割合	1.1	<b>1.5</b>
	口腔機能リスク高齢者の割合	13.0	10.8
	閉じこもりリスク高齢者の割合	17.4	16.0
	認知症リスク高齢者の割合	42.0	<b>45.4</b>
	うつリスク高齢者の割合	35.2	<b>38.6</b>
	IADLが低い高齢者の割合	14.1	13.6
社会参加	ボランティアのグループに参加している高齢者の割合	12.7	<b>14.1</b>
	スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	21.6	<b>24.6</b>
	趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	24.0	<b>24.4</b>
	学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	7.8	6.8
	介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合	6.5	<b>7.9</b>
	収入のある仕事をしている高齢者の割合	18.0	16.1
	地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	40.8	<b>43.6</b>
	地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	20.7	<b>22.1</b>
外出手段	自動車(自分で運転)	66.1	63.7
	徒歩	42.8	41.9
	自動車(人に乗せてもらう)	26.3	<b>27.3</b>
困る外出こと	通院	39.7	<b>40.0</b>
	買物	35.7	<b>36.5</b>
	家族や友人との交流	13.2	<b>13.9</b>
困る買物こと	家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない	10.7	<b>11.8</b>
	徒歩圏内にお店がない	9.2	8.8
	購入した商品を持って帰るのが難しい	6.5	6.3
買物支援したい	宅配サービス	34.0	32.8
	移動販売	20.5	<b>23.1</b>
	弁当配達サービス	19.9	<b>20.3</b>



■介護予防・日常生活圏域二一ズ調査による分析結果

(単位：%)

項目		市全体	圏域
年齢	前期高齢者の割合	49.1	48.6
	後期高齢者の割合	50.3	<b>51.4</b>
家族構成	ひとり暮らしの割合	15.1	13.4
	夫婦2人暮らしの割合	47.3	<b>48.8</b>
	息子・娘との2世帯の割合	18.9	<b>19.3</b>
健康観等	主観的健康観の高い高齢者の割合	81.1	<b>82.3</b>
	主観的幸福感の高い(7点~10点)高齢者の割合	61.1	<b>61.8</b>
	経済状況で苦しいと回答した人の割合	25.6	19.1
リスク判定	運動器機能リスク高齢者の割合	12.8	12.3
	転倒リスク高齢者の割合	28.6	<b>29.5</b>
	低栄養リスク高齢者の割合	1.1	<b>1.2</b>
	口腔機能リスク高齢者の割合	13.0	<b>14.6</b>
	閉じこもりリスク高齢者の割合	17.4	<b>18.2</b>
	認知症リスク高齢者の割合	42.0	<b>42.2</b>
	うつリスク高齢者の割合	35.2	33.5
	IADLが低い高齢者の割合	14.1	<b>16.1</b>
社会参加	ボランティアのグループに参加している高齢者の割合	12.7	<b>13.2</b>
	スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	21.6	<b>21.8</b>
	趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	24.0	<b>25.9</b>
	学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	7.8	<b>8.3</b>
	介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合	6.5	<b>7.2</b>
	収入のある仕事をしている高齢者の割合	18.0	16.8
	地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	40.8	<b>44.3</b>
	地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	20.7	<b>22.4</b>
外出手段	自動車(自分で運転)	66.1	<b>66.7</b>
	徒歩	42.8	40.6
	自動車(人に乗せてもらう)	26.3	<b>28.5</b>
困る外出こと	通院	39.7	36.0
	買物	35.7	31.0
	家族や友人との交流	13.2	11.0
困る買物こと	家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない	10.7	9.4
	徒歩圏内にお店がない	9.2	8.5
	車や自転車の運転に不安がある	5.9	5.4
買物支援したい	宅配サービス	34.0	<b>34.7</b>
	移動販売	20.5	19.6
	弁当配達サービス	19.9	18.2

### (3) 勝田第三中学校区

本市北東の臨海部に位置し、常陸那珂港区や国営ひたち海浜公園、常陸那珂工業団地等からなる「ひたちなか地区」と市街化調整区域による農業的土地利用が大半を占めています。県道馬渡瓜連線西側の市街化区域では、第2工業団地を取り巻くように昭和40～50年代に造成された住宅団地が点在するとともに、土地区画整理事業が進められています。



#### 【圏域の傾向】

- 前期高齢者が49.9%、後期高齢者が50.1%と、後期高齢者の割合が上回っています。
- 家族構成では、ひとり暮らし、夫婦2人暮らしの割合が高くなっています。
- 自身の健康状態では、とてもよい、まあよいの割合の合計値は、82.9%と市全体より高くなっています。
- 現在の幸福感では、7点～10点の割合の合計値は61.5%と市全体より高くなっています。
- 経済状況では、大変苦しい、やや苦しいの割合の合計値が28.2%と市全体より高くなっています。
- リスク判定では、低栄養、口腔、うつで市の平均より高い該当率を示しています。
- 社会参加では、ボランティアに参加している割合は市全体より低くなっています。収入のある仕事をしている割合は市より高くなっています。地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合が低くなっています。また、地域づくりへの企画・運営として参加する意向のある高齢者の割合が高くなっています。
- 外出する手段では、自動車（自分で運転）の割合が高くなっています。
- 外出において困っていることは、通院、買物、家族や友人との交流の割合が高く、他の地域に比べて困っていると回答した割合が高くなっています。
- 買物で困っていることは、徒歩圏内にお店がない、購入した商品を持って帰るのが難しいの割合が高くなっています。
- 将来利用したい買物支援サービスは、宅配サービス、弁当配達サービス、移動販売の割合が高くなっています。

■介護予防・日常生活圏域二一ズ調査による分析結果

(単位：%)

項目		市全体	圏域
年齢	前期高齢者の割合	49.1	<b>49.9</b>
	後期高齢者の割合	50.3	50.1
家族構成	ひとり暮らしの割合	15.1	<b>16.1</b>
	夫婦2人暮らしの割合	47.3	<b>49.7</b>
	息子・娘との2世帯の割合	18.9	17.6
健康観等	主観的健康観の高い高齢者の割合	81.1	<b>82.9</b>
	主観的幸福感の高い(7点~10点)高齢者の割合	61.1	<b>61.5</b>
	経済状況で苦しいと回答した人の割合	25.6	<b>28.2</b>
リスク判定	運動器機能リスク高齢者の割合	12.8	11.1
	転倒リスク高齢者の割合	28.6	24.4
	低栄養リスク高齢者の割合	1.1	<b>1.3</b>
	口腔機能リスク高齢者の割合	13.0	<b>14.1</b>
	閉じこもりリスク高齢者の割合	17.4	16.9
	認知症リスク高齢者の割合	42.0	40.3
	うつリスク高齢者の割合	35.2	<b>35.8</b>
	IADLが低い高齢者の割合	14.1	11.3
社会参加	ボランティアのグループに参加している高齢者の割合	12.7	11.0
	スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	21.6	<b>26.2</b>
	趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	24.0	<b>27.0</b>
	学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	7.8	7.1
	介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合	6.5	<b>6.6</b>
	収入のある仕事をしている高齢者の割合	18.0	<b>23.4</b>
	地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	40.8	40.3
	地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	20.7	<b>22.7</b>
外出手段	自動車(自分で運転)	66.1	<b>71.5</b>
	徒歩	42.8	37.3
	自動車(人に乗せてもらう)	26.3	21.9
困る外出こと	通院	39.7	<b>48.3</b>
	買物	35.7	<b>39.3</b>
	家族や友人との交流	13.2	<b>13.5</b>
困る買物こと	家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない	10.7	10.6
	徒歩圏内にお店がない	9.2	<b>9.6</b>
	購入した商品を持って帰るのが難しい	6.5	<b>6.8</b>
買物支援したい	宅配サービス	34.0	<b>37.0</b>
	弁当配達サービス	19.9	<b>23.4</b>
	移動販売	20.5	<b>20.7</b>

#### (4) 佐野中学校区

本市の北部に位置し、常磐線佐和駅西側を中心に商店街を形成しています。市街化区域においては、佐和駅を中心に土地区画整理事業が進められています。市街化調整区域では、畑地と樹林地となっており、農業的土地利用が行われている区域ですが、北部には大規模な住宅団地が造成され、住宅の建設が進んでいます。



- 前期高齢者が 50.4%、後期高齢者が 49.6%と、前期高齢者の割合が上回っています。
- 家族構成では、ひとり暮らし、息子・娘との 2 世帯の割合が高くなっています。
- 自身の健康状態では、とてもよい、まあよいの割合の合計値は、79.5%と市全体より低くなっています。
- 現在の幸福感では、7 点～10 点の割合の合計値は 57.2%と市全体より低くなっています。
- 経済状況では、大変苦しい、やや苦しいの割合の合計値が 30.2%と市全体より高くなっています。
- リスク判定では、運動器、低栄養、閉じこもり、認知症、IADL で市の平均より高い該当率を示しています。
- 社会参加では、ほとんどの項目で割合は市全体より低くなっています。
- 外出する手段では、徒歩の割合が高くなっています。
- 外出において困っていることは、趣味や娯楽の割合が高くなっています。
- 買物で困っていることは、家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない、車や自転車の運転に不安がある、購入した商品を持って帰るのが難しいの割合が高くなっています。
- 将来利用したい買物支援サービスは、宅配サービス、弁当配達サービスの割合が高くなっています。

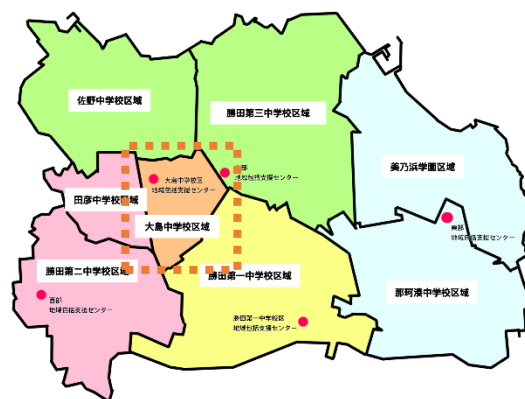
■介護予防・日常生活圏域二一ズ調査による分析結果

(単位：%)

項目		市全体	圏域
年齢	前期高齢者の割合	49.1	<b>50.4</b>
	後期高齢者の割合	50.3	49.6
家族構成	ひとり暮らしの割合	15.1	<b>15.8</b>
	夫婦2人暮らしの割合	47.3	44.4
	息子・娘との2世帯の割合	18.9	<b>20.7</b>
健康観等	主観的健康観の高い高齢者の割合	81.1	79.5
	主観的幸福感の高い(7点~10点)高齢者の割合	61.1	57.2
	経済状況で苦しいと回答した人の割合	25.6	<b>30.2</b>
リスク判定	運動器機能リスク高齢者の割合	12.8	<b>14.4</b>
	転倒リスク高齢者の割合	28.6	27.8
	低栄養リスク高齢者の割合	1.1	<b>1.9</b>
	口腔機能リスク高齢者の割合	13.0	11.5
	閉じこもりリスク高齢者の割合	17.4	<b>19.5</b>
	認知症リスク高齢者の割合	42.0	<b>43.1</b>
	うつリスク高齢者の割合	35.2	33.9
	IADLが低い高齢者の割合	14.1	<b>17.6</b>
社会参加	ボランティアのグループに参加している高齢者の割合	12.7	11.0
	スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	21.6	19.8
	趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	24.0	23.5
	学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	7.8	6.8
	介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合	6.5	<b>6.6</b>
	収入のある仕事をしている高齢者の割合	18.0	15.3
	地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	40.8	38.8
	地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	20.7	20.7
外出手段	自動車(自分で運転)	66.1	65.2
	徒歩	42.8	<b>43.3</b>
	自動車(人に乗せてもらう)	26.3	24.7
困る外出	通院	39.7	38.5
	買物	35.7	33.9
	趣味や娯楽	10.9	<b>11.9</b>
困る買物	家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない	10.7	<b>11.3</b>
	車や自転車の運転に不安がある	5.9	<b>8.0</b>
	購入した商品を持って帰るのが難しい	6.5	<b>7.8</b>
買物支援	宅配サービス	34.0	<b>36.7</b>
	弁当配達サービス	19.9	<b>23.8</b>
	移動販売	20.5	20.2

## (5) 大島中学校区

常磐線勝田駅を起点とする昭和通り線の北側に位置し、土地区画整理事業による都市基盤の整備と中心市街地や昭和通り線沿線への都市機能の集積に努めている区域です。



### 【圏域の傾向】

- 前期高齢者が48.1%、後期高齢者が51.9%と、後期高齢者の割合が上回っています。
- 家族構成では、ひとり暮らし、夫婦2人暮らしの割合が高くなっています。
- 自身の健康状態では、とてもよい、まあよいの割合の合計値は、85.0%と市全体より高くなっています。
- 現在の幸福感では、7点～10点の割合の合計値は66.7%と市全体より高くなっています。
- 経済状況では、大変苦しい、やや苦しいの割合の合計値が19.1%と市全体より低くなっています。
- リスク判定では、転倒、うつで市の平均より高い該当率を示しています。
- 社会参加では、収入のある仕事をしている割合は市全体より高くなっています。地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合が高くなっています。また、地域づくりへの企画・運営として参加する意向のある高齢者の割合が高くなっています。
- 外出する手段では、徒歩、自動車（人に乗せてもらう）の割合が高くなっています。
- 外出において困っていることは、趣味や娯楽の割合が高くなっています。
- 買物で困っていることは、車や自転車の運転に不安があるの割合が高くなっています。
- 将来利用したい買物支援サービスは、宅配サービスの割合が高くなっています。



■介護予防・日常生活圏域二一ズ調査による分析結果

(単位：%)

項目		市全体	圏域
年齢	前期高齢者の割合	49.1	48.1
	後期高齢者の割合	50.3	51.9
家族構成	ひとり暮らしの割合	15.1	16.9
	夫婦2人暮らしの割合	47.3	49.8
	息子・娘との2世帯の割合	18.9	16.2
健康観等	主観的健康観の高い高齢者の割合	81.1	85.0
	主観的幸福感の高い(7点~10点)高齢者の割合	61.1	66.7
	経済状況で苦しいと回答した人の割合	25.6	19.1
リスク判定	運動器機能リスク高齢者の割合	12.8	11.4
	転倒リスク高齢者の割合	28.6	29.8
	低栄養リスク高齢者の割合	1.1	0.7
	口腔機能リスク高齢者の割合	13.0	11.2
	閉じこもりリスク高齢者の割合	17.4	13.1
	認知症リスク高齢者の割合	42.0	38.8
	うつリスク高齢者の割合	35.2	36.9
	IADLが低い高齢者の割合	14.1	11.6
社会参加	ボランティアのグループに参加している高齢者の割合	12.7	11.3
	スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	21.6	24.1
	趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	24.0	27.6
	学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	7.8	11.2
	介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合	6.5	6.5
	収入のある仕事をしている高齢者の割合	18.0	18.1
	地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	40.8	41.7
	地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	20.7	21.9
外出手段	自動車(自分で運転)	66.1	62.6
	徒歩	42.8	51.0
	自動車(人に乗せてもらう)	26.3	26.4
困る外出	通院	39.7	35.1
	買物	35.7	32.8
	趣味や娯楽	10.9	11.5
困る買物	家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない	10.7	9.5
	徒歩圏内にお店がない	9.2	7.6
	車や自転車の運転に不安がある	5.9	7.6
買物支援	宅配サービス	34.0	36.9
	弁当配達サービス	19.9	18.1
	移動販売	20.5	15.5
	お店への送迎サービス	16.8	15.5



■介護予防・日常生活圏域二一ズ調査による分析結果

(単位：%)

項目		市全体	圏域
年 齢	前期高齢者の割合	49.1	<b>49.6</b>
	後期高齢者の割合	50.3	<b>50.4</b>
家 族 構 成	ひとり暮らしの割合	15.1	11.9
	夫婦2人暮らしの割合	47.3	<b>52.1</b>
	息子・娘との2世帯の割合	18.9	<b>20.2</b>
健 康 観 等	主観的健康観の高い高齢者の割合	81.1	<b>83.2</b>
	主観的幸福感の高い(7点~10点)高齢者の割合	61.1	<b>64.9</b>
	経済状況で苦しいと回答した人の割合	25.6	<b>26.2</b>
リ ス ク 判 定	運動器機能リスク高齢者の割合	12.8	11.1
	転倒リスク高齢者の割合	28.6	25.2
	低栄養リスク高齢者の割合	1.1	0.2
	口腔機能リスク高齢者の割合	13.0	12.3
	閉じこもりリスク高齢者の割合	17.4	15.1
	認知症リスク高齢者の割合	42.0	39.3
	うつリスク高齢者の割合	35.2	33.8
	IADLが低い高齢者の割合	14.1	13.3
社 会 参 加	ボランティアのグループに参加している高齢者の割合	12.7	<b>13.6</b>
	スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	21.6	<b>22.0</b>
	趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	24.0	<b>24.7</b>
	学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	7.8	<b>8.2</b>
	介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合	6.5	<b>6.8</b>
	収入のある仕事をしている高齢者の割合	18.0	17.8
	地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	40.8	40.7
	地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	20.7	20.5
外 出 手 段	自動車(自分で運転)	66.1	<b>67.7</b>
	徒歩	42.8	<b>50.4</b>
	自動車(人に乗せてもらう)	26.3	<b>28.1</b>
困 る 外 出 こ と	通院	39.7	<b>48.5</b>
	買物	35.7	<b>37.9</b>
	趣味や娯楽	10.9	<b>19.4</b>
困 る 買 物 こ と	家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない	10.7	10.6
	購入した商品を持って帰るのが難しい	6.5	6.2
	徒歩圏内にお店がない	9.2	5.7
	車や自転車の運転に不安がある	5.9	5.7
買 物 支 援 い	宅配サービス	34.0	<b>34.1</b>
	弁当配達サービス	19.9	18.3
	移動販売	20.5	16.3

## (7) 那珂湊中学校区

東は太平洋に面し、南は那珂川に囲まれており、那珂湊地区の中心市街地を形成しています。古くから人口や産業が集積しており、那珂湊漁港を中心に水産物量販店が集積している区域です。国道 245 号線沿いで商業施設や住宅が建設されています。



### 【圏域の傾向】

- 前期高齢者が 50.4%、後期高齢者が 49.6%と、前期高齢者の割合が上回っています。
- 家族構成では、ひとり暮らしの割合が高くなっています。
- 自身の健康状態では、とてもよい、まあよいの割合の合計値は、77.0%と市全体より低くなっています。
- 現在の幸福感では、7点～10点の割合の合計値は 58.1%と市全体より低くなっています。
- 経済状況では、大変苦しい、やや苦しいの割合の合計値が 27.9%と市全体より高くなっています。
- リスク判定では、運動器、転倒、口腔、閉じこもり、うつ、IADL で市の平均より高い該当率を示しています。
- 社会参加では、ボランティアに参加している割合は市全体と同じ割合になっています。介護予防のための通いの場に参加している割合、収入のある仕事をしている高齢者の割合、地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合、地域づくりへの企画・運営として参加する意向のある高齢者の割合いずれも市全体より低くなっています。
- 外出する手段では、自動車（人に乗せてもらう）の割合が高くなっています。
- 外出において困っていることは、買物、家族や友人との交流の割合が高く、特に他の地区に比べて買物は第1位となっています。
- 買物で困っていることは、徒歩圏内にお店がない、購入した商品を持って帰るのが難しいの割合が高くなっています。
- 将来利用したい買物支援サービスは、移動販売、お店への送迎サービスの割合が高くなっています。

■介護予防・日常生活圏域二一ズ調査による分析結果

(単位：%)

項目		市全体	圏域
年齢	前期高齢者の割合	49.1	<b>50.4</b>
	後期高齢者の割合	50.3	49.6
家族構成	ひとり暮らしの割合	15.1	<b>16.6</b>
	夫婦2人暮らしの割合	47.3	44.5
	息子・娘との2世帯の割合	18.9	18.9
健康観等	主観的健康観の高い高齢者の割合	81.1	77.0
	主観的幸福感の高い(7点~10点)高齢者の割合	61.1	58.1
	経済状況で苦しいと回答した人の割合	25.6	<b>27.9</b>
リスク判定	運動器機能リスク高齢者の割合	12.8	<b>13.6</b>
	転倒リスク高齢者の割合	28.6	<b>30.9</b>
	低栄養リスク高齢者の割合	1.1	0.5
	口腔機能リスク高齢者の割合	13.0	<b>13.6</b>
	閉じこもりリスク高齢者の割合	17.4	<b>18.9</b>
	認知症リスク高齢者の割合	42.0	40.7
	うつリスク高齢者の割合	35.2	<b>35.3</b>
	IADLが低い高齢者の割合	14.1	<b>14.8</b>
社会参加	ボランティアのグループに参加している高齢者の割合	12.7	12.7
	スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	21.6	19.0
	趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	24.0	21.3
	学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	7.8	<b>8.7</b>
	介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合	6.5	4.9
	収入のある仕事をしている高齢者の割合	18.0	17.9
	地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	40.8	39.9
	地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	20.7	16.6
外出手段	自動車(自分で運転)	66.1	63.7
	徒歩	42.8	41.4
	自動車(人に乗せてもらう)	26.3	<b>27.4</b>
困る外出で	通院	39.7	35.0
	買物	35.7	<b>37.9</b>
	家族や友人との交流	13.2	<b>14.6</b>
困る買物で	徒歩圏内にお店がない	9.2	<b>12.0</b>
	家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない	10.7	9.7
	購入した商品を持って帰るのが難しい	6.5	<b>6.9</b>
買物支援したい	宅配サービス	34.0	29.4
	移動販売	20.5	<b>24.3</b>
	お店への送迎サービス	16.8	<b>19.2</b>

## (8) 美乃浜学園区

本市東南の臨海部に位置し、常陸那珂港区や国営ひたち海浜公園等の大規模開発が進められている「ひたちなか地区」に隣接し、海の観光レクリエーションの拠点と市街化調整区域による農業的土地利用が大半を占めています。



### 【圏域の傾向】

- 前期高齢者が 50.3%、後期高齢者が 49.7%と、前期高齢者の割合が上回っています。
- 家族構成では、息子・娘との 2 世帯の割合が高くなっています。
- 自身の健康状態では、とてもよい、まあよいの割合の合計値は、79.1%と市全体より低くなっています。
- 現在の幸福感では、7 点～10 点の割合の合計値は 58.9%と市全体より低くなっています。
- 経済状況では、大変苦しい、やや苦しいの割合の合計値が 30.3%と市全体より高くなっています。
- リスク判定では、運動器、転倒、低栄養、口腔、閉じこもり、認知症、IADL で市の平均より高い該当率を示しています。
- 社会参加では、ボランティアに参加している割合は市全体より高くなっています。介護予防のための通いの場に参加している割合は市全体より低くなっています。収入のある仕事をしている割合は市全体より高くなっています。地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合が低くなっています。また、地域づくりへの企画・運営として参加する意向のある高齢者の割合が低くなっています。
- 外出する手段では、自動車（自分で運転）の割合が高くなっています。
- 外出において困っていることは、通院、買物、家族や友人との交流の割合が高くなっています。
- 買物で困っていることは、徒歩圏内にお店がない、家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない、購入した商品を持って帰るのが難しいの割合が高くなっています。
- 将来利用したい買物支援サービスは、移動販売の割合が高くなっています。

■介護予防・日常生活圏域二一ズ調査による分析結果

(単位：%)

項目		市全体	圏域
年齢	前期高齢者の割合	49.1	<b>50.3</b>
	後期高齢者の割合	50.3	49.7
家族構成	ひとり暮らしの割合	15.1	11.4
	夫婦2人暮らしの割合	47.3	42.4
	息子・娘との2世帯の割合	18.9	<b>19.9</b>
健康観等	主観的健康観の高い高齢者の割合	81.1	79.1
	主観的幸福感の高い(7点~10点)高齢者の割合	61.1	58.9
	経済状況で苦しいと回答した人の割合	25.6	<b>30.3</b>
リスク判定	運動器機能リスク高齢者の割合	12.8	<b>16.8</b>
	転倒リスク高齢者の割合	28.6	<b>32.6</b>
	低栄養リスク高齢者の割合	1.1	<b>1.6</b>
	口腔機能リスク高齢者の割合	13.0	<b>16.5</b>
	閉じこもりリスク高齢者の割合	17.4	<b>21.2</b>
	認知症リスク高齢者の割合	42.0	<b>46.5</b>
	うつリスク高齢者の割合	35.2	34.2
	IADLが低い高齢者の割合	14.1	<b>15.2</b>
社会参加	ボランティアのグループに参加している高齢者の割合	12.7	<b>15.3</b>
	スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	21.6	14.8
	趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	24.0	15.5
	学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	7.8	5.9
	介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合	6.5	5.6
	収入のある仕事をしている高齢者の割合	18.0	<b>19.9</b>
	地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	40.8	36.1
	地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	20.7	17.4
外出手段	自動車(自分で運転)	66.1	<b>69.6</b>
	徒歩	42.8	35.1
	自動車(人に乗せてもらう)	26.3	25.9
困る外出こと	通院	39.7	<b>40.3</b>
	買物	35.7	<b>37.3</b>
	家族や友人との交流	13.2	<b>19.4</b>
困る買物こと	徒歩圏内にお店がない	9.2	<b>16.1</b>
	家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない	10.7	<b>12.7</b>
	購入した商品を持って帰るのが難しい	6.5	<b>7.3</b>
買物支援したい	宅配サービス	34.0	29.7
	移動販売	20.5	<b>25.3</b>
	弁当配達サービス	19.9	18.0

# 第6章 クロス集計による分析

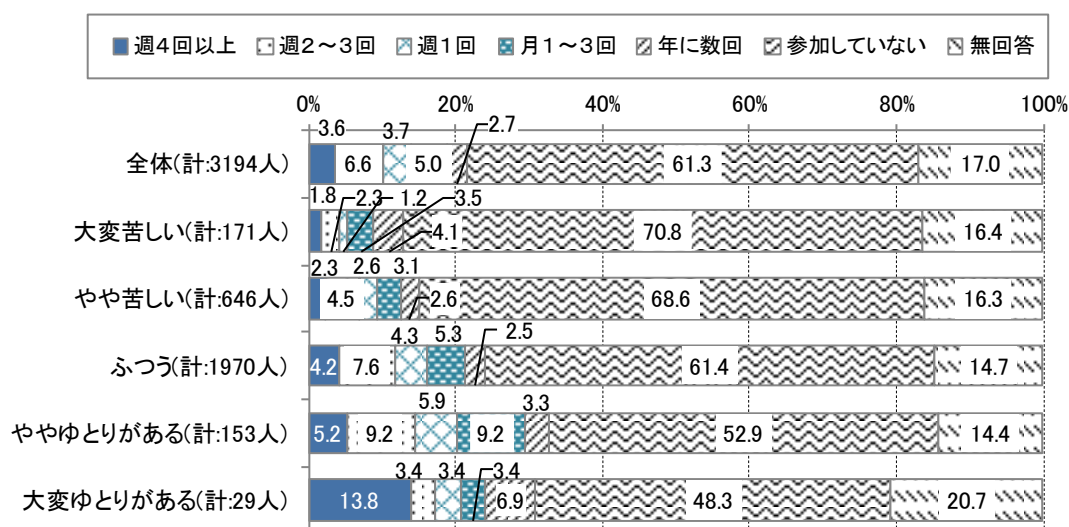
## 1. 総合事業についての分析

### (1) 現在の経済的状況別の分析

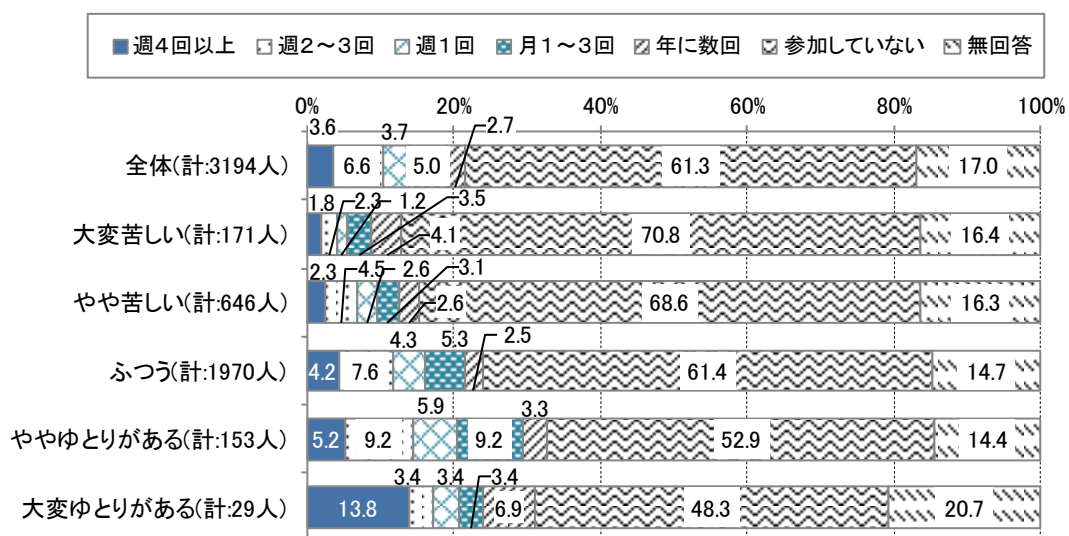
#### ア. 地域活動への参加状況

現在の経済的状況別に地域活動への参加状況をみると、④学習・教養サークル、⑥老人クラブについては、経済的状況による差が少ない傾向があり、その他の6項目については、経済的に苦しい人に比べて、ゆとりがある人のほうが参加している割合が高い傾向があります。

#### 【①ボランティアのグループ】

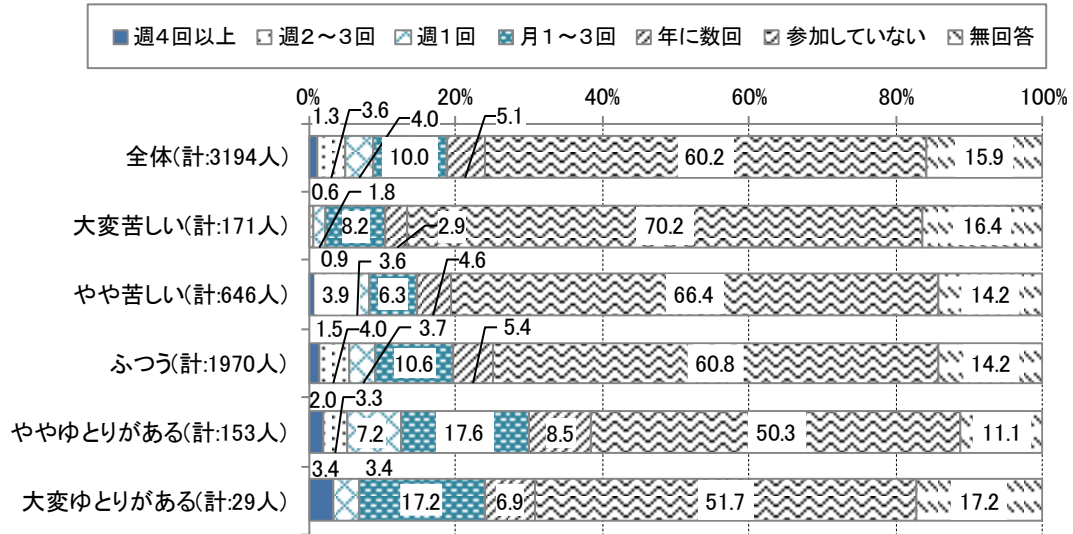


#### 【②スポーツ関係のグループやクラブ】

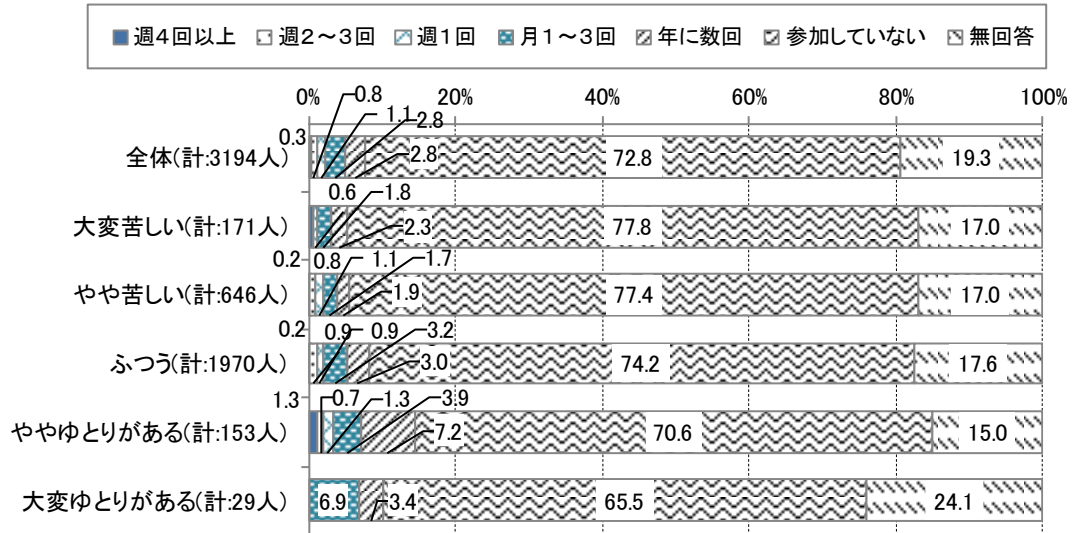




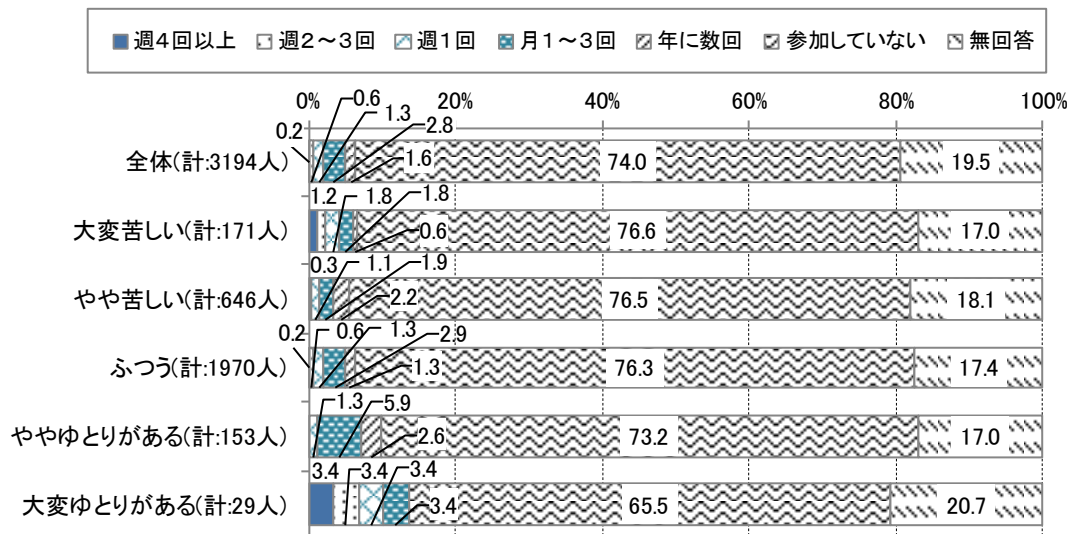
【③趣味関係のグループ】



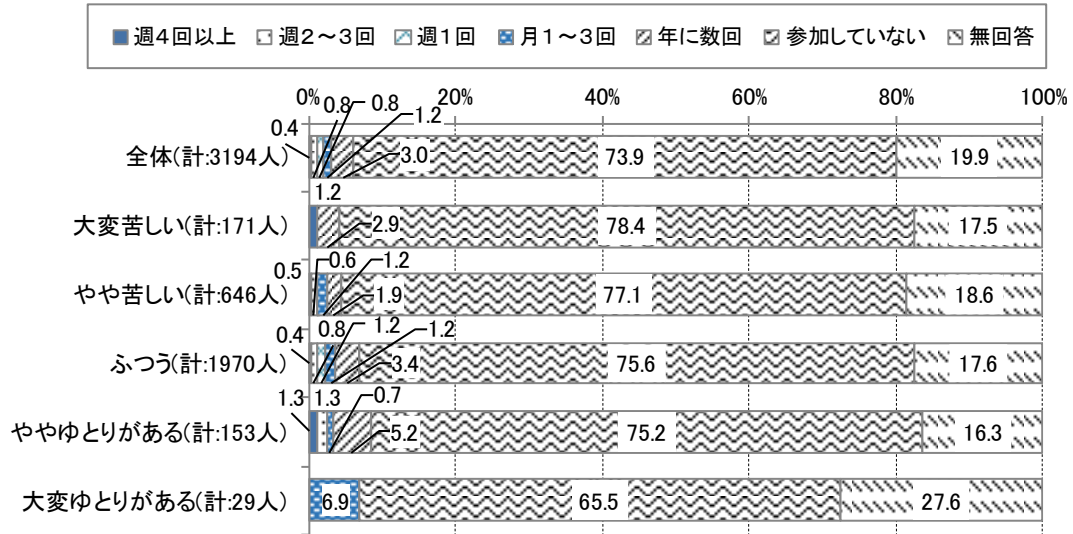
【④学習・教養サークル】



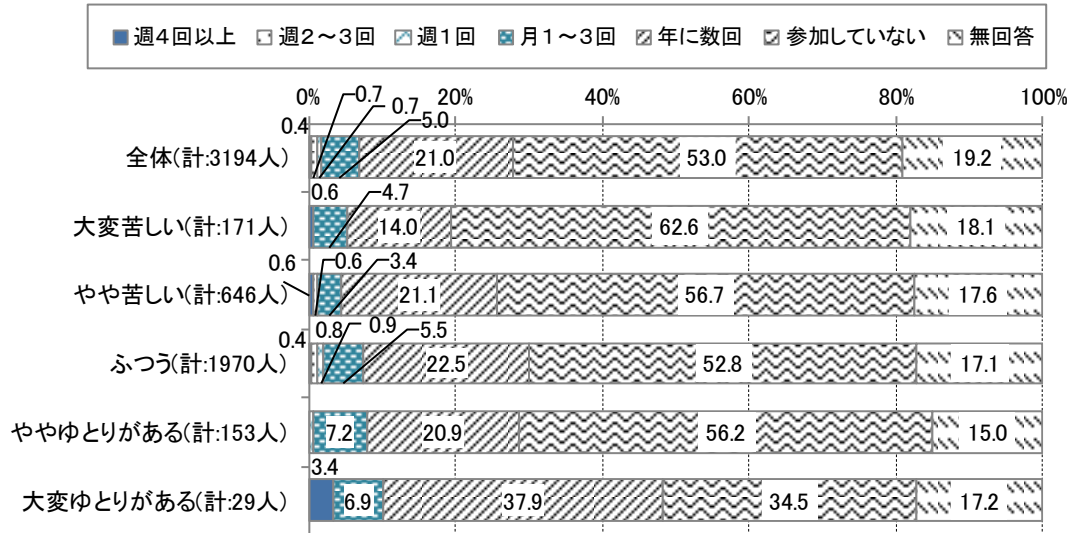
【⑤市で開催している体操教室などの介護予防のための通いの場】



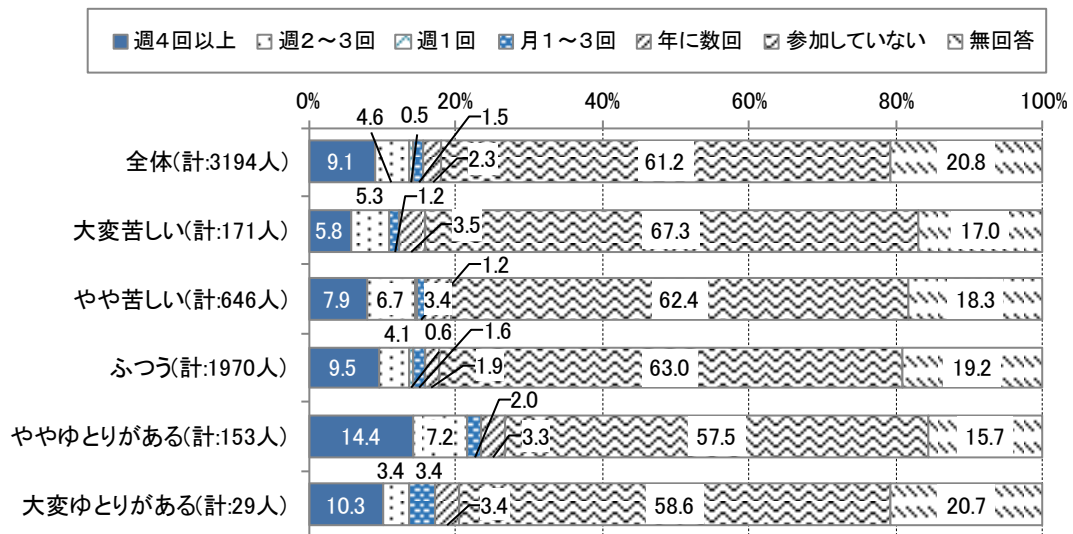
【⑥老人クラブ】



【⑦町内会・自治会】

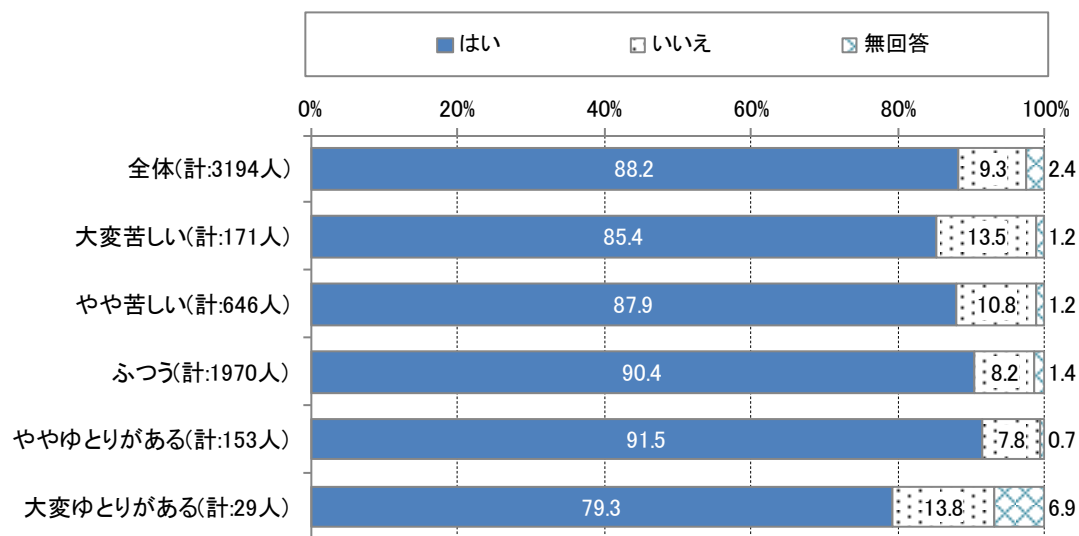


【⑧収入のある仕事】



## イ. 健康についての記事や番組への関心の有無

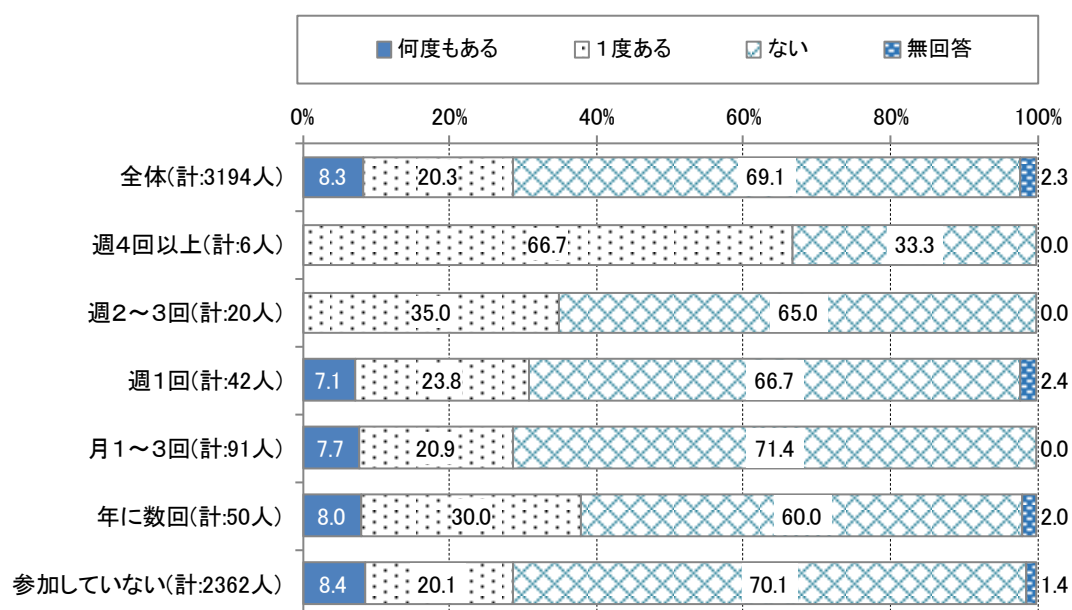
現在の経済的状況別に健康についての記事や番組への関心の有無をみると、経済的に苦しい人に比べて、ゆとりがある人のほうが関心度が高い傾向があります。



## (2) 市で開催している体操教室などの介護予防のための通いの場への参加状況別の分析

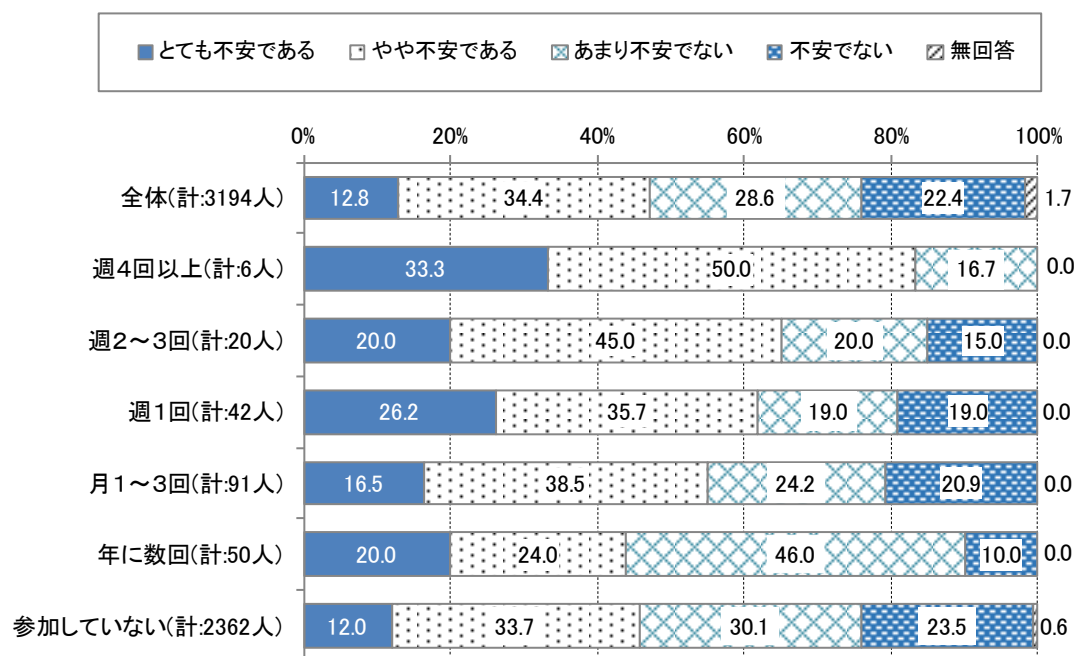
### ア. 過去1年間の転んだ経験

介護予防のための通いの場への参加状況別に過去1年間の転んだ経験をみると、参加頻度が高い人に比べて、低い人のほうが転んだ経験が「ない」という割合が高くなっています。



## イ. 転倒に対する不安の大きさ

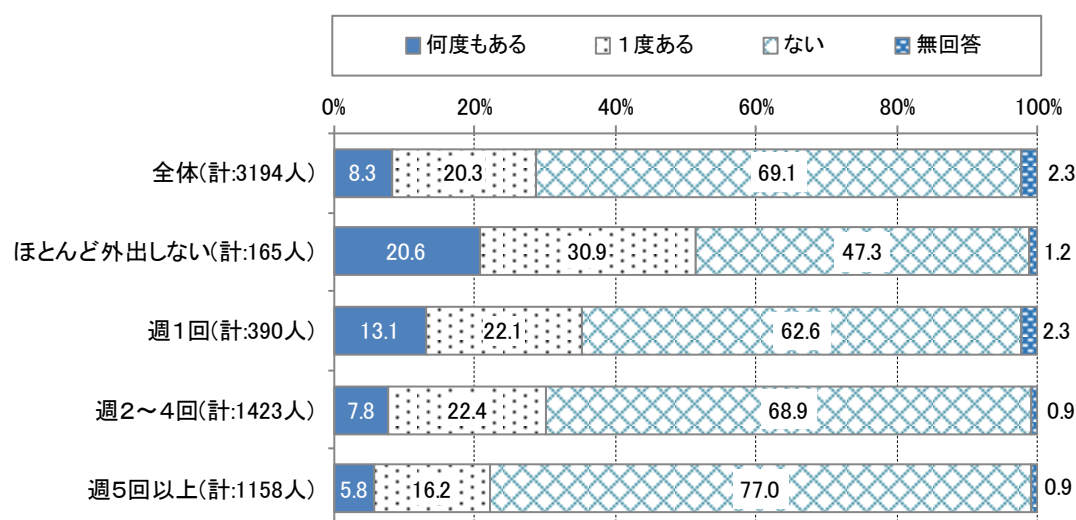
介護予防のための通いの場への参加状況別に転倒に対する不安の大きさをみると、参加頻度が「週4回以上」という人が不安を抱えている割合が最も高くなっています。



## (3) 外出頻度別の分析

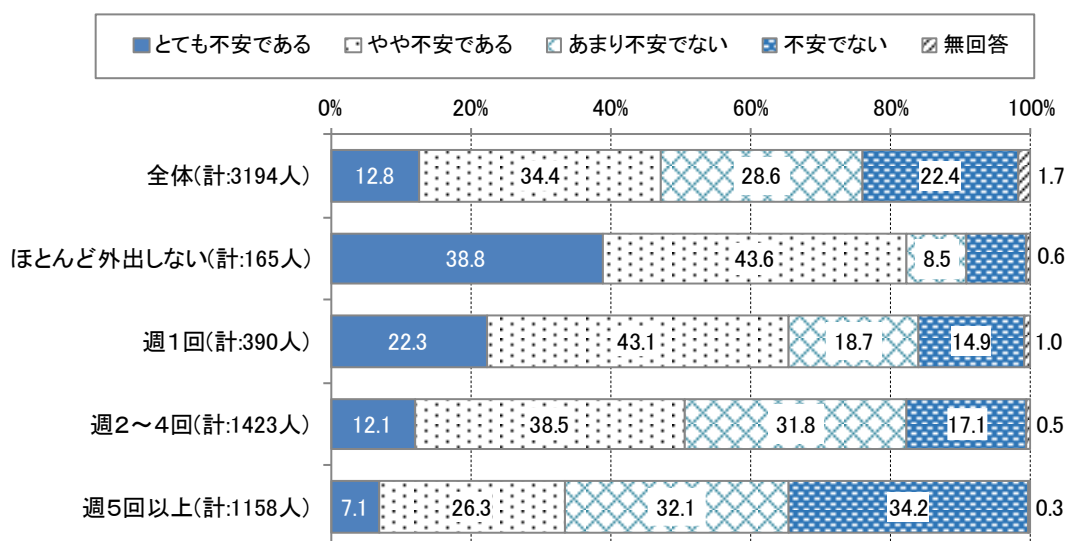
### ア. 過去1年間の転んだ経験

外出頻度別に過去1年間の転んだ経験をみると、外出頻度が低い人ほど転んだ経験がある割合が高くなっています。



## イ. 転倒に対する不安の大きさ

外出頻度別に転倒に対する不安の大きさをみると、外出頻度が低い人ほど不安を感じている割合が高くなっています。



## ウ. 外出する際の移動手段

外出頻度別に外出する際の移動手段をみると、外出頻度が低い人ほど自動車以外で外出するうえで人の支援を受けている割合が高く、外出頻度が高い人ほど自分で運転している割合が高くなっています。

%	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス
全体(計:3194人)	42.8	21.2	2.2	66.1	26.3	5.7	5.6
ほとんど外出しない(計:165人)	29.7	12.1	0.6	21.2	61.2	1.2	5.5
週1回(計:390人)	37.2	19.0	1.8	41.8	46.7	6.4	7.7
週2~4回(計:1423人)	44.1	22.7	2.2	68.2	27.7	5.5	6.3
週5回以上(計:1158人)	46.6	22.2	2.7	80.3	13.6	6.6	4.4

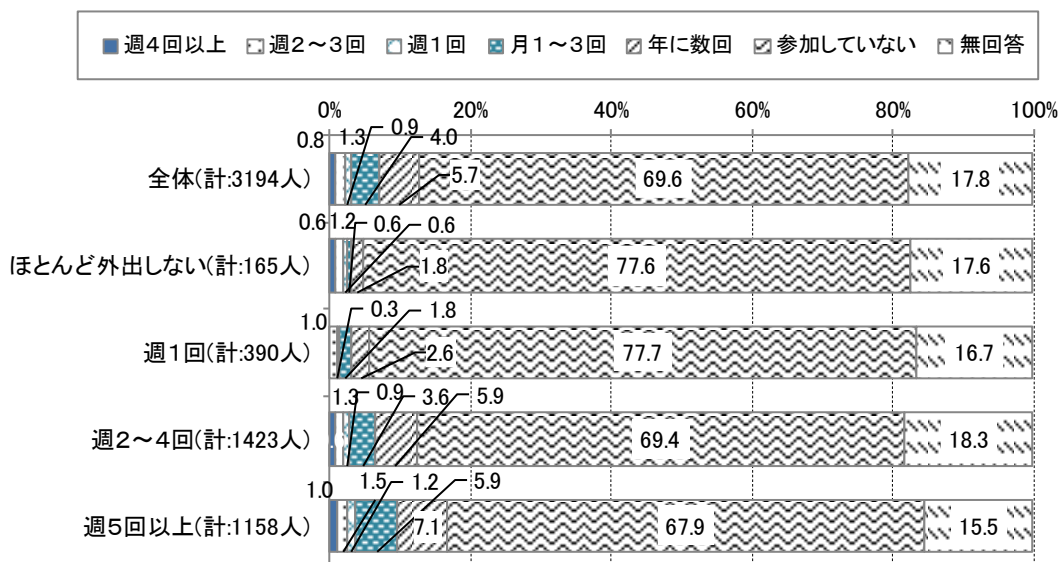
  

%	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体(計:3194人)	0.9	0.6	0.6	1.2	6.0	0.8	2.3
ほとんど外出しない(計:165人)	2.4	3.0	1.2	3.0	12.7	2.4	2.4
週1回(計:390人)	2.6	1.5	1.8	3.3	12.6	0.8	1.5
週2~4回(計:1423人)	0.8	0.5	0.5	0.8	6.2	0.7	1.3
週5回以上(計:1158人)	0.2	0.1	0.2	0.8	2.8	0.7	0.7

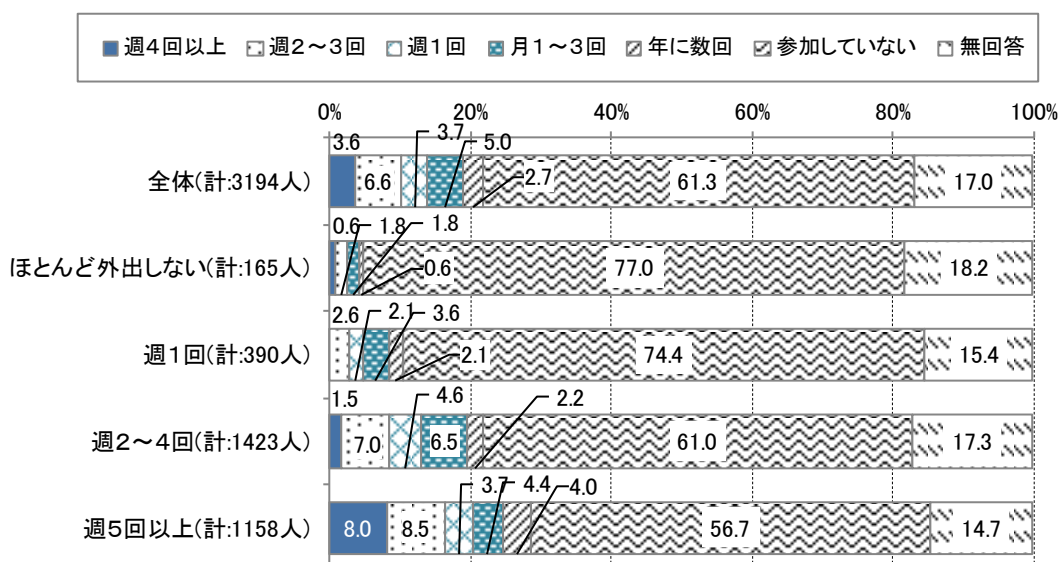
## エ. 地域活動への参加状況

外出頻度別に地域活動への参加状況を見ると、外出頻度が低い人ほど地域活動へ参加している割合が低く、特に②スポーツ関係のグループやクラブ、③趣味関係のグループ、⑧収入のある仕事については他の項目と比べてその差が大きくなっています。

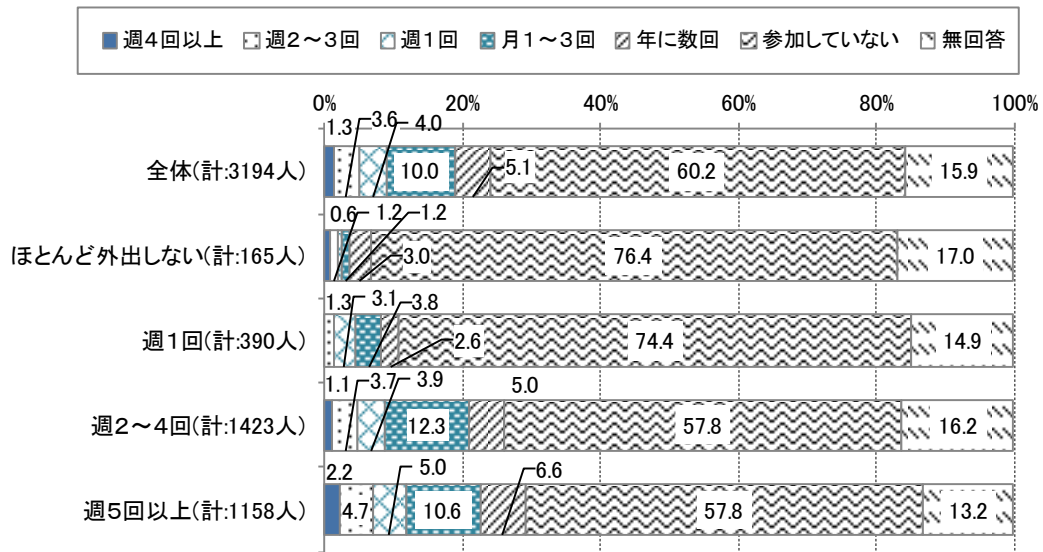
### 【①ボランティアのグループ】



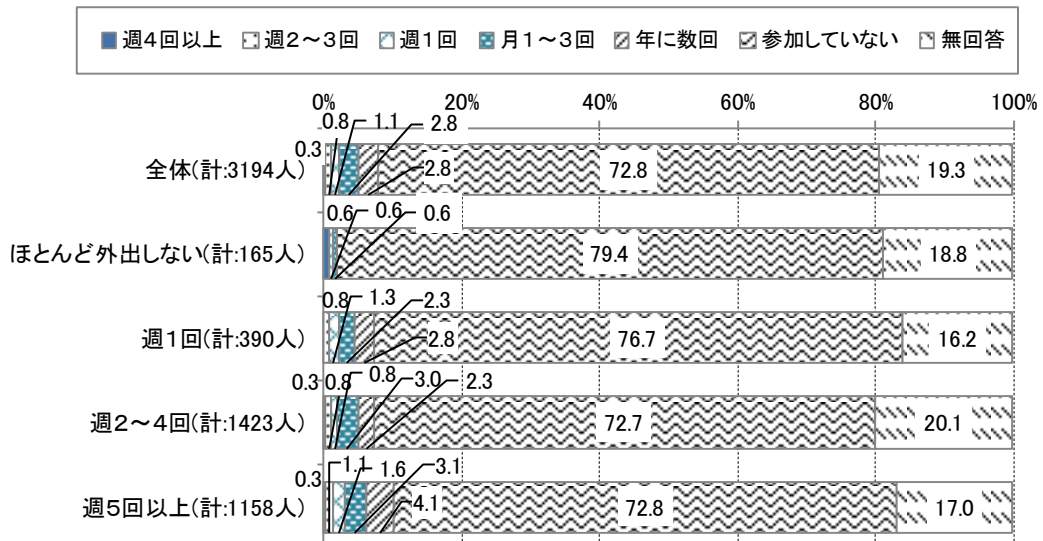
### 【②スポーツ関係のグループやクラブ】



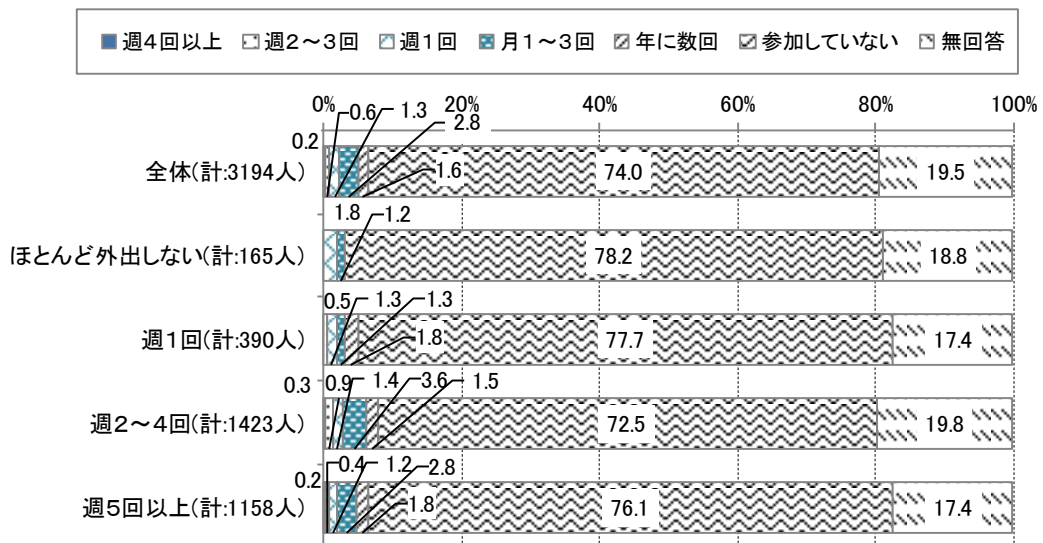
【③趣味関係のグループ】



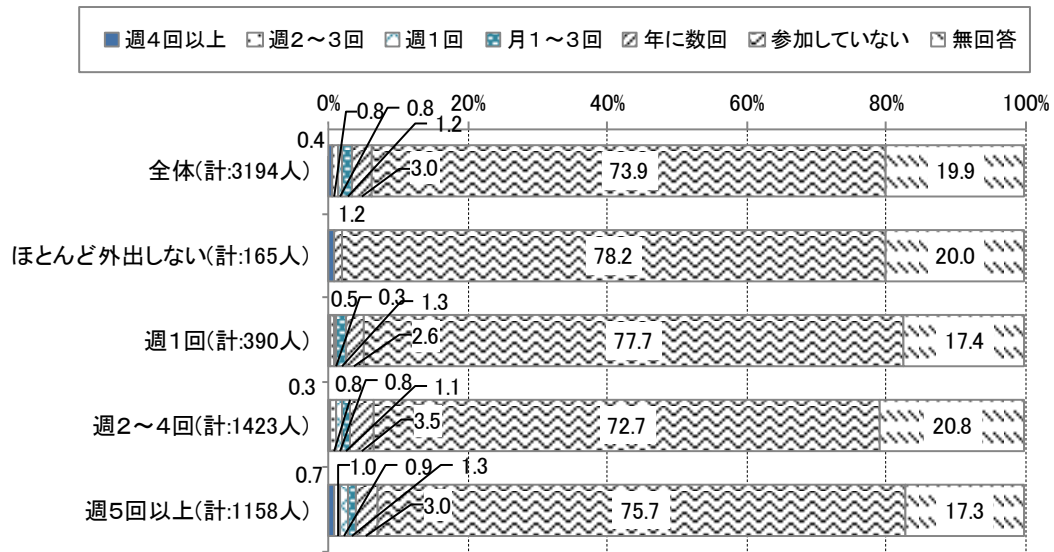
【④学習・教養サークル】



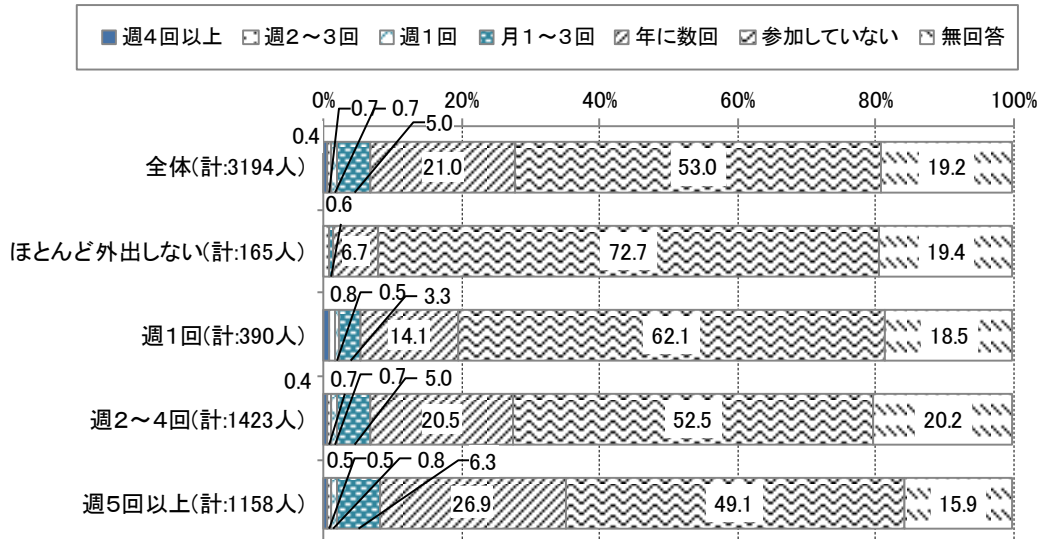
【⑤市で開催している体操教室などの介護予防のための通いの場】



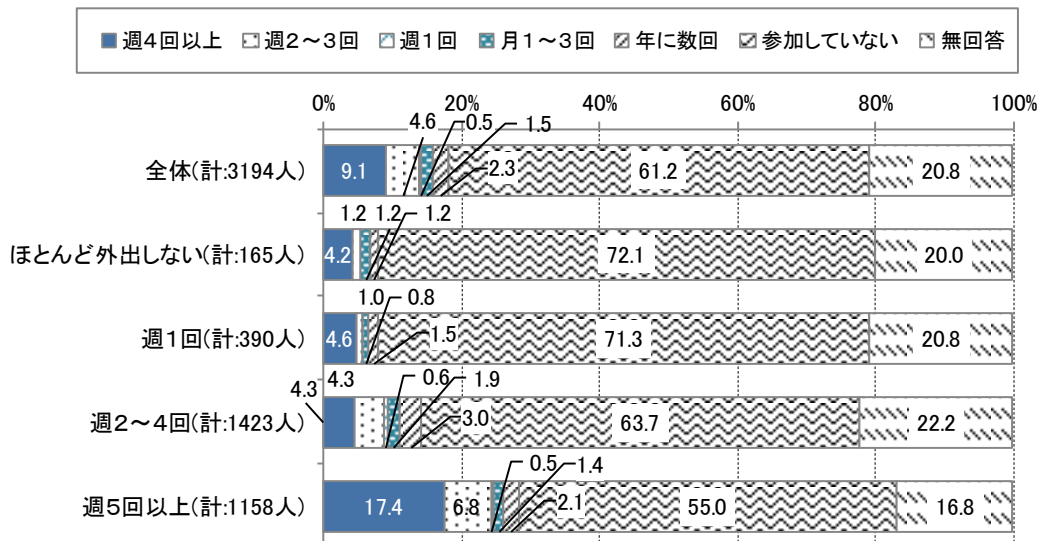
【⑥老人クラブ】



【⑦町内会・自治会】



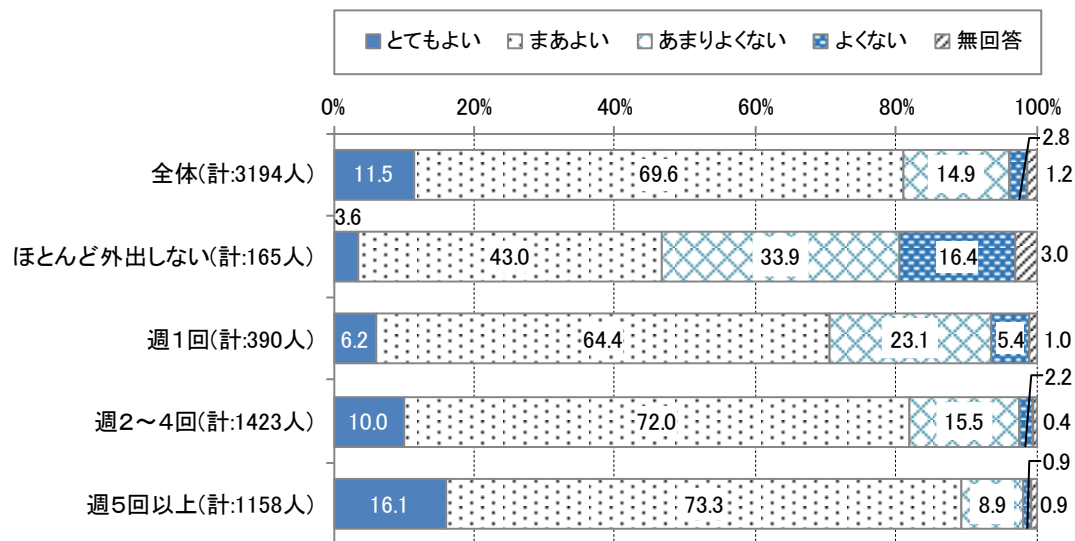
【⑧収入のある仕事】





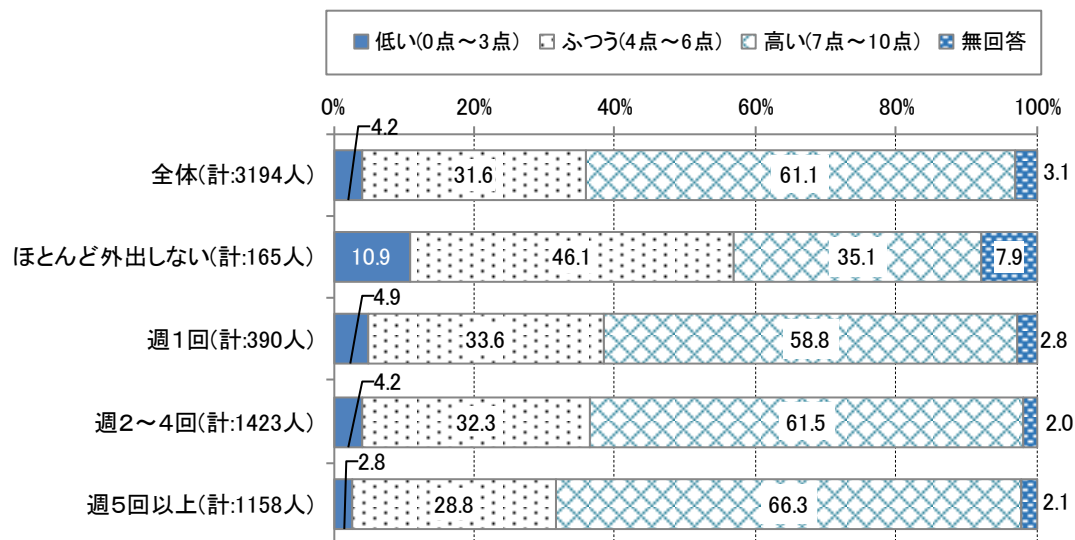
## オ. 現在の健康状態

外出頻度別に現在の健康状態をみると、外出頻度が低い人ほど健康状態についてよくないと感じている割合が高くなっています。



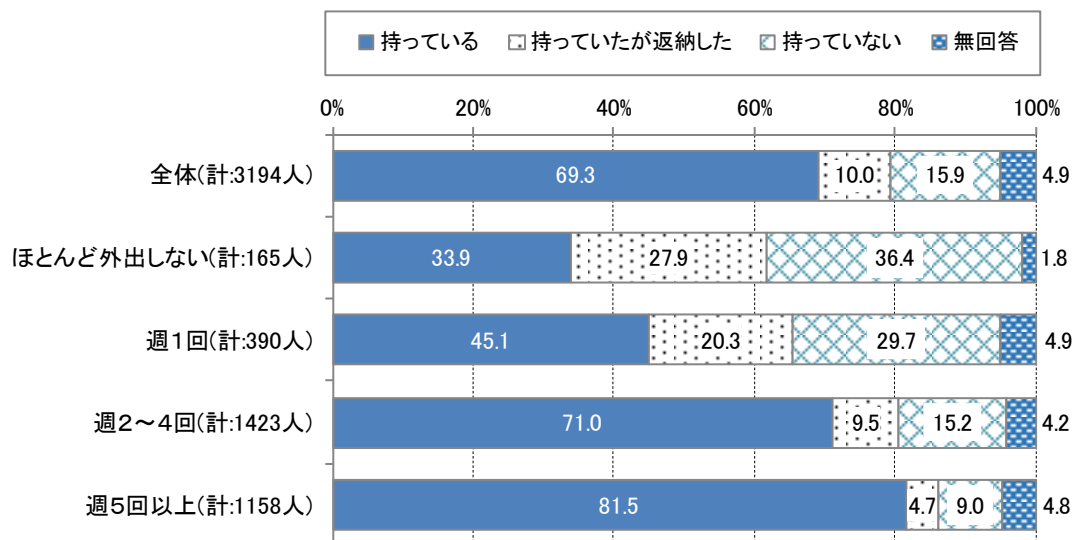
## カ. 現在の幸福感

外出頻度別に現在の幸福感をみると、外出頻度が高い人ほど現在の幸福感が高い傾向があります。



## キ. 自動車運転免許（バイク）の所有状況

外出頻度別に自動車運転免許の所有状況をみると、外出頻度が低い人ほど返納した人を含めた持っていない人の割合が高くなっています。



### (4) 教室で教わった運動を自宅で実施している回数別の分析

#### ア. 教室に参加したことで感じている効果

教室で教わった運動を自宅で実施している回数別に教室に参加したことで感じている効果を見ると、自宅で実施している回数が多いほど、腰痛などの痛みの改善や歩行に関する改善を感じている割合が高くなっています。また、自宅で実施している回数が多いほど、「外出が楽しみになった」の割合が高くなっています。

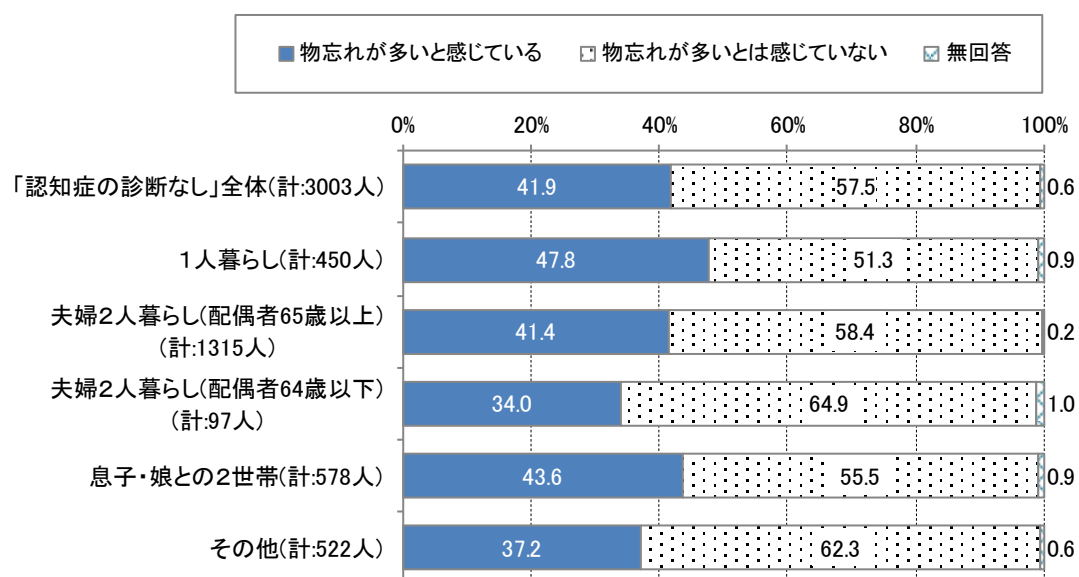
%	腰痛やひざ痛の改善	つまづかなくなった	歩きやすくなった	人との交流が増えた	外出が楽しみになった	その他	感じたことはない	無回答
全体(計:209人)	16.7	14.8	17.2	54.5	21.1	4.3	5.3	16.3
週3回以上(計:50人)	26.0	20.0	30.0	60.0	42.0	10.0	2.0	6.0
週1回(計:31人)	12.9	12.9	29.0	61.3	25.8	0.0	3.2	0.0
月1、2回(計:44人)	18.2	18.2	9.1	65.9	11.4	4.5	9.1	4.5
していない(計:45人)	8.9	11.1	11.1	57.8	15.6	2.2	11.1	13.3

## 2. 認知症についての分析

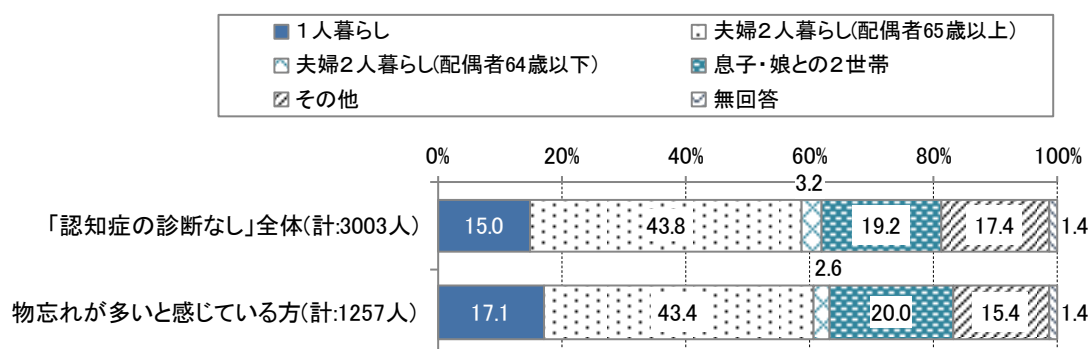
### (1) 家族構成別の分析

#### ア. 認知症とは診断されていない方のうち、物忘れが多いと感じている方

認知症とは診断されていない人のうち、物忘れが多いと感じている人の割合を家族構成別にみると、「1人暮らし」、「息子・娘との2世帯」が他の家族構成と比べて割合が高くなっています。

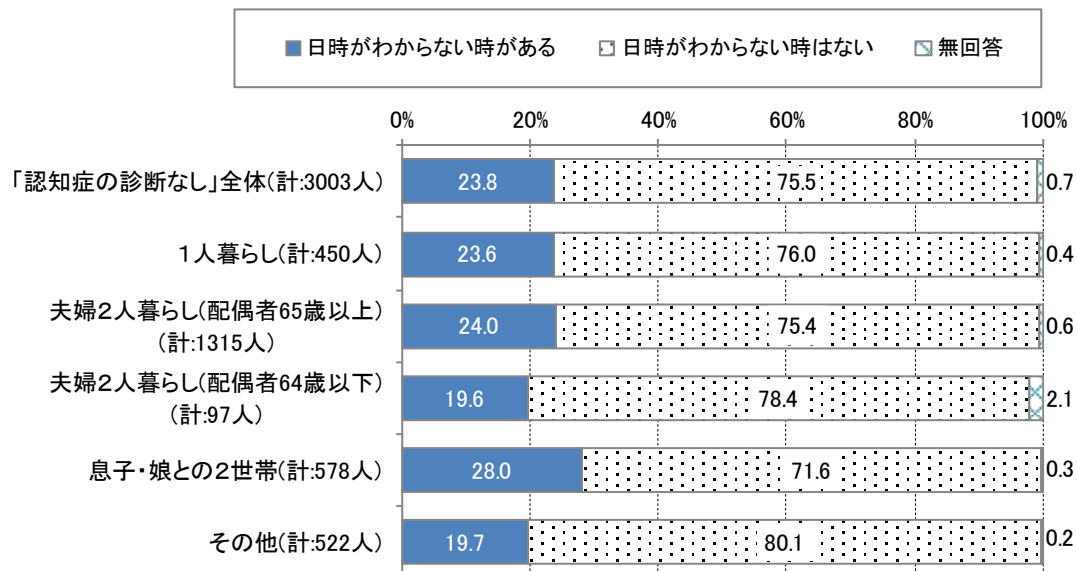


#### ア-①. 認知症とは診断されていない方のうち、物忘れが多いと感じている方の家族構成

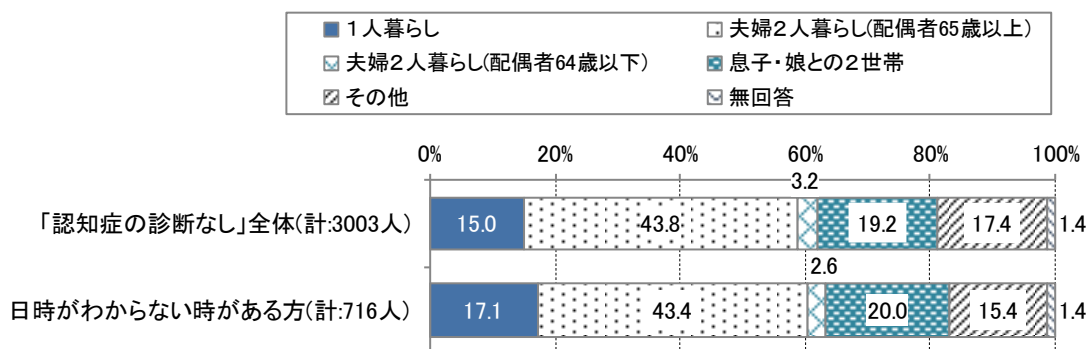


### イ. 認知症とは診断されていない方のうち、日時がわからない時がある方

認知症とは診断されていない人のうち、日時がわからない時がある人の割合を家族構成別にみると、「息子・娘との2世帯」が他の家族構成と比べて割合が高くなっています。



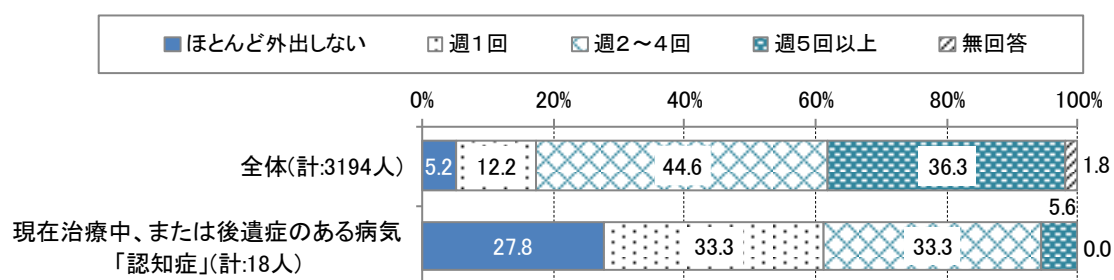
### イ-①. 認知症とは診断されていない方のうち、日時がわからない時がある方の家族構成



## (2) 現在治療中、または後遺症のある病気として「認知症」と回答があった方の分析

### ア. 外出する頻度

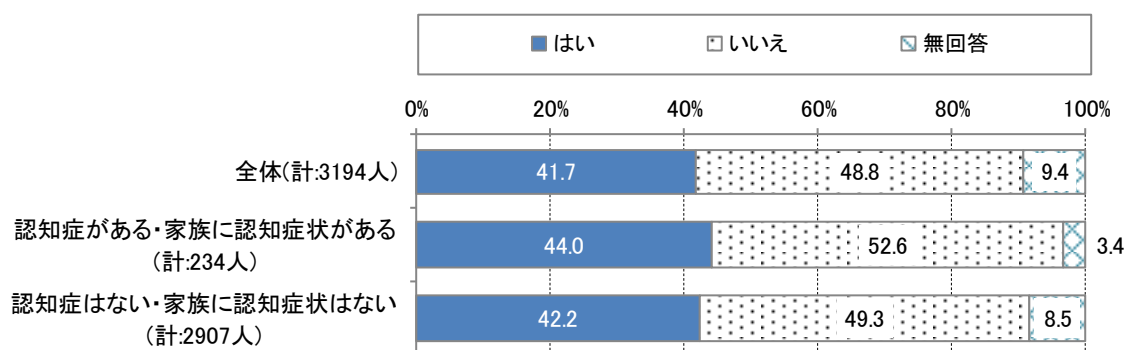
現在治療中、または後遺症のある病気として「認知症」と回答があった人の外出する頻度をみると、「ほとんど外出しない」の割合は全体の結果に比べて高く、「週5回以上」の割合は全体の結果に比べて低くなっています。



## (3) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいる方・いない方別の分析

### ア. 家族の認知症の症状について友人や近所の人に相談したり協力を求めたりすることができる方

認知症の症状がある・家族に認知症の症状がある方がいるかと、家族の認知症の症状について友人や近所の人に相談したり、協力を求めたりすることができるかの関係性をみると、認知症の症状がある・家族に認知症の症状がある方がいる人については、相談したり、協力を求めたりすることができるという回答した人の割合が全体の結果に比べて高くなっています。

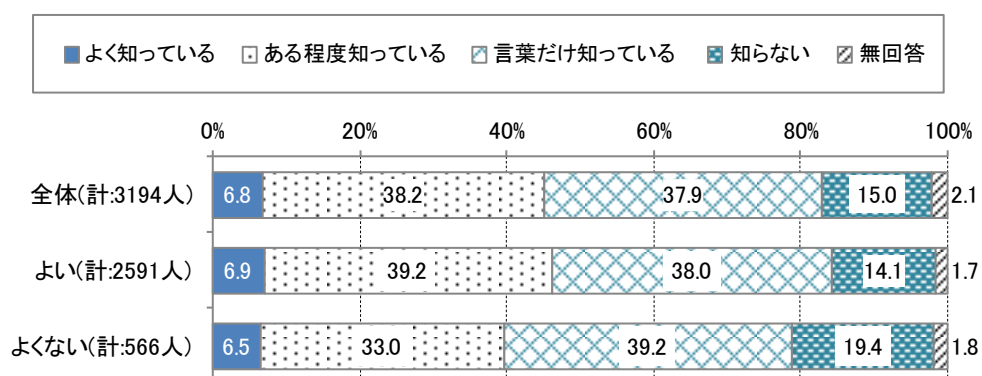


### 3. 在宅医療・在宅介護についての分析

#### (1) 現在の健康状態別の分析

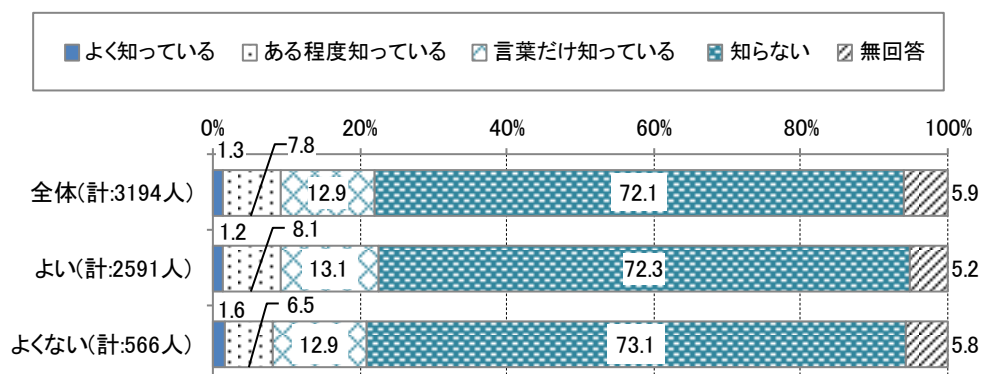
##### ア. 在宅医療・在宅介護の認知度

現在の健康状態別に在宅医療・在宅介護の認知度をみると、健康状態が「よい」人のほうが在宅医療・在宅介護の認知度が高くなっています。



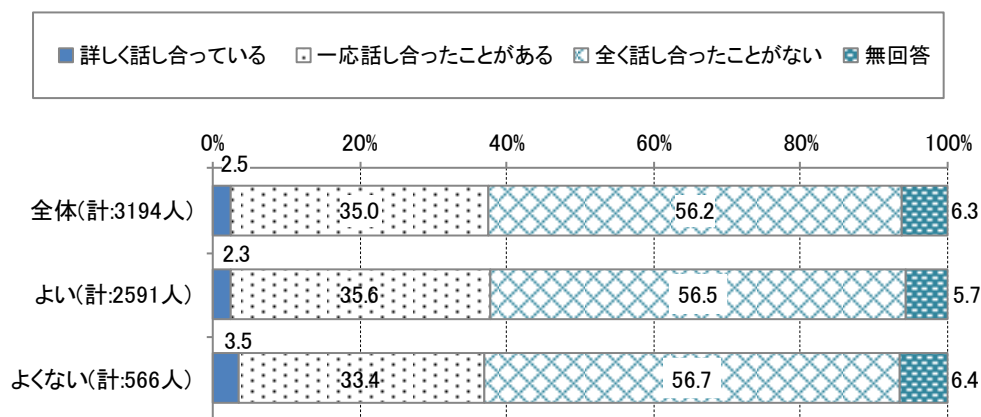
##### イ. 「人生会議」の認知度

現在の健康状態別に「人生会議」の認知度をみると、健康状態が「よい」人のほうが人生会議の認知度が高くなっています。



### ウ. もしものときの受けたい医療や介護について、家族等で話し合いを行っているか

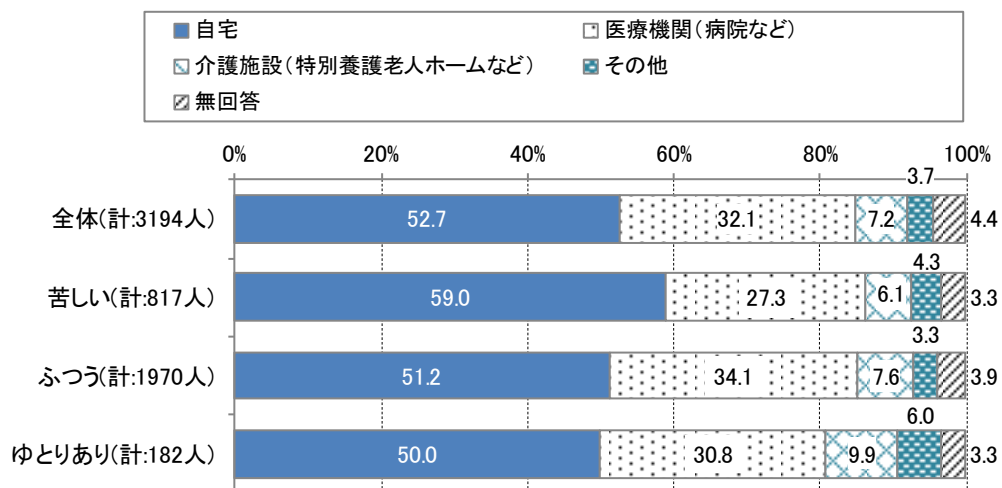
現在の健康状況別にもしものときの受けたい医療や介護について、家族等で話し合いを行っているかをみると、健康状況による大きな差はみられませんでした。



## (2) 現在の経済的状況別の分析

### ア. 最期を迎える場として希望する場所

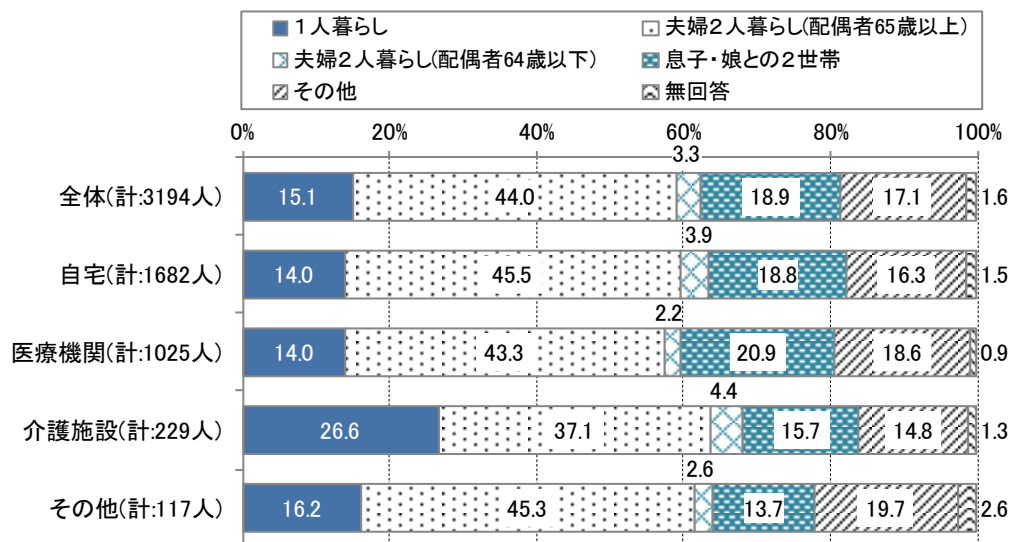
現在の経済的状況別に最期を迎える場として希望する場所をみると、経済的状況を「苦しい」と感じている人のほうが「自宅」を希望する割合が高く、「ゆとりあり」と感じている人のほうが「医療機関（病院など）」、「介護施設（特別養護老人ホームなど）」を希望する割合が高くなっています。



### (3) 最期を迎える場として希望する場所別の分析

#### ア. 家族構成

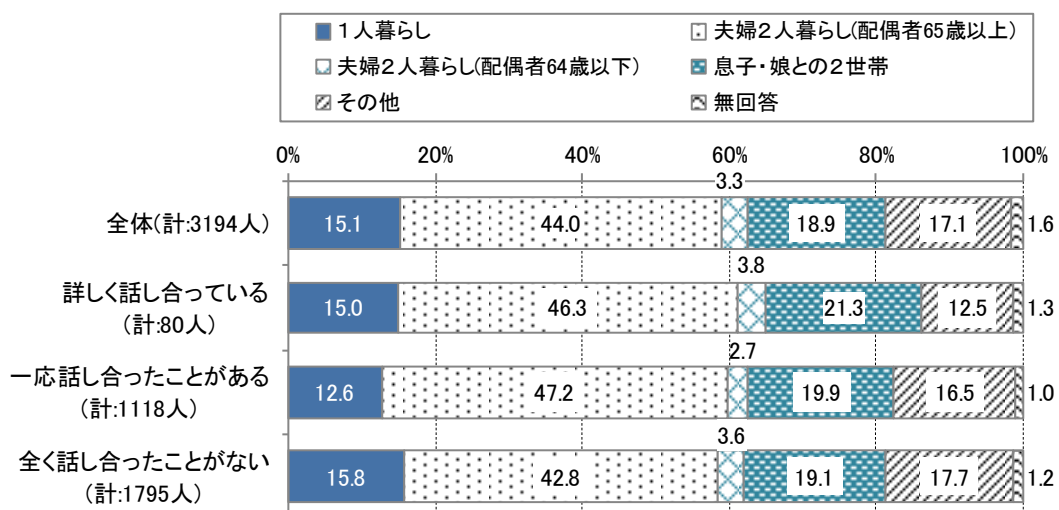
最後を迎える場として希望する場所別に家族構成をみると、介護施設を希望する人に「1人暮らし」の割合が高くなっています。



### (4) もしものときの受けたい医療や介護について、家族等で話し合いを行っている状態別の分析

#### ア. 家族構成

もしものときの受けたい医療や介護について、家族等で話し合いを行っている状態別に家族構成をみると、詳しく話し合っている人の割合は「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が高くなっています。

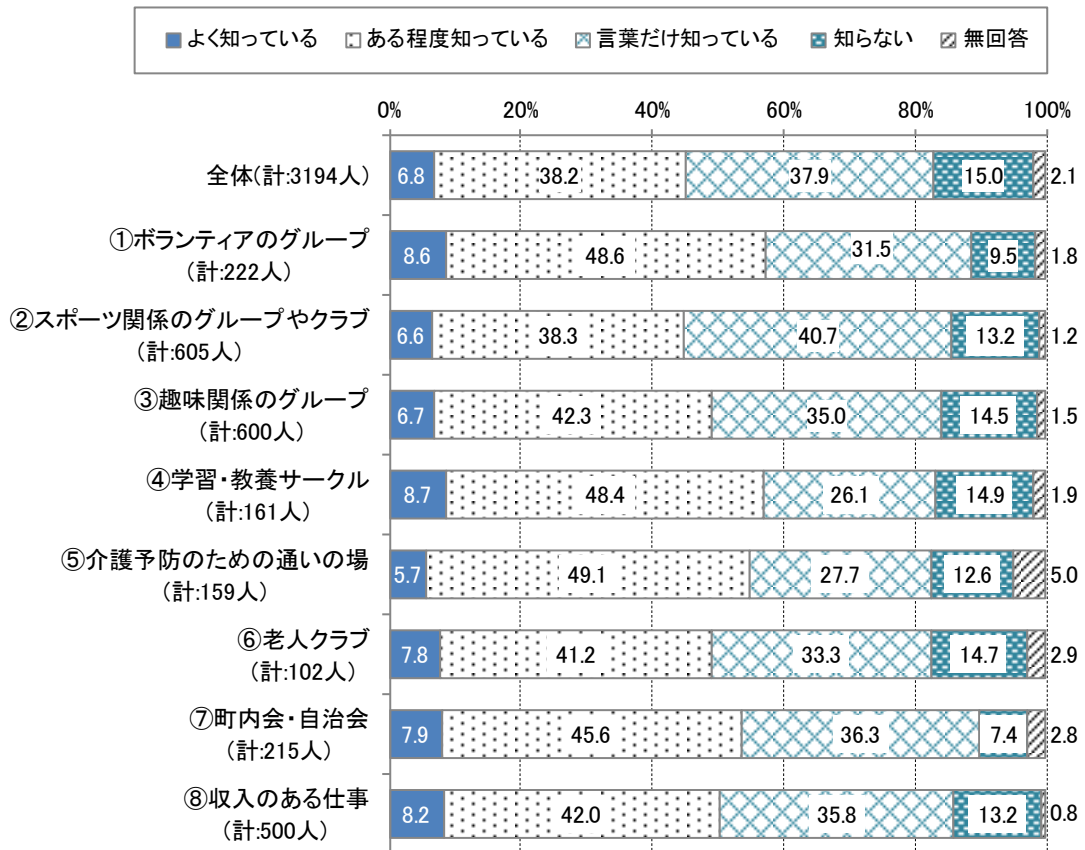




(5) 月1～3回以上参加している地域活動別の分析

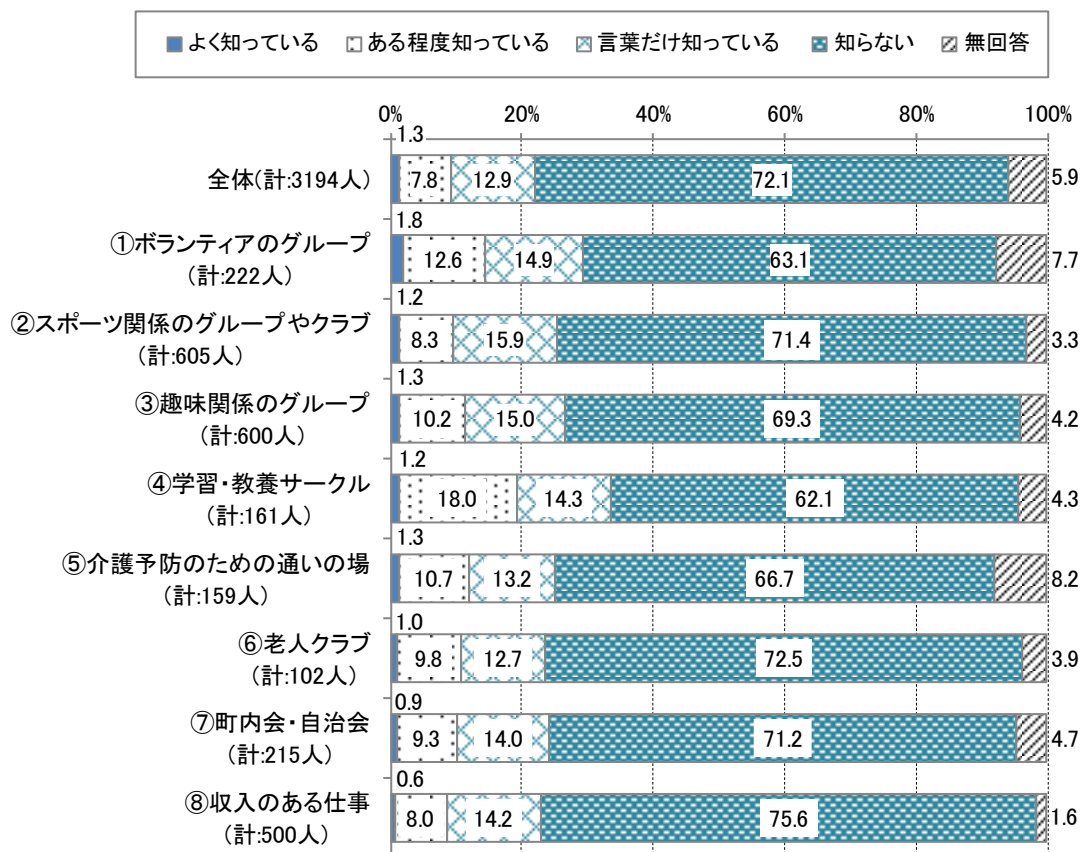
ア. 在宅介護・在宅医療の認知度

月1～3回以上参加している地域活動別に在宅介護・在宅医療の認知度をみると、①ボランティアのグループ、④学習・教養サークル、⑤介護予防のための通いの場、⑦町内会・自治会に参加している方の認知度が比較的高くなっています。



## イ. 「人生会議」の認知度

月1～3回以上参加している地域活動別に「人生会議」の認知度をみると、①ボランティアのグループ、④学習・教養サークルに参加している方の認知度が比較的高くなっています。

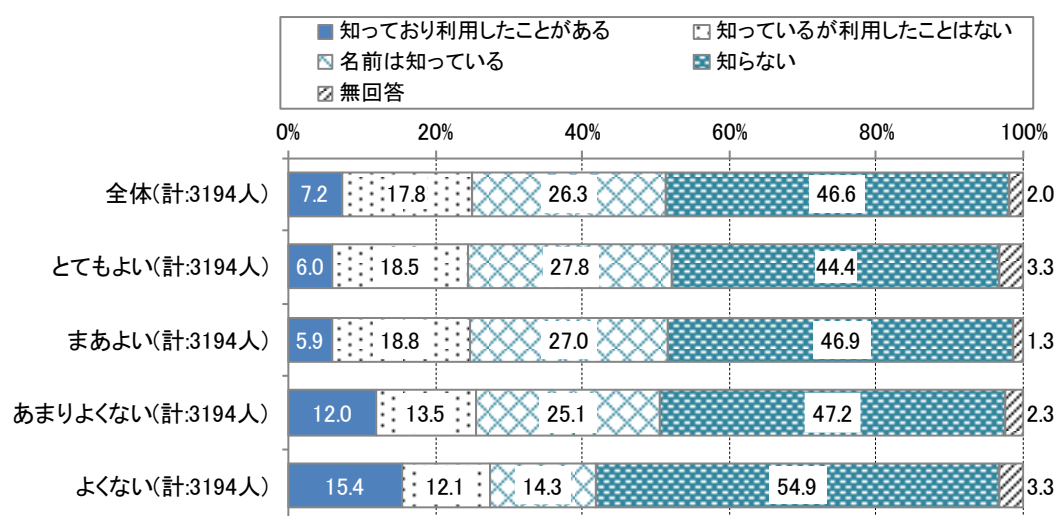


## 4. 地域包括支援センター（おとしより相談センター）について の分析

### (1) 現在の健康状態別の分析

#### ア. 「地域包括支援センター」の認知度

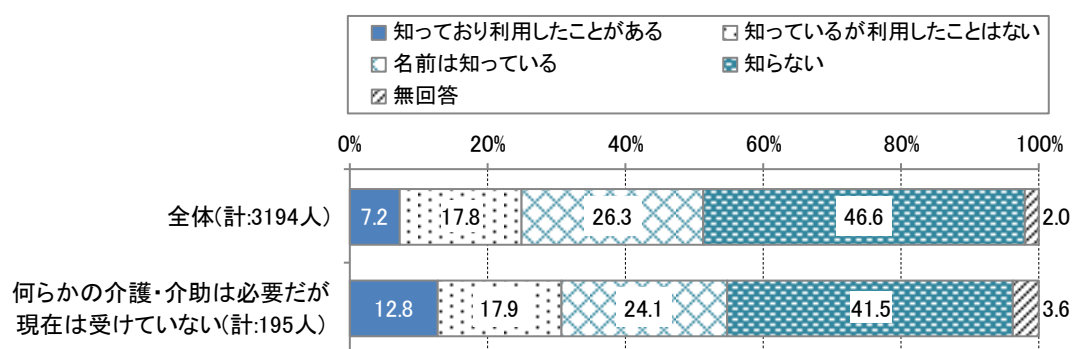
現在の健康状態別に「地域包括支援センター」の認知度をみると、健康状態がよくない人ほど、「知っており利用したことがある」の割合が高くなっています。



### (2) 介護・介助の必要性において、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」という方の分析

#### ア. 「地域包括支援センター」の認知度

介護・介助の必要性において、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」という方の「地域包括支援センター」の認知度をみると、「知っており利用したことがある」の割合は全体の結果に比べて高く、「知らない」の割合は全体の結果に比べて低くなっています。



## 第7章 調査票

第9期

★介護予防・日常生活圏域ニーズ調査★

### 【調査票】

記入した【回答票】のみを返信用封筒に入れて、  
令和5年1月4日(水)までに投函してください。

#### ご協力をお願い

日ごろより市政の推進にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本市では、令和6年度から令和8年度までを計画期間とする「ひたちなか市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（しあわせプラン21）第9期」の策定に向けて取り組んでおります。策定に当たっては国の意向に基づき、市内に居住する65歳以上の方（要介護1～5の方を除く）約5,000人を対象に、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」（本調査）を実施することといたしました。

本調査につきましては、計画策定のための基礎資料とさせていただくほか、効果的な介護予防施策の立案と効果評価等に活用させていただきます。

つきましては、次ページの「記入に際してのお願い」をご一読のうえ、別紙【回答票】にご記入をお願いいたします。

なお、収集した個人情報につきましては、ひたちなか市個人情報保護条例等に基づく適正な取り扱いを行いますので、調査の趣旨を十分ご理解いただき、ご協力いただきますよう重ねてお願いいたします。

ひたちなか市 福祉部 福祉事務所 高齢福祉課

### 記入に際してのお願い

1. この調査の対象者は、令和4年11月1日現在、65歳以上の方（要介護1～5の方を除く）の中から無作為に抽出した方です。
2. ご回答にあたっては別紙【回答票】のあて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方等がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されたりしてもかまいません。可能な限りご家族や担当ケアマネジャーの方等と一緒にお願いします。
3. ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、別紙【回答票】に該当する番号を○で囲み、数字を記入する欄は右詰め（例. 

0	6	2
---	---	---

 kg）でご記入ください。
4. 【回答票】記入後は、3つ折りにして同封の返信用封筒に入れて、切手をはらずに令和5年1月4日（水）までにポストに投函してください。
5. 【回答票】の返送がない場合は、家庭訪問等により、状況を確認させていただくこともありますので、ご了承ください。
6. この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

問合せ先	ひたちなか市 福祉部 福祉事務所 高齢福祉課
電話番号	273-0111（内線7231～7234）

質問への回答は、別紙【回答票】に記入してください。

<b>問1</b>	<b>あなたのご家族や生活状況について</b>	
<b>(1) 家族構成をお教えてください</b>		
1. 1人暮らし	2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4. 息子・娘との2世帯	
5. その他		
<b>(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか</b>		
1. 介護・介助は必要ない		
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない		
3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)		
<b>【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】</b>		
<b>(3) 主にどなたの介護、介助を受けていますか(いくつでも)</b>		
1. 配偶者(夫・妻)	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他	
<b>(4) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか</b>		
1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	

<b>問2</b>	<b>からだを動かすことについて</b>	
<b>(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか</b>		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない

<b>(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか</b>	
1. できるし、している	2. できるけどしていない 3. できない
<b>(3) 15分位続けて歩いていますか</b>	
1. できるし、している	2. できるけどしていない 3. できない
<b>(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか</b>	
1. 何度もある	2. 1度ある 3. ない
<b>(5) 転倒に対する不安は大きいですか</b>	
1. とても不安である	2. やや不安である
3. あまり不安でない	4. 不安でない
<b>(6) 週に1回以上は外出していますか</b>	
1. ほとんど外出しない	2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上
<b>(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか</b>	
1. とても減っている	2. 減っている
3. あまり減っていない	4. 減っていない
<b>【(7)で「1. とても減っている」、「2. 減っている」の方のみ】</b>	
<b>(8) 外出の回数が減っている理由は、次のどれですか (いくつでも)</b>	
1. 病気	2. 障害 (脳卒中 <sup>しょうがい のうそっちゅう</sup> 中の後遺症 <sup>こういしょう</sup> など)
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配 (失禁など)
5. 耳の障害 (聞こえの問題など)	6. 目の障害
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない	10. 新型コロナウイルスなどの感染症対策
11. その他	





(5) 1日3食、欠食せずにきちんと食べていますか		
1. はい	2. いいえ	
(6) 6か月間で2～3kg以上の体重の減少はありましたか		
1. はい	2. いいえ	
(7) どなたかと食事をとにする機会はありますか		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	

<b>問4</b>	<b>毎日の生活について</b>	
(1) 物忘れが多いと感じますか		
1. はい	2. いいえ	
(2) 今日が何月何日かわからない時がありますか		
1. はい	2. いいえ	
(3) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(4) 自動車運転免許（バイクを含む）を持っていますか		
1. 持っている	2. 持っていたが返納した	3. 持っていない
【(4)において「2. 持っていたが返納した」、「3. 持っていない」の方のみ】		
(5) 外出において困っていることはありますか（いくつでも）		
1. 買物	2. 通院	3. 趣味や娯楽
4. 通勤	5. 作業（農作業など）	6. 家族や友人との交流
7. その他	8. 困っていることはない	

<b>(6) 自分で食品・日用品の買物をしていますか</b>		
1. できるし、している    2. できるけどしていない    3. できない		
<b>(7) 買物で困っていることはありますか (いくつでも)</b>		
1. 車や自転車の運転に不安がある	2. 徒歩圏内にお店がない	
3. 購入した商品を持って帰るのが難しい	4. 家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない	
5. 買物を手伝ってくれる家族等がない	6. 買物支援サービスを利用したいが、どうしたらいいかわからない	
7. その他	8. 困っていることはない	
<b>(8) 現在利用している買物支援サービスはありますか (いくつでも)</b>		
1. 宅配サービス(※1)	2. 弁当配達サービス	3. インターネットショッピング
4. 移動販売(※2)	5. 買物代行サービス	6. 介護サービスのヘルパー
7. お店への送迎サービス	8. その他	
※1 注文をした商品が自宅に届くもの		
※2 食品などをのせて移動する車両にて、商品を目で見ながら購入できるもの		
<b>(9) 将来利用したい買物支援サービスはありますか (いくつでも)</b>		
1. 宅配サービス	2. 弁当配達サービス	3. インターネットショッピング
4. 移動販売	5. 買物代行サービス	6. 介護サービスのヘルパー
7. お店への送迎サービス	8. その他	
<b>(10) 自分で食事の用意をしていますか</b>		
1. できるし、している    2. できるけどしていない    3. できない		

<b>(11) ゴミ出しで困っていることはありますか</b>	
1. 身体的な理由で集積所まで運べない	2. 集積所まで運べるが身体的な負担を感じる
3. その他	4. 困っていることはない
<b>(12) 自分で請求書の支払いをしていますか</b>	
1. できるし、している	2. できるけどしていない
3. できない	
<b>(13) 自分で預貯金の出し入れをしていますか</b>	
1. できるし、している	2. できるけどしていない
3. できない	
<b>(14) 健康についての記事や番組に関心がありますか</b>	
1. はい	2. いいえ
<b>(15) 補聴器を購入したいと思いますか</b>	
1. 聞こえにくいので購入したい	2. 聞こえにくいですが購入したくない
3. 聞こえに問題がないので購入したくない	4. その他
<b>(16) 趣味はありますか</b>	
1. 趣味あり (趣味は何ですか)	2. 思いつかない
<b>(17) 生きがいがありますか</b>	
1. 生きがいあり (生きがいは何ですか)	2. 思いつかない

**問5 地域での活動について**

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか  
(① - ⑧それぞれに回答してください)

	週4回 以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加して いない
① ボランティアの グループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係 グループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 市で開催している 体操教室(※3)など の介護予防のための 通いの場	1	2	3	4	5	6
※3 元気サポート教室金上・高場、元気アップ体操、ときめき元気塾、シルバー リハビリ体操教室など						
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

【(1) ⑤において「1~5」を選択した方のみ】

(2)-① 教室で教わった運動を自宅でも実施していますか

1. 週3回以上      2. 週1回      3. 月1、2回      4. していない

【(1) ⑤において「1~5」を選択した方のみ】

(2)-② 教室に参加したことで、どのような効果を感じていますか

1. 腰痛やひざ痛の改善      2. つまづかなくなった      3. 歩きやすくなった  
4. 人との交流が増えた      5. 外出が楽しみになった  
6. その他      7. 感じたことはない

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者として</u> 参加してみたいと思いますか	
1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している
(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営(お世話役)</u> として参加してみたいと思いますか	
1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している

<b>問6</b>	<b>たすけあいについて</b>	
	あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします	
(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚 ・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他	8. そのような人はいない	
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚 ・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他	8. そのような人はいない	

<b>(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (いくつでも)</b>		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚 ・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他	8. そのような人はいない	
<b>(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (いくつでも)</b>		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚 ・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他	8. そのような人はいない	
<b>(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は誰ですか (いくつでも)</b>		
1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員	
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師	
5. 市役所	6. 地域包括支援センター (おとしより相談センター)	
7. その他	8. そのような人はいない	

<b>問7</b>	<b>健康について</b>
-----------	---------------

<b>(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか</b>			
1. とてもよい	2. まあよい	3. あまりよくない	4. よくない

<p>(2) あなたは、現在どの程度幸せですか          (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)</p>										
とても 不幸										とても 幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点
<p>(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか</p>										
1. はい					2. いいえ					
<p>(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか</p>										
1. はい					2. いいえ					
<p>(5) タバコは吸っていますか</p>										
1. ほぼ毎日吸っている					2. 時々吸っている					
3. 吸っていたがやめた					4. もともと吸っていない					
<p>(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)</p>										
1. ない			2. 高血圧			3. <small>のうそっちゅう</small> 脳卒中 ( <small>のうしゅけつ</small> 脳出血・ <small>のうこうそく</small> 脳梗塞等)				
4. 心臓病			5. <small>とうりょうびょう</small> 糖尿病			6. <small>こうしけっしょう</small> 高脂血症 ( <small>しじついじょう</small> 脂質異常)				
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)					8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気					
9. <small>じんぞう</small> 腎臓・ <small>ぜんりつせん</small> 前立腺の病気					10. <small>きんこつかく</small> 筋骨格の病気 ( <small>こつそ</small> 骨粗しょう症、 <small>しょう</small> 関節症等)					
11. <small>がいしょう</small> 外傷 ( <small>てんとう</small> 転倒・ <small>こっせつ</small> 骨折等)					12. がん (悪性新生物)					
13. 血液・ <small>めんえき</small> 免疫の病気					14. うつ病					
15. <small>にんちしょう</small> 認知症 (アルツハイマー病等)					16. パーキンソン病					
17. 目の病			18. 耳の病気			19. その他				

**問 8** 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

1. はい 2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

1. はい 2. いいえ

【(2)において「1. はい」の方のみ】

(3) 認知症の相談窓口として、知っている機関はどこですか (いくつでも)

1. 市役所 2. 地域包括支援センター  
(おとしより相談センター)  
3. 認知症地域支援推進員 4. 認知症の専門病院  
5. 家族の会・民間研究機関 6. その他

(4) 家族に認知症の症状があり、徘徊など生活をする上で困った場合に、友人や近所の人に相談したり、協力を求めたりすることができますか

1. はい 2. いいえ

(5) 成年後見制度(※4)について知っていますか

1. はい 2. いいえ

※4 認知症、知的障害、精神障害などの理由により、適切に判断する能力が十分でない方々を保護・支援するため、法的に権限を与えられた後見人等が生活状況や身体状況などを考慮しながら契約の締結や、財産の管理を行う制度

(6) 成年後見制度の相談窓口として、知っている機関はどこですか (いくつでも)

1. 水戸家庭裁判所 2. 専門職 (弁護士・司法書士など)  
3. 市役所 4. 中核機関  
(ひたちなか市社会福祉協議会)  
5. 権利擁護サポートセンター 6. 地域包括支援センター  
(水戸市社会福祉協議会) (おとしより相談センター)  
7. その他 8. 知っている機関はない



**問9** 在宅での医療や介護について

(1) 在宅での医療や介護について、知っていますか

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. よく知っている   | 2. ある程度知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない      |

(2) 最期を迎える場として、どこが良いと考えますか

- |                      |               |
|----------------------|---------------|
| 1. 自宅                | 2. 医療機関（病院など） |
| 3. 介護施設（特別養護老人ホームなど） | 4. その他        |

【(2) において「1. 自宅」の方のみ】

(3) - ① 選んだ理由は次のどれですか（いくつでも）

1. 住み慣れた場所で最期を迎えたい
2. 最期まで自分らしく過ごしたい
3. 家族などと過ごす時間を多くしたい
4. 家族などに看取られたい
5. 家族などが自宅で最期を迎えていた
6. ヘルパーなどの介護サービスがある
7. 医師や看護師が訪問してくれる
8. 病状が急に悪くなっても入院できる
9. 医療機関や介護施設に入ると、経済的に負担が大きい
10. その他

<b>【(2) において「1. 自宅」以外の方のみ】</b>	
<b>(3)－② 選んだ理由は次のどれですか (いくつでも)</b>	
1. 介護してくれる家族などがいない	
2. 家族などに介護負担をかけたくない	
3. 医師や看護師が訪問してくれるか不安がある	
4. 病状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安がある	
5. 病状が急に悪くなったときに入院できるのか不安がある	
6. 24時間相談にのってくれる所がない	
7. 居住環境が整っていない	
8. 自宅で医療や介護を受けるのは、経済的負担が大きい	
9. その他	
<b>(4) もしものとき (自身の死が近い場合など) のために、受けたい医療や介護について前もって繰り返し話し合う取り組み (人生会議) を知っていますか</b>	
1. よく知っている	2. ある程度知っている
3. 言葉だけ知っている	4. 知らない
<b>(5) もしものときの受けたい医療や介護について、家族等とどれくらい話し合っていますか</b>	
1. 詳しく話し合っている	2. 一応話し合ったことがある
3. 全く話し合ったことがない	
<b>【(5) において「3. 全く話し合ったことがない」の方のみ】</b>	
<b>(6) 話し合ったことがない理由は、次のどれですか (いくつでも)</b>	
1. 話し合いたくない	2. 話し合う必要性を感じない
3. 話し合うきっかけがなかった	4. 知識がないため、何を話し合っているかわからない
5. その他	

(7) もしものときの受けたい医療や介護について考えるために、知りたい情報は次のどれですか（いくつでも）

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 心身の状態の変化      | 2. 受けられる医療や介護の内容 |
| 3. 医療機関や介護施設の情報  | 4. 医療や介護の体験談     |
| 5. 自分の意思の伝え方や残し方 | 6. 相談・サポート体制     |
| 7. その他           | 8. 知りたくない        |

**問10** 地域包括支援センター（おとしより相談センター）について

(1) 市内にある高齢者の相談窓口「地域包括支援センター（おとしより相談センター）」を知っていますか

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 知っており利用したことがある | 2. 知っているが利用したことはない |
| 3. 名前は知っている       | 4. 知らない            |

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。■■■

ひたちなか市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

報 告 書

令和 5年 3月

---

編集・発行 ひたちなか市

〒312-8501 茨城県ひたちなか市東石川2丁目10番1号

029-273-0111 (代表)

---